

次代を担う子どもの文化芸術体験事業
(巡回公演事業) 検証事業
委託業務成果報告書

平成 25 年 3 月

【目次】

I. 検証事業の実施概要	1
1. 検証事業の趣旨	1
2. 対象事業の概要	1
3. 業務フロー	5
4. 実施結果の概要	5
II. 巡回公演事業の実施状況	8
1. 過年度の巡回公演事業の開催データ	8
2. 平成24年度の巡回公演事業の開催データ	10
III. 児童・生徒へのアンケート調査・分析結果	28
1. 調査概要	28
2. 回答者属性	28
3. 調査結果	38
IV. 教職員へのアンケート調査・分析結果	82
1. 調査概要	82
2. 回答者属性	82
3. 調査結果	85
V. 保護者・地域住民へのアンケート調査・分析結果	114
1. 調査概要	114
2. 回答者属性	114
3. 調査結果	116

VI. 教育委員会等へのアンケート調査・分析結果	136
1. 調査概要	136
2. 回答者属性	136
3. 調査結果	137
VII. まとめ：「次代を担う子どもの文化芸術体験事業（巡回公演事業）」の 検証結果	148
1. 「次代を担う子どもの文化芸術体験事業（巡回公演事業）」の評価検証	148
2. 「次代を担う子どもの文化芸術体験事業（巡回公演事業）」の課題	161
3. 「次代を担う子どもの文化芸術体験事業（巡回公演事業）」への提案	164

《参考資料》

1. 児童・生徒へのアンケート調査票
2. 教職員へのアンケート調査票
3. 保護者・地域住民へのアンケート調査票
4. 教育委員会等へのアンケート調査票

I. 検証事業の実施概要

1. 検証事業の趣旨

「次代を担う子どもの文化芸術体験事業（巡回公演事業）」に関しては、事業を実施した学校が事業完了後に「実施状況報告書」を提出しているものの、詳細な実状把握に基づく効果等の分析は行われていないのが現状である。もちろん、文化芸術が子どもたちに対してどのような効果・影響をもたらすのかという点については、短期的な検証では全体を把握することは困難である。しかし、本事業について、これまで以上に内容を充実するとともに質の向上を図り、全国的な広がりを推進していくため、効果や課題についての検証は不可欠である。このため、当該事業について現状で可能な限りの分析を行い、その結果をもとに今後の事業実施に役立てることを目的として、本検証事業を実施する。

なお、本検証事業は平成 23 年度から実施しており、今年度で 2 年目となる。今年度は特に、平成 23 年度から導入している、「B 区分制度」の効果検証に主眼を置いている。本制度の効果検証を行うことで、来年度の平成 26 年度以降の B 区分制度のあり方についても検討を行った。

2. 対象事業の概要

本検証事業の対象となる「巡回公演事業」の概要を以下に整理する。

(1) 事業の目的

小学校・中学校等において、一流の文化芸術団体による巡回公演を行い、優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供することにより、次代の文化の担い手となる子どもたちの発想力やコミュニケーション能力の育成を図り、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的とした事業である。

(2) 事業の特徴

文化芸術団体の公演種目は、大分類では「①音楽」「②演劇」「③伝統芸能」「④舞踊」の 4 種類に大別され、小分類では 14 の種目に分けられている（図表 1 参照）。

文化芸術団体は、ワークショップと本公演の計 2 回、学校を訪問する。舞台鑑賞だけでなく、事前にワークショップを行い、公演当日に公演団体と子どもたちが共演することが、本事業の大きな特徴である。このワークショップでは、鑑賞指導や実技指導が行われる。

鑑賞場所である学校の体育館は、公演団体により、普段授業などで使用している場所から、本格的な劇場へと変貌することとなるため、児童・生徒たちは優れた舞台芸術を体感することができる。

また、公演団体と学校側の調整がつけば、座談会、質問コーナー、交流給食、舞台裏見学、会場準備のお手伝い等のプログラムも実施可能である。

なお、本公演への参加者は、実施校の児童・生徒の全員参加を原則としている。また、児童・生徒、教職員に加えて、保護者等（地域住民等）の参加も認めている。

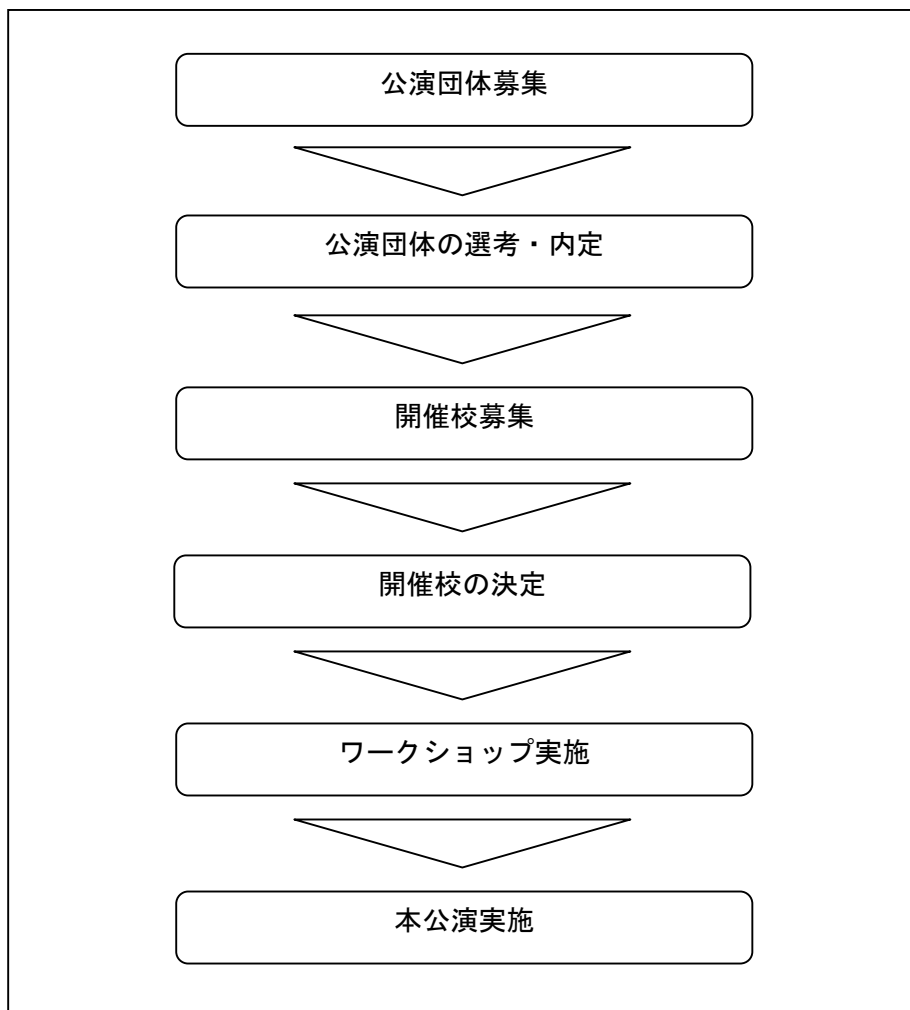
図表 1 文化芸術団体の公演種目

大分類	小分類
音楽	合唱、オーケストラ、音楽劇
演劇	演劇、児童劇、ミュージカル
伝統芸能	歌舞伎、演芸、能楽、邦楽、邦舞、人形浄瑠璃
舞踊	バレエ、現代舞踊

(3) 事業実施までの流れ

事業実施までの流れは次の通りである（図表 2 参照）。対象となる学校は全国の小学校・中学校（特別支援学校を含む）約 3 万校である。学校の所在地に応じて、A～J の 10 のブロックに振り分けられており（図表 3 参照）、各ブロックに割り当てられた約 10 の文化芸術団体の中から学校等は希望する団体を選択し、教育委員会等を通じて、文化庁に申請する。団体側が提示する実施条件に合致した学校等の中から、募集定数内で採択校が選定され、事業実施に至る。

図表 2 事業実施までの流れ



図表 3 全国の小学校・中学校等の割り当てブロック

ブロック	所在地（都道府県及び政令指定都市）
A	北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県 札幌市、仙台市
B	山形県、福島県、栃木県、群馬県、埼玉県 さいたま市
C	茨城県、千葉県、東京都、山梨県 千葉市
D	神奈川県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県 横浜市、川崎市、相模原市、静岡市、浜松市、名古屋市
E	新潟県、富山県、石川県、福井県、京都府 新潟市、京都市
F	三重県、滋賀県、大阪府、奈良県、和歌山県 大阪市、堺市
G	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県 広島市、岡山市
H	兵庫県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県 神戸市
I	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県 北九州市、福岡市、熊本市
J	大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

(4) B区分団体について

- ・ 本事業の公演団体のうち、3年間継続して同じブロックで公演を行う団体を「B区分団体」（図表4参照）としている。この区分は平成23年度から導入されており、初年度は12団体が選定された（平成24年度に1団体が追加されて現在は13団体）。約100ある団体の中から各分野（音楽・演劇・伝統芸能・舞踊）2、3団体を目安に選定されている。
- ・ B区分団体には、継続して同じブロックで公演してもらうことで、教育委員会や学校等とのネットワークの構築、本事業の認知度の向上や地域性に応じた対応、過年度実施校へのフォローアップ等を通じて、本事業の効果のよりいっそうの広がりが期待されている。

図表 4 全国の小学校・中学校等の割り当てブロックとB区分団体一覧

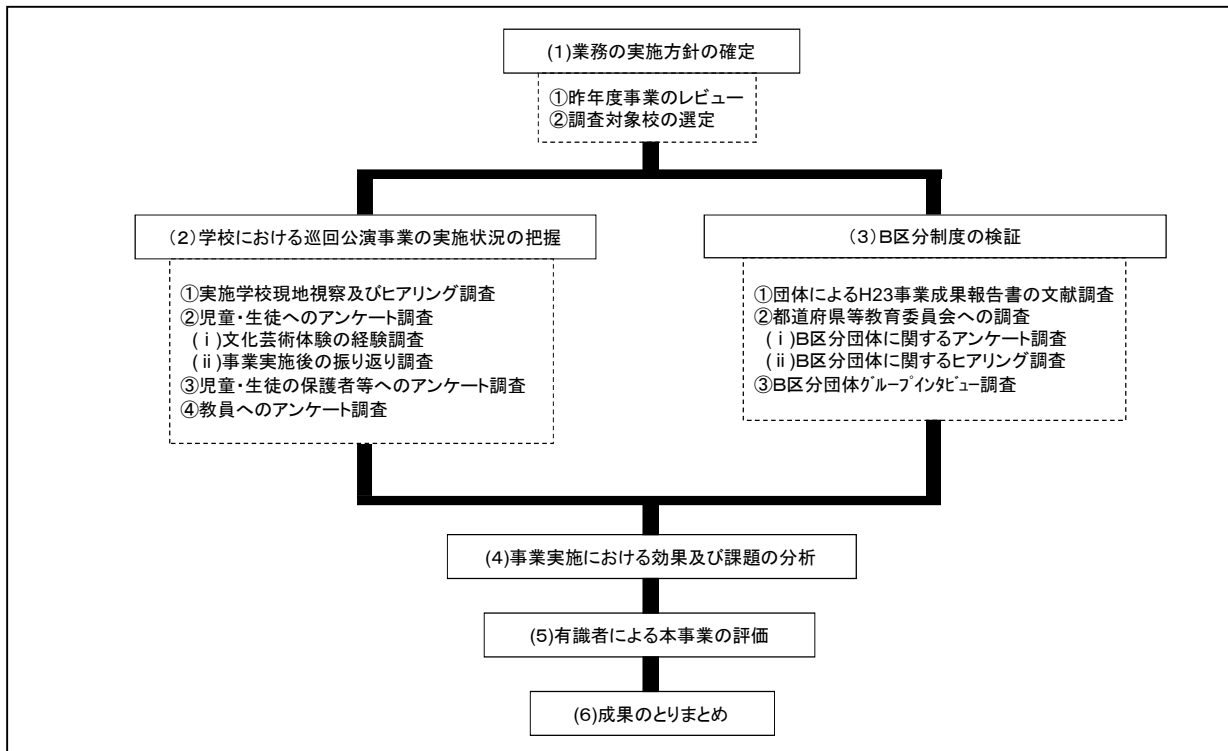
	所在地 (都道府県及び政令指定都市)	B区分団体名
A	北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、札幌市、仙台市	・公益社団法人落語芸術協会 【伝統芸能（演芸）】
B	山形県、福島県、栃木県、群馬県、埼玉県、さいたま市	・劇団えるむ 【演劇（演劇）】
C	茨城県、千葉県、東京都、山梨県、千葉県	・オペラシアターこんにゃく座 【演劇（ミュージカル）】
D	神奈川県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、横浜市、川崎市、相模原市、静岡市、浜松市、名古屋市	・劇団ひまわり 【演劇（児童劇）】
E	新潟県、富山県、石川県、福井県、京都府、新潟市、京都市	・特定非営利活動法人関西フィルハーモニー管弦楽団 【音楽（オーケストラ）】
F	三重県、滋賀県、大阪府、奈良県、和歌山県、大阪市、堺市	・神奈川フィルハーモニー管弦楽団 【音楽（オーケストラ）】
G	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、広島市、岡山市	・有限会社アーツ・カンパニー 【音楽（音楽劇）】 ・東京演劇集団風 【演劇（ミュージカル）】
H	兵庫県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、神戸市	・スターダンサーズ・バレエ団 【舞踊（バレエ）】
I	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、北九州市、福岡市、熊本市	・東京混声合唱団 【音楽（合唱）】 ・東京シティ・バレエ団 【舞踊（バレエ）】
J	大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県	・有限会社劇団ドリームカンパニー 【演劇（ミュージカル）】 ・公益財団法人片山家能楽・京舞保存財団 【伝統芸能（演芸）】

(5) 留意点など

- ・ より多くの児童・生徒が優れた舞台芸術に触れられるよう、複数校による合同開催についても実施を認めている。実施会場は、原則として小学校・中学校等の施設としているが、複数の学校が合同で実施する場合や全校児童・生徒を収容できる施設がない場合等には、文化施設等、適切な施設で実施することを認めている。
- ・ 公演開催にかかる経費については、次の4項目を除いて、文化庁がすべて負担する。「①学校の施設設備の使用にかかる経費」（光熱水料、灯油代、暖房機レンタルなど）、「②体育館の条件整備にかかる経費」（ピアノ移動・調律費、暗幕設置費、電気容量が不足する場合の電気工事等経費など）、「③文化施設を利用する場合の会場借上料」（付帯設備等を含む）、「④その他」（諸雑費）。

3. 業務フロー

本事業の趣旨を踏まえ、次のような業務フローで巡回公演事業の検証を行った。



4. 実施結果の概要

各業務の実施結果の概要は次の通りである。

(1) 業務の実施方針の確定

① 昨年度事業のレビュー

文化庁担当者とのディスカッションを通じて、昨年度検証事業のレビューを行い、今年度検証事業のポイントとして、次の5つを設定した。

- (i) 「B区分団体」に主眼を置いた効果検証を行う
- (ii) アーティストとの共演や交流の実態把握のため現地視察を行う
- (iii) 子どもたちの文化芸術体験経験に関する実施校での全数調査を行う
- (iv) 調査対象となるステークホルダーを拡充する(「児童・生徒の保護者」「教員」)
- (v) 調査対象は実施直後の文化芸術体験(平成24年度事業)とする

② 調査対象校の選定

平成24年度追加公演実施校の中から、「立地」(首都圏・大都市圏・地方都市圏・不利地域)、「分野」(大分類:音楽・演劇・伝統芸能・舞踊)、「教育の段階」(小学校・中学校)等を考慮し、文化庁担当者との協議のうえ、調査対象校として32校を選定した。

(2) 学校における巡回公演事業の実施状況の把握

① 実施学校現地視察及びヒアリング調査

選定した32校の学校のワークショップまたは本公演当日に、調査員（MURC 研究員）が訪問し、現地視察ならびに公演終了後に教員（管理職（校長・副校長・教頭等）と主担当教員）に対してヒアリング調査を実施した。

なお、調査の有効性・統一性を高めるため、調査を担当する調査員全員が参加のもと2校にプレ調査を実施し、視察時の着眼点の精査、共有等を図った。

② 児童・生徒へのアンケート調査

(i) 文化芸術体験の経験調査

実施校が事業実施後に必ず提出している「実施状況報告書」に文化芸術体験の項目を追加し、子どもたちの文化芸術体験の正確な実態把握を行った。

さらに、「立地」（首都圏・大都市圏・地方都市圏・不利地域）、「分野」（大分類：音楽・演劇・伝統芸能・舞踊）、「教育の段階」（小学校・中学校）等において、子どもたちの文化芸術体験にどのような傾向や差があるのかを分析した。

(ii) 事業実施後の振り返り調査

本公演実施後、1ヶ月程度経過した後に、“振り返り学習”の一環として、対象校32校の協力を得て、ワークショップおよび本公演に参加したすべての児童・生徒に対してアンケート調査を行った（回収数：約6,700名）。

なお、今年度は特に交流要素の強い「ワークショップ」に関する設問をアンケート調査項目に追加したため、ワークショップの直接的な影響も検証した。

③ 児童・生徒の保護者等へのアンケート調査

対象校32校の協力を得て、本公演当日に参加している保護者等に対して、その場で回答・回収できるレベルの簡単なアンケート調査を行った（回収数：約800名）。

その結果、本事業が、「学校教育に対する理解」、「学校と地域の繋がり」、「家庭内での効果（家庭におけるコミュニケーションや文化体験の促進への寄与等）」等にどのような効果があるのかを検証した。

④ 教員へのアンケート調査

本公演実施後、1ヶ月程度経過した後に、児童・生徒へのアンケート調査と同じタイミングで、対象校32校の協力を得て、ワークショップ及び本公演に参加したすべての教員に対してアンケート調査を行った（回収数：約470名）。

その結果、本事業が、「文化芸術体験の促進」、「教員への効果（指導法や子どもたちの評価の視点の変化等）」等にどのような効果があるのかを定量的に確認した。また、児童・生徒と教員の本事業の受け止め方の違いも確認した。

(3) B区分制度の検証

① 団体によるH23事業成果報告書の文献調査

B区分団体のみが提出している「事業成果報告書」を文化庁担当者より提供を受け、事業の実態、効果や課題等を整理・分析した。

② 都道府県等教育委員会への調査

(i) B区分団体に関するアンケート調査

都道府県及び政令指定都市すべての教育委員会（67件）に対して、B区分団体に関するアンケート調査を行った。

(ii) B区分団体に関するヒアリング調査

上記アンケート調査で回答を頂いた中から有効な示唆が得られそうな教育委員会を選定（5件）し、ヒアリング調査を行った。

③ B区分団体グループインタビュー調査

「音楽」「演劇」「伝統芸能」「舞踊」の4つの分野ごとにB区分団体（13団体）に集まって頂き、グループインタビュー調査を行った。その際に、昨年度の検証事業の結果や今年度の経過報告等の情報還元を行い、それらも参考にして頂いた上で、意見交換会のような形式で行った。

(4) 事業実施における効果及び課題の分析

本検証事業で得られた成果を、子どもたちの文化芸術体験について知見を有する有識者から評価を受ける際の評価材料として取りまとめた。

(5) 有識者による本事業の評価

以下に示す有識者に対して、評価資料を事前送付し、資料に目をあらかじめ通して頂いたうえで、ヒアリング調査を実施した。

なお、評価を依頼した有識者は昨年度検証事業において評価を依頼した方と同じ方々であり、継続的な視点で本事業を評価して頂いた。

- ・ 特定非営利活動法人芸術家と子どもたち 理事長 堤 康彦 氏
- ・ プロジェクト・コーディネーター／プランナー 若林 朋子 氏
- ・ 静岡文化芸術大学文化政策学部 教授 片山 泰輔 氏
- ・ 静岡舞台芸術センター（SPAC） 芸術監督 宮城 聡 氏
- ・ 昭和音楽大学 准教授 武濤 京子 氏

(6) 成果のまとめ

上記の調査結果を整理し、報告書を作成した後に、本事業のステークホルダーに応じた成果の取りまとめを行った。取りまとめのポイントとして、「本事業が単なる経費ではなく、未来への投資である」ことを明確化した。

また、今年度は特に、検証事業の中核に据えているB区分団体による巡回公演の効果検証を行い、制度自体の今後のあり方（担当ブロックの範囲、認定期間、選定要件および方法、等）についても提案した。

II. 巡回公演事業の実施状況

1. 過年度の巡回公演事業の開催データ

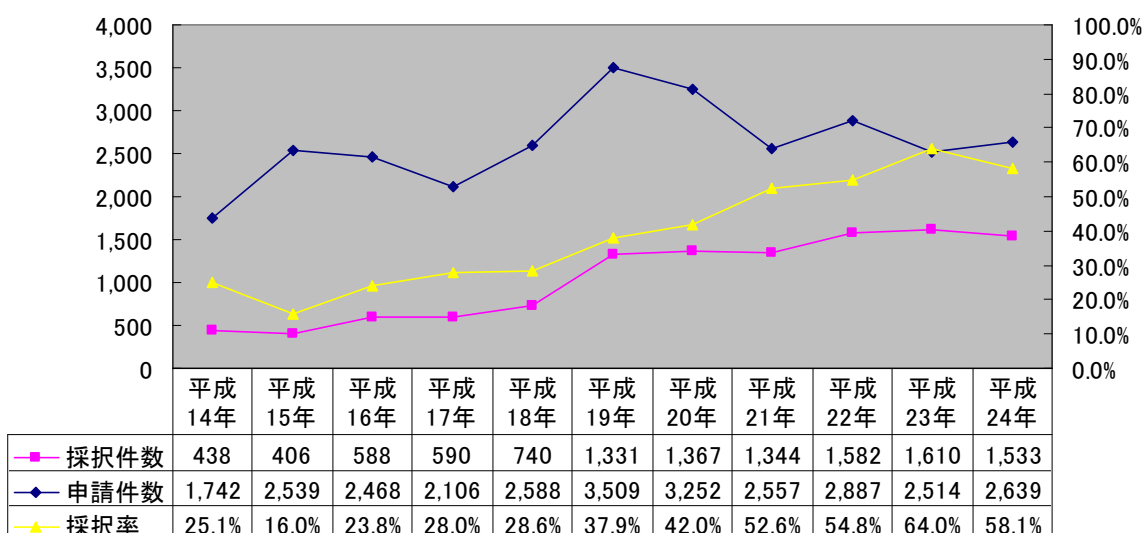
(1) 採択件数及び採択率（総数）

初年度の平成 14 年度においては、申請総数 1,742 件の中から、438 件が採択されている（採択率 25.1%）。2 年目の平成 15 年度は申請件数が約 1.5 倍に増加したため、採択率が 16.0% まで低下しているが、その後は事業費の拡充に伴い、採択件数が増加したため、採択率も増加している。

申請件数のピークは平成 19 年度であり、約 3,500 件となっている。その後は事業費の拡充に伴い、採択件数が増加傾向にあるにもかかわらず、申請件数が伸びていないため、採択率が増加し続け、平成 21 年度には採択率が 50% を超えている。

直近の平成 24 年度においては、申請総数 2,639 件の中から、1,533 件が採択されており、採択率は 58.1% となっている。

図表 5 採択件数及び採択率（総数）



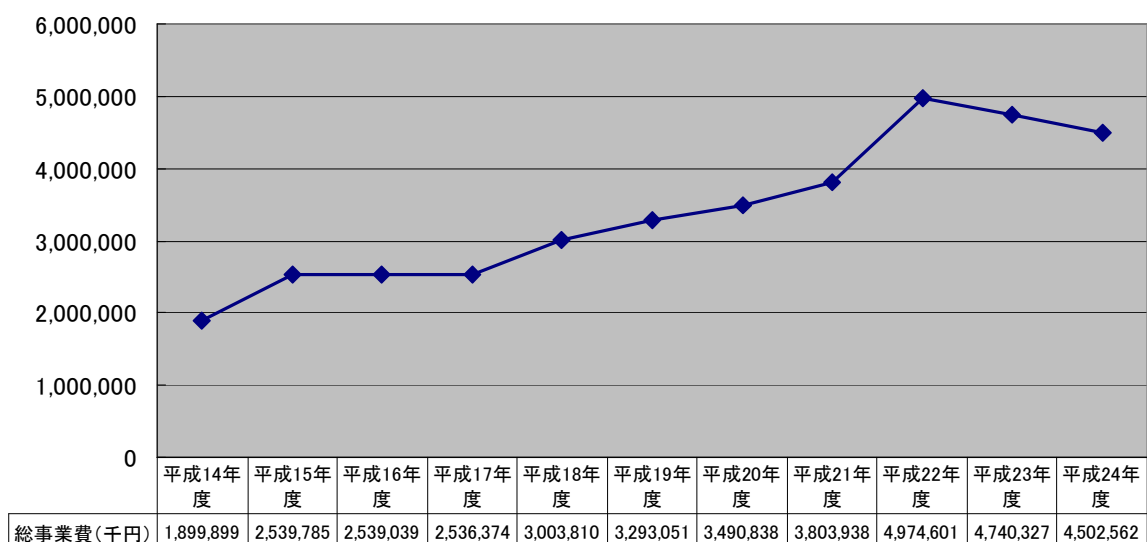
※平成 14～21 年度の事業名称は「本物の舞台芸術体験事業」

(2) 総事業費（予算額）

本事業は、ほぼ同じスキームの事業として、平成14年度に「本物の舞台芸術体験事業」という名称で約19億円の事業費（予算額）で開始された。その後、事業費は拡大し、平成15～17年度は約25億円で推移した後、平成18年度には約30億円ののぼり、平成22年度には現在の名称である「次代を担う子どもの文化芸術体験事業（巡回公演事業）」に事業名を改め、事業費も約50億円に急拡大している。

その後、平成22年度をピークに事業費は減少傾向にあり、直近の平成24年度においては、約45億円となっている。

図表 6 巡回公演事業における過年度の総事業費（予算額）



※平成14～21年度の事業名称は「本物の舞台芸術体験事業」

2. 平成 24 年度の巡回公演事業の開催データ

(1) 採択件数及び採択率

① 採択件数及び採択率（総数）

平成 24 年度においては、申請総数 2,639 件の中から、1,533 件が採択（採択率 58.1%）されている。

また、実施件数 1,533 件のうち、近隣の学校との合同開催は、ワークショップで 70 件（申請校以外の参加校 97 件）、本公演で 251 件（申請校以外の参加校 459 件）となっている。その結果、ワークショップでは計 1,630 校、本公演では計 1,992 校が本事業を体験したことになる。

なお、平成 24 年度に申請対象となっている全国の小学校・中学校（特別支援学校を含む）は 33,218 校（小学校：21,460 校、中学校：10,699 校、特別支援学校：1,059 校 文部科学省「学校基本調査」より）であり、全体の約 7.9%の学校が申請をし、約 4.6%の学校が採択されている。合同開催校を含んだ場合、ワークショップで約 4.9%、本公演で約 5.4%の学校が本事業を通じて文化芸術体験をしたことになる。

実施件数における主催者の種別の内訳は、「小学校」（78.7%）、「中学校」（18.1%）、「特別支援学校」（3.1%）、「その他」（1.5%）となっている。その他としては、小中一貫校などが含まれている。

図表 7 採択件数(主催者の種別)

種別	採択件数	構成比
小学校	1,206	78.7%
中学校	278	18.1%
特別支援学校	47	3.1%
その他	2	0.1%
合計	1,533	100.0%

② 採択件数及び採択率（種目別）

種目別の申請件数については、大分類では、「音楽」（37.0%）が最も多く、次いで「演劇」（35.8%）、「伝統芸能」（23.7%）、「舞踊」（5.5%）の順となっている。小分類では、「オーケストラ」（29.2%）が最も多く、次いで「児童劇」（17.2%）、「ミュージカル」（11.2%）が上位となっている。一方、「歌舞伎」（0.6%）の申請件数が最も少なくなっている。

種目別の採択件数については、大分類では、「演劇」（40.4%）が最も多く、次いで「音楽」（29.2%）、「伝統芸能」（23.7%）、「舞踊」（3.4%）の順となっている。小分類では、「オーケストラ」（20.9%）が最も多く、次いで「児童劇」（20.5%）、「ミュージカル」（10.8%）であり、申請と同じ傾向となっている。

採択率については、大分類では、「舞踊」（89.5%）が最も高く、次いで「演劇」（62.8%）、「伝統芸能」（58.2%）、「音楽」（43.7%）の順となっている。小分類では、「バレエ」（90.0%）が90%を超えている。一方、「オーケストラ」（39.7%）が最も低くなっている。採択率に関しては、教員にとって馴染みのある分野（「オーケストラ」等）での申請数が多いため、当該分野での採択率が低くなっているものと推測される。

図表 8 採択件数及び採択率（種目別）

種目	申請件数	構成比	採択件数	構成比	採択率
音楽	1,022	37.0%	447	29.2%	43.7%
合唱	166	6.0%	97	6.3%	58.4%
オーケストラ	806	29.2%	320	20.9%	39.7%
音楽劇	50	1.8%	30	2.0%	60.0%
演劇	988	35.8%	620	40.4%	62.8%
演劇	202	7.3%	141	9.2%	69.8%
児童劇	476	17.2%	314	20.5%	66.0%
ミュージカル	310	11.2%	165	10.8%	53.2%
伝統芸能	655	23.7%	381	24.9%	58.2%
歌舞伎	16	0.6%	13	0.8%	81.3%
演芸	177	6.4%	103	6.7%	58.2%
能楽	159	5.8%	130	8.5%	81.8%
邦楽	121	4.4%	69	4.5%	57.0%
邦舞	121	4.4%	34	2.2%	28.1%
人形浄瑠璃	61	2.2%	32	2.1%	52.5%
舞踊	95	3.4%	85	5.5%	89.5%
バレエ	70	2.5%	63	4.1%	90.0%
現代舞踊	25	0.9%	22	1.4%	88.0%
合計	2,760	100.0%	1,533	100.0%	55.5%

※上記のうち、「申請件数」は第一希望のデータであり、「採択件数」は第二希望も含めた実際の採択分野のデータであるため、「採択率」が100%を超える場合もある。

③ 採択件数及び採択率（ブロック別）

ブロック別の申請件数については、最大で 334 件（Bブロック：山形県・福島県・栃木県・群馬県・埼玉県・さいたま市）、最小で 195 件（Eブロック：新潟県・富山県・石川県・福井県・京都府・新潟市・京都市）が申請されている。

ブロック別の採択件数については、最大で 167 件（Bブロック：山形県・福島県・栃木県・群馬県・埼玉県・さいたま市）、最小で 140 件（Jブロック：大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県）が採択されている。

採択率については、最大で 76.4%（Eブロック：新潟県・富山県・石川県・福井県・京都府・新潟市・京都市）、最小で 50.0%（Bブロック：山形県・福島県・栃木県・群馬県・埼玉県・さいたま市）となっている。

図表 9 採択件数及び採択率（ブロック別）

ブロック	申請件数	構成比	採択件数	構成比	採択率
A	233	8.8%	142	9.3%	60.9%
B	334	12.7%	167	10.9%	50.0%
C	253	9.6%	158	10.3%	62.5%
D	282	10.7%	155	10.1%	55.0%
E	195	7.4%	149	9.7%	76.4%
F	259	9.8%	145	9.5%	56.0%
G	308	11.7%	161	10.5%	52.3%
H	302	11.4%	166	10.8%	55.0%
I	251	9.5%	150	9.8%	59.8%
J	222	8.4%	140	9.1%	63.1%
合計	2,639	100.0%	1,533	100.0%	58.1%

(2) 参加者数

① 参加者数（総数）

全国の実施件数 1,533 件における参加者総数は、ワークショップが約 25 万人(246,547 人)、本公演が約 52 万人(520,292 人)となっている。小学生・中学生（特別支援学校を含む）のみの参加者総数は、ワークショップが約 22 万人(224,817 人)、本公演が約 44 万人(435,010 人)となっている。

なお、平成 24 年度に参加対象となっている全国の小学生・中学生（特別支援学校を含む）の総数は 10,429,276 人（小学校：6,746,619 人、中学校：3,552,663 人、特別支援学校：129,994 人 文部科学省「学校基本調査」より）であるので、全国の約 2.2%の小学生・中学生がワークショップに参加し、約 4.2%の小学生・中学生が本公演に参加していることになる。

② 参加者数（学年等別）

学年等別のワークショップの参加者数については、大分類では、「小学生」(75.1%)が最も多く、次いで「中学生」(16.1%)、「教職員」(7.4%)、「保護者等」(0.7%)、「在校生その他」(0.7%)（※高等部等の対象外の併設校の生徒等）の順となっている。小分類では、「小学校 6 年生」(17.1%)が最も多く、次いで「小学校 5 年生」(14.6%)、「小学校 4 年生」(13.6%)と、小学校の高学年が上位となっている。

学年等別の本公演の参加者数については、大分類では、「小学生」(70.3%)が最も多く、次いで「中学生」(13.4%)、「保護者等」(8.0%)、「教職員」(7.1%)、「在校生その他」(1.3%)の順となっている。本公演には、保護者や地域住民等が招待されていることがわかる。小分類では、「小学校 6 年生」(12.9%)が最も多く、次いで「小学校 5 年生」(12.6%)、「小学校 4 年生」(12.3%)と、ワークショップと同様に小学校の高学年が上位となっている。

図表 10 ワークショップ及び本公演参加者数(学年等別)

学年等	【WS】参加者数	構成比	【本公演】参加者数	構成比
小学生・中学生	224,817	91.2%	435,010	83.6%
小学生	185,047	75.1%	365,540	70.3%
小学校1年生	22,058	8.9%	54,296	10.4%
小学校2年生	23,513	9.5%	55,882	10.7%
小学校3年生	27,763	11.3%	59,051	11.3%
小学校4年生	33,532	13.6%	63,757	12.3%
小学校5年生	36,077	14.6%	65,620	12.6%
小学校6年生	42,104	17.1%	66,934	12.9%
中学生	39,770	16.1%	69,470	13.4%
中学校1年生	13,217	5.4%	23,126	4.4%
中学校2年生	13,304	5.4%	23,772	4.6%
中学校3年生	13,249	5.4%	22,572	4.3%
在校生その他	1,806	0.7%	6,961	1.3%
教職員	18,301	7.4%	36,914	7.1%
保護者等	1,623	0.7%	41,407	8.0%
合計	246,547	100.0%	520,292	100.0%

③ 参加者数（種目別）

種目別のワークショップの参加者数については、大分類では、「音楽」（43.7%）が最も多く、次いで「演劇」（28.5%）、「伝統芸能」（22.4%）、「舞踊」（5.4%）の順となっている。小分類では、「オーケストラ」（34.1%）が最も多く、次いで「ミュージカル」（14.0%）が上位となっている。なお、「人形浄瑠璃」（0.8%）が最も少なくなっている。

種目別の本公演の参加者数については、大分類では、「演劇」（38.0%）が最も多く、次いで「音楽」（33.2%）、「伝統芸能」（22.9%）、「舞踊」（5.9%）の順となっている。小分類では、「オーケストラ」（24.7%）が最も多く、次いで「児童劇」（18.5%）、「ミュージカル」（10.7%）が上位となっている。なお、「歌舞伎」（0.6%）が最も少なくなっている。

図表 11 ワークショップ及び本公演参加者数(種目別)

種目	【WS】参加者数	構成比	【本公演】参加者数	構成比
音楽	107,647	43.7%	172,839	33.2%
合唱	22,436	9.1%	33,789	6.5%
オーケストラ	84,188	34.1%	128,599	24.7%
音楽劇	1,023	0.4%	10,451	2.0%
演劇	70,389	28.5%	197,598	38.0%
演劇	16,503	6.7%	45,743	8.8%
児童劇	19,282	7.8%	96,073	18.5%
ミュージカル	34,604	14.0%	55,782	10.7%
伝統芸能	55,295	22.4%	119,083	22.9%
歌舞伎	3,022	1.2%	3,098	0.6%
演芸	19,712	8.0%	35,648	6.9%
能楽	20,116	8.2%	39,700	7.6%
邦楽	6,792	2.8%	22,158	4.3%
邦舞	3,645	1.5%	13,652	2.6%
人形浄瑠璃	2,008	0.8%	4,827	0.9%
舞踊	13,216	5.4%	30,772	5.9%
バレエ	8,365	3.4%	24,342	4.7%
現代舞踊	4,851	2.0%	6,430	1.2%
合計	246,547	100.0%	520,292	100.0%

④ 参加者数（地域別）

地域別の参加者数については、ワークショップは最大で約 3.1 万人（Cブロック：茨城県・千葉県・東京都・山梨県・千葉市）、最小で約 1.1 万人（Jブロック：大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県）となっている。

本公演は最大で約 6.1 万人（Dブロック：神奈川県・長野県・岐阜県・静岡県・愛知県・横浜市・川崎市・相模原市・静岡市・浜松市・名古屋市）、最小で約 4.2 万人（Jブロック：大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県）となっている。

図表 12 ワークショップ及び本公演参加者数(地域別)

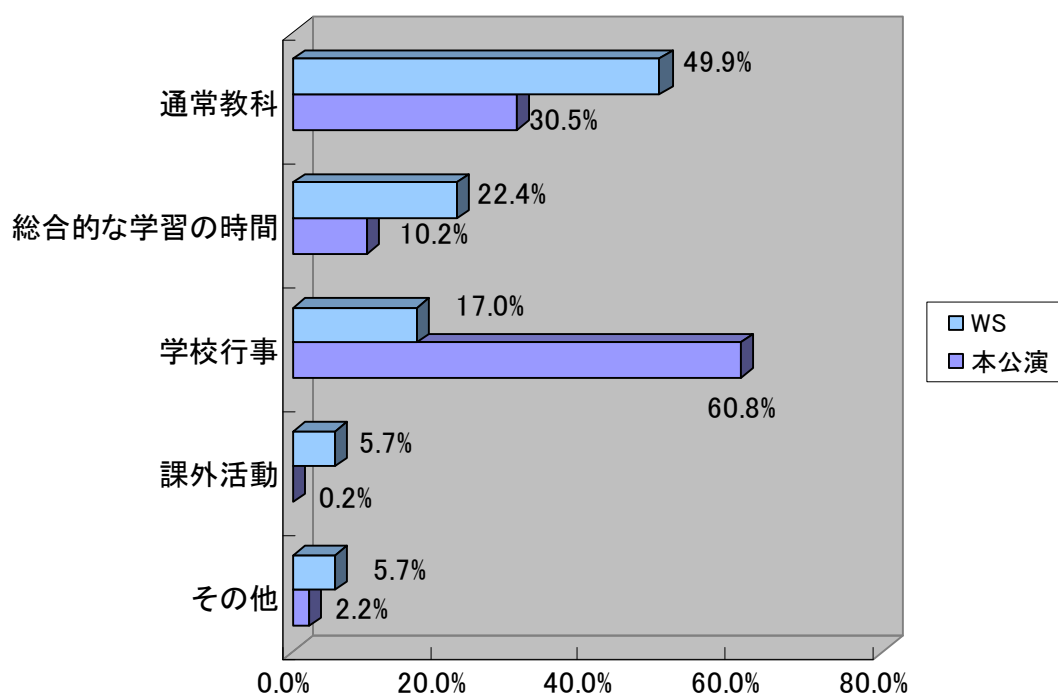
ブロック	【WS】参加者数	構成比	【本公演】参加者数	構成比
A	24,356	9.9%	44,449	8.5%
B	23,469	9.5%	58,586	11.3%
C	31,281	12.7%	59,465	11.4%
D	29,083	11.8%	61,591	11.8%
E	24,482	9.9%	46,283	8.9%
F	27,701	11.2%	52,703	10.1%
G	24,271	9.8%	50,315	9.7%
H	27,824	11.3%	57,243	11.0%
I	22,993	9.3%	47,541	9.1%
J	11,087	4.5%	42,116	8.1%
合計	246,547	100.0%	520,292	100.0%

(3) 本事業の位置づけ（総数）

本事業を実施する際の学校における位置づけについて、ワークショップでは、「通常教科」(49.9%)が最も多く、次いで「総合的な学習の時間」(22.4%)、「学校行事」(17.0%)、「課外活動」(5.7%)、「その他」(5.7%)の順となっている。

本公演では、「学校行事」(60.9%)が最も多く、次いで「通常教科」(30.5%)、「総合的な学習の時間」(10.2%)、「その他」(2.2%)、「課外活動」(0.2%)の順となっている。本公演では、全校生徒が参加することが多いため、学校行事の時間が活用されているものと推測される。

図表 13 ワークショップ及び本公演の位置づけ(MA、n=1,533)



(4) 開催場所

① 開催場所（総数）

本事業を実施する開催場所については、ワークショップ、本公演ともに9割以上が学校での開催となっている。本公演については、合同開催により、近隣のホール等で開催されているケースがある。

図表 14 ワークショップ及び本公演の開催場所(総数)

開催場所	ワークショップ	構成比	本公演	構成比
学校	1,529	99.7%	1507	98.3%
学校以外のホール等	4	0.3%	26	1.7%
合計	1,533	100.0%	1533	100.0%

② 開催場所（主催者別）

小学校、中学校、特別支援学校では、概ね全体の傾向と同じく、ワークショップ、本公演ともにほぼ学校で開催されている。

図表 15 ワークショップ及び本公演の開催場所(主催者別)

主催者	ワークショップ		本公演		
	学校	学校以外のホール等	学校	学校以外のホール等	
全体	99.7%	0.3%	98.3%	1.7%	(n=1533)
小学校	99.8%	0.2%	98.8%	1.2%	(n=1206)
中学校	99.6%	0.4%	95.7%	4.3%	(n=278)
特別支援学校	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	(n=47)
その他	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	(n=2)

③ 開催場所（種目別）

いずれの種目においても、ワークショップ、本公演ともにほぼ学校で開催されている。

図表 16 ワークショップ及び本公演の開催場所（種目別）

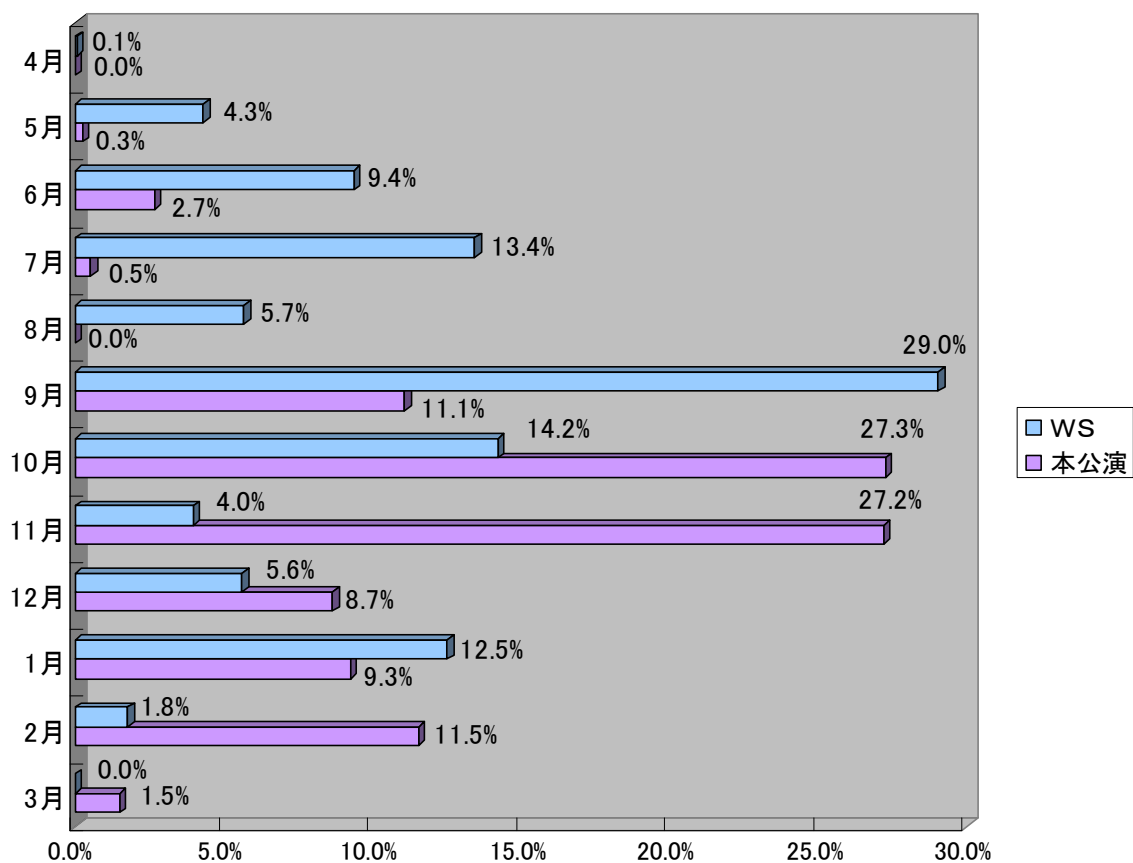
種目	ワークショップ		本公演			
	学校	学校以外のホール等	学校	学校以外のホール等		
全体	99.7%	0.3%	98.3%	1.7%	(n=1533)	
音楽	合唱	100.0%	0.0%	94.8%	5.2%	(n=97)
	オーケストラ	100.0%	0.0%	98.8%	1.3%	(n=320)
	音楽劇	100.0%	0.0%	96.7%	3.3%	(n=30)
演劇	演劇	99.3%	0.7%	96.5%	3.5%	(n=141)
	児童劇	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	(n=299)
	ミュージカル	98.2%	1.8%	98.2%	1.8%	(n=180)
伝統芸能	歌舞伎	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	(n=13)
	演芸	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	(n=103)
	能楽	100.0%	0.0%	99.2%	0.8%	(n=130)
	邦楽	100.0%	0.0%	98.6%	1.4%	(n=49)
	邦舞	100.0%	0.0%	97.1%	2.9%	(n=19)
	人形浄瑠璃	100.0%	0.0%	96.9%	3.1%	(n=49)
舞踊	バレエ	100.0%	0.0%	93.7%	6.3%	(n=70)
	現代舞踊	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	(n=12)

(5) 開催月（総数）

本事業を実施する開催月について、ワークショップでは、「9月」（29.0%）が最も多く、次いで「10月」（14.2%）、「7月」（13.4%）が上位となっている。

本公演では、「10月」（27.3%）が最も多く、次いで「11月」（27.2%）、「2月」（11.5%）が上位となっている。

図表 17 ワークショップ及び本公演の開催月(n=1,533)



(6) 地元主催者負担額

① 地元主催者負担額（総数）

全国の実施件数 1,533 件のうち、約 3 分の 1 の 471 件（30.7%）で地元主催者の負担額が発生しており、発生した平均金額は約 1.5 万円（14,966 円）となっている。

② 地元主催者負担額（主催者別）

主催者別の地元主催者に負担額が発生した件数から発生率を算出すると、「中学校」（40.3%）が最も高く、次いで「特別支援学校」（31.9%）、「小学校」（28.5%）の順となっている。

発生した平均金額については、「中学校」の約 2.4 万円が最も高く、次いで「小学校」の約 1.2 万円、「特別支援学校」の約 9,000 円となっている。

図表 18 地元主催者に負担額が発生した件数（発生率）及び平均金額（主催者別）

主催者	実施件数	発生件数	発生率	平均金額
小学校	1,206	344	28.5%	12,227
中学校	278	112	40.3%	24,156
特別支援学校	47	15	31.9%	9,148
その他	2	0	0.0%	-
合計	1,533	471	30.7%	14,966

③ 地元主催者負担額（種目別）

種目別の地元主催者に負担額が発生した件数から発生率を算出すると、大分類では、「音楽」（47.0%）が最も高く、次いで「舞踊」（41.2%）、「伝統芸能」（24.7%）、「演劇」（21.3%）の順となっている。小分類では、「音楽劇」（66.7%）が最も高く、次いで「歌舞伎」（53.8%）、「オーケストラ」（45.6%）が上位となっている。なお、「児童劇」（17.8%）が最も低くなっている。

発生した平均金額については、大分類では、「音楽」、「舞踊」の約2.0万円が最も高く、次いで「演劇」の約1.1万円、「伝統芸能」は約0.8万円となっている。小分類では、「合唱」の約4.1万円が最も高くなっている。次いで「音楽劇」の2.9万円が上位となっている。

図表 19 地元主催者に負担額が発生した件数（発生率）及び平均金額（種目別）

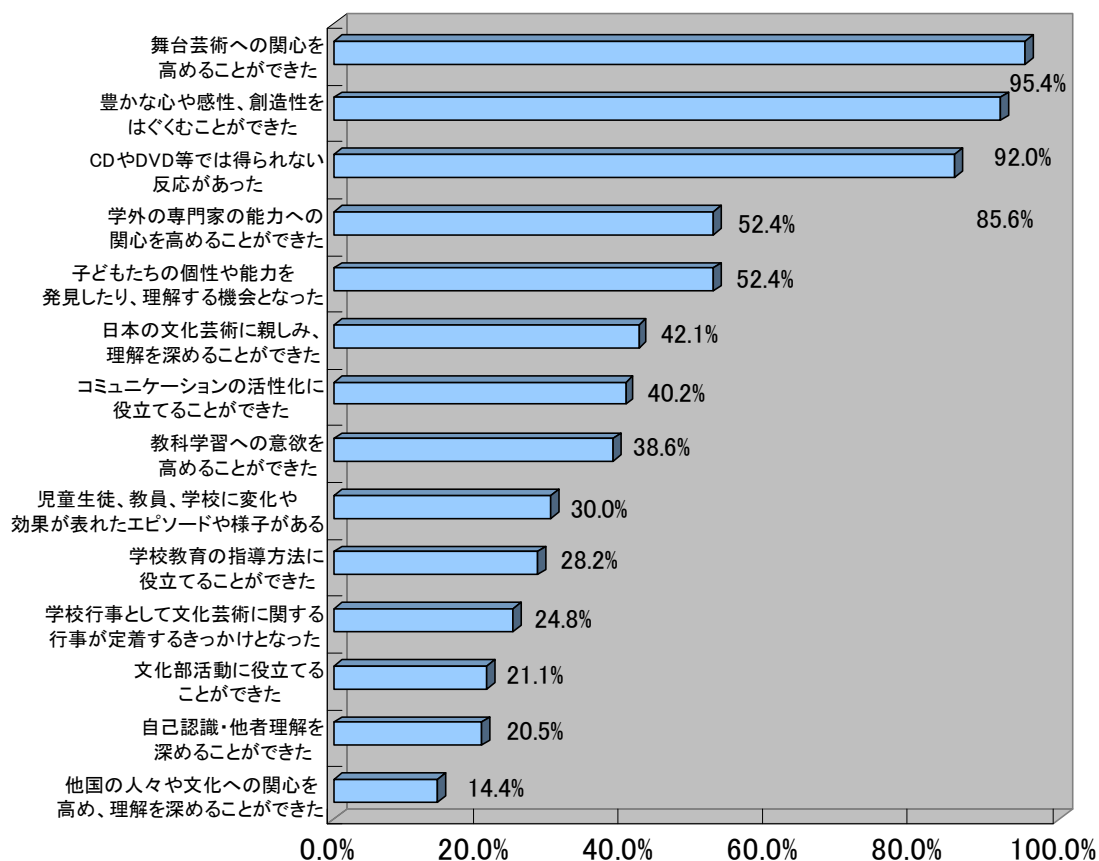
種目	実施件数	発生件数	発生率	平均金額
音楽	447	210	47.0%	19,896
合唱	97	44	45.4%	41,106
オーケストラ	320	146	45.6%	12,200
音楽劇	30	20	66.7%	29,413
演劇	620	132	21.3%	10,542
演劇	141	41	29.1%	12,109
児童劇	314	56	17.8%	11,410
ミュージカル	165	35	21.2%	7,316
伝統芸能	381	94	24.7%	8,406
歌舞伎	13	7	53.8%	14,878
演芸	103	29	28.2%	10,266
能楽	130	30	23.1%	5,565
邦楽	69	15	21.7%	8,169
邦舞	34	7	20.6%	11,215
人形浄瑠璃	32	6	18.8%	3,384
舞踊	85	35	41.2%	19,687
バレエ	63	25	39.7%	25,314
現代舞踊	22	10	45.5%	5,620
合計	1,533	471	30.7%	14,966

(7) 学校による評価

① 学校による評価（総数）

本事業を実施後の学校による評価では、「舞台芸術への関心を高めることができた」(95.4%)が最も多く、次いで「豊かな心や感性、創造性をはぐくむことができた」(92.0%)、「CDやDVD等では得られない反応があった」(85.6%)が上位となっている。

図表 20 学校による評価(MA、n=1,581)



② 学校による評価（主催者別）

本事業実施後の主催者（小学校、中学校、特別支援学校）による評価を比較してみると、中学校では、「文化部活動に役立てることができた」（36.7%）が高く評価されている。

また、特別支援学校では、「CDやDVD等では得られない反応があった」（91.5%）、「子どもたちの個性や能力を発見したり、理解する機会となった」（66.0%）、「児童生徒、教員、学校に変化や効果が表れたエピソードや様子がある」（42.6%）、「学校行事として文化芸術に関する行事が定着するきっかけとなった」（34.0%）といった項目が高く評価されている。

図表 21 事業実施後の主催者による評価(主催者別・MA)

主催者	舞台芸術への関心を高めることができた	豊かな心や感性、創造性をはぐくむことができた	コミュニケーションの活性化に役立てることができた	自己認識・他者理解を深めることができた	教科学習への意欲を高めることができた	文化部活動に役立てることができた	学外の専門家の能力への関心を高めることができた
全体	95.4%	92.0%	40.2%	20.5%	38.6%	21.1%	52.4%
小学校	95.8%	92.2%	41.1%	19.5%	38.2%	17.9%	51.9%
中学校	94.2%	90.6%	35.6%	25.2%	39.9%	36.7%	56.1%
特別支援学校	91.5%	95.7%	44.7%	17.0%	42.6%	8.5%	42.6%
その他	100.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%
							(n=1503)
							(n=1206)
							(n=278)
							(n=47)
							(n=2)
主催者	日本の文化芸術に親しみ、理解を深めることができた	他国の人々や文化への関心を高め、理解を深めることができた	CDやDVD等では得られない反応があった	学校行事として文化芸術に関する行事が定着するきっかけとなった	学校教育の指導方法に役立てることができた	子どもたちの個性や能力を発見したり、理解する機会となった	児童生徒、教員、学校に変化や効果が表れたエピソードや様子がある
全体	42.1%	14.4%	85.0%	24.8%	28.2%	52.4%	30.0%
小学校	41.5%	14.1%	84.7%	23.5%	28.9%	51.0%	30.1%
中学校	47.1%	15.8%	85.3%	28.4%	25.5%	56.1%	27.7%
特別支援学校	23.4%	12.8%	91.5%	34.0%	27.7%	66.0%	42.6%
その他	100.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%

③ 学校による評価（種目別）

「舞台芸術への関心を高めることができた」については、「音楽劇」、「歌舞伎」、「邦舞」、「バレエ」、「現代舞踊」の各分野が回答者の100%から評価されている。

「豊かな心や感性、創造性をはぐくむことができた」については、「歌舞伎」が回答者の100%から評価されている。

「日本の文化芸術に親しみ、理解を深めることができた」については、「歌舞伎」、「邦楽」、「邦舞」、「人形浄瑠璃」の各分野が回答者の100%から評価されている。

図表 22 事業実施後の主催者による評価(種目別・MA)

種目	舞台芸術への関心を高めることができた	豊かな心や感性、創造性をはぐくむことができた	コミュニケーションの活性化に役立てることができた	自己認識・他者理解を深めることができた	教科学習への意欲を高めることができた	文化部活動に役立てることができた	学外の専門家への関心を高めることができた
全体	95.4%	92.0%	40.2%	20.5%	38.6%	21.1%	52.4%
音楽	合唱	92.8%	92.8%	27.8%	12.4%	81.4%	64.9%
	オーケストラ	86.6%	94.7%	26.9%	10.3%	72.5%	58.1%
	音楽劇	100.0%	80.0%	53.3%	20.0%	43.3%	50.0%
演劇	演劇	99.3%	92.2%	48.2%	41.8%	12.8%	39.7%
	児童劇	97.8%	91.7%	51.6%	25.5%	15.9%	43.3%
	ミュージカル	98.8%	94.5%	43.0%	25.5%	18.2%	49.1%
伝統芸能	歌舞伎	100.0%	100.0%	61.5%	15.4%	38.5%	30.8%
	演芸	96.1%	87.4%	52.4%	20.4%	21.4%	59.2%
	能楽	99.2%	88.5%	35.4%	13.1%	46.2%	47.7%
	邦楽	92.8%	88.4%	24.6%	14.5%	66.7%	52.2%
	邦舞	100.0%	94.1%	35.3%	29.4%	26.5%	64.7%
人形浄瑠璃	96.9%	84.4%	40.6%	15.6%	37.5%	56.3%	
舞踊	バレエ	100.0%	96.8%	42.9%	23.8%	14.3%	73.0%
	現代舞踊	100.0%	90.9%	45.5%	9.1%	31.8%	77.3%
種目	日本の文化芸術に親しみ、理解を深めることができた	他国の文化や文化への関心を高め、理解を深めることができた	CDやDVD等では得られない反応があった	学校行事として文化芸術に関する行事が定着するきっかけとなった	学校教育の指導方法に役立てることができた	子どもたちの個性や能力を発見したり、理解する機会となった	児童生徒、教員、学校に変化や効果が表れたエピソードや様子がある
全体	42.1%	14.4%	85.0%	24.8%	28.2%	52.4%	30.0%
音楽	合唱	39.2%	28.9%	87.6%	23.7%	55.7%	34.0%
	オーケストラ	15.6%	14.7%	95.0%	28.4%	30.3%	33.4%
	音楽劇	10.0%	43.3%	93.3%	26.7%	23.3%	36.7%
演劇	演劇	39.7%	17.0%	75.9%	20.6%	20.6%	22.0%
	児童劇	32.2%	8.3%	79.6%	25.8%	26.4%	25.5%
	ミュージカル	11.5%	17.6%	85.5%	23.0%	26.7%	27.3%
伝統芸能	歌舞伎	100.0%	0.0%	84.6%	38.5%	23.1%	53.8%
	演芸	85.4%	5.8%	84.5%	20.4%	23.3%	37.9%
	能楽	98.5%	2.3%	76.9%	20.8%	26.9%	27.7%
	邦楽	100.0%	0.0%	85.5%	17.4%	29.0%	26.1%
	邦舞	100.0%	2.9%	79.4%	17.6%	26.5%	38.2%
人形浄瑠璃	100.0%	6.3%	84.4%	40.6%	21.9%	31.3%	
舞踊	バレエ	15.9%	49.2%	93.7%	31.7%	23.8%	38.1%
	現代舞踊	18.2%	45.5%	81.8%	27.3%	22.7%	27.3%

(8) 文化芸術の鑑賞経験

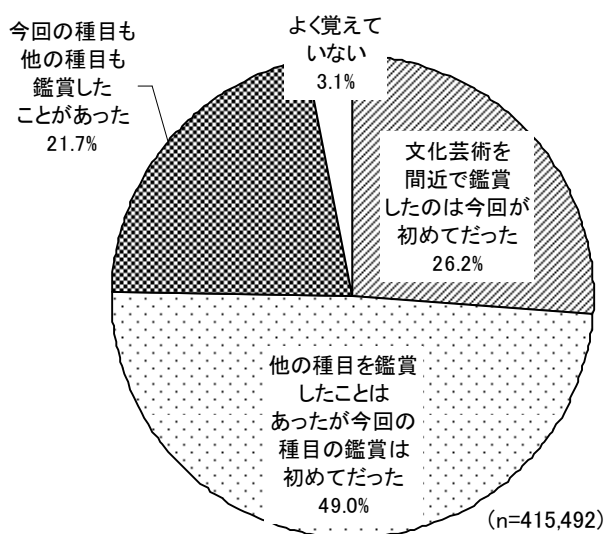
今年度の検証事業では、平成 24 年度における本事業の実施校すべての小・中学生を対象として、「(学校以外で)文化芸術を間近で体験した経験」をアンケート調査しており、9 割強の回答を得た（【回答対象となる小・中学生】435,010 名【回答した小・中学生】415,492 名【回収率】95.5%）。

その結果、約 8 割(75.2%)の児童・生徒が本事業によって行われた分野の公演を初めて鑑賞しており、平成 24 年度においては、全国で 31 万人強の児童・生徒が本事業で行われた分野の公演を初めて鑑賞したことが明らかになった。

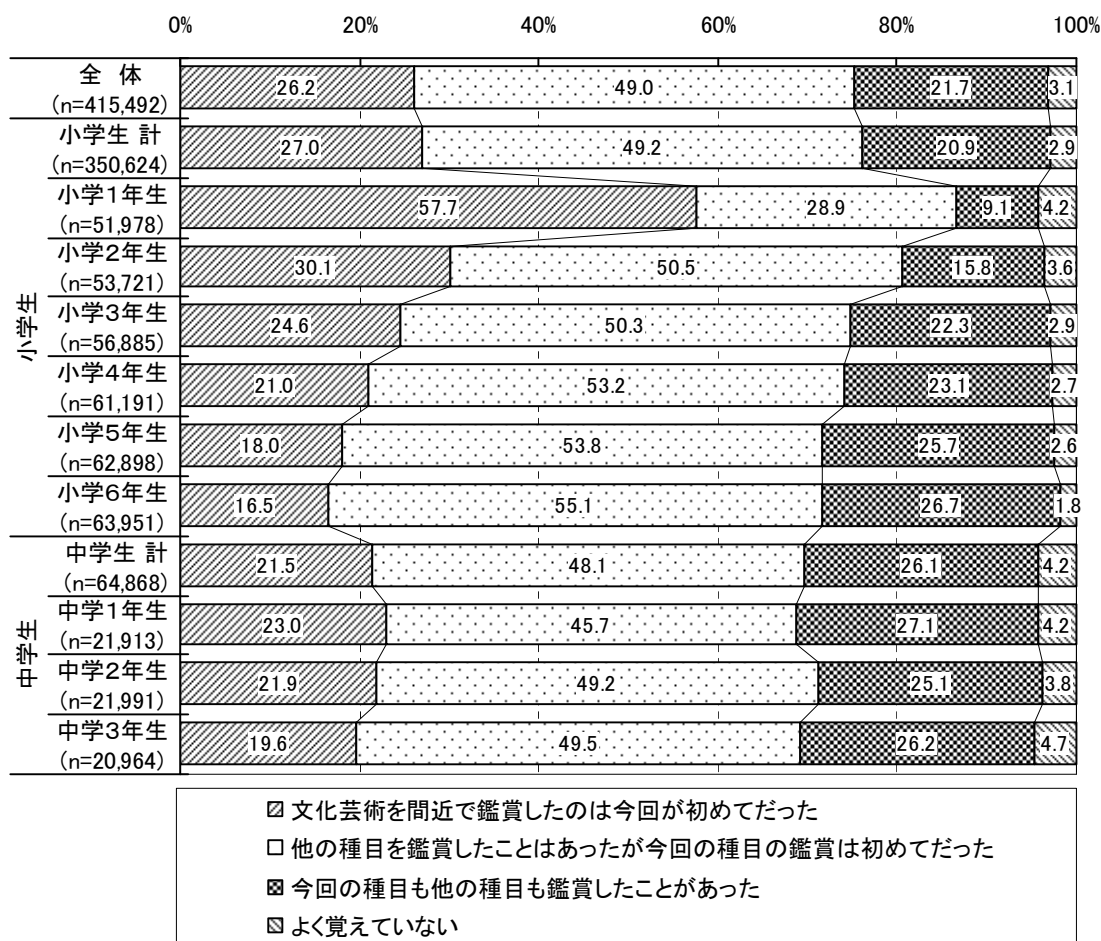
また、「他の種目を鑑賞したことはあったが今回の種目の鑑賞は初めてだった」割合を分野別にみると、大分類では、「舞踊」(69.2%)、「伝統芸能」(66.7%)は 7 割近くに達しており、「音楽」(44.2%)、「演劇」(40.1%)の 4 割程度との差がみられた。本事業は児童・生徒が接する機会が少ない種別の文化芸術公演の鑑賞機会の提供においても大きく貢献していることが確認できた。

なお、文化芸術の鑑賞経験について、「条件不利地域」(山村振興法に定める山村地域と離島振興法に定める離島地域)とそれ以外の地域で比較してみたところ、顕著な差はみられなかった。

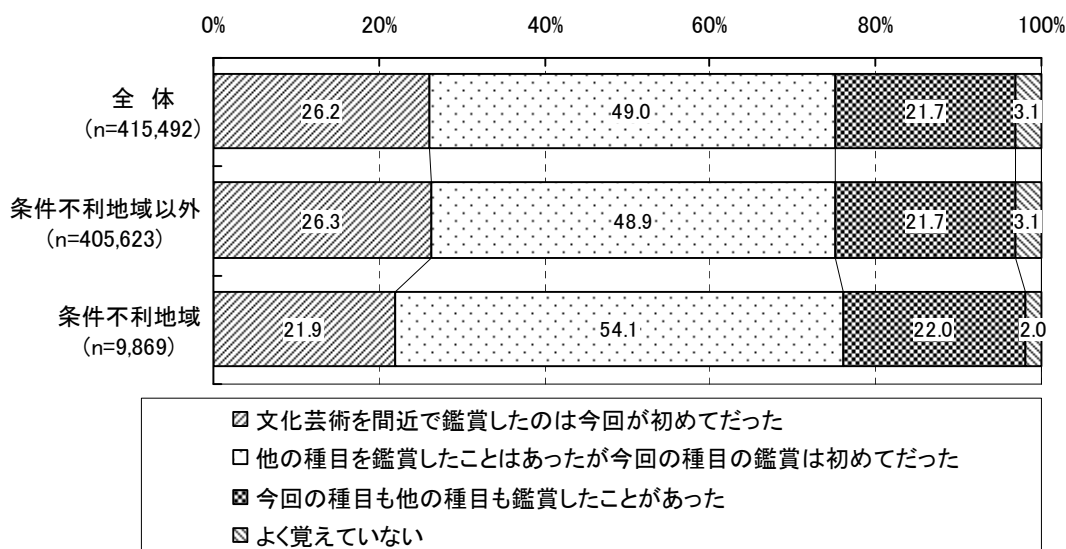
図表 23 文化芸術の鑑賞経験【全数調査】(SA)



図表 24 文化芸術の鑑賞経験【全数調査】(学年別・SA)

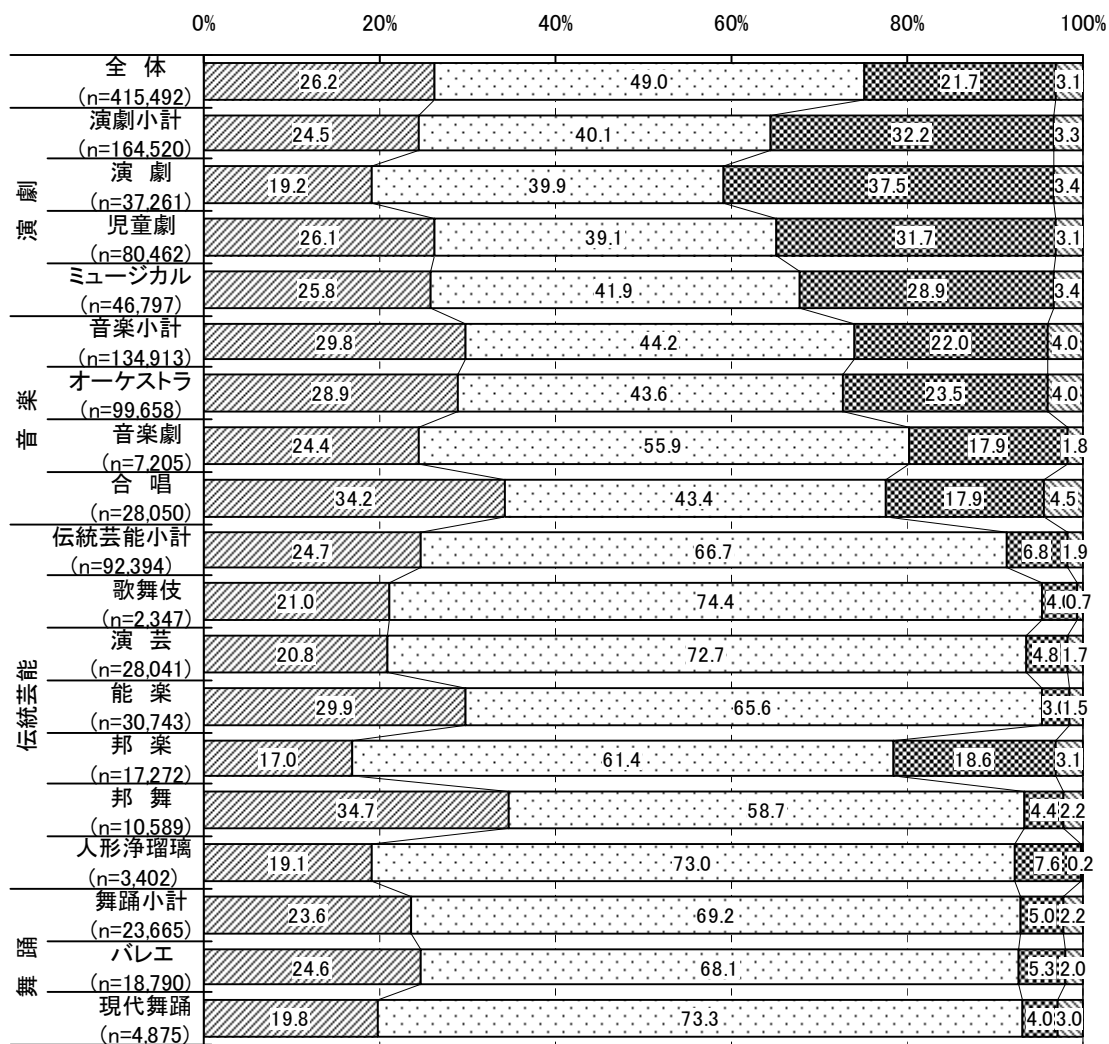


図表 25 文化芸術の鑑賞経験【全数調査】(地域特性別・SA)



※条件不利地域:山村振興法に定める山村地域と離島振興法に定める離島地域のこと。

図表 26 文化芸術の鑑賞経験【全数調査】(分野別・SA)



文化芸術を間近で鑑賞したのは今回が初めてだった
 他の種目を鑑賞したことはあったが今回の種目の鑑賞は初めてだった
 今回の種目も他の種目も鑑賞したことがあった
 よく覚えていない

III. 児童・生徒へのアンケート調査・分析結果

1. 調査概要

「児童・生徒へのアンケート調査」は、「平成 24 年度次代を担う子どもの文化芸術体験事業」の巡回公演事業を実施した学校のうち、現地視察調査及びインタビュー調査を行った 32 校に対して、併せて実施した。アンケート調査の概要は以下の通りである。

図表 27 児童・生徒へのアンケート調査概要

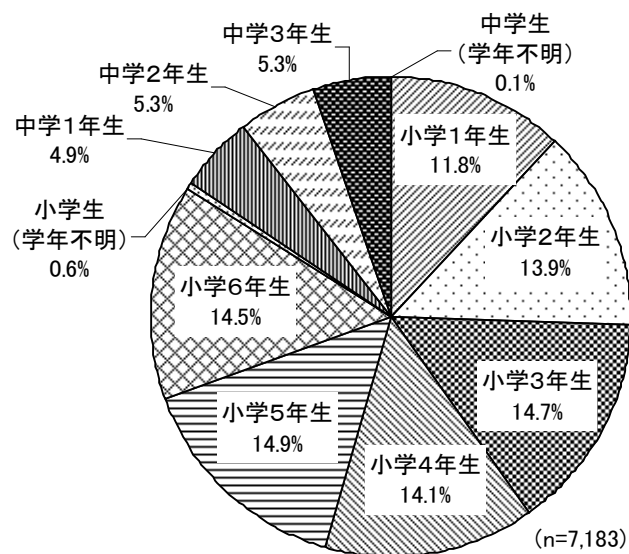
【調査対象】	実施校 32 校の巡回公演事業を鑑賞した児童・生徒
【調査形式】	無記名式アンケート調査(郵送配布・回収)
【調査期間】	平成 24 年1月 10 日～平成 25 年3月 21 日
【回収状況】	有効回答数 7,183 件

2. 回答者属性

(1) 学年

【全体】学年の分布は以下の通りである。小学生が約 84%、中学生が約 16%となっている。

図表 28 学年(SA)

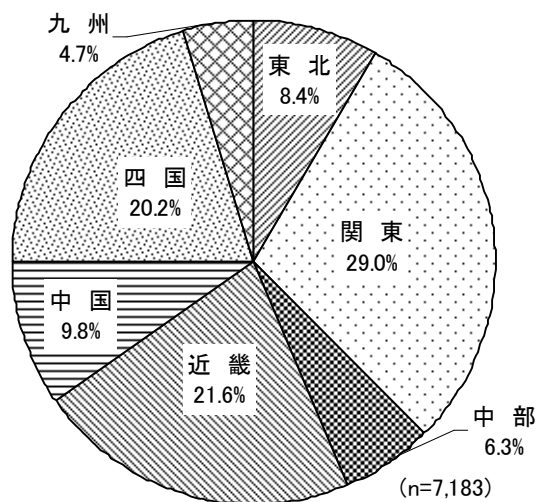


(2) 地域特性

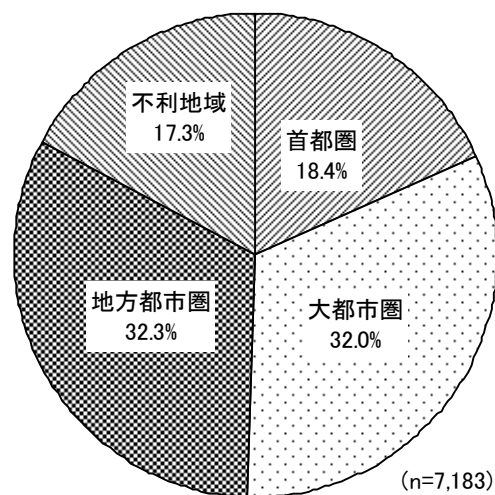
【地方】「関東」(29.0%)が最も多く、次いで「近畿」(21.6%)、「四国」(20.2%)の順となっている。

【地域特性】「地方都市圏」(32.3%)が最も多く、「大都市圏」(32.0%)がこれに続く。

図表 29 地方(SA)



図表 30 地域特性(SA)



図表 31 地域特性の定義

首都圏: 東京都心部(山の手線内)までの移動時間が1時間以内
大都市圏: 政令指定都市(の最寄り駅)までの移動時間が1時間以内
地方都市圏: 県庁所在地(の最寄り駅)までの移動時間が1時間以内
不利地域: 県庁所在地(の最寄り駅)までの移動時間が1時間以上

※ここでの移動時間は公共交通機関を利用したものに限定し、各校の最寄り駅から最も早い手段での移動時間を対象とした(なお、駅・バス停までの徒歩時間、乗り換え時間及び待ち時間は除外した。また、新幹線および有料特急、空路は使わないものとした)。

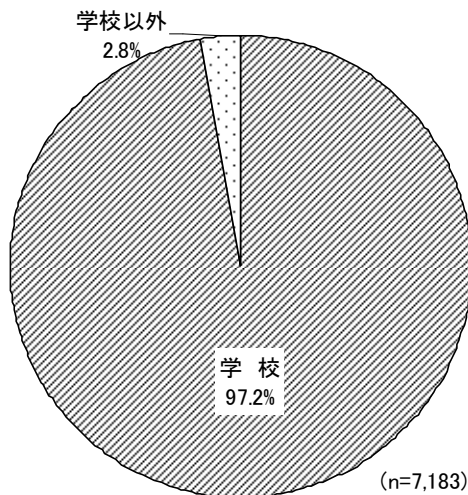
図表 32 調査対象校の地域特性分類

学校名	地域特性	最寄都市	所要時間
埼玉県狭山市立東中学校	首都圏	東京(池袋)	0:32
埼玉県入間市立金子小学校	首都圏	東京(池袋)	0:54
神奈川県茅ヶ崎市立緑が浜小学校	首都圏	東京(品川)	0:42
愛知県常滑市立小鈴谷(こすがや)小学校	大都市圏	名古屋市	0:58
京都府京都市立羽東師小学校	大都市圏	京都市	0:21
京都府城陽市立青谷小学校	大都市圏	京都市	0:35
三重県桑名市立城東小学校	大都市圏	名古屋市	0:33
大阪府吹田市立津雲台小学校	大都市圏	大阪市	0:30
広島県広島市立船越中学校	大都市圏	広島市	0:28
広島県広島市立湯来南小学校	大都市圏	広島市	0:56
山口県下関市立吉見中学校	大都市圏	北九州市	0:37
福島県須賀川市立阿武隈小学校	地方都市圏	福島市	0:59
茨城県筑西市立養蚕小学校	地方都市圏	水戸市	0:57
長野県東御市立北御牧中学校	地方都市圏	長野市	0:57
愛媛県砥部町立宮内小学校	地方都市圏	松山市	0:42
三重県立稲葉特別支援学校	地方都市圏	津市	0:51
徳島県徳島市立内町小学校	地方都市圏	徳島市	0:00
徳島県徳島市立加茂名南小学校	地方都市圏	徳島市	0:08
徳島県石井町立藍畑小学校	地方都市圏	徳島市	0:15
香川県丸亀市立岡田小学校	地方都市圏	高松市	0:45
青森県階上町立道仏中学校	不利地域	青森市	2:09
宮城県石巻市立和瀨小学校	不利地域	仙台市	1:08
福島県会津若松市立大戸小学校	不利地域	福島市	2:13
福島県矢祭町立内川小学校	不利地域	福島市	2:24
千葉県野田市立関宿中央小学校	不利地域	さいたま市	1:18
広島県呉市立下蒲刈中学校	不利地域	広島市	1:26
広島県竹原市立荘野小学校	不利地域	広島市	1:11
広島県府中市立上下中学校	不利地域	広島市	1:57
福岡県うきは市立山春小学校	不利地域	福岡市	1:51
長崎県南島原市立新切小学校	不利地域	長崎市	2:24
大分県佐伯市立蒲江小学校	不利地域	大分市	2:04
鹿児島県さつま町立柏原小学校	不利地域	鹿児島市	1:40

(3) 本公演の会場

【全体】学校での公演は約 97%、学校以外での公演は約 3 %である。

図表 33 本公演の会場(SA)



(4) 鑑賞した公演

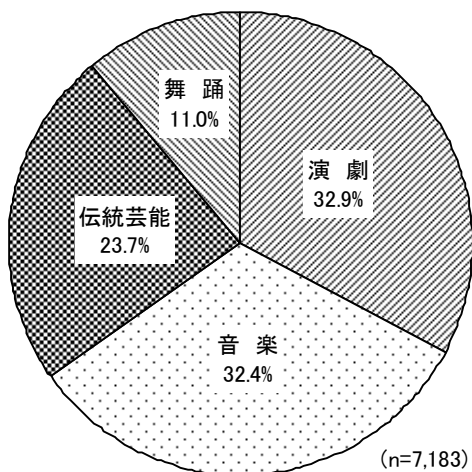
【全体】公演分野は「演劇」(32.9%)が最も多く、次いで「音楽」(32.4%)、「伝統芸能」(23.7%)、「舞踊」(11.0%)の順となっている。

公演分野の内訳をみると、「オーケストラ」(28.1%)、「ミュージカル」(20.3%)といった児童・生徒にとって比較的なじみのある演目が半数程度を占めている。

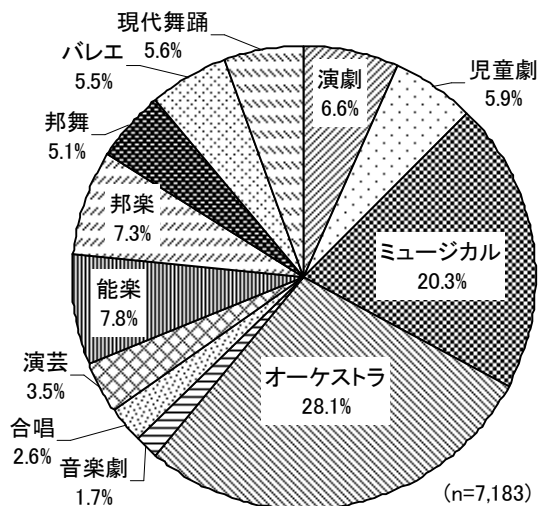
【学年別】今回の検証事業の対象とした中学校では「伝統芸能」の公演は行われていない。一方、「舞踊」の割合は大きい。

【地域特性別】今回の検証事業の対象とした32校では、首都圏で「伝統芸能」「舞踊」、大都市圏で「音楽」、地方都市圏で「伝統芸能」、不利地域で「演劇」の割合が大きかった。なお、本事業の対象校については、首都圏では「音楽」、大都市圏では「伝統芸能」「舞踊」、不利地域では「舞踊」の公演が含まれていない。

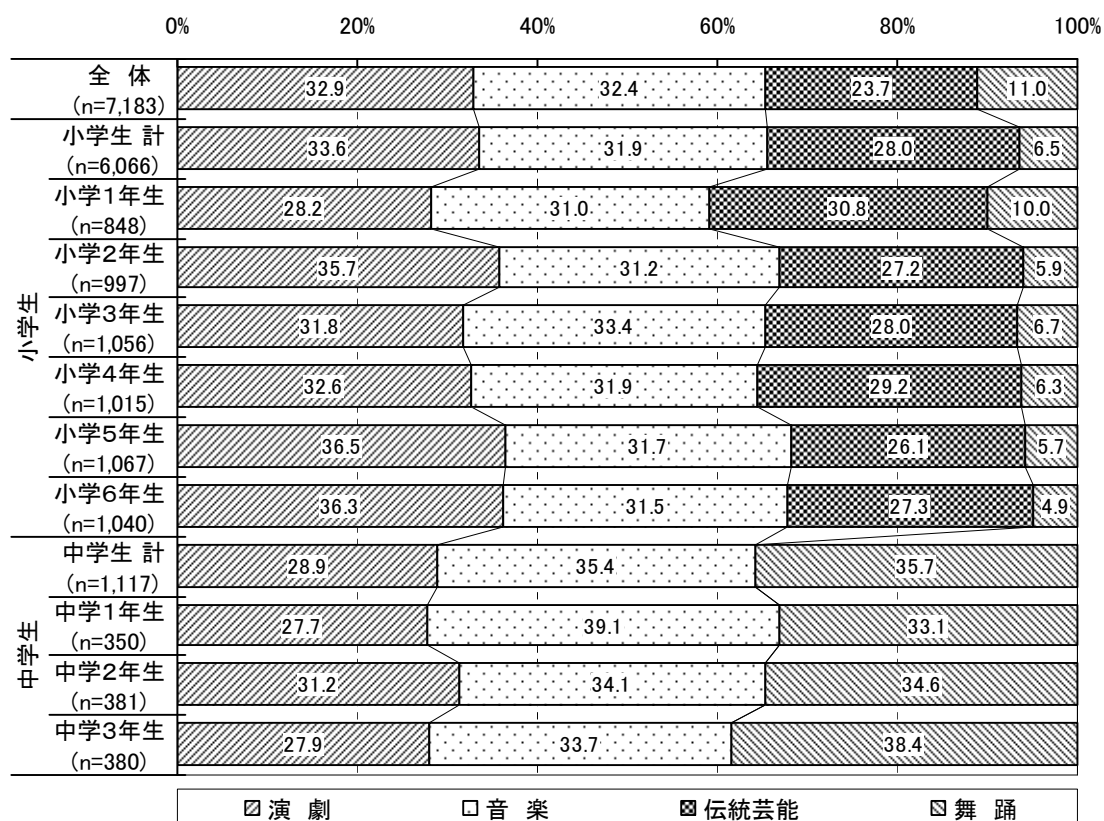
図表 34 鑑賞した公演分野(SA)



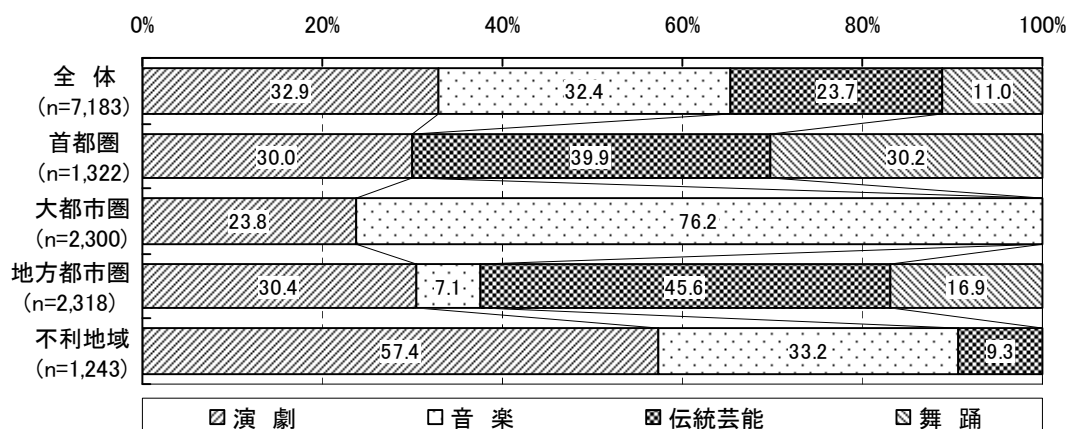
図表 35 公演内訳(SA)



図表 36 鑑賞した公演分野(学年別・SA)



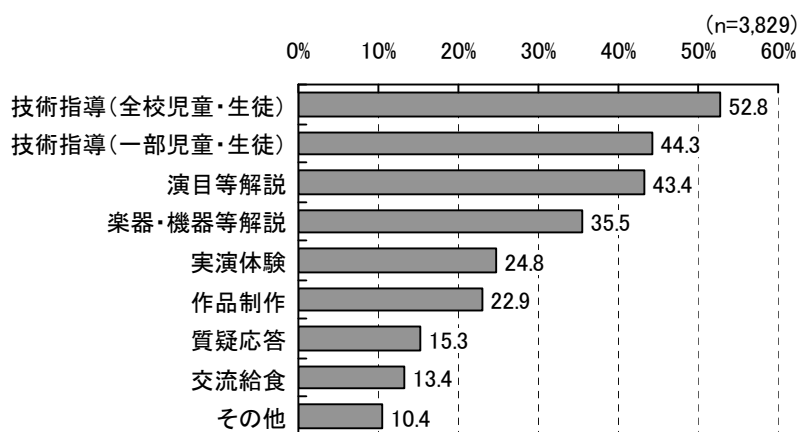
図表 37 鑑賞した公演分野(地域特性別・SA)



(5) ワークショップでの交流内容

【全体】今回の検証事業の対象とした32校のうち、ワークショップの現地視察調査を行った14校の児童・生徒について、ワークショップでの交流内容を見ると、「技術指導（全校児童・生徒）」（52.8%）が最も多く、次いで「技術指導（一部児童・生徒）」（44.3%）、「演目等解説」（43.4%）の順となっている。

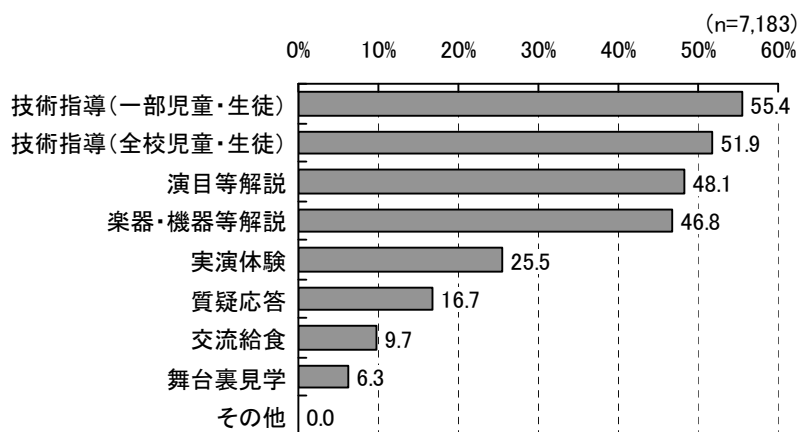
図表 38 ワークショップでの交流内容(MA)



(6) 本公演での交流内容

【全体】今回の検証事業の対象とした32校について、本公演での交流内容を見ると、「技術指導（一部児童・生徒）」（55.4%）が最も多く、「技術指導（全校児童・生徒）」（51.9%）、「演目等解説」（48.1%）がこれに続く。

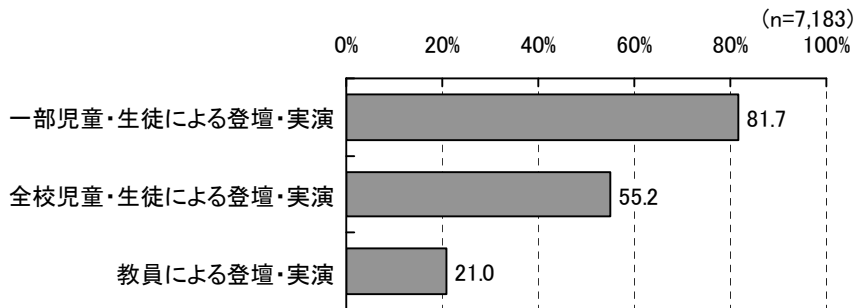
図表 39 本公演での交流内容(MA)



(7) 本公演での共演内容

【全体】「一部児童・生徒による登壇・実演」(81.7%) が最も多く、8割強を占める。

図表 40 本公演での共演内容(MA)



(8) 学校での部活動

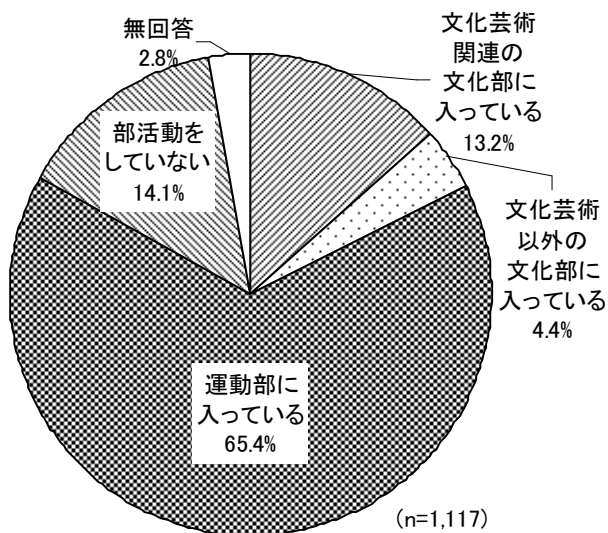
【全体】「運動部に入っている」(65.4%) との回答が最も多い。次いで「部活動をしていない」(14.1%)、「文化芸術関連の文化部に入っている」(13.2%) となっている。

文化芸術関連の文化部に入っているという生徒の部活動の内訳をみると「吹奏楽部」(50.0%) が半数を占め、次いで「美術部」(18.2%) が多い。

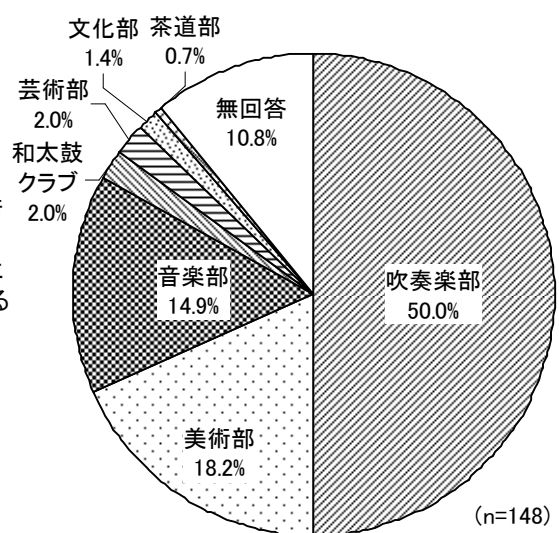
【学年別】各学年とも「文化芸術関連の文化部に入っている」のは1割強である。中学3年生になると「部活動をしていない」という割合が大きい。

【地域特性別】不利地域では「文化芸術関連の文化部に入っている」の割合がやや大きい。一方、首都圏および地方都市圏では「部活動をしていない」という割合が比較的大きい。

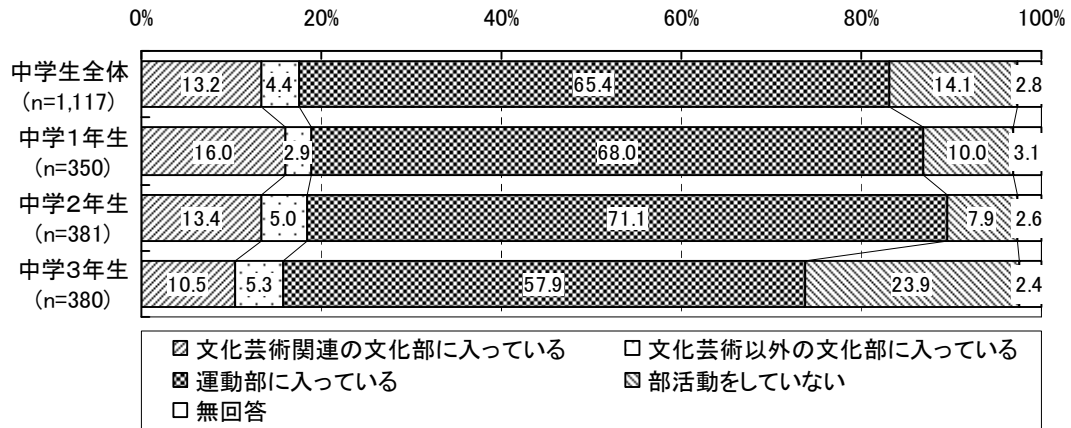
図表 41 学校での部活動(SA)



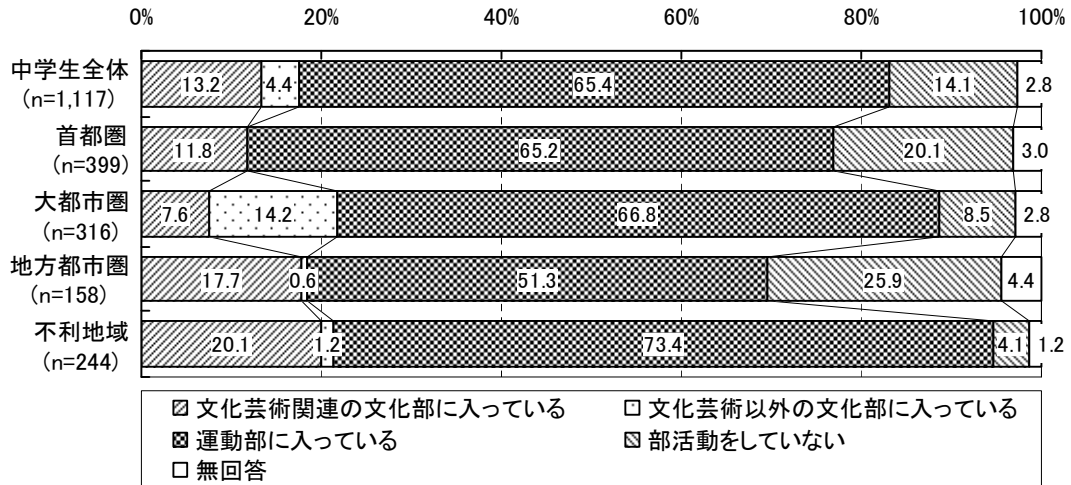
図表 42 文化芸術関連の文化部の内訳(FA)



図表 43 学校での部活動(学年別・SA)



図表 44 学校での部活動(地域特性別・SA)



(9) 文化芸術に関する塾や習い事

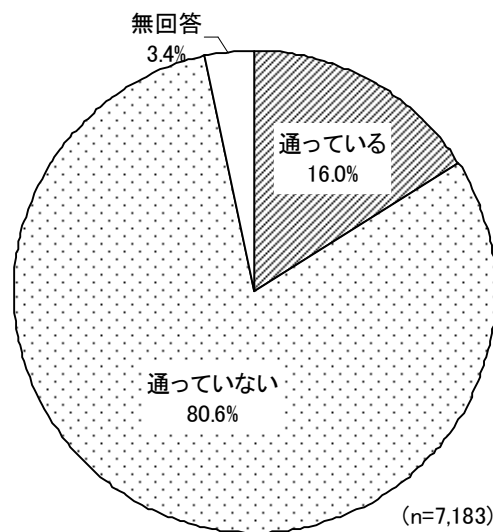
【全体】文化芸術に関する塾や習い事に「通っていない」(80.8%)が「通っている」(16.0%)よりはるかに多く、文化芸術に関する塾や習い事はあまり盛んではないということがわかる。

塾や習い事の内訳をみると、「ピアノ・エレクトーン」(515件)が最も多く、「書道」(158件)、「ダンス」(109件)がこれに続く。「ピアノ・エレクトーン」が群を抜いて多い。

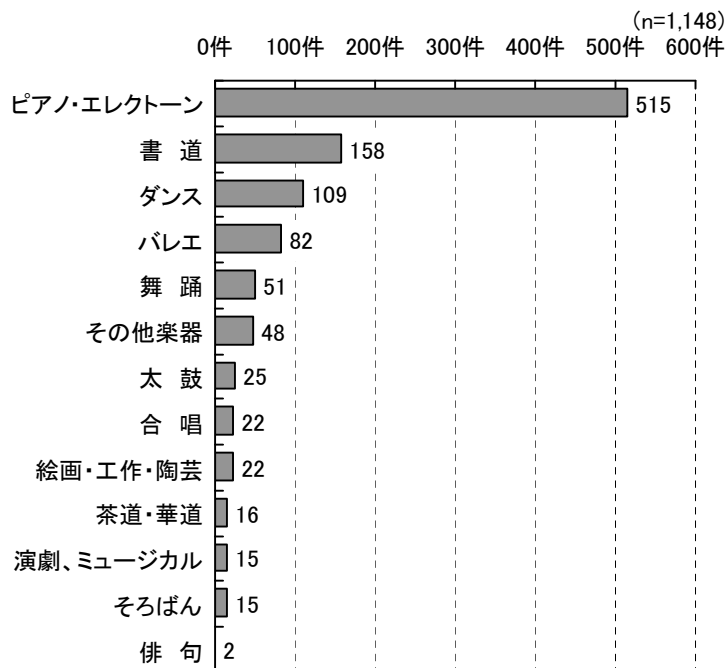
【学年別】「通っている」割合は小学4年生以下で大きいですが、学年が上がるにつれて減少傾向にあり、中学生になると半減する。文化芸術に関する塾や習い事は中学生でやめてしまうケースが多いことが想定される。

【地域特性別】大都市圏において、「通っている」という割合が大きい。

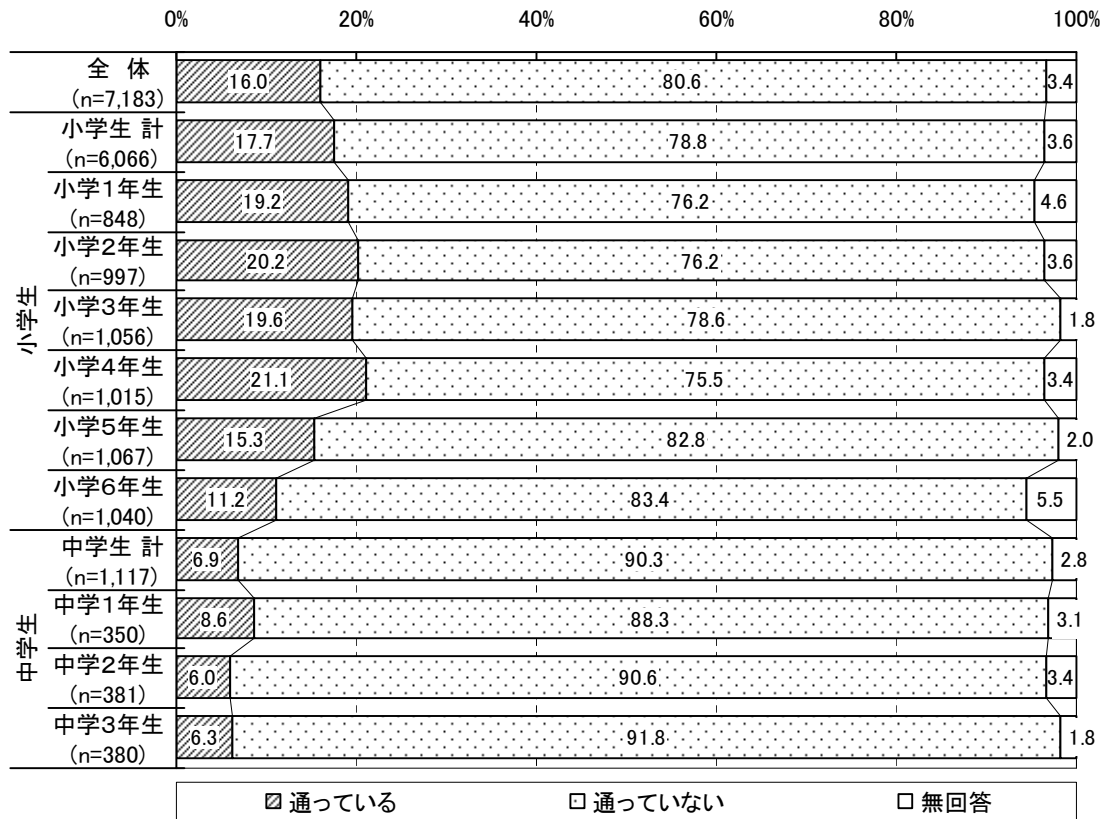
図表 45 文化芸術に関する塾や習い事(SA)



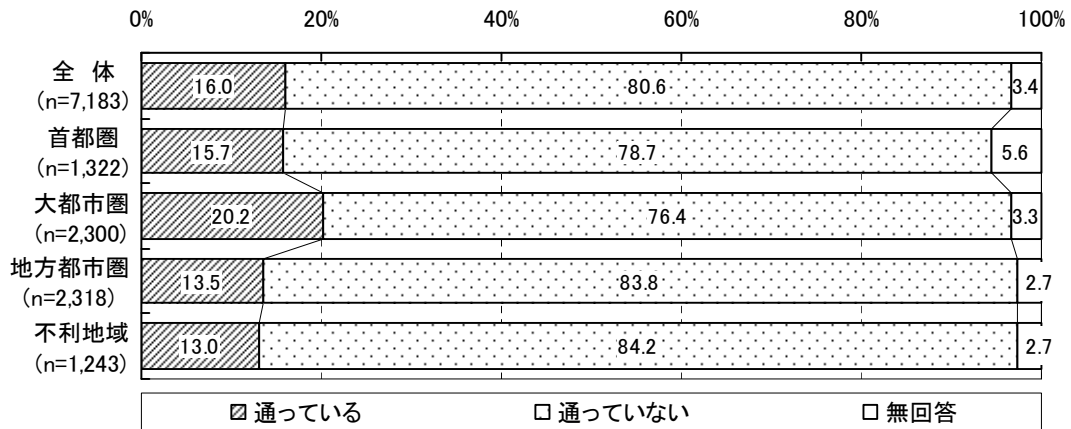
図表 46 文化芸術に関する塾や習い事の内訳(FA)



図表 47 文化芸術に関する塾や習い事(学年別・SA)



図表 48 文化芸術に関する塾や習い事(地域特性別・SA)



3. 調査結果

(1) 文化芸術の鑑賞経験

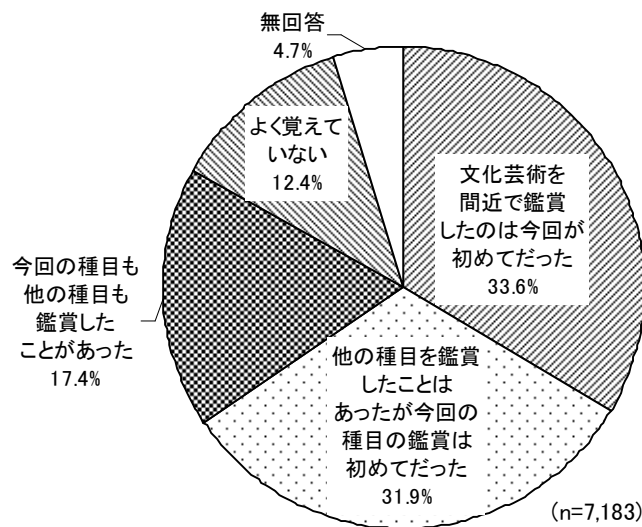
【全体】文化芸術の鑑賞経験については、「文化芸術を間近で鑑賞したのは今回が初めてだった」(33.6%)が最も多く、本事業で初めて芸術文化公演を鑑賞したという児童・生徒が3割を超える結果となった。また、「他の種目はあったが今回の種目の鑑賞は初めてだった」(31.9%)という児童・生徒も多く、これらを合わせると約3分の2の児童・生徒が本事業により実施した分野の公演を初めて鑑賞することになる。

【学年別】中学2年生は「文化芸術を間近で鑑賞したのは今回が初めてだった」の割合がやや大きくなっている。

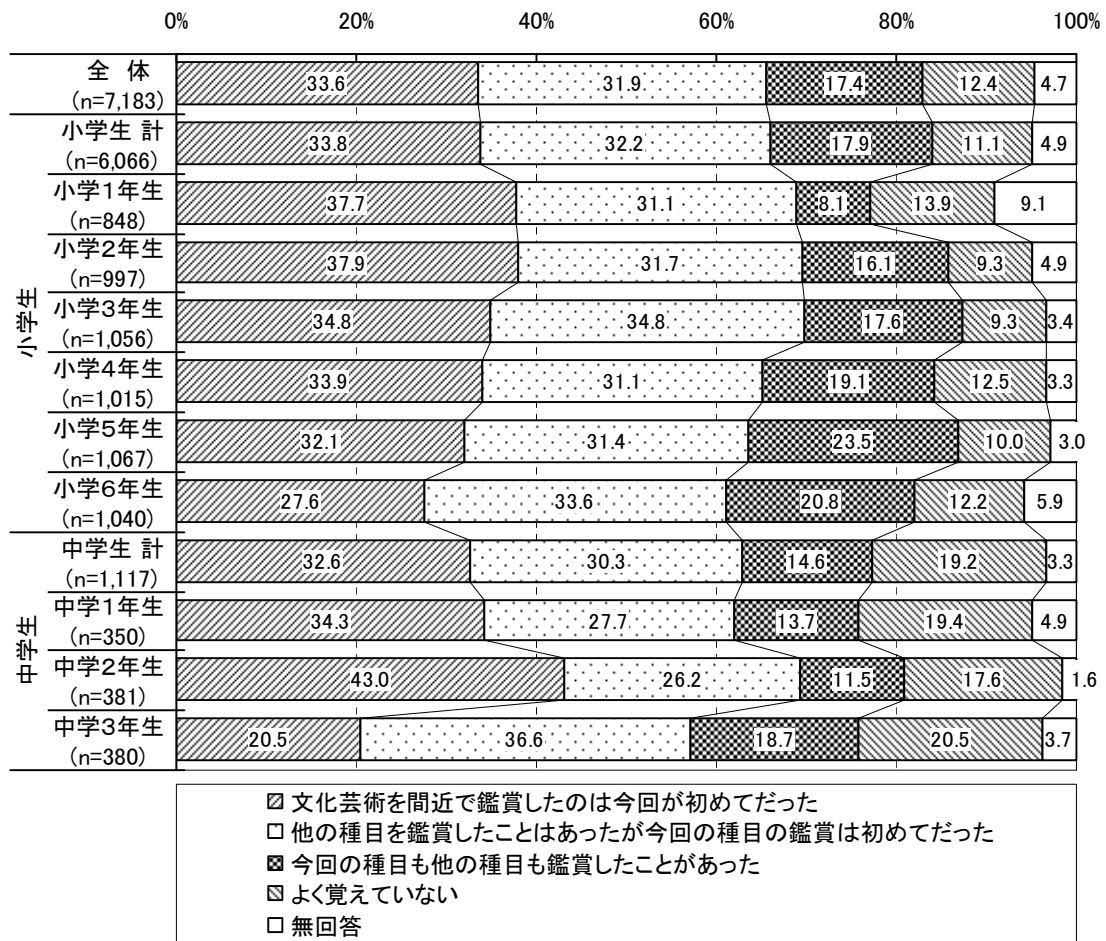
【地域特性別】不利地域は「文化芸術を間近で鑑賞したのは今回が初めてだった」の割合がやや大きくなっており、不利地域では文化芸術に触れる機会が少ないことが伺える。また、地方都市圏では「他の種目を鑑賞したことはあったが今回の種目の鑑賞は初めてだった」の割合が大きくなっている。

【分野別】能楽、演芸、バレエ、音楽劇は「他の種目を鑑賞したことはあったが今回の種目の鑑賞は初めてだった」の割合が大きくなっている。本事業が日常的に接することの少ない演目に触れる機会となっていることがわかる。

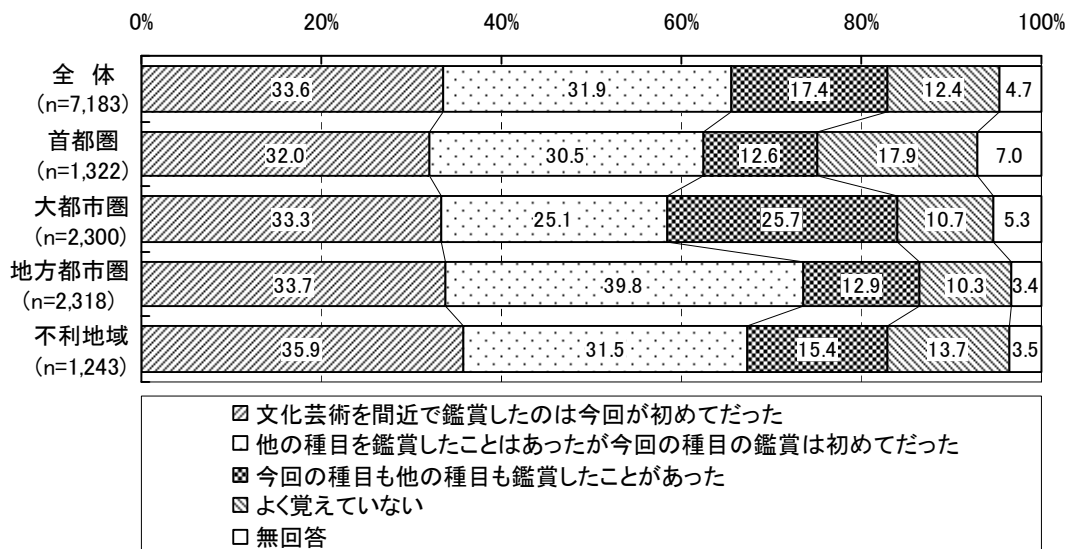
図表 49 文化芸術の鑑賞経験(SA)



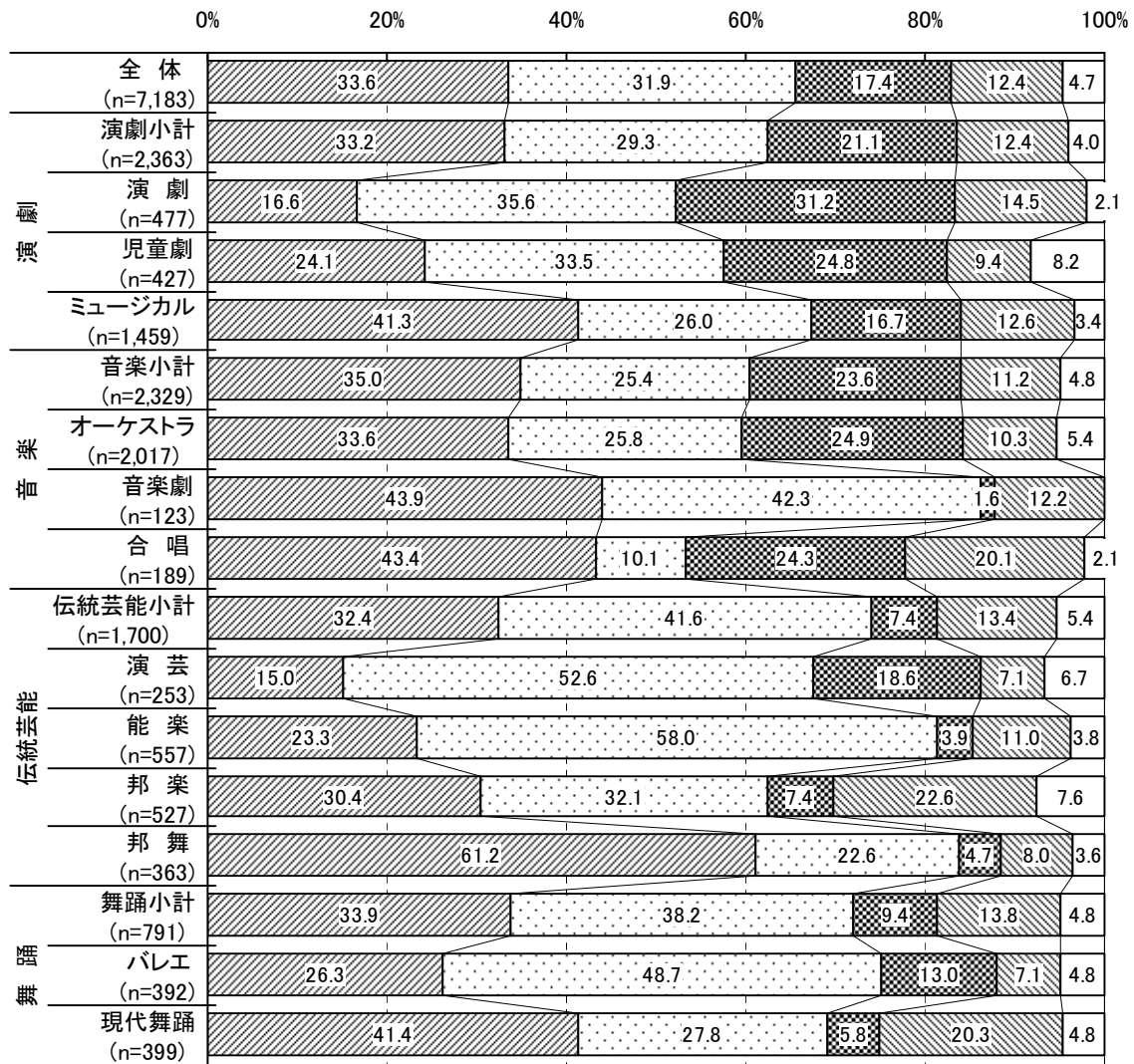
図表 50 文化芸術の鑑賞経験(学年別・SA)



図表 51 文化芸術の鑑賞経験(地域特性別・SA)



図表 52 文化芸術の鑑賞経験(分野別・SA)



文化芸術を間近で鑑賞したのは今回が初めてだった
 他の種目を鑑賞したことはあったが今回の種目の鑑賞は初めてだった
 今回の種目も他の種目も鑑賞したことがあった
 よく覚えていない
 無回答

(2) 印象に残っているワークショップの内容

【全体】「本公演での共演内容を聞いて当日がとても楽しみになった」(49.6%)が最も多く、「分かりやすく解説をしてもらえたのでとても興味を持つことができた」(48.7%)がこれに続く。

また、その他として、「演目がおもしろかった」「楽器・曲・演奏がよかった」など文化芸術体験そのものを楽しんだ回答や、「もっと知りたくなった」といった興味を持った回答が見られた。

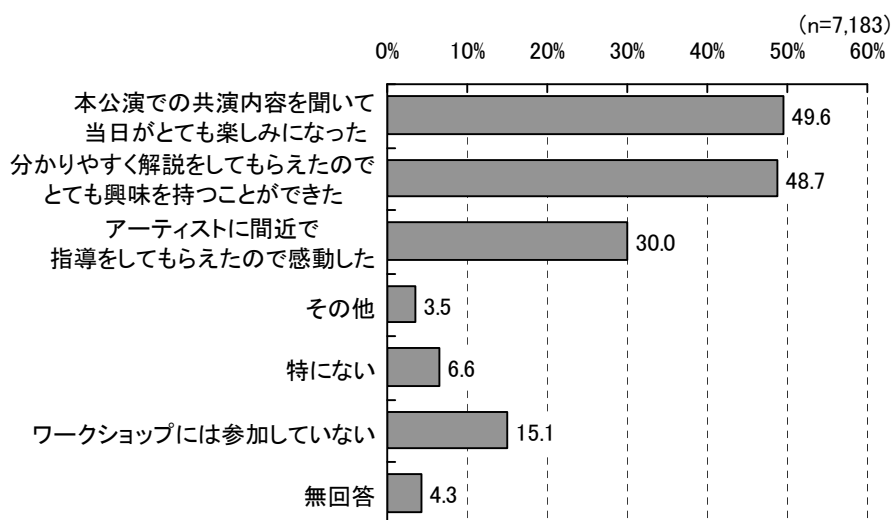
【学年別】小学校では低学年の方が「本公演での共演内容を聞いて当日がとても楽しみになった」の割合が大きいといった傾向が見られる。

【地域特性別】大都市圏は「分かりやすく解説をしてもらえたのでとても興味を持つことができた」の割合が大きくなっている。また、首都圏では「ワークショップに参加していない」という回答の割合が大きい。

【分野別】演芸、邦舞、能楽、ミュージカルは「本公演での共演内容を聞いて当日がとても楽しみになった」、演芸、オーケストラは「分かりやすく解説をしてもらえたのでとても興味を持つことができた」、演芸、邦舞は「アーティストに間近で指導をもらえたので感動した」の割合が大きくなっている。

【交流・共演内容別】ワークショップで全校での技術指導、交流給食、質疑応答を体験した児童・生徒は「本公演での共演内容を聞いて当日がとても楽しみになった」「分かりやすく解説をもらえたのでとても興味を持つことができた」の割合が大きくなっている。また、楽器・機器等解説で「分かりやすく解説をもらえたのでとても興味を持つことができた」、作品制作で「本公演での共演内容を聞いて当日がとても楽しみになった」の割合も大きい。

図表 53 印象に残っているワークショップの内容(MA)



図表 54 印象に残っているワークショップの内容(学年別・MA)

	調査数	印象に残っているワークショップの内容										
		にいなてな た	本公演 で	をもち つ	も分か り	動し た	導をし て	ア ー テ イ	そ の 他	特 に な い	し て い な い	ワ ー ク シ ョ ッ プ に は 参 加
全 体	7,183	49.6	48.7	30.0	3.5	6.6	15.1	4.3				
小学生計	6,066	51.7	50.7	31.2	3.7	6.5	14.8	3.2				
小学1年生	848	52.4	51.4	36.3	4.0	4.0	21.9	0.9				
小学2年生	997	60.2	53.2	32.6	5.4	6.5	5.8	7.1				
小学3年生	1,056	54.2	51.1	34.3	3.5	4.2	15.7	6.9				
小学4年生	1,015	50.2	47.0	29.3	3.0	6.7	19.3	0.4				
小学5年生	1,067	50.6	49.2	27.5	2.7	7.8	14.6	2.4				
小学6年生	1,040	43.9	53.4	29.0	3.7	9.2	12.1	0.7				
中学生計	1,117	37.9	37.9	23.3	2.3	7.1	17.1	10.4				
中学1年生	350	41.4	32.6	22.6	2.3	5.1	3.1	28.0				
中学2年生	381	46.7	49.3	27.6	2.6	8.9	4.2	0.5				
中学3年生	380	26.1	31.8	19.7	2.1	6.3	42.9	3.9				

(注) 全体の回答割合より5ポイント以上高い項目は薄い網掛け、10ポイント以上高い項目は濃い網掛け
+ 白抜文字として表示している(以下同様)。

図表 55 印象に残っているワークショップの内容(地域特性別・MA)

	調査数	印象に残っているワークショップの内容										
		にいなてな た	本公演 で	をもち つ	も分か り	動し た	導をし て	ア ー テ イ	そ の 他	特 に な い	し て い な い	ワ ー ク シ ョ ッ プ に は 参 加
全 体	7,183	49.6	48.7	30.0	3.5	6.6	15.1	4.3				
地域特性												
首都圏	1,322	18.9	23.7	15.3	1.9	5.6	41.5	14.3				
大都市圏	2,300	57.7	60.8	35.9	3.7	5.4	4.0	1.7				
地方都市圏	2,318	53.9	48.0	31.8	3.6	6.9	14.7	2.9				
不利地域	1,243	59.1	54.3	31.2	4.5	9.3	8.4	1.1				

図表 56 印象に残っているワークショップの内容(分野別・MA)

	調査数	印象に残っているワークショップの内容									
		にいなてな た	本公 演で の共 演内 容を み聞	も持 つこ とが でき た	分か りや すく と解 説を し興 味て	動 導し ても らえ たに 間近 で感 指	ア ー テイ スト に 間近 で感 指	そ の 他	特 に ない	し て い な い	ワ ー ク シ ョ ッ プ に は 参 加
全 体	7,183	49.6	48.7	30.0	3.5	6.6	15.1	4.3			
演 劇	2,363	49.7	46.1	27.5	3.6	5.3	17.7	4.4			
演 劇	477	28.5	30.4	15.1	1.7	6.7	27.9	13.0			
児童劇	427	30.7	33.0	20.1	3.0	1.6	45.9	1.2			
ミュージカル	1,459	62.2	55.1	33.7	4.4	5.9	6.2	2.5			
音 楽	2,329	56.9	59.6	35.6	3.7	6.9	6.3	0.7			
オーケストラ	2,017	59.5	63.4	36.5	3.9	5.0	3.3	0.4			
音楽劇	123	11.4	13.0	14.6	2.4	14.6	61.8	4.9			
合唱	189	58.2	48.7	38.6	2.1	22.2	2.1	1.1			
伝統芸能	1,700	50.6	47.8	31.0	4.2	8.6	13.2	4.8			
演 芸	253	71.5	65.6	45.5	4.3	4.0	0.4	1.2			
能 楽	557	65.0	53.9	32.1	2.5	13.6	1.3	0.2			
邦 楽	527	15.4	25.6	15.6	1.9	7.6	40.8	14.6			
邦 舞	363	65.3	58.1	41.6	10.2	5.8	0.3	0.3			
舞 踊	791	25.3	26.4	18.8	0.9	5.2	37.4	13.9			
バレエ	392	36.5	39.3	27.8	0.8	3.6	40.3	0.8			
現代舞踊	399	14.3	13.8	10.0	1.0	6.8	34.6	26.8			

図表 57 印象に残っているワークショップの内容(交流・共演内容別・MA)

	調査数	印象に残っているワークショップの内容									
		にいなてな た	本公 演で の共 演内 容を み聞	も持 つこ とが でき た	分か りや すく と解 説を し興 味て	動 導し ても らえ たに 間近 で感 指	ア ー テイ スト に 間近 で感 指	そ の 他	特 に ない	し て い な い	ワ ー ク シ ョ ッ プ に は 参 加
全 体	7,183	49.6	48.7	30.0	3.5	6.6	15.1	4.3			
交流(ワークショップ)	2,020	61.2	61.0	35.3	4.1	6.0	4.5	1.9			
技術指導(全校児童・生徒)	1,697	24.3	27.2	17.9	1.7	6.5	32.3	14.7			
技術指導(一部児童・生徒)	951	29.5	36.2	24.0	2.5	5.9	29.3	11.8			
実演体験	1,660	56.6	49.1	29.1	3.8	5.4	13.1	4.1			
演目等解説	1,361	51.4	60.7	35.9	2.8	3.3	9.7	2.7			
楽器・機器等解説	876	73.7	58.6	34.2	5.8	5.8	2.3	0.5			
作品制作	512	72.7	60.4	33.6	7.6	6.1	2.1	0.6			
交流給食	585	70.3	59.0	34.7	6.2	10.9	2.4	0.5			
質疑応答	399	14.3	13.8	10.0	1.0	6.8	34.6	26.8			
その他											

図表 58 印象に残っているワークショップの内容(その他)

演目などが面白かった、楽しかった (64件)

- 変装していた人がいたから、面白かった。
- じゃんけんではちまきをもらえてうれしかった。
- 手拍子の人が面白かったから楽しかった。
- なぞかけがすぐに出てきて、すごいと思った。
- こんにやく体操が面白かった。
- 小話がとても面白かった。 等

楽器・曲・演奏がよかった (39件)

- 1つの楽器がいろいろな音を出しているのがびっくりした。
- わからない名前の楽器の名前がわかったのでよかった。
- 楽器の紹介が楽しかった。
- 歌のリズムや音程が独特だった。
- 校歌をオーケストラ風でつくってくれてうれしかった。
- 知っている曲が聞けてよかった。 等

興味を持った、勉強になった、やりたくなった (24件)

- 1つ1つの楽器がどんな音が出るのか聞いたので、楽器に興味を持つことができた。
- お話を聞いて共感することができた。
- 劇団の人たちの口の開きかたが勉強になった。
- 原爆のあった広島に行ってみたい。
- バンダナでいろいろな動物が作れることを学んだ。
- もっと知りたくなった。調べたくなった。 等

参加・交流した (22件)

- 実際に教えてもらって自分でもやってみたので面白かった。
- プロの人と一緒に演技できたのですごくうれしかった。
- 指揮を体験したこと。
- アーティストと一緒に食べたこと。
- 当日までみんなで練習したこと、本番前の準備、舞台での緊張感。 等

わかりやすい説明、優しい態度 (17件)

- アーティストから指導してもらって楽しかった。
- とっても優しく教えてくださった。
- 一所懸命説明していて、すごく良いミュージカルになると思った。
- 司会の人がとてもおもしろかった。
- 前でお手本をしてくれたのでわかりやすかった。 等

間近で鑑賞できた (14件)

- オーケストラの人の前でお話をきけたので、自分はすごいと思った。
- 今までの中でこんな体験をしたことがなかったので、すごく感動した。
- 初めて実際に目の前で手品(マジック)を見たこと。
- 目の前で演奏・演技が迫力があってすごかったこと。 等

踊りがよかった (12件)

- あわおどりがかっこよかった。
- 獅子舞がすごかった (怖かったけれど)。
- 和太鼓をする時、太鼓の達人の人みたいで、かっこよかった。
- 見たことのないジャンルのダンスだった。 等

衣装がよかった (8件)

- 男の衣装がかっこよかった。
- 衣装がオリジナルでとてもきれいだった (あわおどり)。
- 衣装がかっこいい。 等

演者の技術がすごい、演者がきれい (7件)

- おどる人がきれいだった。
- 10 kgの楽器を片手で持っていてすごかった。
- 男の人も体が柔らかかった。
- 難しそうだった。 等

声がきれい、すばらしい (5件)

- 4人の声がすごく響いて、あんな声になりたくなった。
- きれいな声が聞けたのでよかった。
- 歌がとてもきれいだった。
- 共演の人が大きな声だったので、迫力があつた。
- 女の人の声が高くてきれいでかわいかった。

本番が楽しみになった (5件)

- とてもわくわくした。
- 生で見せてもらえるので楽しみだった。
- 本番の怖いお面が楽しみになった。
- 共演していないけれど、とても楽しみになった。
- 当日来てもらい、楽しいのがわかった。

マイナス意見 (7件)

- 眠かった。
- ぐだぐだで、良さがあまり伝わってこなかった。
- 長いと思った。
- 聞き取りにくかった。 等

その他 (6件)

- また来てほしい。
- 覚えてられるかなと思った。
- 私の忘れない大事な思い出になった。
- 体育館がミュージアムになったこと。
- 体育館だったので「狭いな」と思ったこと。 等

(3) 印象に残っている公演の内容

【全体】「アーティストの熱演を間近で鑑賞したこと」(68.5%)が最も多く、次いで「学校の体育館が舞台装置によってその日だけ特別な空間になったこと」(52.8%)、「分かりやすく解説をしてもらえたこと」(47.8%)の順となっている。一方、「舞台づくりや後片付けを一緒に手伝ったこと」(1.6%)、「体育館につくられた舞台の裏側を見たり、機械をさわったりできたこと」(4.3%)、「アーティストの方たちと給食を一緒に食べたこと」(6.9%)は非常に少ないが、これはそもそもこうした交流を行った団体が少ないためと考えられる。

また、その他の回答では、公演内容の素晴らしさやアーティストの迫力などを挙げている回答も見られた。

【学年別】「学校の体育館が舞台装置によってその日だけ特別な空間になったこと」「分かりやすく解説をしてもらえたこと」については、学年が低いほどその割合が大きくなっている。

【地域特性別】大都市圏は「分かりやすく解説をしてもらえたこと」、地方都市圏は「学校の体育館が舞台装置によってその日だけ特別な空間になったこと」「日本文化が素晴らしいものだという事」の割合が大きい。

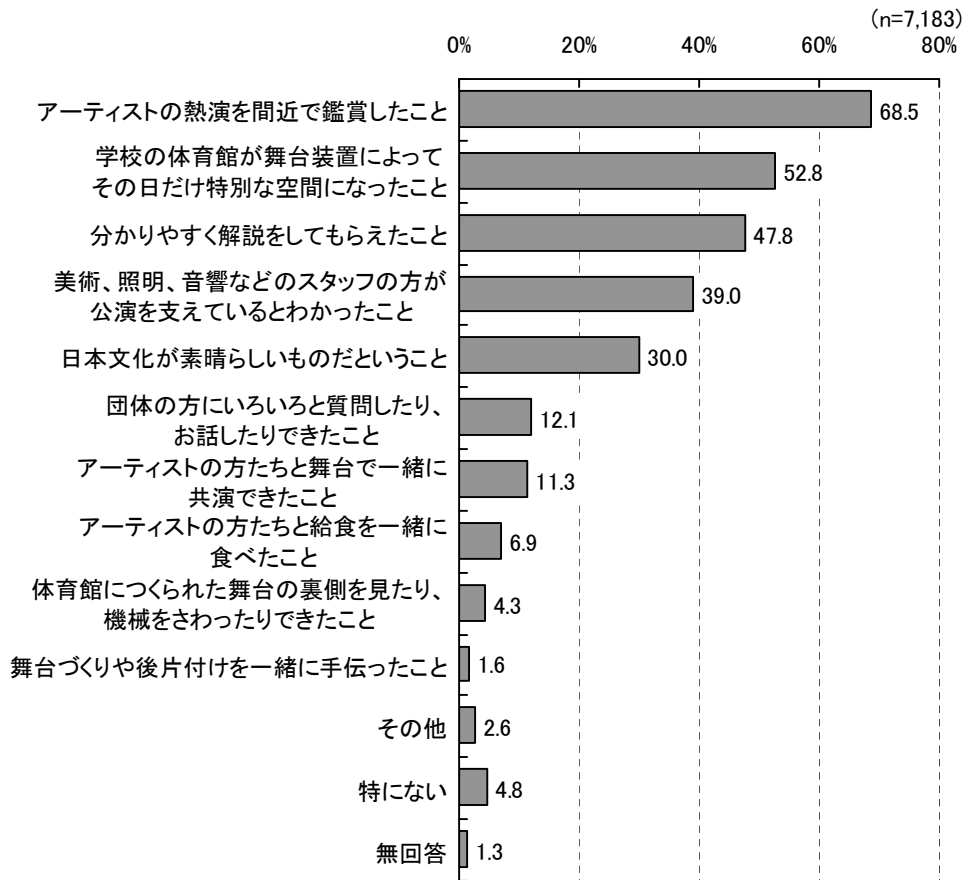
【分野別】バレエ、邦舞は「学校の体育館が舞台装置によってその日だけ特別な空間になったこと」、音楽劇は「美術、照明、音響などのスタッフの方が公演を支えているとわかったこと」、伝統芸能全般で「日本文化が素晴らしいものだという事」、合唱、児童劇は「アーティストの方たちと給食を一緒に食べたこと」の割合が比較的大きくなっている。

【交流・共演内容別】ワークショップで作品制作や交流給食を体験した児童・生徒は「学校の体育館が舞台装置によってその日だけ特別な空間になったこと」の割合が特に大きい。

また、本公演で舞台裏見学をした児童・生徒は「美術、照明、音響などのスタッフの方が公演を支えているとわかったこと」「アーティストの方たちと給食を一緒に食べたこと」「体育館につくられた舞台の裏側を見たり、機械をさわったりできたこと」、交流給食では「アーティストの方たちと給食を一緒に食べたこと」などの割合が特に大きくなっている。

共演内容では、教員による登壇・実演は「分かりやすく解説をしてもらえたこと」の割合が大きい。

図表 59 印象に残っている公演の内容(MA)



図表 60 印象に残っている公演の内容(学年別・MA)

	調査数	印象に残っている公演の内容																			
		近 ア ー テ ィ ス ト の 熱 演 を 間 近 で 鑑 賞 し た こ と	な に よ っ て そ の 日 だ け 特 別 な 空 間 に な っ た こ と	学 校 の 体 育 館 が 舞 台 装 置 に よ っ て そ の 日 だ け 特 別 な 空 間 に な っ た こ と	も ら え た こ と	分 か り や す く 解 説 を し て ら れ た こ と	え て い る こ と	美 術 、 照 明 、 音 響 な ど の ス タ フ の 方 が 公 演 を 支 え て い る こ と	の だ と い う こ と	日 本 文 化 が 素 晴 ら し い も の だ と い う こ と	き た こ と	問 い 合 い し た こ と	こ と	ア ー テ ィ ス ト の 方 と 一 緒 に 共 演 で き た こ と	給 食 を 一 緒 に 食 べ た こ と	ア ー テ ィ ス ト の 方 と 一 緒 に 食 べ た こ と	さ わ つ た こ と	体 育 館 に つ く ら れ た 舞 台 の 裏 側 を 見 た こ と	一 緒 に 手 伝 っ た こ と	舞 台 づ く り や 後 片 付 け を 一 緒 に 手 伝 っ た こ と	そ の 他
全 体	7,183	68.5	52.8	47.8	39.0	30.0	12.1	11.3	6.9	4.3	1.6	2.6	4.8	1.3							
小学生計	6,066	67.6	54.7	52.8	38.6	33.3	13.2	11.9	8.1	4.5	1.6	2.7	4.7	1.4							
小学1年生	848	67.1	64.7	64.4	40.2	37.3	18.3	15.3	10.4	4.6	1.3	3.9	3.5	0.9							
小学2年生	997	62.1	57.0	58.6	41.0	35.0	13.5	18.9	9.9	6.2	0.5	3.6	3.9	1.4							
小学3年生	1,056	72.7	56.7	59.6	40.0	38.1	18.2	6.5	10.4	3.9	0.9	2.5	3.3	1.2							
小学4年生	1,015	68.1	54.6	50.5	35.6	31.7	15.0	12.6	9.5	4.5	1.0	2.6	6.2	0.7							
小学5年生	1,067	67.4	51.0	44.8	38.7	32.4	8.2	11.3	5.0	4.2	2.7	2.3	3.8	1.3							
小学6年生	1,040	69.0	47.3	41.8	37.4	26.1	7.7	8.2	4.1	3.5	3.0	1.4	7.0	1.9							
中学生計	1,117	73.4	42.2	20.8	40.9	12.1	5.6	8.4	0.6	3.4	2.1	2.1	5.3	0.8							
中学1年生	350	74.3	44.0	19.4	41.1	14.9	4.9	6.3	0.6	3.4	0.9	2.0	4.9	1.7							
中学2年生	381	73.5	36.7	21.5	38.8	9.4	6.6	8.4	0.8	2.9	2.4	2.4	6.3	0.3							
中学3年生	380	73.2	46.3	21.6	43.2	12.4	5.5	10.5	0.5	3.9	2.9	2.1	3.9	0.5							

図表 61 印象に残っている公演の内容(地域特性別・MA)

	調査数	印象に残っている公演の内容																					
		近で鑑賞したこと	アーティストの熱演を間	な空間になつたこと	学校の体育館が舞台特別置	も分りやすく解説をして	えとわかつたこと	美術、照明、音響などの支	の文化が素晴らしいも	日本文化が素晴らしいも	きたこと、お話ししたりで質	団体の方、いろいろと賞	舞台で一緒に共演できたこと	給食を一緒に食べたこと	アーティストの方たちと	さわたりできたこと	体育館につくられた舞台	裏側を見たり、機械を台	一緒に手伝つたこと	舞台づくりや後片付けを	その他	特にな	無回答
全 体	7,183	68.5	52.8	47.8	39.0	30.0	12.1	11.3	6.9	4.3	1.6	2.6	4.8	1.3									
地域特性																							
首都圏	1,322	65.7	53.1	34.2	38.4	32.8	11.6	6.9	14.9	3.3	0.8	2.9	6.8	1.9									
大都市圏	2,300	69.4	43.4	58.4	32.1	20.6	11.6	9.6	5.0	6.2	1.5	2.2	3.6	1.3									
地方都市圏	2,318	68.3	65.0	47.3	45.7	42.9	11.5	11.6	0.5	2.8	1.8	2.3	4.9	1.0									
不利地域	1,243	70.2	47.1	43.4	39.5	20.4	14.5	18.7	14.2	4.7	2.7	3.5	4.6	1.1									

図表 62 印象に残っている公演の内容(分野別・MA)

	調査数	印象に残っている公演の内容																					
		近で鑑賞したこと	アーティストの熱演を間	な空間になつたこと	学校の体育館が舞台特別置	も分りやすく解説をして	えとわかつたこと	美術、照明、音響などの支	の文化が素晴らしいも	日本文化が素晴らしいも	きたこと、お話ししたりで質	団体の方、いろいろと賞	舞台で一緒に共演できたこと	給食を一緒に食べたこと	アーティストの方たちと	さわたりできたこと	体育館につくられた舞台	裏側を見たり、機械を台	一緒に手伝つたこと	舞台づくりや後片付けを	その他	特にな	無回答
全 体	7,183	68.5	52.8	47.8	39.0	30.0	12.1	11.3	6.9	4.3	1.6	2.6	4.8	1.3									
演劇																							
演劇小計	2,363	71.3	62.6	35.8	50.4	25.3	14.0	16.1	14.8	8.6	1.7	3.6	3.6	1.3									
演劇	477	67.1	47.2	22.2	42.3	29.8	5.2	7.3	0.2	2.3	1.9	1.9	4.2	1.0									
児童劇	427	74.9	67.0	26.9	56.9	28.8	28.8	13.1	48.9	8.4	1.2	4.9	5.2	3.0									
ミュージカル	1,459	71.6	66.7	42.8	51.1	22.8	12.5	19.8	9.5	10.7	1.7	3.7	3.0	0.8									
音楽																							
音楽小計	2,329	70.4	34.0	58.9	26.5	18.0	11.4	8.5	4.6	1.5	2.0	1.7	4.6	1.5									
オーケストラ	2,017	70.6	32.4	61.7	25.2	18.9	9.8	6.7	0.2	1.1	1.5	1.8	4.1	1.5									
音楽劇	123	86.2	65.0	46.3	73.2	9.8	16.3	16.3	7.3	7.3	11.4	1.6	3.3	0.8									
合唱	189	57.7	30.2	37.6	10.1	13.8	25.4	21.7	50.3	1.1	0.5	1.1	10.1	1.1									
伝統芸能																							
伝統芸能小計	1,700	61.8	55.8	57.0	33.0	56.9	12.9	10.5	2.2	2.5	1.5	3.0	6.8	1.1									
演 芸	253	70.8	71.9	50.6	51.0	54.5	14.2	7.5	12.6	2.4	3.2	2.0	2.0	0.4									
能 楽	557	60.1	53.1	58.3	34.6	58.0	18.0	16.9	0.7	2.0	0.9	1.8	9.9	1.4									
邦 楽	527	57.1	35.7	62.6	13.7	50.1	5.5	7.4	0.2	3.0	0.4	2.1	8.5	1.5									
邦 舞	363	64.7	78.0	51.2	46.0	66.7	15.2	7.2	0.3	2.8	2.8	6.9	2.8	0.3									
舞踊																							
舞踊小計	791	69.3	71.8	31.1	54.2	21.5	6.2	7.6	0.5	3.8	1.0	1.3	4.6	1.4									
バレエ	392	72.2	82.7	57.1	57.9	28.1	10.7	12.8	0.0	5.4	0.8	1.0	2.8	1.8									
現代舞踊	399	66.4	61.2	5.5	50.6	15.0	1.8	2.5	1.0	2.3	1.3	1.5	6.3	1.0									

図表 63 印象に残っている公演の内容(交流・共演内容別・MA)

	調査数	印象に残っている公演の内容																					
		近で鑑賞したこと	アーティストの熱演を間	な空間になつたこと	学校の体育館が舞台特別置	も分りやすく解説をして	えとわかつたこと	美術、照明、音響などの支	の文化が素晴らしいも	日本文化が素晴らしいも	きたこと、お話ししたりで質	団体の方、いろいろと賞	舞台で一緒に共演できたこと	給食を一緒に食べたこと	アーティストの方たちと	さわたりできたこと	体育館につくられた舞台	裏側を見たり、機械を台	一緒に手伝つたこと	舞台づくりや後片付けを	その他	特にな	無回答
全 体	7,183	68.5	52.8	47.8	39.0	30.0	12.1	11.3	6.9	4.3	1.6	2.6	4.8	1.3									
交流(ワークショップ)																							
技術指導(全校児童・生徒)	2,020	69.5	47.6	55.3	30.6	16.6	8.7	13.7	6.1	2.4	1.4	2.5	3.8	1.4									
技術指導(一部児童・生徒)	1,697	63.7	51.0	36.2	35.7	34.2	5.4	5.9	2.2	2.9	1.1	1.6	5.8	1.4									
実演体験	951	64.7	43.8	55.4	21.1	39.9	6.8	6.5	3.5	2.9	1.4	2.0	6.3	1.2									
演目等解説	1,660	70.3	61.9	40.5	43.2	28.1	7.6	13.3	3.7	3.4	2.4	2.8	3.7	1.1									
楽器・機器等解説	1,361	71.5	39.9	61.6	26.5	15.1	6.2	7.4	0.1	2.0	1.0	1.3	3.0	1.9									
作品制作	876	69.5	69.4	46.8	43.8	27.1	8.7	17.8	6.8	3.8	2.6	4.0	3.5	0.9									
交流給食	512	66.0	68.6	48.4	42.6	30.7	10.2	19.9	10.7	3.3	1.4	6.3	3.9	1.2									
質疑応答	585	65.5	58.3	45.5	36.2	22.7	14.5	23.1	20.2	2.2	0.7	5.5	5.8	1.2									
その他	399	66.4	61.2	5.5	50.6	15.0	1.8	2.5	1.0	2.3	1.3	1.5	6.3	1.0									
交流(本公演)																							
技術指導(全校児童・生徒)	3,726	68.8	51.2	54.1	36.4	25.1	12.6	12.7	6.4	5.2	1.7	3.0	3.8	1.2									
技術指導(一部児童・生徒)	3,980	67.3	57.9	40.9	44.0	37.4	12.2	10.7	6.6	4.0	1.6	2.6	5.4	1.3									
実演体験	1,829	67.5	68.1	54.1	46.4	47.9	14.7	12.0	2.0	3.4	1.5	2.6	4.8	1.1									
演目等解説	3,458	67.9	49.8	60.0	34.3	34.1	12.4	9.1	1.2	2.0	1.6	2.3	4.5	1.4									
楽器・機器等解説	3,360	68.2	45.4	58.5	31.9	25.3	10.7	9.5	3.4	5.3	1.2	2.1	4.3	1.5									
舞台裏見学	451	65.9	68.1	31.9	59.2	21.5	21.5	28.6	28.2	30.8	1.8	3.5	3.3	0.7									
交流給食	698	69.1	63.9	30.2	50.9	25.5	31.2	18.2	59.0	18.5	1.1	4.4	6.2	2.1									
質疑応答	1,197	66.2	60.2	47.5	49.6	42.6	18.9	19.7	9.6	11.2	1.3	2.5	5.8	0.9									
その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									
共 演																							
全校児童・生徒による登壇・実演	3,962	69.8	49.6	52.9	35.7	24.5	12.0	12.4	6.0	4.9	1.7	2.9	3.9	1.2									
一部児童・生徒による登壇・実演	5,867	68.0	51.1	48.4	38.4	31.7	11.6	9.0	4.6	3.2	1.5	2.3	4.9	1.4									
教員による登壇・実演	1,509	65.5	37.9	58.9	30.6	13.5	10.2	10.9	7.5	8.4	0.8	2.1	3.7	1.5									

図表 64 印象に残っている公演の内容(その他)

演目などが面白かった、楽しかった (48件)

- 祝太鼓がすばらしかった。
- 阿波おどりのすばらしさを感じた。
- ダブルタッチがすごかった。
- 見ているうちに続きがとても気になり、ウキウキした。
- 面白くてもう一度見たくなったこと。
- うさぎとかめのお話をよく知った。 等

プロの演奏、演技、本物の迫力 (28件)

- ユーモアがあって、こんな人たちも生きているんだと、劇だけで伝わるのがすごいと思った。
- 本公演の時、音がすてきだなあと思った。
- アーティストの本気の顔が見られたこと (一所懸命)。
- 音楽が素晴らしいものだということ (希望をあたえてくれるもの)。
- 迫力があって良かった。
- みなさんが笑っていたこと。
- 私も前バレエを習っていたけど、プロの団体さんがしているのはあまり見たことはないけど、見られてとても勉強になったということ。
- オペラを初めて見たこと。 等

舞台に上りたいと思った (25件)

- 木の上に登りたかった。
- 舞台や機械にさわりたいかった。
- 舞台で共演したかった。
- 裏側が見たかった。 等

参加・交流した (23件)

- オーケストラの人たちと一緒に演奏ができたこと。
- アーティストの方たちが弾いてくれた曲 (風がふいている) で歌ったこと。
- 私たち音楽部が「星の王子様」で「光と影」を演奏したところがとても印象に残った。
- 先生が特別出演で出たこと。
- 出演者の人にほめてもらったこと。
- 舞台ではないけど、説明してくれたことをできた。
- お礼に花束を渡したこと。 等

演出、照明、衣装など (13件)

- 衣装が派手だった。
- ゆっくりえんそうをしてくれたこと。
- 楽器の説明の時に、いろんな曲を弾いたり、吹いてくれたこと。
- 舞台の上で、特別に動作を教えてくれて、より興味が湧いてきた。
- げきの始まり方がよかった。
- 雪を光で作っていた。
- ユニークかつユーモアのある司会進行。 等

サイン・写真・握手など (11件)

- サインをしてもらったこと。
- 握手をしてもらったということ。
- 一緒に写真をとってもらったこと。
- 手をふってくれたこと。
- アーティストとタッチした。 等

様々な楽器 (4件)

- 楽器の大きさが全然違ったこと。
- いろいろな楽器があり感動した。
- 珍しい楽器をさわられたこと。
- 一つ一つの楽器を教えてくれたこと。

公演をきっかけに文化に興味を持った (3件)

- 自分もやりたいと思ったこと。
- 将来わたしはみょうざいこうこうで芸術をすることにした。
- できればこの日本文化を守っていきたい。すごく興味を持った。

よくわからなかった (2件)

- 初めてだったのでよくわからなかった。
- ストーリーがよくわからなかった。

その他 (8件)

- 花にも意味がある物を持ってきていたところ。
- 一人ひとりがとても大変な役だということ。
- 玉手箱の人たちはとてもうまくスラスラ弾いていたけれど、実はとても練習していると知ったこと。
- 舞台が終わってから友だちと2人で体育館に行ったら後片づけをしていた。
- 練習でやっていないことを本公演でやってびっくりした。 等

(4) 公演終了後の行動

【全体】「帰宅後に家族と公演のことについて話をした」(73.2%)が最も多く、「公演のことについて友だちや先生と話をした」(49.1%)がこれに続く。

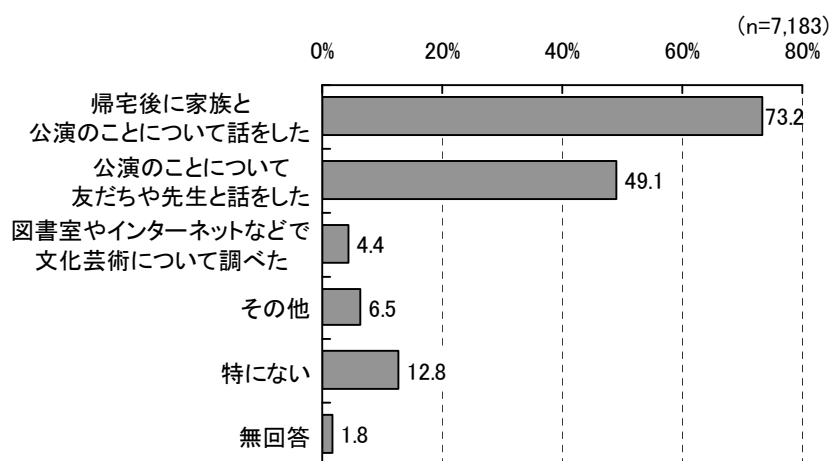
また、その他の回答では、感想文や日記を書いた、公演団体に手紙を書いたといった回答も見られた。これに加え、「家に帰ってマジックをやった」「面白かった芸を真似した」など、体験した文化芸術に自分で取り組んでみたといった回答が見られた。

【学年別】小学2・3・5年生は「帰宅後に家族と公演のことについて話をした」、小学1年生は「公演のことについて友だちや先生と話をした」の割合がやや大きい。

【地域特性別】大都市圏は「帰宅後に家族と公演のことについて話をした」の割合がやや大きくなっている。

【分野別】音楽劇、演芸、児童劇は「公演のことについて友だちや先生と話をした」の割合が大きくなっている。

図表 65 公演終了後の行動(MA)



図表 66 公演終了後の行動(学年別・MA)

	調査数	公演終了後の行動					
		帰宅後に家族と話をした	友だちや先生と話をした	公演のことについて友だちや先生と話をした	図書室やインターネットなどで調べた	その他	特にない
全体	7,183	73.2	49.1	4.4	6.5	12.8	1.8
小学生計	6,066	77.0	48.8	4.4	7.6	11.2	1.8
小学1年生	848	78.1	57.3	6.5	5.8	9.3	2.2
小学2年生	997	78.8	49.7	4.8	10.1	10.1	1.2
小学3年生	1,056	82.5	52.7	5.7	6.7	8.8	1.5
小学4年生	1,015	76.2	47.6	3.6	8.3	11.9	1.0
小学5年生	1,067	78.9	46.3	3.8	11.4	9.5	1.4
小学6年生	1,040	68.5	41.8	2.5	2.8	17.4	2.4
中学生計	1,117	52.5	51.2	4.5	0.4	21.5	2.1
中学1年生	350	54.9	50.9	3.4	0.6	18.0	3.4
中学2年生	381	53.3	50.1	5.2	0.0	20.7	1.0
中学3年生	380	50.0	53.2	4.7	0.8	24.7	1.8

図表 67 公演終了後の行動(地域特性別・MA)

	調査数	公演終了後の行動								
		したとに家族と話	帰宅後に家族と話	ただち先生と話	公演のことに先生と話	友達や先生と話	ネットやインタビュー	図書室やインターン	その他	特にない
全体	7,183	73.2	49.1	4.4	6.5	12.8	1.8			
地域特性										
首都圏	1,322	61.6	45.2	3.1	4.6	20.6	3.5			
大都市圏	2,300	78.5	46.5	4.0	1.7	10.8	1.7			
地方都市圏	2,318	74.3	51.6	5.3	10.4	11.5	1.5			
不利地域	1,243	73.5	53.5	4.9	9.7	10.7	1.0			

図表 68 公演終了後の行動(分野別・MA)

	調査数	公演終了後の行動								
		したとに家族と話	帰宅後に家族と話	ただち先生と話	公演のことに先生と話	友達や先生と話	ネットやインタビュー	図書室やインターン	その他	特にない
全体	7,183	73.2	49.1	4.4	6.5	12.8	1.8			
演劇	2,363	74.8	50.9	4.2	11.5	10.7	1.7			
演劇	477	65.4	48.2	3.1	16.1	13.4	1.7			
児童劇	427	75.6	59.3	5.2	12.9	11.0	3.3			
ミュージカル	1,459	77.7	49.3	4.3	9.5	9.8	1.2			
音楽	2,329	76.3	48.0	4.1	2.1	11.8	1.6			
オーケストラ	2,017	76.3	46.6	4.0	1.5	11.5	1.7			
音楽劇	123	82.9	69.9	4.9	13.8	11.4	0.0			
合唱	189	72.0	49.2	5.3	1.1	15.9	1.1			
伝統芸能	1,700	74.5	47.1	5.6	3.2	14.0	1.9			
演芸	253	81.8	61.7	9.1	4.0	5.9	2.0			
能楽	557	72.0	52.1	7.7	5.6	15.3	1.3			
邦楽	527	69.8	33.0	2.3	1.1	19.9	3.2			
邦舞	363	80.2	49.6	4.7	1.9	9.1	0.8			
舞踊	791	56.3	51.8	3.3	11.4	19.5	2.9			
バレエ	392	75.8	57.7	4.3	23.0	8.4	2.0			
現代舞踊	399	37.1	46.1	2.3	0.0	30.3	3.8			

図表 69 公演終了後の行動(その他)

感想・作文を書いた、新聞を作った (258件)
● 感想文を書いた。
● 公演のことを作文に書いた。
● 教室で鑑賞プリントを書いた。
● 自主勉強でノートに感想を書いた。
● 新聞を作った。 等
日記に書いた、絵を描いた (72件)
● 家にある自分で作った日記帳に書いた。家で学習カードにも作文を書いた。
● 日記に書いた。

- 楽器の絵を書いてみた。
- 絵を描いたりした。 等

手紙を書いた (35 件)

- お礼の手紙を書いた。
- バレエをした人に感想を書いた。
- ひまわりさんに手紙を書いた 等

芸の披露、真似事、楽器演奏などをした (30 件)

- 家に帰ってマジックをやった。
- ウクレレを弾いてみた。
- 家族に歌を聞かせてあげた。
- 鼻歌で口ずさんでいた。
- 面白かった芸を真似した。
- 友だちとかけ声であそんでいた。
- 真似をした。
- 家に帰ってあいさつを試してみた。 等

演者と交流した (17 件)

- インタビューをした。感想。
- サインしてもらった。
- マジックの方たちと一緒に写真を撮った。
- また来てほしいといったことを話した。
- 舞台裏を見た。 等

調べた、教えてもらった (13 件)

- 携帯電話で調べた。
- 劇に出てきた花の花言葉などを友だちに教えてもらった。
- 国語辞典で調べた。
- ちらしを見返した。
- ホームページに質問をした。
- 昔のことを調べたりするようになった。 等

話した、自慢した (9 件)

- いとこに話した。
- おばあちゃん、おじいちゃんに話した。
- サインをしてもらったことを親に伝えた。
- もっと他の人に知ってもらえるように話した。 等

また見たい、すごいと思った (8 件)

- 足がぴんと立っていたのですごかった。
- とってもきれいで、もう 1 回聞きたくなった。
- バレエの人はすごいなと思った。
- もう一回見てみたい。 等

CD・DVD を鑑賞した (7 件)

- DVD を見た。作文をかいた。

● CD を聞いて比べてみた。

● 動画を見た。 等

部活や習い事を頑張った (2件)

● ピアノを頑張って練習した。

● 部活で、その音に近づけるように頑張った。

やりたいと思った、家族に言った (2件)

● 家族にやりたいと言った。

● ピアノやいろいろな楽器をしたい。

その他 (6件)

● オーケストラを聞きに行った。文化パークに音楽を聞きに行った。

● 自分で思ったことを言えるようになった。

● 体育館の片づけ。 等

(5) 公演終了後の活動・生活の変化

① 公演終了後の文化活動の変化

【全体】 4割強の児童・生徒が「特にない」(44.0%)と回答しているが、一方で「音楽や国語などの関係する教科の勉強に今までよりもやる気を出して取り組むようになった」(33.5%)、「テレビ等で文化芸術が取り上げられていると興味を持って目を向けるようになった」(23.4%)といった変化も挙げられている。

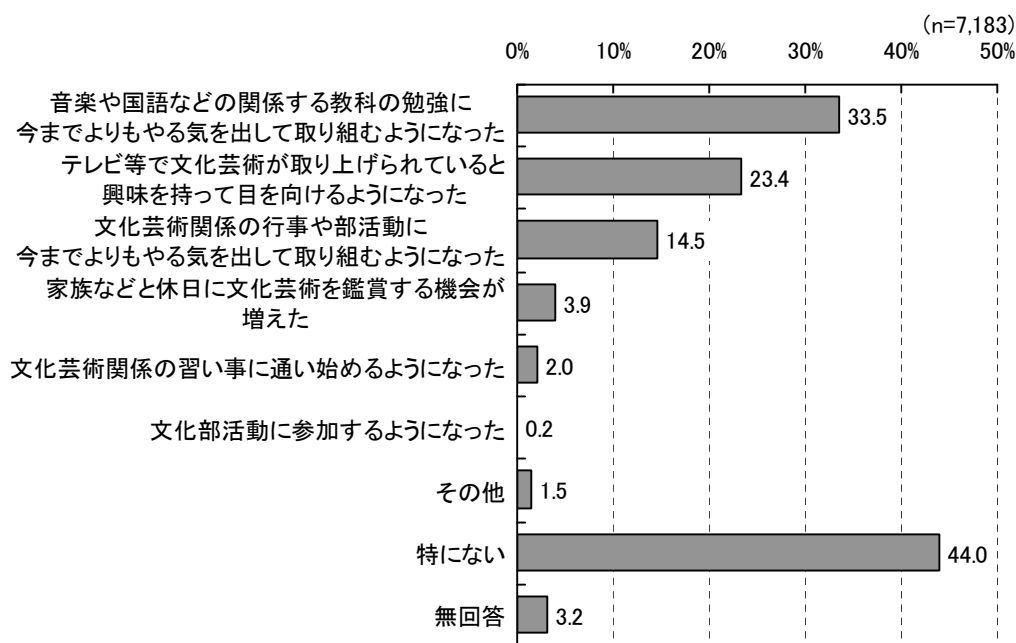
また、その他の回答では、「音楽を聴くようになった」など積極的に文化芸術に触れたり、「自分も何か楽器を演奏してみたいという意欲が沸いた」など自身で取り組もうとする意向を持ったりする回答が見られた。

【学年別】 小学1～3年生は「音楽や国語などの関係する教科の勉強に今までよりもやる気を出して取り組むようになった」、小学1年生は「文化芸術関係の行事や部活動に今までよりもやる気を出して取り組むようになった」の割合が大きくなっている。

【地域特性別】 首都圏は「特にない」の割合が大きくなっている。

【分野別】 邦舞は「音楽や国語などの関係する教科の勉強に今までよりもやる気を出して取り組むようになった」、演芸、邦舞は「テレビ等で文化芸術が取り上げられていると興味を持って目を向けるようになった」、音楽劇、バレエは「文化芸術関係の行事や部活動に今までよりもやる気を出して取り組むようになった」の割合が大きくなっている。また、演劇、児童劇、現代舞踊は「特にない」の割合がやや大きくなっている。

図表 70 公演終了後の文化活動の変化(MA)



図表 71 公演終了後の文化活動の変化(学年別・MA)

	調査数	公演終了後の文化活動の変化														
		出の して 取り 組む よう にな った	音 楽や 国語 など の関 係す る教 科	向 ける よう にな った	ら れて いる と興 味を 持つ て目 上げ	テ レビ 等 で文 化芸 術が 取り 上げ	り 組む よう にな った	今 まで より も興 味を 出す て取 に	文 化芸 術関 係の 行事 や部 活動 に	賞 する 機会 が増 えた	家 族な どと 休日 に文 化芸 術を 鑑	め るよ うに なっ た	文 化芸 術関 係の 習い 事に 通い 始	な った 文化 部活 動に 参加 する よう に	そ の他	特 に ない
全 体	7,183	33.5	23.4	14.5	3.9	2.0	0.2	1.5	44.0	3.2						
小学生	小学生計	6,066	37.0	23.2	14.9	4.2	2.2	0.0	1.6	41.7	3.3					
	小学1年生	848	64.4	25.8	30.9	10.3	6.7	0.0	1.7	18.6	4.0					
	小学2年生	997	51.8	23.7	17.0	6.0	3.3	0.0	1.2	29.7	3.3					
	小学3年生	1,056	44.3	22.0	15.1	3.4	1.0	0.0	1.4	34.9	3.9					
	小学4年生	1,015	30.5	22.7	13.5	3.3	1.9	0.0	2.2	47.9	1.7					
	小学5年生	1,067	19.1	22.6	8.2	1.8	0.7	0.0	1.6	57.2	2.3					
中学生	小学6年生	1,040	18.2	23.0	8.3	1.7	0.5	0.0	1.3	57.0	3.6					
	中学生計	1,117	14.7	24.5	12.4	2.4	0.8	1.1	1.4	56.8	3.0					
	中学1年生	350	16.6	17.4	17.1	1.7	0.9	1.7	1.1	55.1	5.1					
	中学2年生	381	14.7	26.2	11.0	3.1	0.8	1.3	0.8	55.4	1.3					
中学3年生	380	13.2	29.5	9.5	2.4	0.8	0.3	2.4	59.5	2.6						

図表 72 公演終了後の文化活動の変化(地域特性別・MA)

	調査数	公演終了後の文化活動の変化														
		出の して 取り 組む よう にな った	音 楽や 国語 など の関 係す る教 科	向 ける よう にな った	ら れて いる と興 味を 持つ て目 上げ	テ レビ 等 で文 化芸 術が 取り 上げ	り 組む よう にな った	今 まで より も興 味を 出す て取 に	文 化芸 術関 係の 行事 や部 活動 に	賞 する 機会 が増 えた	家 族な どと 休日 に文 化芸 術を 鑑	め るよ うに なっ た	文 化芸 術関 係の 習い 事に 通い 始	な った 文化 部活 動に 参加 する よう に	そ の他	特 に ない
全 体	7,183	33.5	23.4	14.5	3.9	2.0	0.2	1.5	44.0	3.2						
地域 特性	首都圏	1,322	21.4	16.0	10.9	2.9	1.8	0.2	1.3	58.1	5.1					
	大都市圏	2,300	35.1	23.3	15.0	4.6	2.3	0.3	1.7	41.1	3.0					
	地方都市圏	2,318	37.2	26.7	14.3	4.0	1.5	0.0	1.4	40.6	2.2					
	不利地域	1,243	36.4	25.3	17.9	3.7	2.4	0.1	1.8	40.8	3.5					

図表 73 公演終了後の文化活動の変化(分野別・MA)

	調査数	公演終了後の文化活動の変化														
		出の 勉強 して 取り 組む よう にな った	音 楽 や 国 語 な ど の 関 係 す る 教 科	向 け ら れ る よ う に な っ た	テ レ ビ 等 で 文 化 芸 術 が 取 り 上 げ	リ 組 む よ う に な っ た	今 ま で よ り も や る 気 を 出 し て 取 に	文 化 芸 術 関 係 の 行 事 や 部 活 動 に	賞 す る 機 会 が 増 え た	家 族 な ど と 休 日 に 文 化 芸 術 を 鑑	め る よ う に な っ た	文 化 芸 術 関 係 の 習 い 事 に 通 い 始	な っ た	文 化 部 活 動 に 参 加 す る よ う に	そ の 他	特 に な い
全 体	7,183	33.5	23.4	14.5	3.9	2.0	0.2	1.5	44.0	3.2						
演 劇	演劇小計	2,363	31.8	21.2	15.2	3.8	2.4	0.3	1.8	47.5	2.5					
	演 劇	477	20.3	19.9	7.3	2.7	0.6	0.0	2.1	58.7	1.5					
	児童劇	427	24.8	13.3	18.5	5.9	3.0	0.0	1.9	54.6	5.2					
	ミュージカル	1,459	37.6	23.9	16.9	3.5	2.8	0.5	1.7	41.7	2.0					
音 楽	音楽小計	2,329	34.4	24.7	15.3	4.6	2.0	0.1	1.6	40.4	3.8					
	オーケストラ	2,017	33.8	24.5	14.6	4.5	1.9	0.1	1.8	40.7	3.2					
	音楽劇	123	41.5	30.1	26.0	4.9	1.6	0.0	0.0	30.1	10.6					
	合 唱	189	36.0	23.3	16.4	5.3	3.2	0.0	0.5	43.4	5.8					
伝 統 芸 能	伝統芸能小計	1,700	39.1	27.1	11.6	3.3	1.4	0.0	0.9	40.8	3.1					
	演 芸	253	37.9	49.8	21.7	4.3	2.4	0.0	2.0	30.0	1.2					
	能 楽	557	40.0	20.3	11.1	3.8	0.9	0.0	0.7	44.3	1.8					
	邦 楽	527	30.6	17.8	8.3	2.5	1.7	0.0	0.9	50.5	5.5					
舞 踊	邦 舞	363	51.0	35.3	10.2	3.0	1.1	0.0	0.6	28.9	3.0					
	舞踊小計	791	23.8	18.1	16.1	3.8	2.0	0.4	1.8	51.3	4.0					
	バレエ	392	39.5	20.2	25.5	7.1	3.6	0.0	2.6	32.9	4.1					
	現代舞踊	399	8.3	16.0	6.8	0.5	0.5	0.8	1.0	69.4	4.0					

図表 74 公演終了後の文化活動の変化(その他)

興味を持つようになった、好きになった (35件)

- 琵琶に興味を持つようになった(インドにも)。
- 演奏されている音楽をCDで聴くようになった。
- 本を借りてきて読むようになった。
- いろんな劇団の名前に興味を持った。 等

また見たいと思った、ふと思い出す (11件)

- 今でもはっきり印象があるので、ふとした瞬間に思い出す。
- もう一度見てみたい。
- また劇団ひまわりの劇を見たいと思った。
- またオペラを見てみたいと思った。 等

やってみたいと思うようになった (9件)

- 新体操をやっていて嫌だったけど、また新体操をやりたくなった(バレエも)。
- 吹奏楽部もいかなと思った。
- 自分も何か楽器を演奏してみたいという意欲が湧いた。
- 演劇部に入りたいという意識が強まった。 等

習い事を頑張るようになった (9件)

- バレエのレッスンの時、今までよりも少しじょうずになった。
- 通っているピアノ教室が、前よりもっと楽しくなった。
- 習っているダンスにやる気がとても出てきた。
- コーラスで歌をいっぱい歌える。 等

TVなどで文化芸術を見るようになった (7件)

- インターネットで楽団などが演奏している動画を見ることが増えた。
- テレビに出たお面の名前がわかるようになった。
- 笑点を見るようになった。
- テレビで文化芸術を見るとお母さんに話をした。 等

部活動での意識が変わった (5件)

- 部活にやる気がでた(ブラスバンド部)。
- えんげきクラブの発表時に「声を大きくゆっくり」を意識してできるようになった。
- 部活で、楽器の音の出し方を意識するようになった。
- 吹奏楽部活動で演奏者の楽器の鳴らし方を真似てみた。
- 部活で、自信を持って、目標をもって吹けるようになった。

元気になった、堂々と話せるようになった (5件)

- 時々かけ声を出すようになった。
- 友だちとたくさんしゃべるようになった。
- 人前で声を出すことに慣れた。
- あいさつを堂々と恥ずかしく言えるようになった。
- 元気になった。

作文を書いた (4件)

- 作文を書いた。

● 感想をうまくできた。 等

照明技術に関心を持った (2件)

● 音楽や照明演出に関心が湧いた。

● 照明の技術を学びたいと思った。

その他 (5件)

● 友だちのことをもっと考えるようになった。

● 姿勢が良くなった。

● どんどん国語をやりたいと思った。 等

(6) 公演終了後の生活態度の変化

【全体】「人に会ったときにすすんであいさつするようになった」(37.5%)が最も多く、次いで「将来の夢や目標に向かって今まで以上に努力するようになった」(36.7%)、「学校が今まで以上に好きになった」(36.3%)の順となっている。

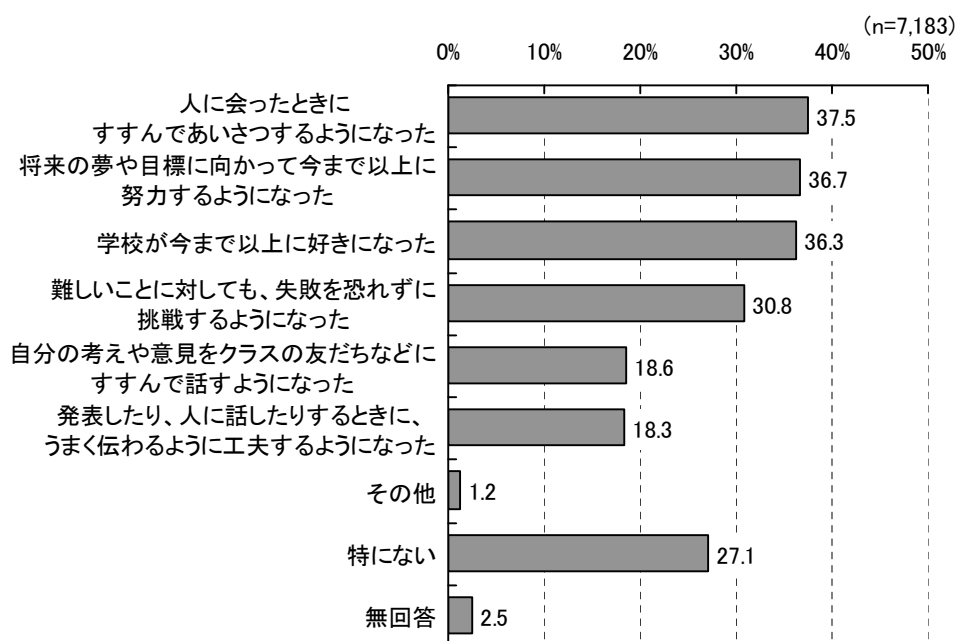
また、その他の回答では、文化芸術への興味を持つようになった、授業・習い事をがんばるようになったといった回答が見られた。さらに、「自分から友だちを作るようになった」などコミュニケーションの面でも変化があったという回答が見られた。

【学年別】小学1年生は「その他」「特にない」以外の全ての項目の割合が大きくなっている。また、小学2年生は「学校が今まで以上に好きになった」「難しいことに対しても、失敗を恐れずに挑戦するようになった」、小学3年生は「人に会ったときにすすんであいさつするようになった」「学校が今まで以上に好きになった」の割合が大きい。また、学年が低いほど「特にない」の割合は小さくなっており、本事業の生活態度に与える影響が大きいことがわかる。

【地域特性別】首都圏は「特にない」、地方都市圏は「人に会ったときにすすんであいさつするようになった」「学校が今まで以上に好きになった」、不利地域は「人に会ったときにすすんであいさつするようになった」の割合がやや大きくなっている。

【分野別】音楽劇は「その他」「特にない」以外の全ての項目において割合が大きくなっている。また、邦舞、能楽は「人に会ったときにすすんであいさつするようになった」、演芸は「将来の夢や目標に向かって今まで以上に努力するようになった」、演芸、邦舞、バレエは「学校が今まで以上に好きになった」、演芸、バレエは「難しいことに対しても、失敗を恐れずに挑戦するようになった」の割合が大きくなっている。

図表 75 公演終了後の生活態度の変化(MA)



図表 76 公演終了後の生活態度の変化(学年別・MA)

	調査数	公演終了後の生活態度の変化												
		い人に会ったときになつた	なまつた以上の夢や努力をするようになった	将来の夢や目標に向かって	学校が今まで以上に好きになつた	なつた恐れに挑戦するよ	を恐れずに挑戦するよ	難しさを乗り越えよう	友だちの考えや意見をく	自分の考えや意見をく	工夫するようになつた	発表したり、人に話したり	その他	特にな
全体	7,183	37.5	36.7	36.3	30.8	18.6	18.3	1.2	27.1	2.5				
小学生	小学生計	6,066	40.3	38.9	40.6	33.6	20.2	19.8	1.2	23.5	2.4			
	小学1年生	848	58.8	46.0	66.5	53.3	38.2	37.9	2.0	9.2	1.7			
	小学2年生	997	46.8	45.6	56.4	42.8	22.3	24.1	1.2	12.2	1.2			
	小学3年生	1,056	49.0	44.0	49.0	40.6	22.7	20.8	0.9	17.2	1.9			
	小学4年生	1,015	38.5	41.9	33.0	30.7	18.0	17.1	2.2	25.7	1.0			
	小学5年生	1,067	29.1	30.6	24.1	22.4	13.5	12.7	0.7	34.9	2.0			
中学生	小学6年生	1,040	24.5	27.9	20.9	16.8	10.3	10.6	0.6	38.1	5.9			
	中学生計	1,117	22.2	24.3	12.8	15.6	10.0	9.9	1.0	47.2	2.5			
	中学1年生	350	24.0	24.9	15.7	15.7	11.1	11.4	1.1	43.7	4.0			
	中学2年生	381	23.4	21.3	10.2	15.7	10.5	8.1	0.8	47.5	1.6			
中学3年生	380	19.2	26.8	12.9	15.3	8.7	10.5	1.1	50.0	2.1				

図表 77 公演終了後の生活態度の変化(地域特性別・MA)

	調査数	公演終了後の生活態度の変化												
		い人に会ったときになつた	なまつた以上の夢や努力をするようになった	将来の夢や目標に向かって	学校が今まで以上に好きになつた	なつた恐れに挑戦するよ	を恐れずに挑戦するよ	難しさを乗り越えよう	友だちの考えや意見をく	自分の考えや意見をく	工夫するようになつた	発表したり、人に話したり	その他	特にな
全体	7,183	37.5	36.7	36.3	30.8	18.6	18.3	1.2	27.1	2.5				
地域特性	首都圏	1,322	28.6	30.3	28.2	27.2	13.5	15.1	1.2	38.2	3.4			
	大都市圏	2,300	33.4	35.8	35.2	29.7	19.0	17.0	0.7	26.2	3.3			
	地方都市圏	2,318	42.8	38.9	42.5	34.5	19.8	19.5	1.4	22.7	1.6			
	不利地域	1,243	44.9	40.9	35.3	30.0	21.1	21.7	1.6	25.5	1.5			

図表 78 公演終了後の生活態度の変化(分野別・MA)

	調査数	公演終了後の生活態度の変化										
		人に会ったときになった	将来的に夢や目標に向かって今	学校が今まで以上に好きにな	なつた	を恐れずに挑戦するよう	うにだちの考えや意見を話すよ	自らの考えや意見を話すよ	に工夫するようにな	発表したり、人に話したりす	その他	特にな
全 体	7,183	37.5	36.7	36.3	30.8	18.6	18.3	1.2	27.1	2.5		
演 劇	演劇小計	2,363	41.0	36.7	35.2	29.7	19.2	19.3	1.3	26.5	1.8	
	演 劇	477	40.3	25.8	25.8	21.2	11.7	13.6	1.5	31.0	1.5	
	児童劇	427	33.0	35.6	34.0	34.2	16.9	19.7	0.9	31.1	4.0	
	ミュージカル	1,459	43.6	40.6	38.7	31.2	22.3	21.0	1.3	23.6	1.3	
音 楽	音楽小計	2,329	32.7	35.3	33.9	28.8	19.1	16.5	0.7	27.6	3.3	
	オーケストラ	2,017	30.1	34.0	33.2	28.3	18.2	15.7	0.7	28.1	3.6	
	音楽劇	123	65.0	51.2	43.1	47.2	30.1	24.4	0.0	18.7	0.8	
	合 唱	189	39.7	38.6	35.4	21.7	21.7	20.1	0.5	27.5	1.6	
伝 統 芸 能	伝統芸能小計	1,700	44.4	41.6	44.6	37.6	20.6	22.1	1.1	22.5	1.7	
	演 芸	253	44.7	48.6	55.3	47.4	19.8	28.1	1.6	14.6	2.0	
	能 楽	557	47.8	43.8	42.0	36.3	21.0	21.9	0.7	25.7	1.6	
	邦 楽	527	37.0	36.8	38.9	36.2	17.6	19.4	1.9	28.3	2.3	
	邦 舞	363	49.6	40.2	49.3	35.0	24.8	22.3	0.0	14.9	0.8	
舞 踊	舞踊小計	791	26.5	30.0	28.8	25.7	11.0	12.5	2.8	37.8	3.4	
	バレエ	392	39.3	42.6	47.2	42.3	17.3	19.9	5.1	18.4	2.8	
	現代舞踊	399	14.0	17.5	10.8	9.3	4.8	5.3	0.5	56.9	4.0	

図表 79 公演終了後の生活態度の変化(その他)

文化芸術への興味がわいた (24 件)

- いろんなことに興味を持つようになった。
- 他のものも見たくなった。
- 歌舞伎のような日本のものも見たくなった。
- 劇団四季などを見たいと思うようになった。
- 学校でミュージカルをやってみたい。
- 音楽や文化の本を読むようになった。 等

授業・習い事が好きになった、頑張るようになった (17 件)

- 音楽の教科書で楽器が出てきた時に、言えるようになった。
- 図工に興味を持った。
- 勉強がよくできるようになった。
- 縄跳びを頑張るようにした。
- 習いごとで、練習をたくさんするようになった。
- 自分の夢に向かって頑張るように努力し始めた。 等

自信がついた、積極的になった (11 件)

- 公演を見て、やる気が出てきた。
- 言えなかったことが言えるようになった。
- 自分から友だちを作るようになった。
- 難しいことに挑戦している。
- 人の前にいても緊張しなくなった。
- いじめがもっと怖くなくなった。 等

姿勢・声の出し方に注意するようになった (7 件)

- 姿勢に気をつけるようになった。
- あいさつのしかたを変えた。
- オペラの人みたいに声をいっぱい出そうと思った。
- 自由な表現が大切だと思うようになった。 等

学校が楽しくなった、休まなくなった (3 件)

- 学校を休まないようになった。
- 学校が好きになった。
- 学校が楽しい。

その他 (5 件)

- お母さんのお手伝いをするようになった。
- 裏で頑張っている人がいると思った。
- 時々思い出した。
- すごかった。
- 楽しかった。

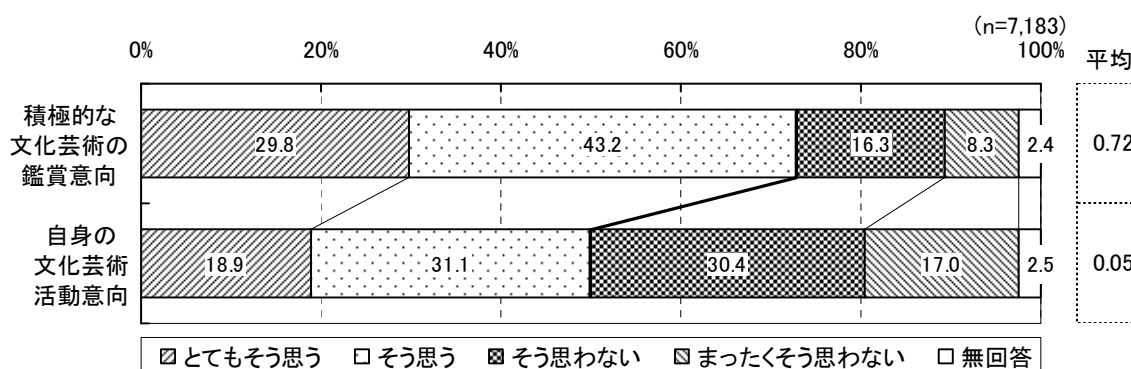
(7) 文化芸術の鑑賞意向・活動意向の変化

① 文化芸術の鑑賞意向・活動意向の変化

【鑑賞意向】積極的な文化芸術の鑑賞意向がある児童・生徒（「とてもそう思う」（29.8%）、
「そう思う」（43.2%）の計）は7割強となっており、本事業を契機として児童・生徒が
積極的な鑑賞意向を示している結果となった。

【活動意向】自身の文化芸術活動意向がある児童・生徒（「とてもそう思う」（18.9%）、
「そう思う」（31.1%）の計）は5割である。鑑賞意向と比べると、自身の文化芸術活動意向
に関しては一定のインパクトがあるものの、自ら活動するに至るにはハードルが高いと感じ
られていることがわかる。

図表 80 文化芸術の鑑賞意向・活動意向の変化(SA)



(注)ここでの平均は「とてもそう思う」=+2、「そう思う」=+1、「そう思わない」=-1、「まったくそう思わない」=-2として回答を重み付けした上で数値化し、その合計を人数で除した加重平均値である。これは「とてもそう思う」と「そう思う」の重みが異なることを加味した平均値であり、これが大きいほど鑑賞意向(活動意向)が強いことがわかる(以下同様)。

② 積極的な文化芸術の鑑賞意向

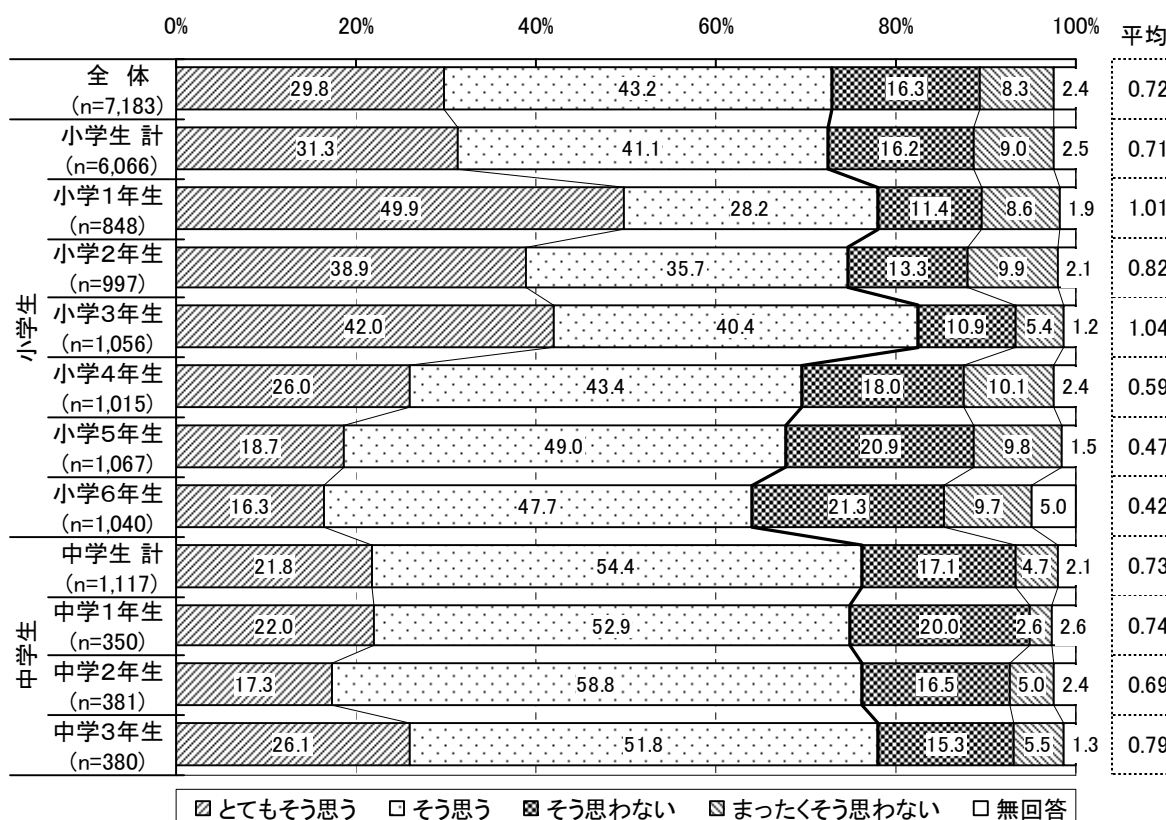
【学年別】小学1～3年生は鑑賞意向が強く（平均：1.01、0.82、1.04）、小学4～6年生は比較的弱くなっている（0.59、0.47、0.42）。中学生は学年による大きな違いは見られない。

【地域特性別】首都圏（0.48）は他地域と比べて鑑賞意向がやや弱い。

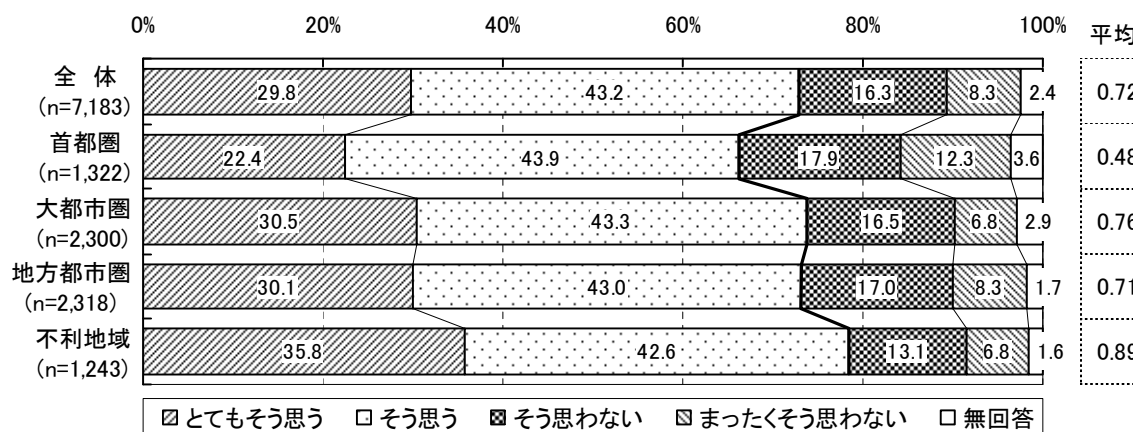
【分野別】音楽劇（1.15）、演芸（1.14）、バレエ（0.99）の鑑賞意向が強い。一方、能楽（0.21）、邦楽（0.33）は比較的弱い。

【交流・共演内容別】交流・共演内容による大きな差は見られない。

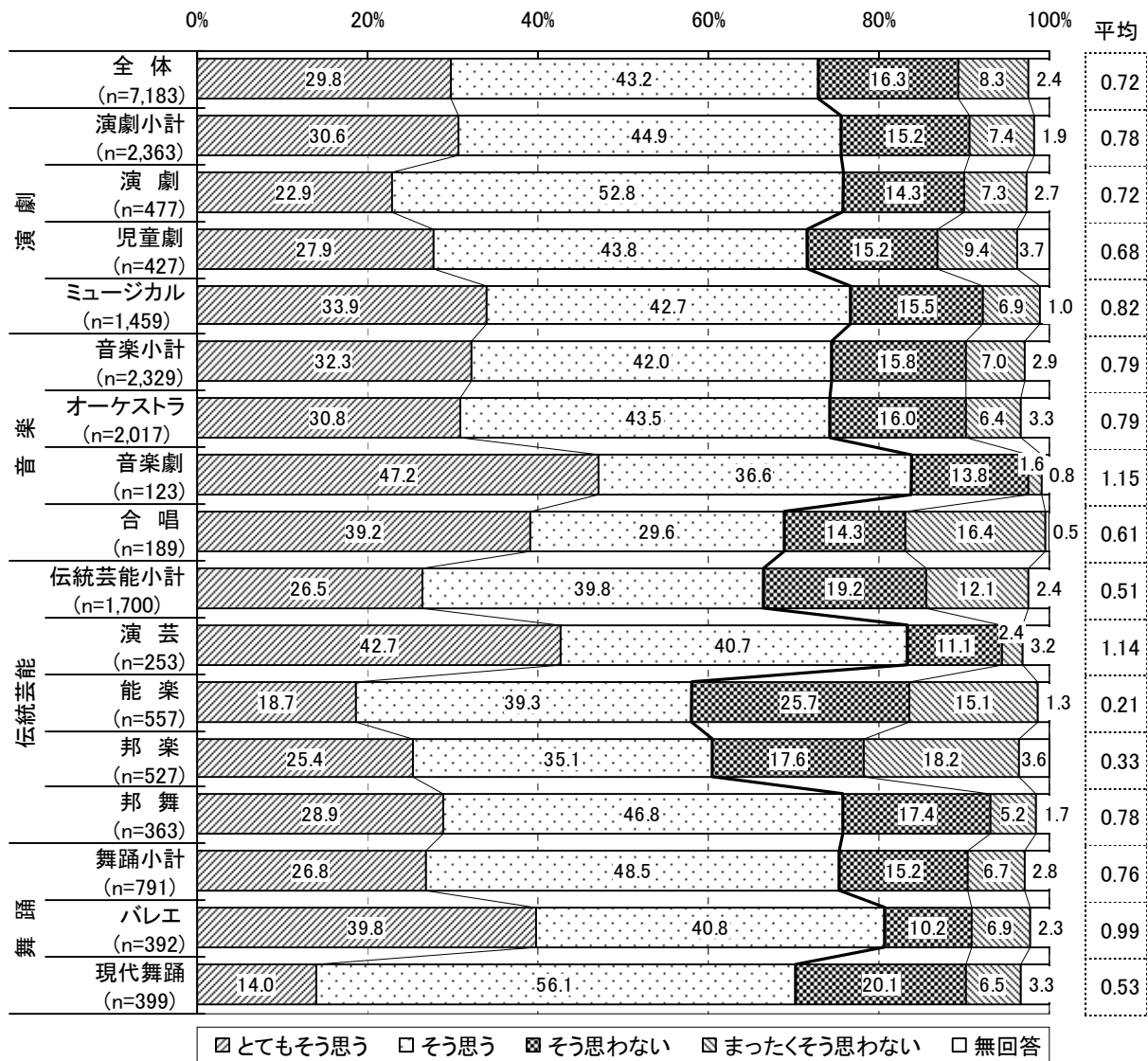
図表 81 積極的な文化芸術の鑑賞意向(学年別・SA)



図表 82 積極的な文化芸術の鑑賞意向(地域特性別・SA)



図表 83 積極的な文化芸術の鑑賞意向(分野別・SA)



図表 84 積極的な文化芸術の鑑賞意向(交流・共演内容別・SA)

	調査数	積極的な文化芸術の鑑賞意向							平均	
		そもそも思う	そう思う	そう思わない	そまっ そう思わ ない	無回答	鑑賞意向あり	鑑賞意向なし		
全体	7,183	29.8	43.2	16.3	8.3	2.4	73.0	24.6	0.72	
交流 (ワークショップ)	技術指導(全校児童・生徒)	2,020	33.6	40.5	15.7	7.4	2.7	74.2	23.1	0.79
	技術指導(一部児童・生徒)	1,697	24.3	46.3	16.1	9.8	3.5	70.6	25.9	0.61
	実演体験	951	29.3	39.9	15.6	12.2	3.0	69.2	27.8	0.60
	演目等解説	1,660	31.1	46.0	14.2	6.6	2.2	77.1	20.7	0.83
	楽器・機器等解説	1,361	33.7	42.0	15.0	5.3	4.0	75.8	20.3	0.87
	作品制作	876	33.6	42.5	15.3	7.0	1.7	76.0	22.3	0.82
	交流給食	512	32.0	42.8	15.0	7.2	2.9	74.8	22.3	0.80
	質疑応答	585	34.4	37.9	14.9	11.3	1.5	72.3	26.2	0.70
	その他	399	14.0	56.1	20.1	6.5	3.3	70.2	26.6	0.53
	交流 (本公演)	技術指導(全校児童・生徒)	3,726	31.9	42.6	16.1	7.2	2.2	74.5	23.3
技術指導(一部児童・生徒)		3,980	27.6	44.3	16.7	8.9	2.5	71.9	25.6	0.67
実演体験		1,829	31.7	41.4	16.7	8.4	1.8	73.1	25.1	0.73
演目等解説		3,458	30.7	42.4	16.7	7.5	2.7	73.1	24.3	0.74
楽器・機器等解説		3,360	31.0	42.0	15.8	8.4	2.9	73.0	24.2	0.74
舞台裏見学		451	30.4	45.0	17.7	5.5	1.3	75.4	23.3	0.78
交流給食		698	29.9	38.5	17.2	11.7	2.6	68.5	28.9	0.59
質疑応答		1,197	28.4	40.8	20.1	9.7	1.1	69.2	29.7	0.59
その他		0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-
共演		全校児童・生徒による登壇・実演	3,962	31.7	43.1	16.0	7.0	2.2	74.8	23.0
	一部児童・生徒による登壇・実演	5,867	28.9	43.7	16.4	8.2	2.8	72.6	24.6	0.71
	教員による登壇・実演	1,509	29.6	42.3	17.6	7.0	3.4	72.0	24.6	0.72

③ 自身の文化芸術活動意向

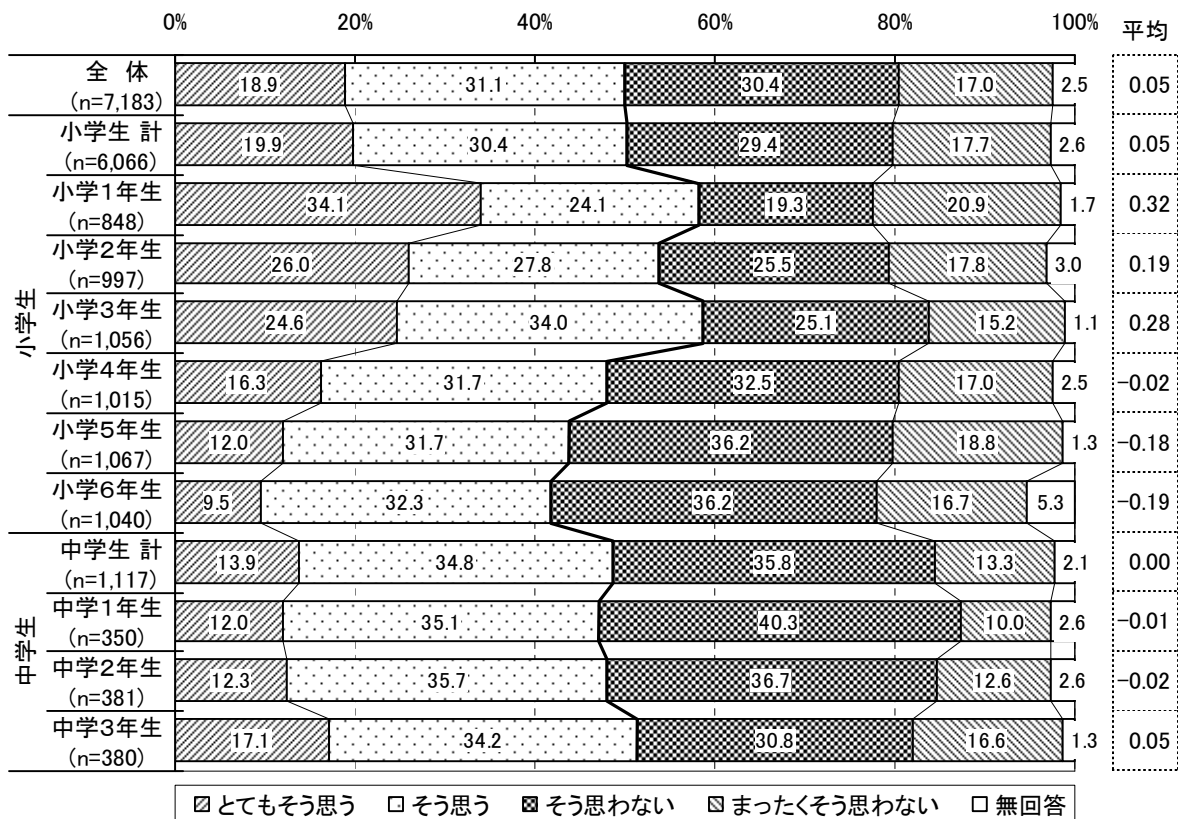
【学年別】小学1～3年生は活動意向が強く（平均：0.32、0.19、0.28）、小学4～6年生は比較的弱い（-0.02、-0.18、-0.19%）。中学生は学年による大きな違いは見られない。

【地域特性別】首都圏（-0.13）は他地域と比べて活動意向がやや弱い。

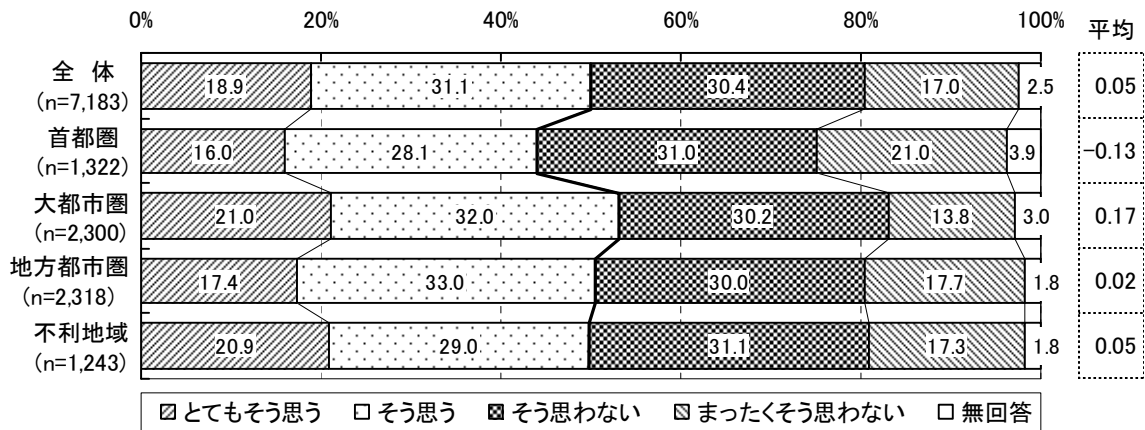
【分野別】バレエ（0.38）、音楽劇（0.33）、演芸（0.29）の活動意向は強いが、能楽（-0.46）、邦楽（-0.21）、現代舞踊（-0.16）は比較的弱い。

【交流・共演内容別】ワークショップで楽器・機器等解説を受けた児童・生徒（0.28）の活動意向が強い。一方、本公演で質疑応答をした児童・生徒（-0.17）は弱くなっている。共演内容による大きな差は見られない。

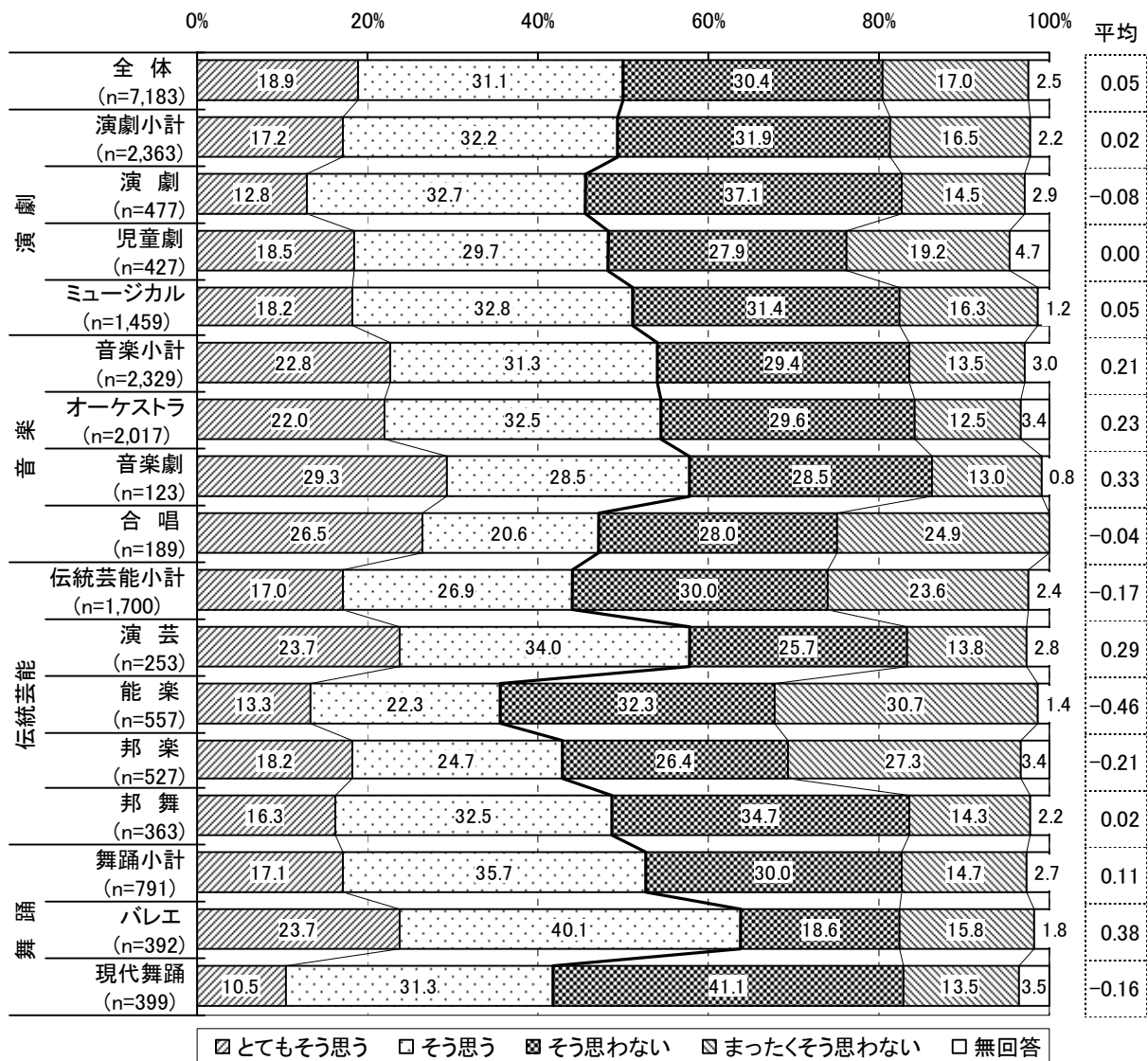
図表 85 自身の文化芸術活動意向(学年別・SA)



図表 86 自身の文化芸術活動意向(地域特性別・SA)



図表 87 自身の文化芸術活動意向(分野別・SA)



図表 88 自身の文化芸術活動意向(交流・共演内容別・SA)

	調査数	自身の文化芸術活動意向							平均	
		とても思う	そう思う	そう思わない	そまっ そう思わ ない	無回答	活動意向あり	活動意向なし		
全体	7,183	18.9	31.1	30.4	17.0	2.5	50.0	47.4	0.05	
交流 (ワークショップ)	技術指導(全校児童・生徒)	2,020	20.9	31.5	30.5	14.2	2.9	52.4	44.8	0.15
	技術指導(一部児童・生徒)	1,697	15.5	31.0	31.5	18.6	3.4	46.5	50.1	-0.07
	実演体験	951	18.6	29.9	27.0	21.5	3.0	48.5	48.5	-0.03
	演目等解説	1,660	18.1	33.8	30.4	15.4	2.3	51.9	45.8	0.09
	楽器・機器等解説	1,361	21.5	35.0	28.3	11.4	3.9	56.4	39.7	0.28
	作品制作	876	19.3	31.8	30.1	16.7	2.1	51.1	46.8	0.07
	交流給食	512	19.9	27.1	29.1	20.3	3.5	47.1	49.4	-0.03
	質疑応答	585	22.4	24.4	29.1	22.2	1.9	46.8	51.3	-0.04
	その他	399	10.5	31.3	41.1	13.5	3.5	41.9	54.6	-0.16
	交流 (本公演)	技術指導(全校児童・生徒)	3,726	20.5	31.5	30.6	15.0	2.4	52.0	45.7
技術指導(一部児童・生徒)		3,980	17.0	30.7	30.8	18.8	2.6	47.8	49.6	-0.04
実演体験		1,829	18.6	31.4	28.4	19.7	1.9	50.1	48.1	0.01
演目等解説		3,458	20.5	31.7	28.7	16.3	2.7	52.3	45.0	0.12
楽器・機器等解説		3,360	20.7	32.3	28.0	16.1	2.8	53.0	44.1	0.14
舞台裏見学		451	16.4	29.9	34.6	18.0	1.1	46.3	52.5	-0.08
交流給食		698	19.3	25.8	30.7	21.3	2.9	45.1	52.0	-0.09
質疑応答		1,197	16.4	27.9	32.0	22.7	1.0	44.3	54.7	-0.17
その他		0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-
共演		全校児童・生徒による登壇・実演	3,962	20.4	31.8	30.8	14.7	2.4	52.2	45.4
	一部児童・生徒による登壇・実演	5,867	18.4	31.5	30.3	17.0	2.9	49.9	47.2	0.04
	教員による登壇・実演	1,509	20.1	30.8	31.5	14.2	3.4	50.9	45.7	0.11

(8) 印象に残っている公演の内容の活動・生活への影響

【公演終了後の行動】印象に残っている公演内容に関わらず、家族や友だち、先生と公演について話をした生徒が8割以上を占めており、アーティストと共演した生徒ではその割合が特に大きくなっている。

また、本事業の特徴である団体の方との交流（「舞台づくりや後片付けを一緒に手伝ったこと」「団体の方にいろいろと質問したり、お話ししたりできたこと」）が印象に残っている児童・生徒では、「図書室やインターネットなどで文化芸術について調べた」の割合が大きく、団体の方との交流が児童・生徒の自発的な行動につながりやすいものと考えられる。

【文化活動の変化】団体の方との交流が印象に残っている児童・生徒では、文化活動に変化が生じた割合が全体として大きくなっている。特にこうした団体の方との交流は、日常生活のやる気の向上だけに止まらず、「家族などと休日に文化芸術を鑑賞する機会が増えた」「文化芸術関係の習い事に通い始めるようになった」など、具体的な文化活動の変化に与える影響も大きい。

【生活態度の変化】団体の方との交流が印象に残っている児童・生徒では、生活態度に変化が生じた割合が全体として大きくなっている。特にこうした団体との交流は、「自分の考えや意見をクラスの友だちなどにすすんで話すようになった」「発表したり、人に話したりするときに、うまく伝わるように工夫するようになった」など、他者とのコミュニケーションに関する変化に与える影響も大きい。

図表 89 印象に残っている公演の内容別にみた公演終了後の行動(クロス集計)

	調査数	公演終了後の行動					
		の帰宅後に家族と話をした	友人や先生と話をした	公演のときや先生と話をした	図書室やインターネットで調べた	その他	特になし
全体	7,183	73.2	49.1	4.4	6.5	12.8	1.8
印象に残っている公演内容							
アーティストの熱演を間近で鑑賞したこと	4,921	80.1	57.3	5.2	7.0	7.7	0.8
学校の体育館が舞台装置によってその日だけ特別な空間になったこと	3,792	81.4	58.3	5.4	8.5	7.4	0.9
分かりやすく解説をしてもらえたこと	3,432	84.2	57.0	5.8	6.4	6.7	0.8
美術、照明、音響などのスタッフの方が公演を支えているとわかったこと	2,798	81.1	63.3	6.6	8.9	6.8	0.8
日本文化が素晴らしいものだということ	2,153	84.3	59.3	6.8	7.7	6.0	0.9
団体の方にいろいろと質問したり、お話ししたりできたこと	866	86.8	67.6	11.5	8.5	4.6	1.5
アーティストの方たちと舞台上で一緒に共演できたこと	815	87.4	59.6	9.2	7.6	4.7	0.2
アーティストの方たちと給食を一緒に食べたこと	499	85.2	58.9	5.4	9.0	7.2	0.6
体育館につくられた舞台の裏側を見たり、機械をさわったりできたこと	310	82.9	57.7	9.0	8.4	6.5	1.3
舞台づくりや後片付けを一緒に手伝ったこと	118	83.1	64.4	17.8	8.5	4.2	1.7
その他	185	84.3	64.3	7.0	30.3	4.3	1.6
特になし	343	19.5	9.3	0.9	1.5	71.7	0.9

図表 90 印象に残っている公演の内容別にみた文化活動の変化(クロス集計)

	調査数	公演終了後の文化活動の変化									
		の音向テリ今り賞家め文な文化その他特に無	出勉楽楽レビ今ま組む文化賞する族る化文部活た他ない回答	して強ややのてでむまよる機などる化部活た他ない回答	取り今国語など文化芸術関係の行事や部活動に	組むよると興味を持った	よりもやる気が出た	機会が増えた	ように関係の習い事に通い始	文化活動に参加するよう	に
全 体	7,183	33.5	23.4	14.5	3.9	2.0	0.2	1.5	44.0	3.2	
印象に残っている公演内容											
アーティストの熱演を間近で鑑賞したこと	4,921	37.0	27.2	17.3	4.6	2.3	0.2	1.8	39.7	2.3	
学校の体育館が舞台装置によってその日だけ特別な空間になったこと	3,792	40.7	27.0	19.9	5.0	2.6	0.1	2.0	36.6	2.8	
分かりやすく解説をしてもらえたこと	3,432	45.8	29.2	20.3	5.3	2.7	0.1	2.1	32.1	2.7	
美術、照明、音響などのスタッフの方が公演を支えているとわかったこと	2,798	41.2	29.7	22.3	6.0	3.2	0.3	2.4	35.3	2.4	
日本文化が素晴らしいものだということ	2,153	46.6	32.0	20.9	6.1	3.4	0.2	2.3	31.0	2.4	
団体の方にいろいろと質問したり、お話ししたりできたこと	866	50.1	35.1	29.3	9.9	5.0	0.2	2.5	27.7	3.1	
アーティストの方たちと舞台で一緒に共演できたこと	815	50.8	26.9	27.2	7.4	2.9	0.6	1.8	27.7	2.0	
アーティストの方たちと給食を一緒に食べたこと	499	41.1	20.4	25.1	8.2	4.8	0.4	1.6	38.3	4.2	
体育館につくられた舞台の裏側を見たり、機械をさわったりできたこと	310	41.0	26.8	21.9	8.4	4.5	0.3	1.6	33.9	4.2	
舞台づくりや後片付けと一緒に手伝ったこと	118	40.7	40.7	28.0	13.6	8.5	2.5	3.4	29.7	2.5	
その他	185	51.9	42.2	22.2	6.5	6.5	0.0	16.2	29.7	1.1	
特になし	343	7.3	2.3	1.5	0.3	0.0	0.0	0.9	87.8	1.2	

図表 91 印象に残っている公演の内容別にみた生活態度の変化(クロス集計)

	調査数	公演終了後の生活態度の変化								
		い人に会ったときになつた	なまて以上努力するようになった	将来の夢や目標に向かって今	学校が今まで以上に好きになつた	なを恐れずに挑戦するようになった	友だちの考えや意見をくわすようになった	自信がなくなった	発したとき、人に話したりするようになった	その他
全 体	7,183	37.5	36.7	36.3	30.8	18.6	18.3	1.2	27.1	2.5
印象に残っている公演内容										
アーティストの熱演を間近で鑑賞したこと	4,921	42.1	41.8	40.7	34.9	21.9	21.6	1.4	22.8	1.5
学校の体育館が舞台装置によってその日だけ特別な空間になったこと	3,792	44.4	45.7	46.0	39.9	23.9	24.6	1.7	20.2	1.6
分かりやすく解説をもらえたこと	3,432	47.8	47.1	48.1	42.5	27.1	26.0	1.6	16.7	1.5
美術、照明、音響などのスタッフの方が公演を支えているとわかったこと	2,798	45.9	49.0	45.1	41.7	26.4	26.2	2.0	20.4	1.2
日本文化が素晴らしいものだということ	2,153	49.0	50.5	52.4	45.2	27.7	29.2	2.1	15.2	1.1
団体の方にいろいろと質問したり、お話ししたりできたこと	866	56.4	53.7	53.3	51.5	36.8	36.4	2.5	14.3	1.4
アーティストの方たちと舞台で一緒に共演できたこと	815	49.1	53.5	51.4	44.7	29.1	29.9	2.0	15.0	0.4
アーティストの方たちと給食を一緒に食べたこと	499	46.1	48.9	48.7	37.1	25.7	26.1	1.2	18.2	1.4
体育館につくられた舞台の裏側を見たり、機械をさわったりできたこと	310	48.7	48.7	44.8	40.0	27.1	27.1	2.3	17.7	1.6
舞台づくりや後片付けと一緒に手伝ったこと	118	41.5	50.0	44.9	45.8	34.7	34.7	4.2	25.4	1.7
その他	185	50.8	44.9	48.6	42.2	29.7	33.0	7.0	23.2	1.1
特になし	343	10.8	11.1	8.2	8.2	2.0	1.7	0.9	76.7	0.6

(9) 印象に残っている公演の内容の鑑賞意向・活動意向への影響

【鑑賞意向】団体の方との交流（「舞台づくりや後片付けと一緒に手伝ったこと」「団体の方にいろいろと質問したり、お話ししたりできたこと」）や、舞台上での共演が印象に残っている児童・生徒では、積極的な鑑賞意向について、「とてもそう思う」と回答している割合は4割程度と大きく、交流や共演が鑑賞意向に影響を与えていることがわかる。

【活動意向】団体の方との交流（「舞台づくりや後片付けと一緒に手伝ったこと」「団体の方にいろいろと質問したり、お話ししたりできたこと」）や、舞台上での共演が印象に残っている児童・生徒では、自身の文化芸術活動意向について、「とてもそう思う」と回答している割合は3割程度と大きく、交流や共演が活動意向に影響を与えていることがわかる。

図表 92 印象に残っている公演の内容別にみた積極的な文化芸術の鑑賞意向(クロス集計)

	調査数	積極的な文化芸術の鑑賞意向							平均
		とても思う	そう思う	そう思わない	まったく思わない	無回答	鑑賞意向あり	鑑賞意向なし	
全体	7,183	29.8	43.2	16.3	8.3	2.4	73.0	24.6	0.72
印象に残っている公演内容									
アーティストの熱演を間近で鑑賞したこと	4,921	34.2	45.4	13.5	5.0	1.9	79.6	18.5	0.92
学校の体育館が舞台装置によってその日だけ特別な空間になったこと	3,792	34.7	44.0	13.9	5.7	1.7	78.7	19.6	0.90
分かりやすく解説をしてもらえたこと	3,432	37.4	41.4	13.2	5.8	2.2	78.8	19.0	0.93
美術、照明、音響などのスタッフの方が公演を支えているとわかったこと	2,798	37.2	43.7	12.9	4.6	1.6	80.9	17.5	0.98
日本文化が素晴らしいものだということ	2,153	38.0	41.4	12.6	6.1	1.8	79.4	18.8	0.94
団体の方にいろいろと質問したり、お話ししたりできたこと	866	43.9	36.8	13.2	4.3	1.8	80.7	17.4	1.05
アーティストの方たちと舞台上で一緒に共演できたこと	815	42.2	38.0	12.9	5.3	1.6	80.2	18.2	1.01
アーティストの方たちと給食と一緒に食べたこと	499	38.9	36.3	14.2	8.0	2.6	75.2	22.2	0.86
体育館につくられた舞台の裏側を見たり、機械をさわったりできたこと	310	37.1	39.7	16.1	4.2	2.9	76.8	20.3	0.92
舞台づくりや後片付けと一緒に手伝ったこと	118	40.7	43.2	6.8	3.4	5.9	83.9	10.2	1.18
その他	185	43.8	37.3	13.0	3.8	2.2	81.1	16.8	1.07
特になし	343	7.9	19.5	27.1	44.0	1.5	27.4	71.1	-0.81

図表 93 印象に残っている公演の内容別にみた自身の文化芸術活動意向(クロス集計)

	調査数	自身の文化芸術活動意向							平均
		とても思う	そう思う	そう思わない	まったく思わない	無回答	活動意向あり	活動意向なし	
全体	7,183	18.9	31.1	30.4	17.0	2.5	50.0	47.4	0.05
印象に残っている公演内容									
アーティストの熱演を間近で鑑賞したこと	4,921	20.8	33.7	30.2	13.5	1.9	54.4	43.6	0.18
学校の体育館が舞台装置によってその日だけ特別な空間になったこと	3,792	21.8	33.4	28.7	14.4	1.7	55.2	43.1	0.20
分かりやすく解説をしてもらえたこと	3,432	24.6	32.5	26.9	13.7	2.4	57.1	40.6	0.28
美術、照明、音響などのスタッフの方が公演を支えているとわかったこと	2,798	23.8	32.6	28.6	13.1	1.9	56.4	41.7	0.26
日本文化が素晴らしいものだということ	2,153	25.1	31.8	26.3	14.8	2.0	56.9	41.1	0.27
団体の方にいろいろと質問したり、お話ししたりできたこと	866	32.1	30.6	22.5	13.0	1.7	62.7	35.6	0.47
アーティストの方たちと舞台上で一緒に共演できたこと	815	27.5	29.9	28.0	12.8	1.8	57.4	40.7	0.32
アーティストの方たちと給食と一緒に食べたこと	499	23.4	26.5	30.3	17.4	2.4	49.9	47.7	0.08
体育館につくられた舞台の裏側を見たり、機械をさわったりできたこと	310	21.0	32.3	28.7	15.8	2.3	53.2	44.5	0.14
舞台づくりや後片付けと一緒に手伝ったこと	118	30.5	37.3	19.5	8.5	4.2	67.8	28.0	0.65
その他	185	33.0	25.4	26.5	11.9	3.2	58.4	38.4	0.42
特になし	343	7.0	11.4	24.5	55.1	2.0	18.4	79.6	-1.12

(注) 平均は「とてもそう思う」= +2、「そう思う」= +1、「そう思わない」= -1、「まったくそう思わない」= -2とした加重平均値。

(10) 公演終了後の行動の活動・生活への影響

【文化活動の変化】公演終了後に文化芸術について調べた児童・生徒では、「音楽や国語などの関係する教科の勉強に今までよりもやる気を出して取り組むようになった」「テレビ等で文化芸術が取り上げられていると興味を持って目を向けるようになった」「文化芸術関係の行事や部活動に今までよりもやる気を出して取り組むようになった」「家族などと休日に文化芸術を鑑賞する機会が増えた」の割合が大きい。調べ物をするなど自発的な行動を起こす児童・生徒は、公演によって受ける影響が大きく、文化活動に変化が生じる割合も大きいものと考えられる。

【生活態度の変化】文化芸術について調べた児童・生徒では、全体として生活態度に変化が生じた割合が大きい。調べ物をするなど自発的な行動を起こす児童・生徒は、公演によって受ける影響が大きく、生活態度に変化が生じる割合も大きいものと考えられる。

図表 94 公演終了後の行動別にみた文化活動の変化(クロス集計)

	調査数	公演終了後の文化活動の変化								
		出の音向テり今文賞家め文ななそ特無	し勉楽けるれ組ま化族る化文化	取強やけらレ組ますする化部	組今語のうよ等むよるるるる	む今語のうよ等むよるるるる	む今語のうよ等むよるるるる	む今語のうよ等むよるるるる	む今語のうよ等むよるるるる	む今語のうよ等むよるるるる
全 体	7,183	33.5	23.4	14.5	3.9	2.0	0.2	1.5	44.0	3.2
後 公 演 行 動 了										
帰宅後に家族と公演のことについて話をした	5,256	39.9	28.1	17.4	4.8	2.5	0.2	1.8	36.9	1.8
公演のことについて友だちや先生と話をした	3,530	41.4	31.4	21.4	5.8	2.7	0.2	2.0	33.6	2.2
図書室やインターネットなどで文化芸術について調べた	317	56.2	54.9	31.5	18.0	10.4	1.3	4.4	18.9	0.3
その他	464	35.1	23.7	13.4	4.7	5.0	0.0	7.1	47.2	2.6
特になし	921	10.5	3.5	3.4	1.0	0.2	0.1	0.4	83.9	0.4

図表 95 公演終了後の行動別にみた生活態度の変化(クロス集計)

	調査数	公演終了後の生活態度の変化								
		人いなま将な学なを難う友自に発そ特無	にさ会なま来の校をを友自に発そ特無	にさ会なま来の校をを友自に発そ特無	にさ会なま来の校をを友自に発そ特無	にさ会なま来の校をを友自に発そ特無	にさ会なま来の校をを友自に発そ特無	にさ会なま来の校をを友自に発そ特無	にさ会なま来の校をを友自に発そ特無	にさ会なま来の校をを友自に発そ特無
全 体	7,183	37.5	36.7	36.3	30.8	18.6	18.3	1.2	27.1	2.5
後 公 演 行 動 了										
帰宅後に家族と公演のことについて話をした	5,256	43.1	43.2	43.4	36.2	22.1	22.1	1.2	19.7	1.1
公演のことについて友だちや先生と話をした	3,530	45.8	46.5	44.8	39.5	26.7	25.2	1.5	19.1	0.9
図書室やインターネットなどで文化芸術について調べた	317	59.0	59.6	50.8	51.7	40.7	40.1	4.4	16.1	0.3
その他	464	44.6	39.9	43.5	38.1	22.4	23.5	6.7	21.8	1.3
特になし	921	16.9	14.4	13.0	13.6	6.0	5.3	0.7	63.6	0.3

(11) 文化芸術の鑑賞経験とその後の影響、意向

【印象に残っているワークショップの内容】鑑賞経験による大きな差は見られない。

【印象に残っている公演の内容】他の種目を鑑賞したことはあったが今回の種目の鑑賞は初めてだった児童・生徒は「学校の体育館が舞台装置によってその日だけ特別な空間になったこと」の割合がやや大きい。

【公演終了後の行動】他の種目を鑑賞したことはあったが今回の種目の鑑賞は初めてだった児童・生徒は「公演のことについて友だちや先生と話をした」の割合がやや大きくなっている。

【文化活動の変化】鑑賞経験による大きな差は見られない。

【生活態度の変化】鑑賞経験による大きな差は見られない。

図表 96 文化芸術の鑑賞経験別にみた印象に残っているワークショップの内容(クロス集計)

	調査数	印象に残っているワークショップの内容							無回答
		にいなも分動導アその他特にないしてワークショップには参加	い本もら分動導アその他特にないしてワークショップには参加	な公持かかりしをアししてワークショップには参加	つ演つたのりやしたてイイイワークショップには参加	た日のがのたのすく解説をしワークショップには参加	とて共演内容でも興味ワークショップには参加	も楽しみワークショップには参加	
全体	7,183	49.6	48.7	30.0	3.5	6.6	15.1	4.3	
鑑賞文化芸術を間近で鑑賞したのは今回が初めてだった	2,416	54.1	51.9	31.9	2.9	5.3	11.9	3.6	
鑑賞他の種目を鑑賞したことはあったが今回の種目の鑑賞は初めてだった	2,294	51.4	49.6	31.0	3.9	4.6	16.9	4.4	
鑑賞今回の種目も他の種目も鑑賞したことがあった	1,247	49.0	51.9	29.3	3.8	5.1	15.9	4.3	
鑑賞よく覚えていない	890	33.3	32.9	21.3	3.1	13.9	16.7	4.6	

図表 97 文化芸術の鑑賞経験別にみた印象に残っている公演の内容(クロス集計)

	調査数	印象に残っている公演の内容												無回答							
		近で鑑賞したこと	アールテイストの熱演を間	な空間になったこと	学校の体育館が舞台装置	もらえたりよく解説をして	分かりやすくて興味	えていてわかつたこと支の	美術、照明、音響などが支の	の文化が素晴らしいも	日本文化が素晴らしいも	きたこと	団体の方と話したりと		こと	アールテイストの方たちと	給食を一緒に食べたこと	アールテイストの方たちと	さわりたり見たり、機械を	体育館につくられた舞台	一緒に手伝ったこと
全体	7,183	68.5	52.8	47.8	39.0	30.0	12.1	11.3	6.9	4.3	1.6	2.6	4.8	1.3							
鑑賞文化芸術を間近で鑑賞したのは今回が初めてだった	2,416	71.0	54.6	50.0	37.1	31.4	12.6	10.5	10.2	5.1	1.8	1.9	2.7	0.5							
鑑賞他の種目を鑑賞したことはあったが今回の種目の鑑賞は初めてだった	2,294	73.0	59.1	50.9	43.9	32.4	11.9	14.2	4.8	3.8	1.4	3.5	2.5	0.8							
鑑賞今回の種目も他の種目も鑑賞したことがあった	1,247	70.5	49.6	47.8	42.9	28.5	12.8	10.8	4.7	4.1	2.0	2.6	3.0	0.7							
鑑賞よく覚えていない	890	49.2	36.2	32.5	26.0	20.7	8.4	6.9	5.3	3.0	1.3	1.6	19.2	1.3							

図表 98 文化芸術の鑑賞経験別にみた公演終了後の行動(クロス集計)

	調査数	公演終了後の行動						
		した こと に つ い て 話 を し た	婦 宅 後 に 家 族 と 公 演	友 だ ち や 先 生 と 話 を し た	公 演 の こ と に つ い て 話 を し た	図 書 室 や イン ター ネ ット な ど で 文 化 芸 術 に つ い て 調 べ た	そ の 他	特 に な い
全 体	7,183	73.2	49.1	4.4	6.5	12.8	1.8	
鑑賞 経験 よく覚えている	2,416	77.4	49.4	3.1	5.5	10.6	0.4	
鑑賞 経験 他の種目を鑑賞したことはあったが今回の種目の鑑賞は初めてだった	2,294	77.4	55.4	5.2	8.1	8.8	0.8	
鑑賞 経験 今回の種目も他の種目も鑑賞したことがあった	1,247	75.9	50.9	6.2	7.3	10.4	1.2	
鑑賞 経験 よく覚えていない	890	51.0	31.6	2.9	2.8	34.0	2.0	

図表 99 文化芸術の鑑賞経験別にみた公演終了後の文化活動の変化(クロス集計)

	調査数	公演終了後の文化活動の変化										
		出 し て 取 り 組 む よ う に な っ た	音 楽 や 国 語 な ど の 関 係 す る 教 育 を 受 け た	向 け て い る よ う に な っ た	レ ジ ス ト 等 の 関 係 す る 活 動 に 参 加 す る よ う に な っ た	今 ま で よ り も 興 味 を 持 っ て 取 り 組 む よ う に な っ た	文 化 芸 術 関 係 の 行 事 や 部 活 動 に 参 加 す る 機 会 が 増 え た	家 族 な ど と 休 日 に 文 化 芸 術 を 鑑 賞 す る 機 会 が 増 え た	め ん て の 文 化 芸 術 関 係 の 事 に 通 い 始 め た	な ん だ か 文 化 部 活 動 に 参 加 す る よ う に な っ た	そ の 他	特 に な い
全 体	7,183	33.5	23.4	14.5	3.9	2.0	1.5	44.0	3.2			
鑑賞 経験 よく覚えている	2,416	37.7	23.6	14.3	3.6	1.4	0.1	40.9	2.2			
鑑賞 経験 他の種目を鑑賞したことはあったが今回の種目の鑑賞は初めてだった	2,294	35.8	26.5	16.4	3.6	2.0	0.1	42.1	1.8			
鑑賞 経験 今回の種目も他の種目も鑑賞したことがあった	1,247	31.6	27.4	15.2	5.9	3.2	0.2	42.3	2.3			
鑑賞 経験 よく覚えていない	890	19.0	10.4	7.0	2.1	1.2	0.2	67.4	2.7			

図表 100 文化芸術の鑑賞経験別にみた公演終了後の生活態度の変化(クロス集計)

	調査数	公演終了後の生活態度の変化										
		い ま に あ ら わ る よ う に な っ た	な ん だ か 夢 や 目 標 に 向 か っ て 今 ま で 上 に な っ た	将 来 の 夢 や 目 標 に 向 か っ て 今 ま で 上 に な っ た	学 校 が 今 ま で 上 に 好 き に な っ た	な ん だ か 恐 れ れ ず に 挑 戦 す る よ う に な っ た	な ん だ か 恐 れ れ ず に 挑 戦 す る よ う に な っ た	友 だ ち や 自 分 の 考 え や 見 解 を ク ラ ス メ イト と 話 す よ う に な っ た	自 分 の 考 え や 見 解 を ク ラ ス メ イト と 話 す よ う に な っ た	発 表 し た り 、 人 に 話 し た り 、 ま だ 話 さ な い よ う に な っ た	そ の 他	特 に な い
全 体	7,183	37.5	36.7	36.3	30.8	18.6	18.3	1.2	27.1	2.5		
鑑賞 経験 よく覚えている	2,416	40.8	36.6	40.1	31.4	19.2	17.5	0.7	24.3	1.0		
鑑賞 経験 他の種目を鑑賞したことはあったが今回の種目の鑑賞は初めてだった	2,294	40.0	40.9	40.7	34.6	19.3	20.8	1.7	24.3	1.0		
鑑賞 経験 今回の種目も他の種目も鑑賞したことがあった	1,247	34.6	39.5	31.3	31.5	20.1	19.4	0.9	26.5	1.4		
鑑賞 経験 よく覚えていない	890	26.3	22.7	21.3	18.9	9.4	10.8	0.8	49.3	1.1		

(12) ワークショップおよび本公演における交流・共演内容による活動・生活への影響

【公演終了後の行動】 交流内容では、ワークショップで全校での技術指導、楽器・機器等解説、作品制作、交流給食を体験した児童・生徒は「帰宅後に家族と公演のことについて話をした」の割合がやや大きい。

また、本公演で全校での技術指導を体験した児童・生徒は「帰宅後に家族と公演のことについて話をした」、実演体験した児童・生徒は「公演のことについて友だちや先生と話をした」の割合がやや大きくなっている。

共演内容では、教員による登壇・実演は「帰宅後に家族と公演のことについて話をした」の割合がやや大きい。

【文化活動の変化】 ワークショップで交流給食を体験した児童・生徒は「音楽や国語などの関係する教科の勉強に今までよりもやる気を出して取り組むようになった」の割合が大きい。

また、本公演で実演体験した児童・生徒は「音楽や国語などの関係する教科の勉強に今までよりもやる気を出して取り組むようになった」の割合がやや大きくなっている。

共演内容による大きな差は見られない。

【生活態度の変化】 ワークショップで交流給食を体験した児童・生徒は「人に会ったときにすすんであいさつするようになった」「将来の夢や目標に向かって今まで以上に努力するようになった」、質疑応答をした児童・生徒は「人に会ったときにすすんであいさつするようになった」の割合が大きい。

また、本公演で実演体験した児童・生徒は「学校が今まで以上に好きになった」の割合が大きくなっている。

共演内容による大きな差は見られない。

図表 101 ワークショップおよび本公演における交流・共演内容別にみた
公演終了後の行動(クロス集計)

	調査数	公演終了後の行動						
		したと後につい て話をした	友だちや先生と 話をした	ネットやイン ターネット	その他	特 に な い	無 回 答	
全 体	7,183	73.2	49.1	4.4	6.5	12.8	1.8	
交流 (ワ ー ク シ ョ ッ プ)	技術指導(全校児童・生徒)	2,020	80.0	46.5	3.7	5.2	9.8	1.6
	技術指導(一部児童・生徒)	1,697	61.9	43.3	2.9	6.8	18.4	2.8
	実演体験	951	73.1	41.9	4.3	1.3	15.9	2.4
	演目等解説	1,660	73.5	49.2	3.9	12.5	10.2	1.4
	楽器・機器等解説	1,361	79.9	47.0	4.1	2.8	9.3	2.1
	作品制作	876	78.5	47.5	3.7	11.4	9.1	1.0
	交流給食	512	79.1	47.7	3.7	13.5	8.4	1.2
	質疑応答	585	77.3	49.2	4.1	11.5	10.1	1.0
	その他	399	37.1	46.1	2.3	0.0	30.3	3.8
交流 (本 公 演)	技術指導(全校児童・生徒)	3,726	78.3	47.5	4.1	4.1	10.4	1.5
	技術指導(一部児童・生徒)	3,980	69.1	50.5	4.7	8.2	14.7	2.1
	実演体験	1,829	77.4	54.4	6.6	8.0	10.2	1.6
	演目等解説	3,458	77.1	50.1	5.1	4.8	10.7	1.6
	楽器・機器等解説	3,360	76.2	46.2	3.9	4.0	12.1	2.0
	舞台裏見学	451	75.6	45.7	4.4	3.8	12.0	1.3
	交流給食	698	76.5	52.3	3.9	9.5	13.3	2.3
	質疑応答	1,197	74.3	53.3	6.9	6.6	12.3	1.3
その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
共 演	全校児童・生徒による登壇・実演	3,962	77.2	47.8	4.2	3.9	10.9	1.4
	一部児童・生徒による登壇・実演	5,867	72.3	49.2	4.5	6.0	13.3	2.1
	教員による登壇・実演	1,509	78.3	42.5	2.7	1.5	11.9	1.7

図表 102 ワークショップおよび本公演における交流・共演内容別にみた
公演終了後の文化活動の変化(クロス集計)

	調査数	公演終了後の文化活動の変化											
		出し強めて取り組むようになった	音楽や国語などの関係する教科	向けるようになると興味を持つようになった	テレビ等で文化芸術を取り上げられた	り組むようになつた	今更により関係の行事や部活動に	賞する機会が増えた	家族などと休日文化芸術を鑑	め文化芸術関係の習い事に通い始	な文化活動に参加するように	その他	特にな
全体	7,183	33.5	23.4	14.5	14.5	3.9	2.0	0.2	1.5	44.0	3.2		
交流(ワークショップ)	技術指導(全校児童・生徒)	2,020	39.7	23.9	14.6	3.9	2.9	0.0	1.4	38.8	2.9		
	技術指導(一部児童・生徒)	1,697	24.6	19.2	10.5	2.5	1.6	0.2	1.6	53.2	3.9		
	実演体験	951	32.1	23.2	11.9	3.5	2.7	0.1	1.5	46.4	4.2		
	演目等解説	1,660	35.1	23.8	15.5	3.6	2.5	0.1	2.2	42.7	2.3		
	楽器・機器等解説	1,361	38.7	23.4	15.4	5.1	2.9	0.1	1.4	36.6	3.7		
	作品制作	876	41.1	26.1	16.3	2.6	3.1	0.0	2.2	38.6	1.8		
	交流給食	512	43.6	26.8	18.8	3.1	4.3	0.0	2.9	35.5	2.5		
	質疑応答	585	43.2	24.1	19.3	4.1	4.1	0.0	2.2	36.6	3.8		
その他	399	8.3	16.0	6.8	0.5	0.5	0.8	1.0	69.4	4.0			
交流(本公演)	技術指導(全校児童・生徒)	3,726	38.4	24.9	15.5	3.9	2.3	0.2	1.6	39.0	2.9		
	技術指導(一部児童・生徒)	3,980	30.2	23.0	13.5	3.8	1.5	0.3	1.4	47.4	3.5		
	実演体験	1,829	41.8	28.0	16.6	4.7	2.2	0.0	1.4	36.0	2.6		
	演目等解説	3,458	38.3	26.0	15.5	4.6	1.9	0.1	1.6	37.9	2.9		
	楽器・機器等解説	3,360	34.6	22.6	15.6	4.4	2.4	0.3	1.7	41.4	3.5		
	舞台裏見学	451	31.5	22.2	17.5	4.7	1.6	1.6	1.1	46.6	2.0		
	交流給食	698	30.1	14.3	17.9	5.3	3.3	0.0	1.4	52.3	4.9		
	質疑応答	1,197	35.8	25.7	15.2	4.3	1.2	0.6	0.9	43.7	1.8		
その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
共演	全校児童・生徒による登壇・実演	3,962	37.2	25.3	15.3	4.0	2.2	0.2	1.7	39.8	2.9		
	一部児童・生徒による登壇・実演	5,867	31.9	23.2	13.9	4.0	1.8	0.2	1.5	44.8	3.4		
	教員による登壇・実演	1,509	34.5	23.1	12.7	4.3	2.1	0.5	1.2	41.9	2.6		

図表 103 ワークショップおよび本公演における交流・共演内容別にみた
公演終了後の生活態度の変化(クロス集計)

	調査数	公演終了後の生活態度の変化										
		い人さにつくすたよきにすたんであ	なまつた	将来の夢や目標に向かうことに	なまが今までの以上に好きに	なを恐れた	う友にたこと	自にちの考えや意見で話すよ	に工夫するようになつた	発表したり、人に話したりす	その他	特にな
全体	7,183	37.5	36.7	36.3	30.8	18.6	18.3	1.2	27.1	2.5		
交流(ワークショップ)	技術指導(全校児童・生徒)	2,020	39.5	38.4	41.5	29.2	21.3	20.0	0.9	21.3	3.2	
	技術指導(一部児童・生徒)	1,697	33.4	30.6	30.5	25.5	12.5	15.1	2.1	33.5	2.8	
	実演体験	951	40.0	38.6	38.6	34.3	18.5	21.0	1.8	26.3	2.3	
	演目等解説	1,660	42.0	38.0	39.3	28.4	18.5	20.2	2.3	23.3	1.8	
	楽器・機器等解説	1,361	35.5	36.4	40.7	29.5	18.4	17.6	1.5	20.9	4.8	
	作品制作	876	44.7	43.4	45.0	31.1	22.9	23.9	1.7	20.7	1.4	
	交流給食	512	49.0	47.1	46.1	31.6	22.7	26.4	2.5	19.5	1.8	
	質疑応答	585	47.5	45.3	43.9	29.1	24.1	24.1	1.9	20.9	1.4	
その他	399	14.0	17.5	10.8	9.3	4.8	5.3	0.5	56.9	4.0		
交流(本公演)	技術指導(全校児童・生徒)	3,726	38.1	37.8	38.4	30.6	21.2	19.4	0.9	23.7	2.5	
	技術指導(一部児童・生徒)	3,980	38.1	35.7	34.8	31.5	16.9	17.8	1.4	29.5	2.3	
	実演体験	1,829	46.6	43.3	46.7	39.6	21.6	23.0	1.7	19.5	1.9	
	演目等解説	3,458	37.4	38.6	40.4	33.7	19.8	19.0	1.2	23.4	2.9	
	楽器・機器等解説	3,360	34.5	36.5	36.3	32.0	18.7	17.7	1.5	25.9	3.0	
	舞台裏見学	451	36.1	37.9	30.6	29.3	18.2	17.7	0.7	31.5	1.3	
	交流給食	698	34.1	38.1	36.7	30.8	17.6	18.9	0.9	30.8	2.9	
	質疑応答	1,197	42.9	41.4	38.3	35.5	20.2	20.0	0.8	26.3	1.4	
その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
共演	全校児童・生徒による登壇・実演	3,962	37.2	37.4	37.2	29.8	20.6	18.9	0.9	25.0	2.4	
	一部児童・生徒による登壇・実演	5,867	36.3	35.6	35.0	31.1	17.6	17.6	1.2	28.1	2.8	
	教員による登壇・実演	1,509	31.3	35.0	33.1	27.4	17.9	15.6	0.4	26.4	3.8	

(13) 公演会場別にみた事業効果

【全体】公演会場別に本事業の効果についてみると、学校以外で公演を行った場合よりも、学校で公演を行った場合の方が、公演の印象が強く残り、公演後の生活態度や文化活動の変化に及ぼす影響が大きい傾向がみられる。

【印象に残っている公演の内容】学校での公演では「学校の体育館が舞台装置によってその日だけ特別な空間になったこと」「分かりやすく解説をしてもらえたこと」などの割合が学校以外よりも大きい。

【公演終了後の行動】学校での公演では「帰宅後に家族と公演のことについて話をした」の割合が学校以外よりも大きい。

【文化活動の変化】学校での公演では「音楽や国語などの関係する教科の勉強に今までよりもやる気を出して取り組むようになった」の割合が学校以外よりも大きい。

【生活態度の変化】学校での公演では「将来の夢や目標に向かって今まで以上に努力するようになった」「学校が今まで以上に好きになった」「難しいことに対しても、失敗を恐れずに挑戦するようになった」「発表したり、人に話したりするときに、うまく伝わるように工夫するようになった」の割合が学校以外よりも大きくなっている。特に、「学校が今まで以上に好きになった」と回答した割合は、学校以外では7.9%であるのに対し、学校での公演では37.1%と大きな開きがあり、自分たちの普段通う学校への愛着の増加につながっていると考えられる。

【鑑賞意向】公演会場による大きな差はみられない。

【活動意向】学校での公演では今後文化芸術活動に取り組む意向について「とてもそう思う」の割合が学校以外よりもやや大きい。

図表 104 本公演の会場別にみた印象に残っている公演の内容(クロス集計)

調査数	印象に残っている公演の内容																				
	近アー で鑑 賞し たこ と熱 演を 問	なよ 空の 間に そ育 の館 が舞 台装 置	学校 の体 育館 が舞 台装 置	もら えり やす く解 説を し て	分 か り や す く	エ ス の 方 が 音 響 な ど の 支 の	美 術 、 照 明 、 音 響 な ど の 支 の	の 日 本 文 化 が 素 晴 ら し い も	日 本 文 化 が 素 晴 ら し い も	き 問 た こ と 、 お い ろ し い と 質	団 体 の 方 に お い ろ し い と 質	こ 舞 台 で 一 緒 に 共 演 で た と	ア ー テ ィ ス ト の 方 と	給 食 を 一 緒 に 食 べ た こ と	ア ー テ ィ ス ト の 方 と	さ わ つ た り で き た こ と	の 裏 側 を 見 た こ と	体 育 館 に つ く ら れ た 機 械 舞 台	一 緒 に 手 伝 い た こ と	そ の 他	特 に な い
全 体	7,183	68.5	52.8	47.8	39.0	30.0	12.1	11.3	6.9	4.3	1.6	2.6	4.8	1.3							
会 場																					
学 校	6,981	68.3	53.9	48.3	39.0	30.5	12.2	11.4	7.1	4.4	1.6	2.6	4.8	1.3							
学 校以外	202	75.7	12.9	28.7	37.1	10.4	8.4	9.9	0.5	1.0	2.5	1.5	3.5	0.5							

(注)学校の回答割合が学校以外より5ポイント以上高い項目は薄い網掛け、10ポイント以上高い項目は濃い網掛け＋白抜文字として表示している(以下同様)。

(注2)学校以外でも「学校の体育館が舞台装置によってその日だけ特別な空間になったこと」が無回答でないのは、調査票の設問項目が「公演などの印象に残った点」であったため、WSについて回答しているものと考えられる。

図表 105 本公演の会場別にみた公演終了後の行動(クロス集計)

	調査数	公演終了後の行動								
		したこ とに つ いて 話 を	帰宅 後に 家 族 と 公 演	した 公 演 の こ と に つ いて	友 だ ち や 先 生 と 話 を	公 演 に つ い て 調 べ た	ネ ッ ト な ど で 文 化 芸 術	図 書 室 や イン ター ネ ッ ト	そ の 他	特 に な い
全 体	7,183	73.2	49.1	4.4	6.5	12.8	1.8			
会 場										
学校	6,981	73.7	48.8	4.4	6.3	12.8	1.9			
学校以外	202	54.0	61.9	4.5	12.9	14.4	0.0			

図表 106 本公演の会場別にみた公演終了後の文化活動の変化(クロス集計)

	調査数	公演終了後の文化活動の変化												
		出 し て 取 り 組 む よ う に な っ た	音 楽 や 国 語 な ど の 関 係 す る 教 育 科 を 強 化 す る よ う に な っ た	向 け ら れ て い く よ う に な っ た	テ レ ビ 等 で 文 化 芸 術 の 興 味 を 持 つ て 目 上 げ た	リ 組 む よ う に な っ た	今 ま で の 行 事 を 出 し て 取 り 組 む よ う に な っ た	文 化 芸 術 関 係 の 気 を 出 し て 取 り 組 む よ う に な っ た	賞 状 な ど の 機 会 が 増 え た	家 族 な ど と 休 日 に 文 化 芸 術 を 鑑 賞 す る よ う に な っ た	め ん て の 芸 術 関 係 の 習 事 に 通 い 始 め る よ う に な っ た	文 化 部 活 動 に 参 加 す る よ う に な っ た	そ の 他	特 に な い
全 体	7,183	33.5	23.4	14.5	3.9	2.0	0.2	1.5	44.0	3.2				
会 場														
学校	6,981	34.0	23.5	14.7	4.0	2.0	0.2	1.6	43.5	3.3				
学校以外	202	15.3	17.8	6.4	2.5	0.0	0.0	0.5	63.4	1.0				

図表 107 本公演の会場別にみた公演終了後の生活態度の変化(クロス集計)

	調査数	公演終了後の生活態度の変化												
		い さ な さ に あ ら ま な く な っ た	人 に あ ら ま な く な っ た	な ま ま の 夢 や 目 標 に 向 か つ て 今 ま で の 夢 や 目 標 に 向 か つ て 今 ま で の 夢 や 目 標 に 向 か つ て 今	将 来 の 夢 や 目 標 に 向 か つ て 今 ま で の 夢 や 目 標 に 向 か つ て 今	な ま ま の 夢 や 目 標 に 向 か つ て 今 ま で の 夢 や 目 標 に 向 か つ て 今	学 校 が 今 ま で 以 上 に 好 き に な っ た	な ま ま の 夢 や 目 標 に 向 か つ て 今 ま で の 夢 や 目 標 に 向 か つ て 今	な ま ま の 夢 や 目 標 に 向 か つ て 今 ま で の 夢 や 目 標 に 向 か つ て 今	な ま ま の 夢 や 目 標 に 向 か つ て 今 ま で の 夢 や 目 標 に 向 か つ て 今	な ま ま の 夢 や 目 標 に 向 か つ て 今 ま で の 夢 や 目 標 に 向 か つ て 今	な ま ま の 夢 や 目 標 に 向 か つ て 今 ま で の 夢 や 目 標 に 向 か つ て 今	な ま ま の 夢 や 目 標 に 向 か つ て 今 ま で の 夢 や 目 標 に 向 か つ て 今	な ま ま の 夢 や 目 標 に 向 か つ て 今 ま で の 夢 や 目 標 に 向 か つ て 今
全 体	7,183	37.5	36.7	36.3	30.8	18.6	18.3	1.2	27.1	2.5				
会 場														
学校	6,981	37.7	37.1	37.1	31.3	18.9	18.6	1.2	26.7	2.5				
学校以外	202	32.7	20.3	7.9	15.8	10.4	6.9	1.5	43.1	1.0				

図表 108 本公演の会場別にみた積極的な文化芸術の鑑賞意向(クロス集計)

	調査数	積極的な文化芸術の鑑賞意向							平均
		とても思う	そう思う	そう思わない	まったく思わない	無回答	鑑賞意向あり	鑑賞意向なし	
全体	7,183	29.8	43.2	16.3	8.3	2.4	73.0	24.6	0.72
会場									
学校	6,981	29.8	42.9	16.4	8.4	2.5	72.7	24.8	0.71
学校以外	202	28.7	53.5	12.4	5.0	0.5	82.2	17.3	0.89

図表 109 本公演の会場別にみた自身の文化芸術活動意向(クロス集計)

	調査数	自身の文化芸術活動意向							平均
		とても思う	そう思う	そう思わない	まったく思わない	無回答	活動意向あり	活動意向なし	
全体	7,183	18.9	31.1	30.4	17.0	2.5	50.0	47.4	0.05
会場									
学校	6,981	19.1	31.0	30.2	17.1	2.6	50.1	47.3	0.05
学校以外	202	12.9	34.7	39.6	12.4	0.5	47.5	52.0	-0.04

IV. 教職員へのアンケート調査・分析結果

1. 調査概要

教職員へのアンケート調査の概要は以下の通りである。

図表 110 教職員へのアンケート調査概要

【調査対象】	実施校 32 校の巡回公演事業を鑑賞した教職員
【調査方法】	無記名式アンケート調査(郵送配布・回収)
【調査期間】	平成 24 年1月 10 日～平成 25 年3月 21 日
【回収状況】	有効回答数 494 件

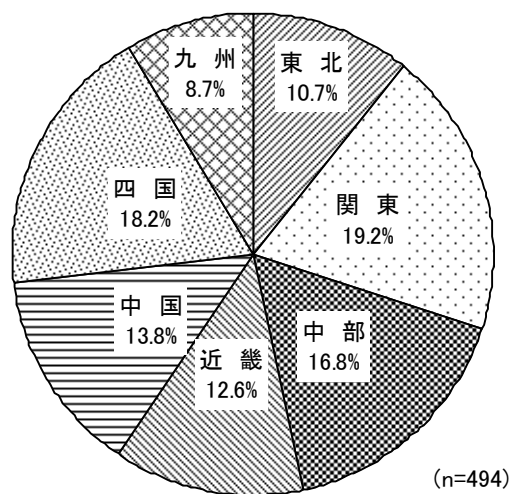
2. 回答者属性

(1) 地域特性

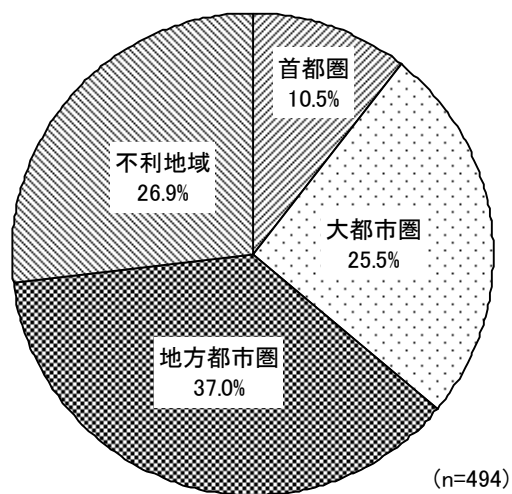
【地方】「関東」(19.2%) が最も多く、次いで「四国」(18.2%)、「中部」(16.8%) の順となっている。

【地域特性】「地方都市圏」(37.0%) が最も多く、「不利地域」(26.9%) がこれに続く。

図表 111 地方(SA)



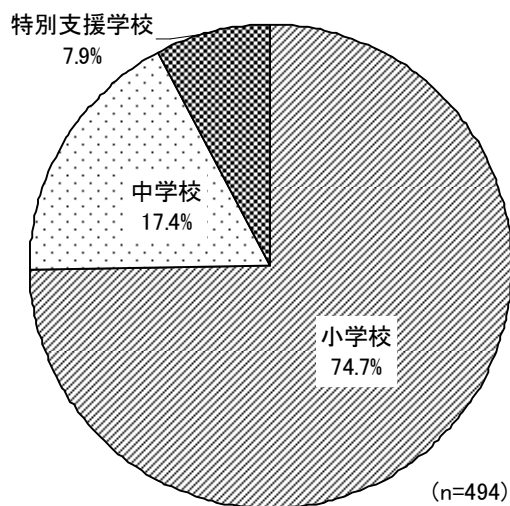
図表 112 地域特性(SA)



(2) 学校区分・種別

【全体】本検証事業の対象校の学校区分はすべて「公立」の小中学校からの回答である。学校種別をみると、「小学校」(74.7%)が最も多く、「中学校」(17.4%)、「特別支援学校」(7.9%)の順となっている。

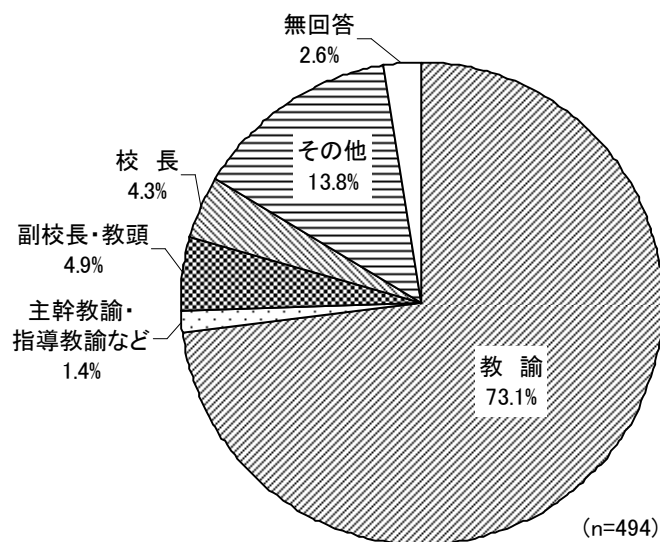
図表 113 学校種別(SA)



(3) 役職

【全体】「教諭」(73.1%)が最も多く、「副校長・教頭」(4.9%)がこれに続く。

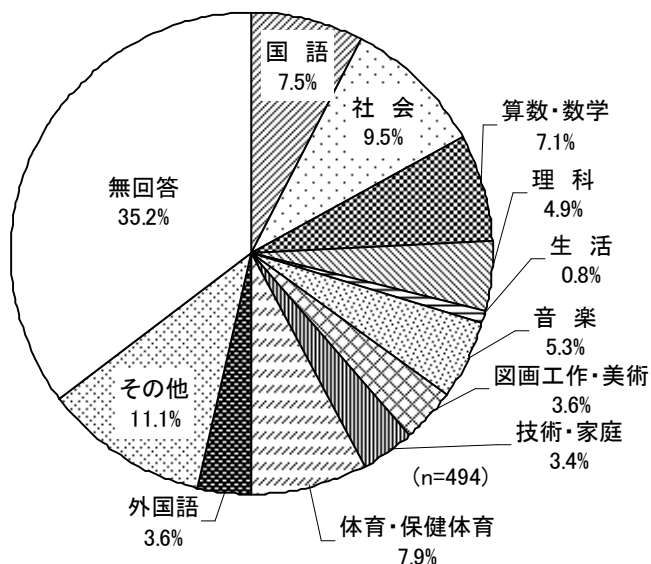
図表 114 役職(SA)



(4) 専門教科

【全体】「社会」(9.5%) が最も多く、次いで「体育・保健体育」(7.9%)、「国語」(7.5%)、「算数・数学」(7.1%) の順となっている。

図表 115 専門教科(SA)

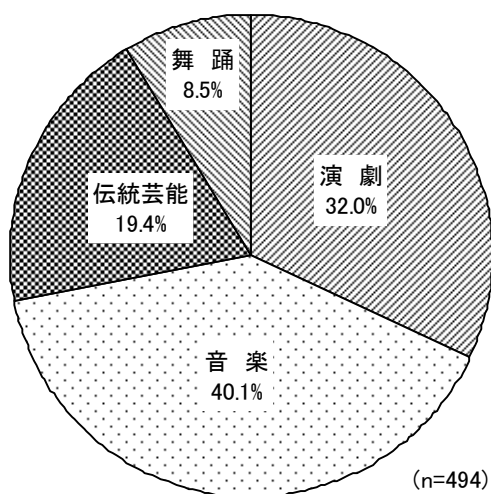


(5) 鑑賞した公演

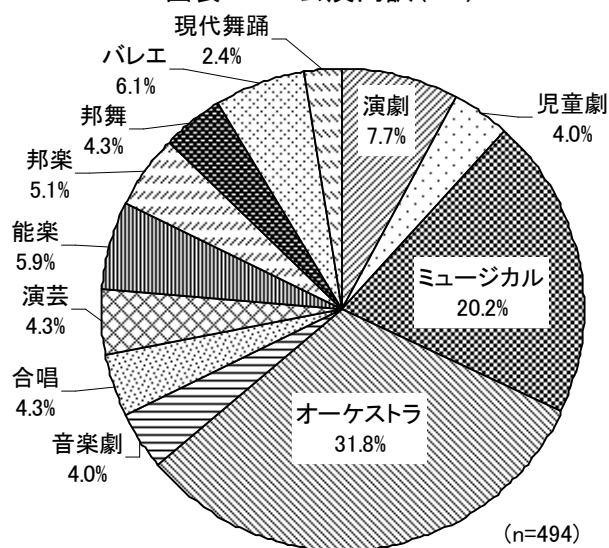
【全体】公演分野は「音楽」(40.1%) が最も多く、次いで「演劇」(32.0%)、「伝統芸能」(19.4%)、「舞踊」(8.5%) の順となっている。

内訳をみると、「オーケストラ」(31.8%) が最も多く、「ミュージカル」(20.2%) がこれに続く。

図表 116 鑑賞した公演分野(SA)



図表 117 公演内訳(SA)



3. 調査結果

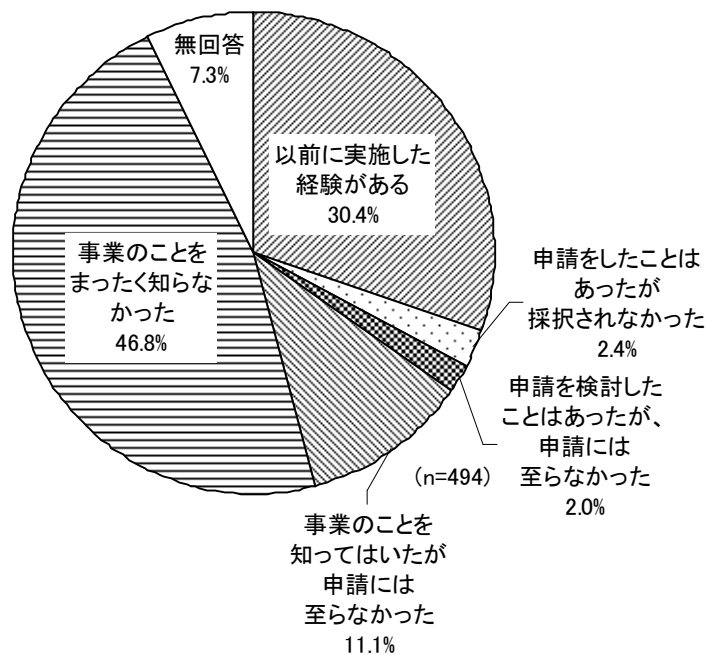
(1) 巡回公演事業の経験・認識

【全体】「事業のことをまったく知らなかった」(46.8%) が最も多く、「以前に実施した経験がある」(30.4%) がこれに続く。

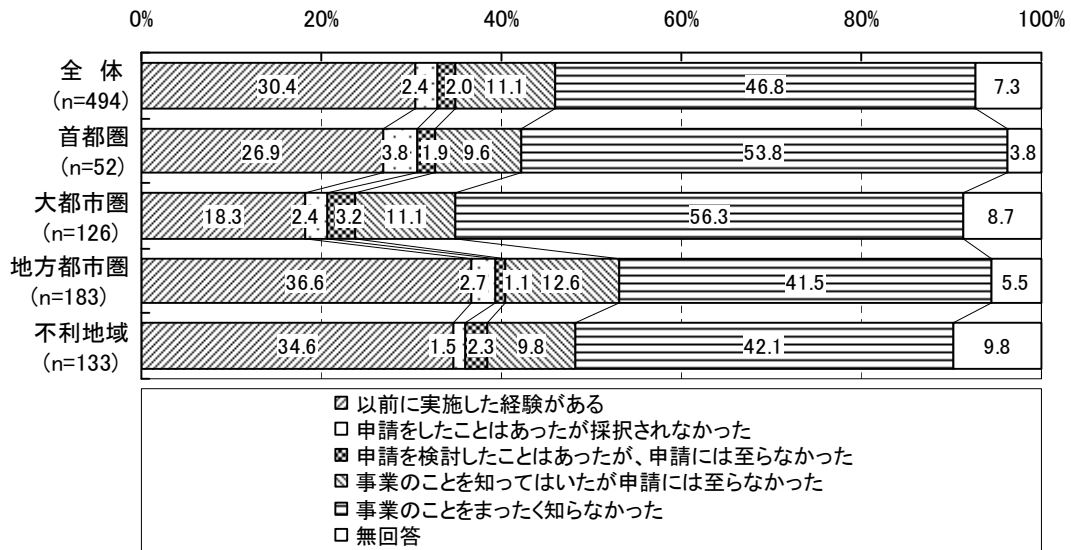
【地域特性別】首都圏や大都市圏は「事業のことをまったく知らなかった」の割合が大きく、地方都市圏や不利地域では「以前に実施した経験がある」の割合が大きい。

【専門教科別】音楽、理科、体育・保健体育は「以前に実施した経験がある」、技術・家庭は「事業のことを知ってはいたが申請には至らなかった」、外国語、算数・数学は「事業のことをまったく知らなかった」の割合が大きい。

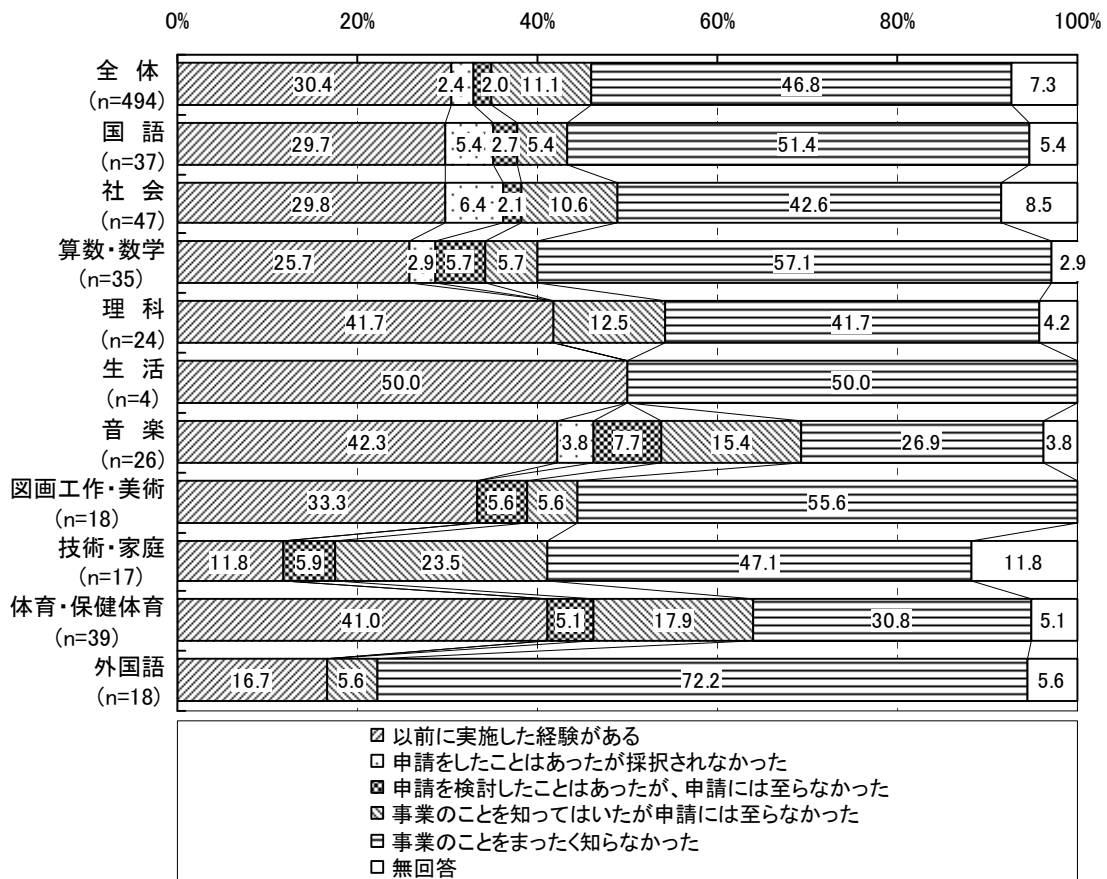
図表 118 巡回公演事業の経験・認識(SA)



図表 119 巡回公演事業の経験・認識(地域特性別・SA)



図表 120 巡回公演事業の経験・認識(専門教科別・SA)

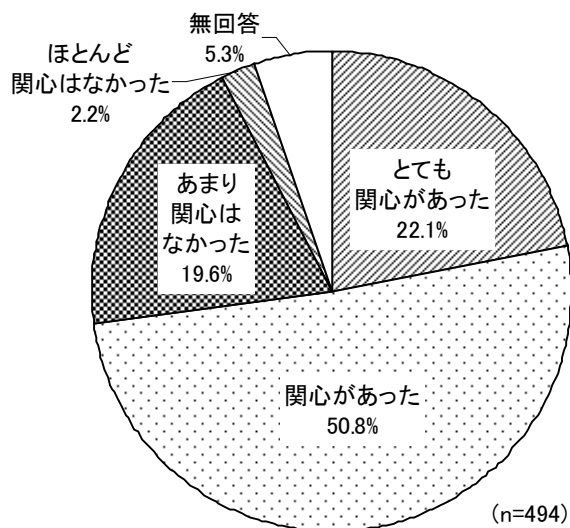


(2) 本事業以前の児童・生徒の文化芸術鑑賞・体験機会への関心

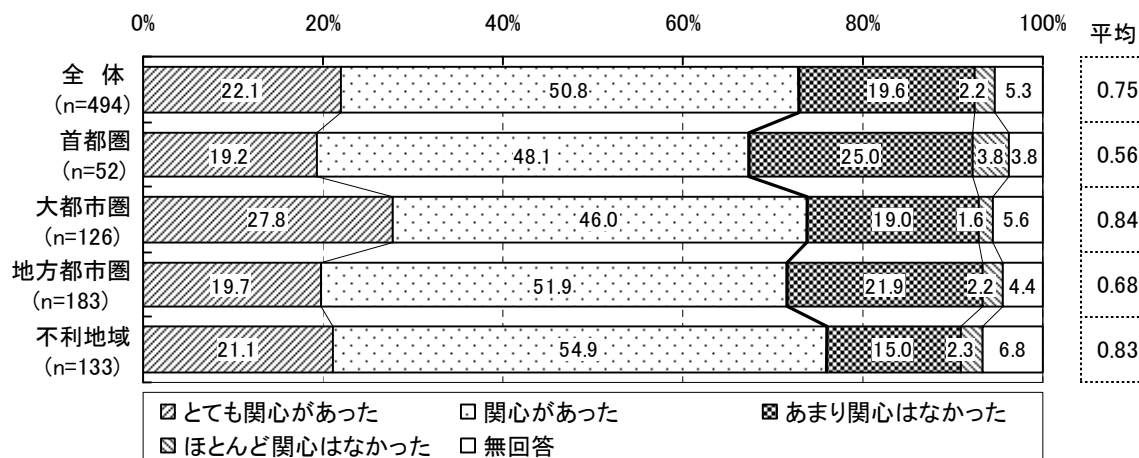
【全体】関心があった教職員（「とても関心があった」(22.1%)と「関心があった」(50.8%)の計）は7割強である。

【地域特性別】首都圏では関心がなかったという割合がやや大きい。

図表 121 本事業以前の児童・生徒の文化芸術鑑賞・体験機会への関心 (SA)



図表 122 本事業以前の児童・生徒の文化芸術鑑賞・体験機会への関心 (地域特性別・SA)



(注) 平均は「とても関心があった」=+2、「関心があった」=+1、「あまり関心はなかった」=-1、「ほとんど関心はなかった」=-2とした加重平均値。

(3) 印象に残っている公演の内容

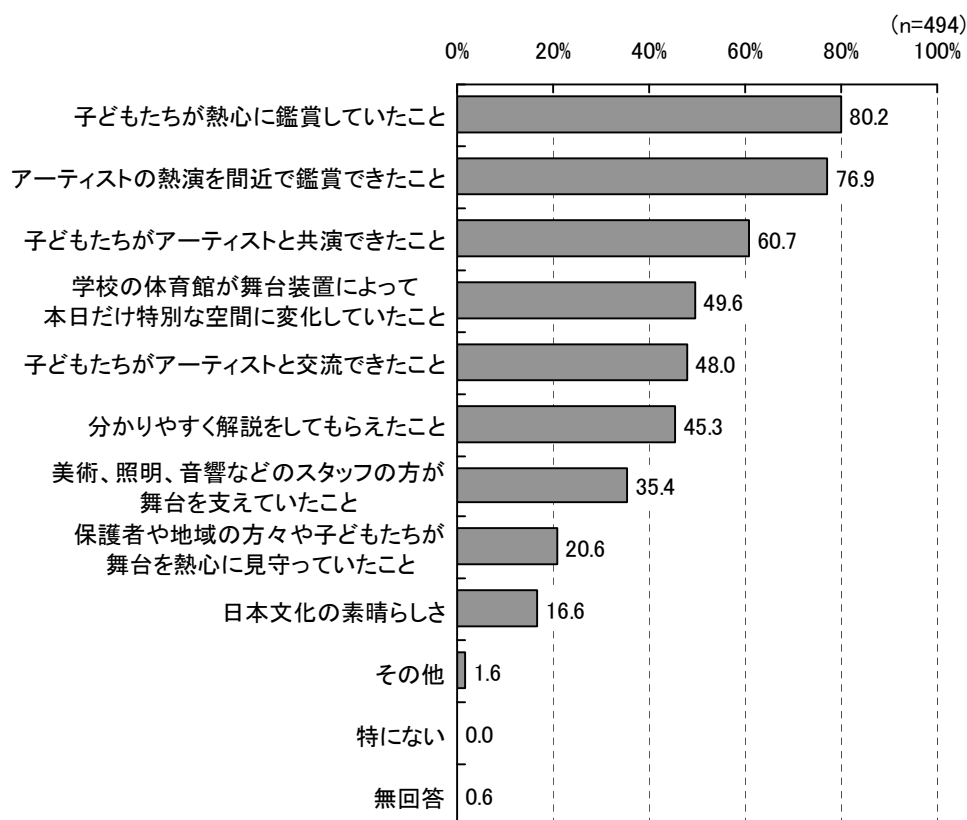
【全体】「子どもたちが熱心に鑑賞していたこと」(80.2%)が最も多く、次いで「アーティストの熱演を間近で鑑賞できたこと」(76.9%)、「子どもたちがアーティストと共演できたこと」(60.7%)の順となっている。

【地域特性別】首都圏は「日本文化の素晴らしさ」、大都市圏は「分かりやすく解説をしてもらえたこと」、不利地域は「子どもたちがアーティストと共演できたこと」「子どもたちがアーティストと交流できたこと」の割合が大きくなっている。

【専門教科別】理科は「美術、照明、音響などのスタッフの方が舞台を支えていたこと」「保護者や地域の方々や子どもたちが舞台を熱心に見守っていたこと」、音楽は「子どもたちがアーティストと交流できたこと」「分かりやすく解説をしてもらえたこと」、技術・家庭は「子どもたちが熱心に鑑賞していたこと」の割合が特に大きい。

【分野別】伝統芸能全般で「日本文化の素晴らしさ」、舞踊全般で「学校の体育館が舞台装置によって本日だけ特別な空間に変化していたこと」「美術、照明、音響などのスタッフの方が舞台を支えていたこと」の割合が特に大きくなっている。また、音楽劇は「美術、照明、音響などのスタッフの方が舞台を支えていたこと」「保護者や地域の方々や子どもたちが舞台を熱心に見守っていたこと」、能楽、バレエは「分かりやすく解説をしてもらえたこと」、邦舞は「学校の体育館が舞台装置によって本日だけ特別な空間に変化していたこと」の割合も特に大きい。

図表 123 印象に残っている公演の内容(MA)



図表 124 印象に残っている公演の内容(地域特性別・MA)

	調査数	印象に残っている公演の内容												
		子どもたちが熱心に鑑賞していたこと	アーティストの熱演を間近で鑑賞できたこと	子どもたちがアーティストと共演できたこと	空間に変化していたこと	学校の体育館が舞台装置によって本だけ特別なこと	子どもたちがアーティストと交流できたこと	もったりやすく解説をして	えたりやすく解説をして	美術、照明、音響などの支え	見守っていたこと	保護者や地域の方々が熱心に	日本文化の素晴らしさ	その他
全体	494	80.2	76.9	60.7	49.6	48.0	45.3	35.4	20.6	16.6	1.6	0.0	0.6	
地域特性														
首都圏	52	67.3	50.0	67.3	50.0	40.4	25.0	28.8	5.8	28.8	0.0	0.0	0.0	
大都市圏	126	86.5	77.8	55.6	41.3	49.2	55.6	29.4	20.6	3.2	1.6	0.0	0.8	
地方都市圏	183	78.1	77.6	52.5	57.9	41.0	48.1	37.2	19.7	24.6	2.2	0.0	0.0	
不利地域	133	82.0	85.7	74.4	45.9	59.4	39.8	41.4	27.8	13.5	1.5	0.0	1.5	

図表 125 印象に残っている公演の内容(専門教科別・MA)

	調査数	印象に残っている公演の内容												
		子どもたちが熱心に鑑賞していたこと	アーティストの熱演を間近で鑑賞できたこと	子どもたちがアーティストと共演できたこと	空間に変化していたこと	学校の体育館が舞台装置によって本だけ特別なこと	子どもたちがアーティストと交流できたこと	もったりやすく解説をして	えたりやすく解説をして	美術、照明、音響などの支え	見守っていたこと	保護者や地域の方々が熱心に	日本文化の素晴らしさ	その他
全体	494	80.2	76.9	60.7	49.6	48.0	45.3	35.4	20.6	16.6	1.6	0.0	0.6	
専門教科														
国語	37	83.8	70.3	64.9	62.2	45.9	48.6	37.8	24.3	18.9	2.7	0.0	0.0	
社会	47	83.0	83.0	59.6	59.6	51.1	40.4	29.8	17.0	21.3	0.0	0.0	0.0	
算数・数学	35	85.7	80.0	60.0	45.7	48.6	42.9	45.7	20.0	11.4	0.0	0.0	0.0	
理科	24	79.2	83.3	70.8	58.3	45.8	50.0	62.5	45.8	16.7	0.0	0.0	0.0	
生活	4	75.0	75.0	0.0	50.0	50.0	75.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	
音楽	26	84.6	84.6	61.5	61.5	65.4	73.1	42.3	30.8	11.5	3.8	0.0	0.0	
図画工作・美術	18	72.2	66.7	50.0	44.4	38.9	38.9	27.8	11.1	5.6	5.6	0.0	0.0	
技術・家庭	17	100.0	82.4	64.7	47.1	41.2	29.4	41.2	17.6	11.8	0.0	0.0	0.0	
体育・保健体育	39	87.2	76.9	69.2	61.5	53.8	46.2	41.0	25.6	23.1	5.1	0.0	2.6	
外国語	18	83.3	72.2	72.2	44.4	38.9	16.7	50.0	16.7	5.6	0.0	0.0	0.0	
その他	55	74.5	72.7	67.3	34.5	38.2	52.7	27.3	16.4	23.6	1.8	0.0	0.0	

図表 126 印象に残っている公演の内容(分野別・MA)

	調査数	印象に残っている公演の内容														
		子どもたちが熱心に鑑賞していたこと	近で鑑賞できたこと	アーテイストの熱演を間	子どもたちがアーティ	空間に変化していたこと	学校の体育館が舞台装置	子どもたちがアーティ	もれやすいく解説をして	えらったこと	アートの方々が舞台を支	美術、照明、音響などの	子どもたちが舞台を熱心に	保護者や地域の方々や子	日本文化の素晴らしさ	その他
全 体	494	80.2	76.9	60.7	49.6	48.0	45.3	35.4	20.6	16.6	1.6	0.0	0.6			
演 劇	演劇小計	158	88.6	80.4	70.3	62.0	54.4	29.7	50.6	19.6	10.1	0.6	0.6			
	演 劇	38	89.5	86.8	78.9	57.9	44.7	21.1	55.3	23.7	18.4	2.6	0.0			
	児童劇	20	85.0	40.0	70.0	50.0	40.0	15.0	30.0	0.0	10.0	0.0	0.0			
	ミュージカル	100	89.0	86.0	67.0	66.0	61.0	36.0	53.0	22.0	7.0	0.0	1.0			
音 楽	音楽小計	198	79.3	80.3	57.1	34.3	48.0	52.5	24.2	22.2	2.5	3.5	1.0			
	オーケストラ	157	84.1	78.3	54.1	33.1	43.9	58.6	21.7	21.0	1.9	4.5	0.6			
	音楽劇	20	65.0	80.0	80.0	65.0	60.0	25.0	65.0	50.0	0.0	0.0	5.0			
	合 唱	21	57.1	95.2	57.1	14.3	66.7	33.3	4.8	4.8	9.5	0.0	0.0			
伝 統 芸 能	伝統芸能小計	96	65.6	67.7	49.0	46.9	40.6	52.1	21.9	14.6	59.4	0.0	0.0			
	演 芸	21	90.5	85.7	61.9	42.9	52.4	42.9	28.6	33.3	42.9	0.0	0.0			
	能 楽	29	48.3	69.0	10.3	37.9	34.5	65.5	10.3	6.9	55.2	0.0	0.0			
	邦 楽	25	44.0	48.0	72.0	24.0	36.0	48.0	8.0	4.0	56.0	0.0	0.0			
舞 踊	邦 舞	21	90.5	71.4	61.9	90.5	42.9	47.6	47.6	19.0	85.7	0.0	0.0			
	舞踊小計	42	85.7	69.0	69.0	81.0	40.5	54.8	61.9	31.0	9.5	0.0	0.0			
	バレエ	30	83.3	73.3	73.3	73.3	40.0	76.7	56.7	36.7	10.0	0.0	0.0			
	現代舞踊	12	91.7	58.3	58.3	100.0	41.7	0.0	75.0	16.7	8.3	0.0	0.0			

図表 127 印象に残っている公演の内容(その他)

- 子どもたちが大変感動していることが手に取るようにわかったこと。
- 共演するための音楽の1つの曲を練習でき、演奏できるようになったこと。「だいすきいなば」の曲ができたこと。
- 校歌をアレンジして演奏してもらえたこと。
- 指揮者の表情が豊か。
- プロの「本物」を鑑賞できたこと。
- ジャズの素晴らしさ。保護者も楽しみ、感動して涙してくださったこと。
- ジャズの発祥を知ることができた。歴史的側面に触れられた。
- 準備が大変だったこと。

(4) ワークショップまたは本公演後、児童・生徒に生じた変化・効果 (MA)

【全体】「文化芸術をより身近に感じるようになり、文化芸術に対する興味関心が高まった」(78.5%)が最も多く、「音楽や国語などの関係する教科の学習意欲が高まった」(23.5%)がこれに続く。

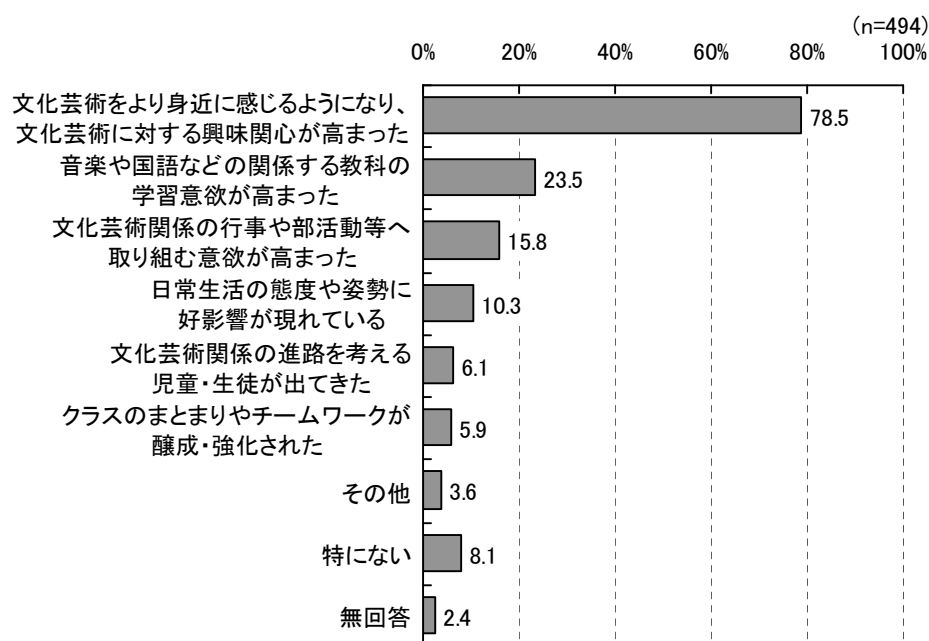
文化芸術に対する興味関心が高まった具体例として「歌舞伎をテーマに調べ学習に取り組んだ児童がいる」「バレエを習ってみたいという子がいた」や、教科の学習意欲が高まった具体例として「音楽の授業でオペラがあり、子どもたちは意欲的に授業に臨んでいた」などが挙げられている。また、日常生活の態度に好影響が現れたエピソードとして「発表の声が大きくなった。いろいろなことにチャレンジする気持ちが出てきた」などが挙げられている。

【地域特性別】大都市圏は「音楽や国語などの関係する教科の学習意欲が高まった」の割合がやや大きくなっている。

【専門教科別】算数・数学は「文化芸術をより身近に感じるようになり、文化芸術に対する興味関心が高まった」、理科は「音楽や国語などの関係する教科の学習意欲が高まった」「クラスのまとまりやチームワークが醸成・強化された」、音楽は「音楽や国語などの関係する教科の学習意欲が高まった」「文化芸術関係の行事や部活動等へ取り組む意欲が高まった」、体育・保健体育は「日常生活の態度や姿勢に好影響が現れている」の割合が大きい。

【分野別】演劇は「音楽や国語などの関係する教科の学習意欲が高まった」「日常生活の態度や姿勢に好影響が現れている」「クラスのまとまりやチームワークが醸成・強化された」、バレエは「文化芸術をより身近に感じるようになり、文化芸術に対する興味関心が高まった」、現代舞踊は「文化芸術関係の進路を考える児童・生徒が出てきた」の割合が大きい。

図表 128 ワークショップまたは本公演後、児童・生徒に生じた変化・効果(MA)



図表 129 ワークショップまたは本公演後、児童・生徒に生じた変化・効果(地域特性別・MA)

	調査数	ワークショップまたは本公演後、児童・生徒に生じた変化・効果														
		対する興味関心が高まった	文化芸術の学習意欲が高まった	音楽や外国語などの関係する	教科の学習意欲が高まった	音楽や外国語などの関係する	まったり取り組む意欲が高まった	動等へ関係の行事や部活	文化芸術関係の態度や姿勢に好	影響が現れている	日常生活の態度や姿勢に好	児童芸術関係の進路を考えた	文化芸術関係の進路を考えた	クラスの醸成・強化された	その他	特にな
全体	494	78.5	23.5	15.8	10.3	6.1	5.9	3.6	8.1	2.2						
地域特性	首都圏	52	71.2	15.4	11.5	5.8	5.8	1.9	11.5	5.8						
	大都市圏	126	82.5	28.6	20.6	11.9	7.9	3.2	5.6	0.0						
	地方都市圏	183	79.2	22.4	10.9	8.7	6.0	6.0	10.9	1.6						
	不利地域	133	76.7	23.3	19.5	12.8	4.5	9.8	5.3	5.3	4.5					

図表 130 ワークショップまたは本公演後、児童・生徒に生じた変化・効果(専門教科別・MA)

	調査数	ワークショップまたは本公演後、児童・生徒に生じた変化・効果														
		対する興味関心が高まった	文化芸術の学習意欲が高まった	音楽や外国語などの関係する	教科の学習意欲が高まった	音楽や外国語などの関係する	まったり取り組む意欲が高まった	動等へ関係の行事や部活	文化芸術関係の態度や姿勢に好	影響が現れている	日常生活の態度や姿勢に好	児童芸術関係の進路を考えた	文化芸術関係の進路を考えた	クラスの醸成・強化された	その他	特にな
全体	494	78.5	23.5	15.8	10.3	6.1	5.9	3.6	8.1	2.2						
専門教科	国語	37	86.5	29.7	21.6	5.4	8.1	10.8	2.7	5.4						
	社会	47	85.1	12.8	17.0	17.0	6.4	2.1	4.3	4.3						
	算数・数学	35	91.4	14.3	14.3	8.6	2.9	5.7	8.6	0.0						
	理科	24	83.3	37.5	25.0	12.5	0.0	16.7	8.3	0.0						
	生活	4	75.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0						
	音楽	26	80.8	38.5	26.9	3.8	7.7	0.0	3.8	11.5	0.0					
	図画工作・美術	18	72.2	16.7	11.1	0.0	5.6	0.0	5.6	11.1	0.0					
	技術・家庭	17	76.5	17.6	5.9	5.9	5.9	5.9	5.9	11.8	0.0					
	体育・保健体育	39	87.2	20.5	23.1	23.1	7.7	2.6	0.0	10.3	0.0					
	外国語	18	83.3	11.1	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0	5.6	5.6					
その他	55	60.0	20.0	3.6	18.2	5.5	9.1	5.5	12.7	9.1						

図表 131 ワークショップまたは本公演後、児童・生徒に生じた変化・効果(分野別・MA)

	調査数	ワークショップまたは本公演後、児童・生徒に生じた変化・効果										
		対する興味関心が高まった	文化芸術の学習意欲が高まった	音楽や国語などの関係が深まった	活動や取り組みの意欲が高まった	文化芸術関係の行事や部活	影響が現れている	日常生活の態度や姿勢に好	文化芸術関係の進路を考え	ワークスが醸成・強化された	その他	特にな
全体	494	78.5	23.5	15.8	10.3	6.1	5.9	3.6	8.1	2.2		
演劇	演劇小計	158	77.8	26.6	19.6	13.9	5.1	14.6	3.2	7.6	1.9	
	演劇	38	65.8	34.2	23.7	26.3	2.6	23.7	5.3	5.3	2.6	
	児童劇	20	70.0	15.0	10.0	5.0	0.0	5.0	0.0	10.0	5.0	
	ミュージカル	100	84.0	26.0	20.0	11.0	7.0	13.0	3.0	8.0	1.0	
音楽	音楽小計	198	76.8	25.8	16.7	9.6	6.1	1.5	4.5	8.1	2.5	
	オーケストラ	157	75.8	26.1	17.2	9.6	7.0	0.6	3.8	10.2	1.9	
	音楽劇 合唱	20 21	85.0 76.2	30.0 19.0	25.0 4.8	20.0 0.0	0.0 4.8	5.0 4.8	0.0 14.3	0.0 0.0	10.0 0.0	0.0 0.0
伝統芸能	伝統芸能小計	96	80.2	16.7	8.3	7.3	3.1	1.0	3.1	9.4	3.1	
	演芸	21	85.7	4.8	14.3	9.5	4.8	4.8	9.5	4.8	0.0	
	能楽	29	82.8	20.7	0.0	3.4	3.4	0.0	0.0	13.8	0.0	
	邦楽 邦舞	25 21	68.0 85.7	16.0 23.8	4.0 19.0	8.0 9.5	0.0 4.8	0.0 0.0	4.0 0.0	8.0 9.5	12.0 0.0	
舞踊	舞踊小計	42	85.7	16.7	14.3	7.1	16.7	4.8	2.4	7.1	0.0	
	バレエ	30	90.0	16.7	10.0	6.7	13.3	3.3	3.3	3.3	0.0	
	現代舞踊	12	75.0	16.7	25.0	8.3	25.0	8.3	0.0	16.7	0.0	

図表 132 ワークショップまたは本公演後、児童・生徒に生じた変化・効果(その他)

- 目に見えて変化というよりは、バレエ体験を通して自信がついた児童はいると思う。
- 共演できたことで自信を持つことができた。
- 体験した児童に対し「すごい」と感じ、自分もやってみたいという気持ちになった。
- 自ら取り組むことがある。
- 楽器に関心を持った。
- オーケストラへの興味が高まった。
- 一緒に演奏した曲を口ずさんでいた。
- 聴いた歌を口ずさむ児童が増えた。
- 劇の中で聞いた歌やせりふを鑑賞後繰り返していた。
- 自分たちが劇をする時の参考になったようだ。
- 子ども自身が行っているダンスに、役者さんの表情の良さがとても参考になったと言っていた。
- すごく素敵な思い出になったよう。
- 校歌(楽団版)や「大好きいなば」を聴くたびに、あの日のことを子どもたちも多少なりとも思い出すと思う。
- 必ず心に残ると思う。
- 学校が楽しいと改めて感じるようになった。
- 感想の交流。

図表 133 児童・生徒に生じた変化・効果の具体的なエピソード(FA)

文化芸術をより身近に感じるようになり、文化芸術に対する興味関心が高まった (39件)

- 総合的な学習で、「なぜ歌舞伎の人気の高いのか」というテーマで調べ学習に取り組んだ児童が1名いる。
- アフリカの太鼓(ジャンベ)を演奏する時、和太鼓の叩き方と比べた感想を発表したり、真似をしたりする子どもがいた。
- バレリーナを真似て、上靴を立てて踊る真似をする子がいた。「バレエを習ってみたい」という子が何名かいた。
- 今まで教室の端にある読書スペースに置いてあった「とべないホテル」の本に子どもたちが集まって喜んで読んでいる姿が見られた。半年近く置いてあった絵本に公演後集まっていたのは、影絵で見せてもらったことが大きく影響していると思う。
- 公演の内容は難しく感じる反面、「どういう意味だったのかな」などと友だちと話し合っている生徒が見られた。公演の「おもしろおじいさん」はウサギだったと知り、アリスの本に対する興味・関心が生まれた。
- ワークショップの後でアーティストと児童と一緒に給食を食べる場を設定したところ、アーティストが快く受けただけ、交流が深まり、児童の興味・関心が高まった。 等

音楽や国語などの関係する教科の学習意欲が高まった (5件)

- 音楽の時間に歌う喜びを感じ、歌唱意欲が高まった。
- 公演後、児童全員に感想を書かせたが、興味関心の高さがうかがえ、また見たいとか今度は踊りに参加したいという感想が多かった。音楽科の授業では、日本の祭りや伝統音楽について進んで発表し、学習が深まった。
- 音楽の授業では指揮者のように手をふってリズムを取ったり、音楽に合わせて大きく小さく手をふっていた。
- 音楽の授業でオペラがあり、子どもたちは意欲的に授業に臨んでいた。
- 音楽の時間の鑑賞教材を楽しむようになった。

文化芸術関係の行事や部活動等へ取り組む意欲が高まった (6件)

- 吹奏楽部への入部を考えたいとの声が聞かれた。
- ブラスバンド部が当日の放課後練習をした時、音が良くなっていた。
- 生徒の「もっと早く見ていたら、文化祭の劇はもっと良くなったはず」「来年度、あんな風に劇をしたい」という感想があった。
- 公民館祭(地域行事)で、子どもたち自ら手品を披露する子が出た。 等

日常生活の態度や姿勢に好影響が現れている (6件)

- 家族でコンサートに行った話を聞いた。人の集まる所の苦手だった子どもが、ワークショップを通して本公演を体験してリラックスして楽しむことができていた。
- 人前で発表する時の声の大きさや声のトーンなどに、今まで以上に意識して表現しようとする態度が見られるようになった。
- 発表の声が大きくなった。いろいろなことにチャレンジしようとする気持ちが出てきた。
- 舞台に出てから、発言する時に自信を持って行う姿が認められる児童がいる。 等

文化芸術関係の進路を考える児童・生徒が出てきた (4件)

- 指揮の体験をした生徒が、将来こんな仕事に就きたいと話してくれた。貴重な体験ができ、楽しかったことがよく伝わってきた。

- 将来、音響の仕事に就きたくなったという生徒がいた。
- プロの演奏家としてオーケストラに参加したいという感想を書いた生徒がいた。
- 2年前のオーケストラの生演奏を聴いて音楽の素晴らしさを感じ、「音楽家を目指したい」と将来の目標を話してくれた児童がいた。

その他 (3件)

- 大きな音や音楽に敏感な子どもが、通常は耳をふさいで嫌がるのだが、生の演奏の時には耳をふさぐことをしなかったのには驚いた。
- 生活している中で教えていただいたことに当てはまると、「劇で言っていたことと同じだね」と子どもが言っていた (うさぎとかめなど)。
- 自分たちの学習した音読発表会のことを思い浮かべ、「せりふを全部暗記してたの?」「すごい!」と驚いていた。

(5) ワークショップまたは本公演後、自身に生じた変化・効果 (MA)

【全体】「児童・生徒の新たな一面を発見し、接し方や見る目・評価の視点が変わった」(44.3%)が最も多く、次いで「本事業を通じて学んだことを、表現方法や指導方法などに活かしている」(37.4%)、「他の文化芸術事業の活用を検討するようになった」(25.5%)の順となっている。

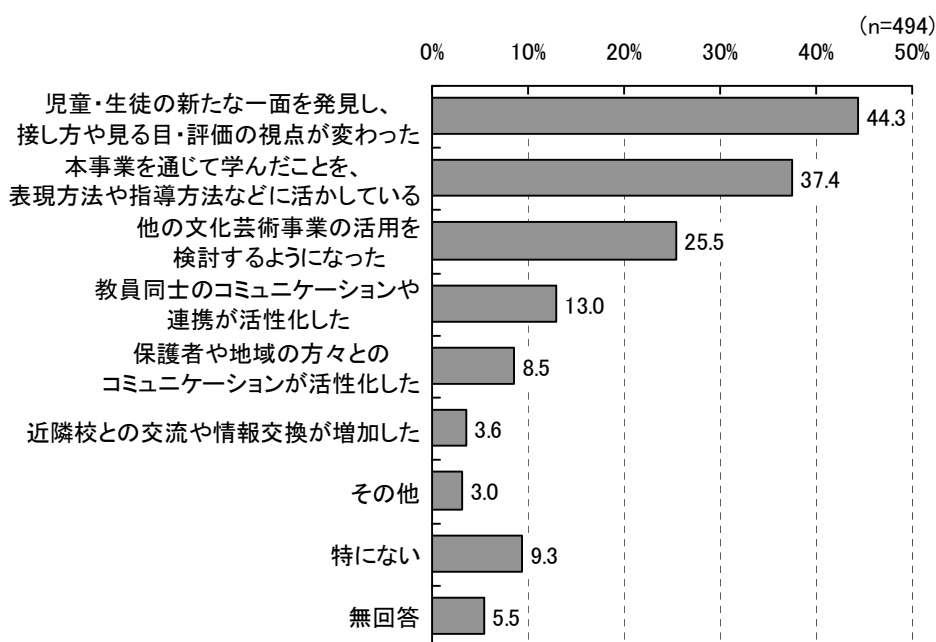
接し方や見る目・評価の視点が変わった具体的として「初めは生徒が参加するなんて可能なんだろうかと思ったが、生徒が楽しそうに参加しているのを見て自分の視点が変わった」ことや、本事業による学びを指導方法などに活かしている具体例として「ワークショップや本番前にプロの方々から子どもたちに専門的な指導をしていただき、その様子から表現力を高める指導方法を学ぶことができた」などのエピソードが挙げられている。

【地域特性格】不利地域は「児童・生徒の新たな一面を発見し、接し方や見る目・評価の視点が変わった」「本事業を通じて学んだことを、表現方法や指導方法などに活かしている」「教員同士のコミュニケーションや連携が活性化した」の割合が比較的大きくなっており、特に普段文化芸術に触れる機会の少ない不利地域において、教職員の気づきや指導等への活用に大きな効果があったことがわかる。

【専門教科別】国語は「児童・生徒の新たな一面を発見し、接し方や見る目・評価の視点が変わった」、理科、音楽、体育・保健体育は「本事業を通じて学んだことを、表現方法や指導方法などに活かしている」、理科は「他の文化芸術事業の活用を検討するようになった」の割合が特に大きい。

【分野別】演劇、音楽劇は「児童・生徒の新たな一面を発見し、接し方や見る目・評価の視点が変わった」、舞踊全般では「他の文化芸術事業の活用を検討するようになった」、音楽劇は「保護者や地域の方々とのコミュニケーションが活性化した」の割合が特に大きくなっている。

図表 134 ワークショップまたは本公演後、自身に生じた変化・効果(MA)



図表 135 ワークショップまたは本公演後、自身に生じた変化・効果(地域特性別・MA)

	調査数	ワークショップまたは本公演後、自身に生じた変化・効果															
		評価の視点が変わった	児童・生徒の新たな一面を	どに活かしている	を、事業を通じて学んだこと	本、事業を方法や指導方法など	検討するようになつた活用を	他の文化芸術事業の活用を	シヤンや連携が活性化し	教員同士のコミュニケーションが活性化	した	ミューケーションが活性的	保護者や地域の方々との	増加したとの交流や情報交換	近隣校との	その他	特にな
全 体	494	44.3	37.4	25.5	13.0	8.5	3.6	3.0	9.3	5.5							
地 域 特 性	首都圏	52	38.5	25.0	30.8	3.8	0.0	0.0	11.5	7.7							
	大都市圏	126	39.7	38.1	26.2	13.5	11.1	3.2	7.1	7.1							
	地方都市圏	183	43.2	36.1	27.3	10.9	7.1	1.6	5.5	12.0	2.7						
	不利地域	133	52.6	43.6	20.3	18.8	11.3	8.3	0.0	6.8	6.8						

図表 136 ワークショップまたは本公演後、自身に生じた変化・効果(専門教科別・MA)

	調査数	ワークショップまたは本公演後、自身に生じた変化・効果															
		評価の視点が変わった	児童・生徒の新たな一面を	どに活かしている	を、事業を通じて学んだこと	本、事業を方法や指導方法など	検討するようになつた活用を	他の文化芸術事業の活用を	シヤンや連携が活性化し	教員同士のコミュニケーションが活性化	した	ミューケーションが活性的	保護者や地域の方々との	増加したとの交流や情報交換	近隣校との	その他	特にな
全 体	494	44.3	37.4	25.5	13.0	8.5	3.6	3.0	9.3	5.5							
専 門 教 科	国 語	37	67.6	37.8	18.9	5.4	8.1	0.0	5.4	0.0							
	社 会	47	34.0	40.4	31.9	17.0	8.5	4.3	2.1	6.4							
	算数・数学	35	42.9	37.1	25.7	8.6	11.4	5.7	5.7	8.6	0.0						
	理 科	24	50.0	58.3	45.8	20.8	20.8	0.0	8.3	8.3	0.0						
	生 活	4	0.0	50.0	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0						
	音 楽	26	30.8	61.5	38.5	19.2	11.5	3.8	0.0	7.7	3.8						
	図画工作・美術	18	44.4	5.6	38.9	5.6	0.0	0.0	11.1	22.2	0.0						
	技術・家庭	17	52.9	23.5	29.4	5.9	5.9	0.0	0.0	11.8	11.8						
	体育・保健体育	39	48.7	59.0	30.8	17.9	10.3	7.7	0.0	10.3	2.6						
	外国語	18	50.0	16.7	44.4	0.0	0.0	5.6	0.0	5.6	0.0						
その他	55	49.1	32.7	14.5	18.2	5.5	1.8	3.6	7.3	7.3							

図表 137 ワークショップまたは本公演後、自身に生じた変化・効果(分野別・MA)

	調査数	ワークショップまたは本公演後、自身に生じた変化・効果											
		評価の視点が変わった	児童・生徒の新たな一面を	どに活かしているか	本事業を通じて学んだこと	検討するようになつた活用を	他の文化芸術事業の活用を	シヨンの連携が活性化した	ミューケーションの活性化コ	保護者や地域のつながり	近隣校との交流や情報交換	その他	特にな
全 体	494	44.3	37.4	25.5	13.0	8.5	3.6	3.0	9.3	5.5			
演 劇	演劇小計	158	48.1	45.6	19.6	11.4	5.7	4.4	1.9	10.8	5.1		
	演 劇	38	63.2	44.7	15.8	5.3	10.5	2.6	2.6	10.5	5.3		
	児童劇	20	40.0	30.0	15.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0		
	ミュージカル	100	44.0	49.0	22.0	16.0	5.0	6.0	2.0	8.0	6.0		
音 楽	音楽小計	198	47.0	32.8	24.7	15.7	11.6	4.0	4.5	5.6	7.1		
	オーケストラ	157	45.9	29.3	28.0	14.6	9.6	3.2	5.7	6.4	6.4		
	音楽劇	20	65.0	40.0	15.0	20.0	35.0	10.0	0.0	0.0	20.0		
	合 唱	21	38.1	52.4	9.5	19.0	4.8	4.8	0.0	4.8	0.0		
伝 統 芸 能	伝統芸能小計	96	31.3	38.5	24.0	11.5	4.2	2.1	1.0	14.6	5.2		
	演 芸	21	38.1	47.6	23.8	23.8	9.5	4.8	0.0	9.5	4.8		
	能 楽	29	10.3	48.3	17.2	10.3	3.4	0.0	0.0	24.1	0.0		
	邦 舞	25	44.0	24.0	20.0	4.0	0.0	0.0	0.0	4.0	16.0		
舞 踊	邦 舞	21	38.1	33.3	38.1	9.5	4.8	4.8	4.8	19.0	0.0		
	舞踊小計	42	47.6	26.2	54.8	9.5	14.3	2.4	4.8	9.5	0.0		
	バレエ	30	53.3	30.0	50.0	10.0	20.0	3.3	6.7	10.0	0.0		
現代舞踊	12	33.3	16.7	66.7	8.3	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0			

図表 138 ワークショップまたは本公演後、自身に生じた変化・効果(その他)

- いろいろな芸術を見たり聞いたりしようと思った。
- プロの公演を見に行きたくなった。
- 表現方法（歌唱や発声など）を知りたいと思う。
- バレエの美しさに感動した。ニュース等でバレエの話題が出ていたら注目するようになった。
- 高いレベルの芸術やジャズという音楽分野に新たに興味を持てた。
- 自分自身が文化芸術にさらに興味を持つようになった。より良い文化芸術の本物をもっと子どもたちに直接ふれさせたいと強く思うようになった。
- 教師自身が日々の騒然とした生活から一時離れ、芸術に触れることの大切さ。
- 本物の良さを改めて実感したし、刺激になった。
- クラシックはCDで聴くよりも、やはりライブで聴いてこそ魅力が理解できると感じた。
- オーケストラを聴き、音楽の偉大さを痛感した。
- 音楽を通じた今回のような事業の素晴らしさを感じた。
- 自分とは違う仕事をされている方々を見て、仕事に対する熱意を感じた。
- 素敵な職業だなと感じた。
- 子どもたちにも熱中できるようなことを見つけられるよう支援したいと考えるようになった。
- 子どもたちの関心の高まりを、今後の子どもの部活等に生かそうとしている。

図表 139 自身に生じた変化・効果の具体的なエピソード(FA)

本事業を通じて学んだことを、表現方法や指導方法などに活かしている (18件)

- 仕草や行動(立ちふるまい)を上品にしようと意識するようになった。
- 言葉を発しなくても相手に心を伝える方法があり、伝えるために心をこめること、表情を豊かにすること、体全体を使うことなど学んだ。姿勢を正しくすることを意識して指導するようになった。
- ワークショップや本番前にプロの方々から子どもたちに専門的な指導をしていただき、その様子から表現力を高める指導方法を学ぶことができた。
- 舞台芸能の見方・聞き方(マナー)や解説者の説明の聞き方・反応(返事)の仕方など、基本的な鑑賞態度を改めて確認することができた。
- 声を出す前に教えていただいた「こんにやく体操」をしている。児童たちも喜んで実践している。体操の後には大きな声が出て、元気な発表ができるようになった。
- 自分の仕事を顧みられた。 等

児童・生徒の新たな一面を発見し、接し方や見る目・評価の視点が変わった (9件)

- 本番前の舞台見学でいろいろな舞台裏を見せてもらっている時に音響が歌の前奏を流したら、俳優と一緒に、すぐその気になって歌えたこと。それまでの練習とは比べものにならないくらいすごい歌声だった。ここまでできるのかとびっくりした。俳優との共演は子どもたちのすごい力を引き出したと思う。
- 重度の障がいがあって童謡にしか関心を示さない生徒が、間近に生演奏を聴くことで音の迫力を感じとり、立ち上がって体をゆらして楽しむ姿を見て、音楽教諭として他の音楽教員と協力して生演奏を授業で取り入れたいと思うようになった。
- 子どもたちを代表して舞台上上がった子どもに対する劇団の方たちの温かい思いが通じ、代表で出た子どもをみんなで盛り上げようとする、温かい雰囲気を感じることができた。また、低学年の子どもが多くの人前で堂々と演ずる姿には驚かされた。
- 初めは生徒が参加するなんて可能なんだろうかと思ったが、生徒が楽しそうに参加しているのを見て自分の視点が変わった。
- 大人しい雰囲気だった児童が、参加させていただいて積極性が見られるようになった。 等

教員同士のコミュニケーションや連携が活性化した (2件)

- 学校職員とPTAの間で「カルメン」のこと、参加(出演)した児童のことが話題になった。
- 事前の準備は担任以外の先生方で協力し合って進めることができた。

近隣校との交流や情報交換が増加した (1件)

- 近隣の学校との交流の一助となっている。

他の文化芸術事業の活用を検討するようになった (1件)

- 実施後、子どもたちが動作を真似している姿を見たり感想文を読んだりしていると、今後とも積極的に応募し機会を作りたいと思った。本物に触れることは素晴らしいことだと思う。

その他 (10件)

- 今回の公演の感想文を学級通信に載せて発信できた。
- 小学生の時、学校で東京から来た劇団の公演を見て楽しかったことを思い出した。
- 邦楽に対する興味が高まった。

- 琵琶の演奏を聴いたのは初めてだった。とても素晴らしく、やはり生演奏は良いものだった。
- 6年生を送る会の練習や本番の歌やダンスをアーティストさんのように頑張ろうと伝えた。
- 公演前から地域の方々はとても楽しみにしていた。「今までいろいろ演奏会に行ったが、今回の演奏は最高だった。大人にとっても将来ある子どもたちにとっても本当にありがたい演奏会だった」と知人からコメントがあった。また、地域の方からお礼の電話がたくさん入った。オーケストラのみなさまと一緒に思いっきり歌えて幸せだった（私はコーラスをしているが、オケと一緒に歌うことの素晴らしさを実感した）。音楽の力を強く感じた。本物の尊さを感じた。指揮者・司会者と握手していただき、感激した。生涯忘れられない演奏会になった。
- 保護者の方に「大変感動し、子どもたちにとって良い経験となった」という意見をもらい、うれしかった。
- クラスで感想を交流していると、お家の方々のこの取組への関心が高いことがわかった。
- 公演内容について、保護者の方からたくさんの反響をいただいた。
- 1年に1度はいいかな。

(6) 本事業の魅力

【全体】「文化芸術団体が直接学校まで来てくれる」(80.8%)が最も多く、「非常にレベルの高い文化芸術団体の公演を鑑賞できる」(77.1%)、「ワークショップがあるため、児童・生徒の理解や興味関心が高まる」(66.0%)がこれに続く。

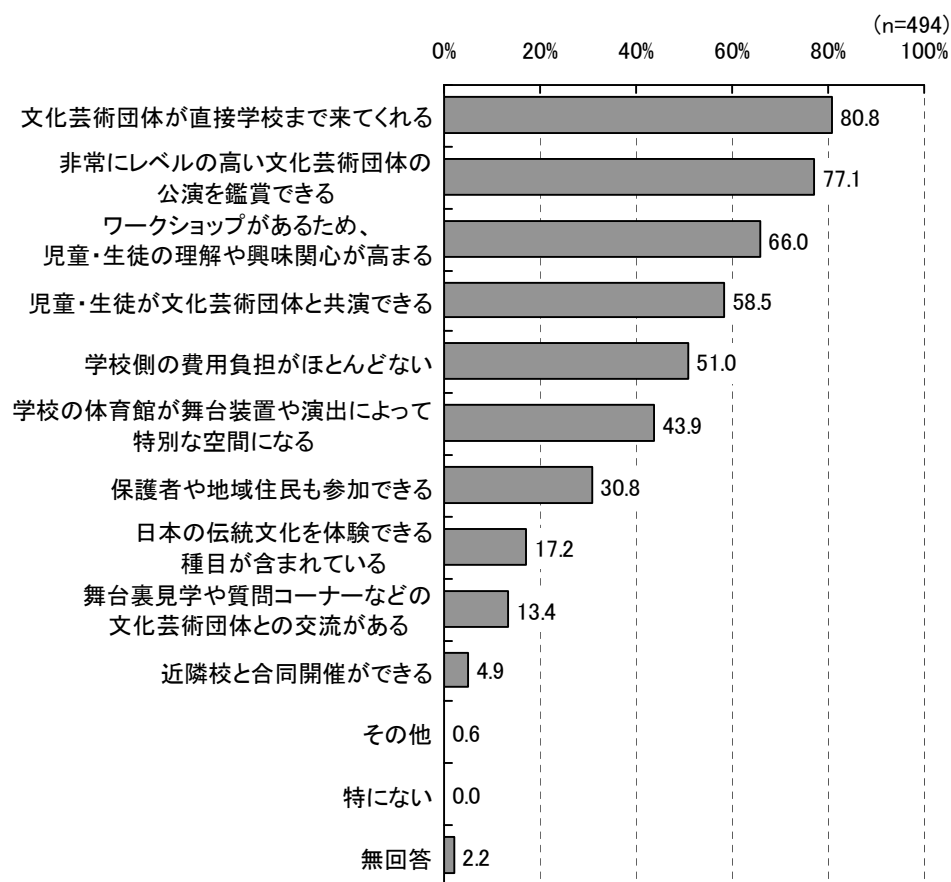
【地域特性別】首都圏は「日本の伝統文化を体験できる種目が含まれている」、地方都市圏は「学校の体育館が舞台装置や演出によって特別な空間になる」の割合が大きい。

【役職別】主幹教諭・指導教諭など、副校長・教頭、校長は「学校側の費用負担がほとんどない」の割合が特に大きい。また、副校長・教頭、校長は「保護者や地域住民も参加できる」、主幹教諭・指導教諭など、校長は「日本の伝統文化を体験できる種目が含まれている」との回答も特に大きくなっている。

【専門教科別】外国語は「児童・生徒が文化芸術団体と共演できる」、国語、図画工作・美術は「学校側の費用負担がほとんどない」、国語、理科は「学校の体育館が舞台装置や演出によって特別な空間になる」、理科は「舞台裏見学や質問コーナーなどの文化芸術団体との交流がある」の割合が特に大きい。

【分野別】現代舞踊は「ワークショップがあるため、児童・生徒の理解や興味関心が高まる」、バレエは「学校側の費用負担がほとんどない」、舞踊全般および邦舞では「学校の体育館が舞台装置や演出によって特別な空間になる」、演芸、バレエは「保護者や地域住民も参加できる」、伝統芸能全般では「日本の伝統文化を体験できる種目が含まれている」の割合が特に大きくなっている。

図表 140 本事業の魅力(MA)



図表 141 本事業の魅力(地域特性別・MA)

	調査数	本事業の魅力															
		校文化まで来てくれる	賞化賞	非常能	解や興味関	ため、児童・生徒の活躍	団体と共演できる	児童・生徒が文化芸術	と児童・生徒が文化芸術	学校側の費用負担がほ	な置や演出による特別装	加保加	いる	日本	舞	近	その他
全 体	494	80.8	77.1	66.0	58.5	51.0	43.9	30.8	17.2	13.4	4.9	0.6	0.0	2.2			
地域特性																	
首都圏	52	84.6	57.7	65.4	51.9	50.0	44.2	19.2	36.5	5.8	1.9	3.8	0.0	0.0			
大都市圏	126	81.7	84.1	65.9	65.1	46.8	35.7	30.2	4.8	16.7	1.6	0.0	0.0	0.8			
地方都市圏	183	84.7	78.1	61.7	51.9	54.1	54.1	28.4	18.6	8.2	1.1	0.0	0.0	1.6			
不利地域	133	72.9	76.7	72.2	63.9	51.1	37.6	39.1	19.5	20.3	14.3	0.8	0.0	5.3			

図表 142 本事業の魅力(役職別・MA)

	調査数	本事業の魅力															
		校文化まで来てくれる	賞化賞	非常能	解や興味関	ため、児童・生徒の活躍	団体と共演できる	児童・生徒が文化芸術	と児童・生徒が文化芸術	学校側の費用負担がほ	な置や演出による特別装	加保加	いる	日本	舞	近	その他
全 体	494	80.8	77.1	66.0	58.5	51.0	43.9	30.8	17.2	13.4	4.9	0.6	0.0	2.2			
役職																	
教諭	361	80.9	76.7	65.1	57.1	50.1	44.6	25.5	16.1	11.4	3.3	0.6	0.0	0.8			
主幹教諭・指導教諭など	7	85.7	85.7	71.4	57.1	85.7	42.9	42.9	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
副校長・教頭	24	100.0	91.7	83.3	75.0	79.2	62.5	62.5	25.0	37.5	20.8	0.0	0.0	0.0			
校長	21	85.7	90.5	76.2	81.0	90.5	52.4	66.7	47.6	28.6	23.8	4.8	0.0	0.0			
その他	68	80.9	77.9	69.1	61.8	39.7	36.8	41.2	11.8	11.8	1.5	0.0	0.0	0.0			

図表 143 本事業の魅力(専門教科別・MA)

	調査数	本事業の魅力															
		校文化まで来てくれる	賞化賞	非常能	解や興味関	ため、児童・生徒の活躍	団体と共演できる	児童・生徒が文化芸術	と児童・生徒が文化芸術	学校側の費用負担がほ	な置や演出による特別装	加保加	いる	日本	舞	近	その他
全 体	494	80.8	77.1	66.0	58.5	51.0	43.9	30.8	17.2	13.4	4.9	0.6	0.0	2.2			
専門教科																	
国語	37	89.2	67.6	78.4	56.8	67.6	59.5	43.2	13.5	8.1	5.4	0.0	0.0	0.0			
社会	47	78.7	83.0	72.3	59.6	51.1	44.7	27.7	23.4	14.9	2.1	0.0	0.0	0.0			
算数・数学	35	77.1	88.6	74.3	71.4	54.3	51.4	25.7	22.9	14.3	8.6	0.0	0.0	0.0			
理科	24	83.3	83.3	70.8	58.3	62.5	62.5	37.5	20.8	29.2	12.5	0.0	0.0	0.0			
生活	4	100.0	50.0	0.0	0.0	75.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
音楽	26	84.6	73.1	76.9	69.2	57.7	46.2	34.6	11.5	15.4	3.8	0.0	0.0	0.0			
図画工作・美術	18	88.9	61.1	66.7	55.6	72.2	50.0	22.2	11.1	11.1	5.6	5.6	0.0	0.0			
技術・家庭	17	76.5	70.6	58.8	52.9	47.1	41.2	35.3	5.9	11.8	5.9	0.0	0.0	5.9			
体育・保健体育	39	87.2	79.5	61.5	64.1	43.6	43.6	38.5	15.4	28.2	15.4	0.0	0.0	0.0			
外国語	18	83.3	83.3	72.2	77.8	38.9	44.4	33.3	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0			
その他	55	78.2	78.2	65.5	63.6	50.9	40.0	29.1	18.2	7.3	0.0	0.0	0.0	0.0			

図表 144 本事業の魅力(分野別・MA)

	調査数	本事業の魅力																	
		校文化まで来てくれる	賞文化芸術団体の高い鑑賞	非常に興味関心の高い文	解や興味関心の高い理	ワーグナー・ショッ	団体と生徒が文化芸術	児童・生徒が文化芸術	と学校の費用負担がほ	学校側にならない	な置や演出による特別	学校の体育館が舞台別	加保護者や地域住民も参	いできる種目が含まれて	日本との伝統文化を体験	ナなどの文化交流がある	舞台裏見学や質問コ	きる近隣校と合同開催が	その他
全体	494	80.8	77.1	66.0	58.5	51.0	43.9	30.8	17.2	13.4	4.9	0.6	0.0	0.0	2.2				
演劇	演劇小計	158	81.6	65.2	70.9	59.5	49.4	57.6	25.9	12.0	21.5	6.3	0.6	0.0	3.8				
	演劇	38	86.8	60.5	71.1	68.4	36.8	57.9	28.9	21.1	10.5	2.6	0.0	0.0	5.3				
	児童劇	20	75.0	40.0	35.0	25.0	50.0	40.0	10.0	15.0	10.0	0.0	5.0	0.0	0.0				
	ミュージカル	100	81.0	72.0	78.0	63.0	54.0	61.0	28.0	8.0	28.0	9.0	0.0	0.0	4.0				
音楽	音楽小計	198	78.8	87.4	60.6	64.1	47.5	28.3	31.8	5.6	9.6	6.1	0.5	0.0	2.5				
	オーケストラ	157	81.5	88.5	58.6	63.1	48.4	27.4	28.0	3.8	8.3	4.5	0.6	0.0	1.9				
	音楽劇	20	70.0	70.0	60.0	75.0	40.0	50.0	50.0	0.0	25.0	20.0	0.0	0.0	10.0				
	合唱	21	66.7	95.2	76.2	61.9	47.6	14.3	42.9	23.8	4.8	4.8	0.0	0.0	0.0				
伝統芸能	伝統芸能小計	96	76.0	74.0	61.5	43.8	49.0	36.5	27.1	51.0	7.3	1.0	1.0	0.0	0.0				
	演芸	21	81.0	81.0	52.4	52.4	66.7	38.1	57.1	42.9	9.5	0.0	0.0	0.0	0.0				
	能楽	29	72.4	65.5	51.7	24.1	37.9	27.6	10.3	41.4	6.9	0.0	0.0	0.0	0.0				
	邦楽	25	76.0	64.0	72.0	60.0	44.0	20.0	16.0	64.0	8.0	4.0	4.0	0.0	0.0				
舞踊	邦舞	21	76.2	90.5	71.4	42.9	52.4	66.7	33.3	57.1	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0				
	舞踊小計	42	97.6	81.0	83.3	61.9	78.6	83.3	52.4	14.3	14.3	2.4	0.0	0.0	0.0				
	バレエ	30	96.7	83.3	80.0	60.0	83.3	80.0	53.3	13.3	16.7	3.3	0.0	0.0	0.0				
	現代舞踊	12	100.0	75.0	91.7	66.7	66.7	91.7	50.0	16.7	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0				

図表 145 本事業の魅力(その他)

- ワグナーの演奏が良かった。
- 体験ができて良い。

(7) 本事業を受けた継続的・発展的な取り組み

【全体】本事業を受けた継続的・発展的な取り組みを進める意向がある教職員（「すでに行っている」(8.5%)と「今後行う予定である」(3.0%)の計)は1割程度となっており、多くはない状況である。最も多いのは「検討中である」(44.3%)という回答であり、半数近くを占めている。一方、「行う予定はない」(24.3%)は4分の1程度を占めている。

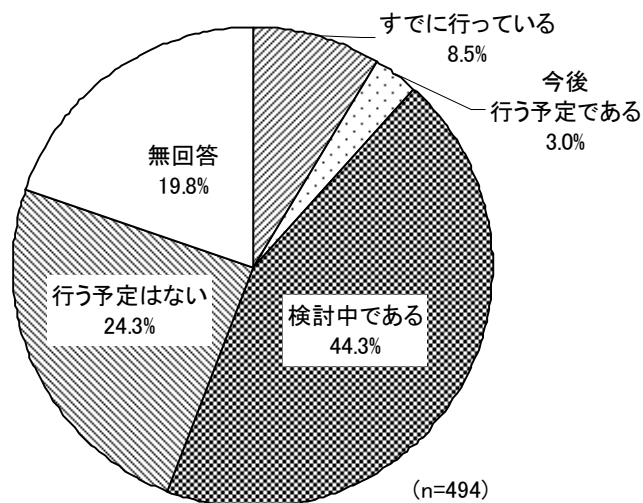
継続的・発展的な取り組みの内容としては、「本事業で作った歌を他の行事で歌っている。保護者や地域の方にも聞いてもらった」「学習発表会の劇や歌の演技指導に活かせる。ダンス発表会の参考にする」など本事業の経験を活かした発表等や、「機会がある都度、本物の芸術に触れるよう努力する」など文化芸術体験に触れる機会の創出などが挙げられている。

【地域特性別】大都市圏や不利地域で取り組み意向がある割合が比較的大きい一方、首都圏や地方都市圏では「行う予定はない」という割合がやや大きい。

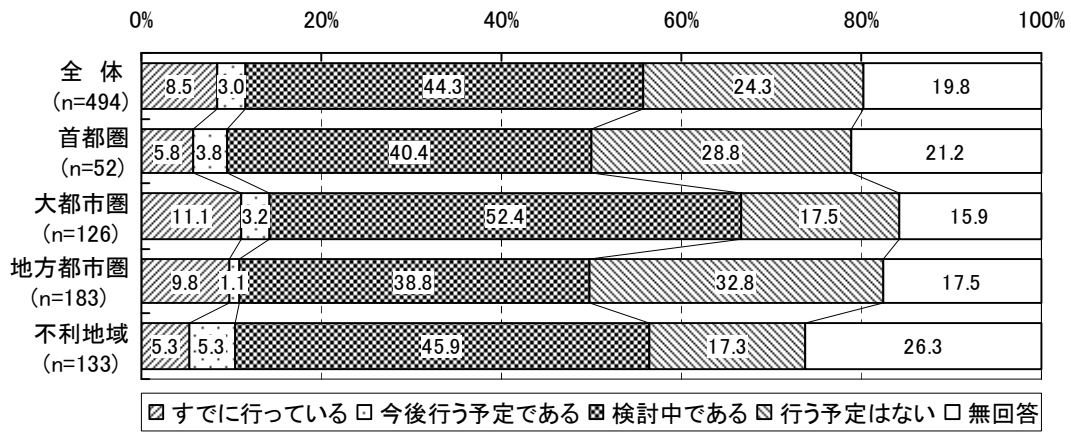
【専門教科別】音楽は「すでに行っている」の割合が大きくなっている。これは音楽では合唱や演奏等が通常授業の内容として取り組まれているためと考えられる。

【分野別】合唱やオーケストラなどは「すでに行っている」の割合が大きく、能楽や演芸、バレエなど学校でそれほど一般的でない演目では「行う予定はない」という割合が大きい結果となった。このことから、「事業を受けた継続的・発展的な取り組み」という設問に対して、「実施演目に関する取り組み」と想定した回答者が多かった可能性が推測される。今後の調査設計においては、公演の演目の範囲に止まらず、より広義の取り組みにつなげていくものと捉えてもらう必要がある。

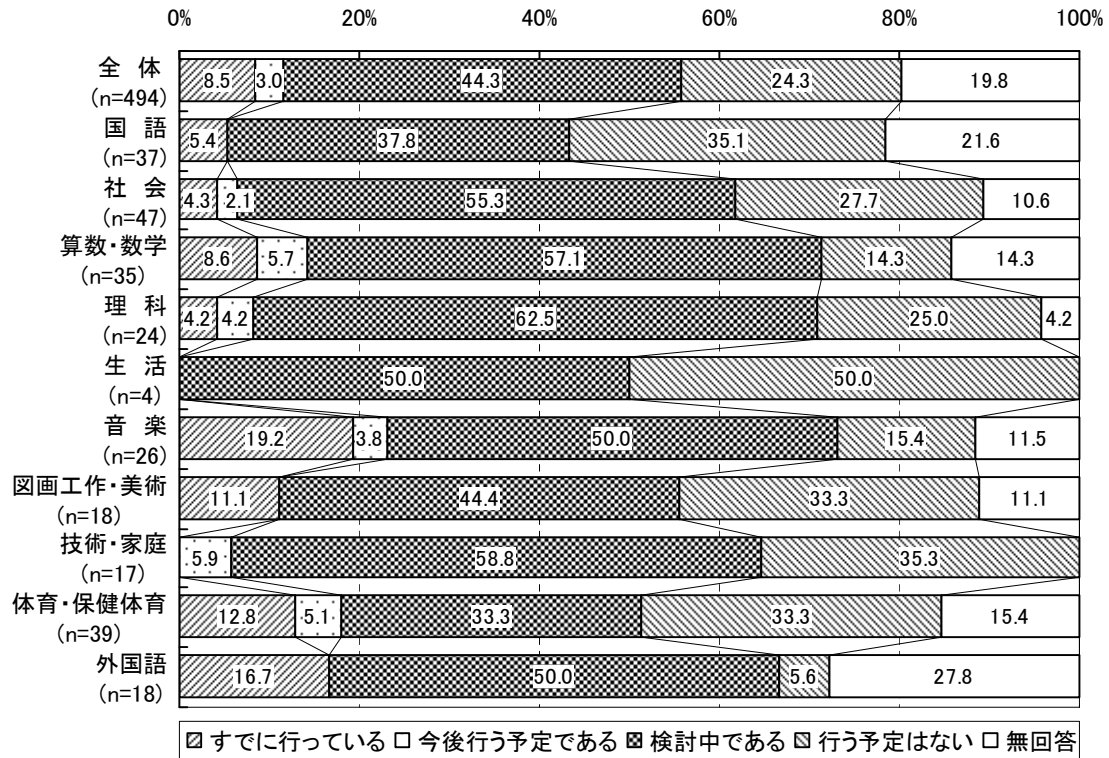
図表 146 本事業を受けた継続的・発展的な取り組み(SA)



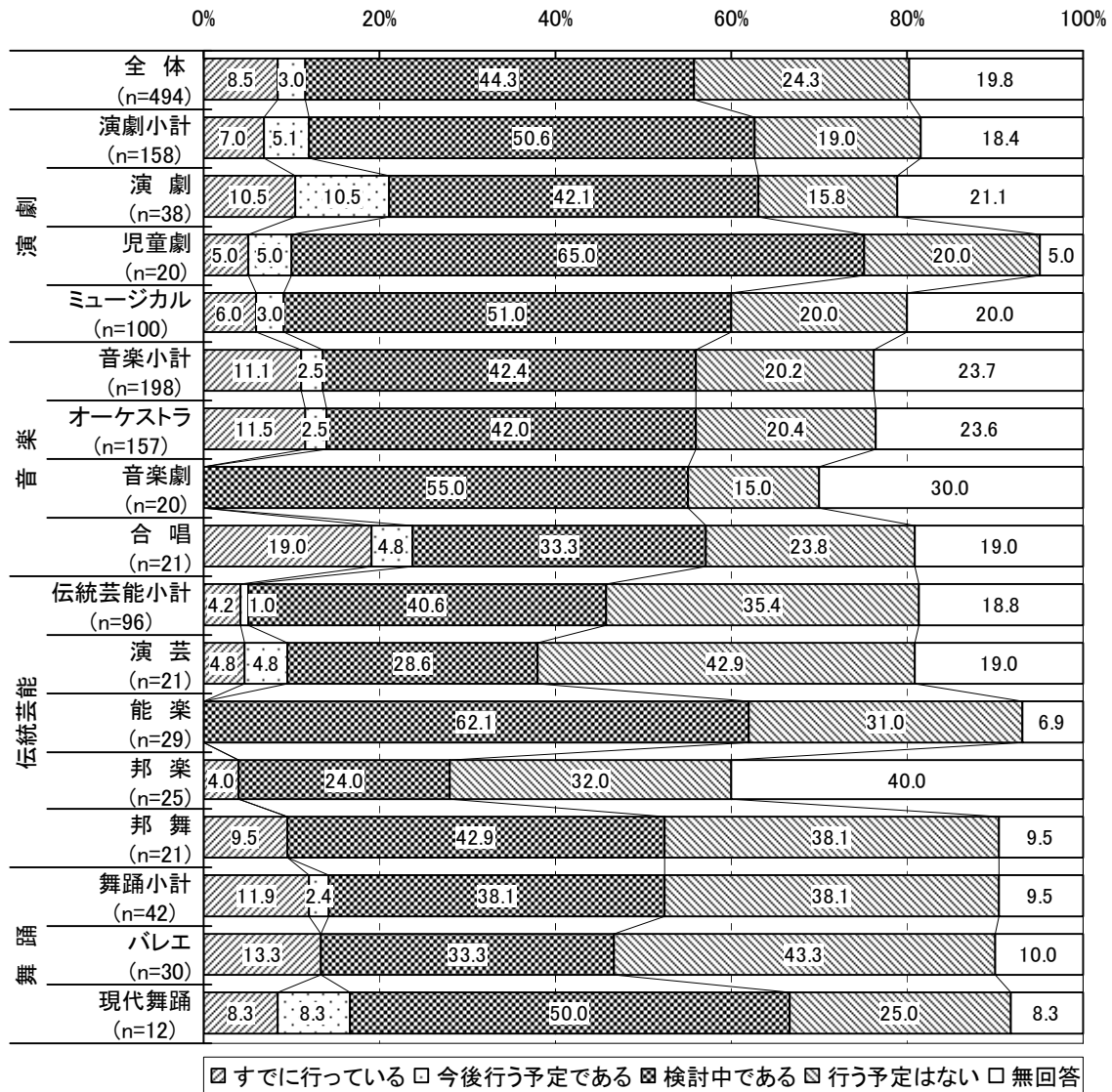
図表 147 本事業を受けた継続的・発展的な取り組み(地域特性別・SA)



図表 148 本事業を受けた継続的・発展的な取り組み(専門教科別・SA)



図表 149 本事業を受けた継続的・発展的な取り組み(分野別・SA)



図表 150 本事業を受けた継続的・発展的な取り組みの内容(FA)

本事業の経験を活かした授業・発表 (45 件)

- 6年生を送る会で表現活動をした。
- 本事業で作った歌を他の行事で歌っている。保護者や地域の方にも聞いてもらった。
- 学習発表会時の劇や歌の演技指導に生かせる。県ダンス発表会の参考にする。
- 地域の文化祭に出演した。
- 文化祭で生徒による劇のレベルアップが楽しみである。
- 音楽の授業でコンサートの曲を聴いたり、それに合わせて指揮体験を行った。
- 授業の中で「アリス」の物語に触れた。
- 総合的な学習の時間で、将来の夢について。 等

文化芸術鑑賞体験機会の創出 (5 件)

- 地域で行われるものへの参加呼びかけ。音楽の授業での鑑賞に生かしたい。
- 他の芸術にも触れる機会を計画している。
- 毎年文化にふれさせたい。
- 機会がある都度、本物の芸術に触れるよう努力する。
- 音楽的・演劇的な芸術鑑賞を行っていく。

次年度応募実施 (3 件)

- 6年生を送る会での発表に合唱を取り入れた。次年度もこの事業に応募し、公演が決定した。
- 次年度の応募。
- 来年度も本事業を実施予定。

指導の参考にする (3 件)

- 本校の現職教育で「地域の伝統や文化を大切にする児童の育成」として研究を継続している。
- 学習発表会では子どもたちだけでなく、指導する教師にもとても参考になり、生かされている。
- 学校行事や授業の中での発表の仕方等についての指導に生かす。

感想文、作文、礼状 (3 件)

- お礼の手紙を書いた。
- 卒業式の呼びかけや作文に書くなどを行った。
- 日記帳に感想文を書かせた。

(8) 本事業の課題点、本事業への提案

図表 151 本事業で課題だと感じる点、より良くしていくための提案(FA)

公演時期、日時選択に自由度を (15件)

- ワークショップから本番までが長いということと、12月中旬にワークショップ・1月中旬本番は冬休みが入り、練習がほとんどできない。
- 日時をもう少し自由に選びたい。
- 時期的なものもあるが、インフルエンザの流行で、多くの児童が一緒になり感染することが心配だった。
- 学校行事と本事業の開催予定日がぶつかってしまうと変更できないこと。
- 実施日が2月下旬でとても寒かったため、もう少し気候の良い時期に実施できた方がよい。

体育館の設備不足、準備・工夫の必要性 (14件)

- 音に敏感な児童・生徒もいるので、児童・生徒をアーティストの方々が囲まれる、演奏される形態は、会場の変化の影響が大きすぎるのではないだろうか。
- 公演のための準備物(体育館用ストーブ・姿見等)を揃えたが、レンタルできるよう本事業に組み込んでいただくと大変ありがたい。
- 準備物や要望が多く、楽器のことも考えると仕方ないが、もう少しスタッフや団体の方で準備してほしい。特定の教職員に負担がかかる。
- 本事業を学校で実施する場合、地域の人や近隣の学校を案内した時のトイレなどの数が足りない。階段しかないため、団員の方々の荷物運びが大変だと感じた。控室の確保にも施設面で余裕がない。
- 司会の方はとても聞き取りやすかったが、指揮者の方が説明をして下さった時に聞き取りにくくなった。とても貴重な体験なので、少し残念だった。 等

演目構成・難易度・時間の問題 (14件)

- オーケストラでは良かったけれど、他の種目になると児童の出演者数が多く、小規模校では2～3割の児童が出演することになってしまう。学校規模に合わせた出演者数にしたいだけ配慮してほしい。もし可能なら、募集要項に一文がほしい。
- 小学校では1～6年の児童が同じ演目のものを鑑賞するという形を取るため、どうしても低学年向き・高学年向きという内容によって、楽しく見られる学年とそうでない学年ができてしまうだろう。物理的に可能ならば、低・高学年別(2～3校合同でもよい)に演目を分けてもらえると嬉しいと思う。
- 低学年の児童には長時間トイレに行けないこと。
- 高学年には、舞台ができあがるまでの様子を見せたり、どんなスタッフがいるかなどの紹介があると、さらに身近になると思った。
- スクールバスの下校時間内で実施できるとよい。 等

教育課程のやりくりが困難 (9件)

- 時期が選べない点が学校行事との関係で不便である。ワークショップは1時間でいいように思う。
- 季節や行事等の連携が学校側で取れない、または応募と体験事業決定の時期が年度頭初になるような工夫はないものかと思う。年間を通じての連続的・効果的な体制が組みにくい状況

を作り出しているような、結果オーライ的な行事の投入はどうかという気がした。もの自体は大変クオリティが高いので、もっと効果的なものになればと思う。

- 年度途中での決定になるので、教育課程のやりくりで苦勞する。年度末に決定できれば次年度に計画して準備等も進めやすい。
- 今回は本校で5単位時間の授業時数を使った。他校ではかなり厳しいものになるので、短時間で効率よくする方法があればなお良いと思う。 等

ワークショップの内容の充実、時間・参加人数の工夫 (8件)

- ワークショップの内容は年齢に合わせたものの方が取り組みやすいと思う(中学生には少し簡単だったかも)。
- ワークショップなど子どもたちがプロの方々から指導していただける機会があったことはとてもありがたいので、その時間や内容をもっと増やしていただいてもいいなと思った。
- 1学年の一部の子どもたちだけワークショップに参加するという点。
- ワークショップで児童が行う課題はより細かく段階を設定し、それらを達成しながら最終目標に取り組みれば、意欲も高まると思われる。 等

本事業の継続・拡大の必要性 (6件)

- 自発的にカルチャー的行事を行うべきと思うが、このような大きなレベルの高い行事は予算的な支援がどうしても必要となる。
- より多くの学校が見る機会を増やしたり、一度行った学校にも何度も訪れたりするなど、この文化的取組をこれからも続ける方向で考えていただきたいと思う。事業仕分けでなくさない方向でお願いしたい。
- 地域の方々が大変感謝され、握手を求めてこられた。事業の継続をお願いしたい。 等

事前準備、リハーサルの必要性 (5件)

- 踊りの好きな生徒が多く前向きに取り組めたが、事前の1回の指導で、後は練習風景を撮ったビデオで練習したため、月々の練習で教員がどのようにどの程度指導していいか悩んだ。また、練習時間がたくさん取れないという現状もある。
- 可能であれば、公演日までに1回指導に来ていただければ。
- 児童の鑑賞態度の事前指導をしっかりする必要があると感じた。 等

演者との交流が必要 (4件)

- アーティストとのふれあいがもっとあってもよいのではないか(給食を食べたり質問ができたりなど)。
- 休憩時間に舞台裏や機械などを見せていただいたり、自由に団員の方と会話したりする時間があればよかったと思う。 等

より多くの方が鑑賞できるように (4件)

- 体育館で行うと子どもたちも慣れた所で安心して参加ができるが、ホールなどで保護者、地域の方も一緒に参加できた方がよかったと思う。その場合、慣れない所での不安感や移動の大変さがある。
- ワークショップのダンスの内容は公演の内容と大きく異なっていたため、文化・美術を感じられるような内容だとよいと感じた。難しいとは思いますが、公演にはより多くの生徒(できれば全員)が参加できるとよかった。 等

体験できる部分を多く (3件)

- 児童の体験活動がもう少しあるとよいと思う。

- 体験を取り入れてほしい。
- 子どもとの共演の回数がもっとほしい。

他の芸術文化体験にも期待 (3件)

- 今回のオペラは外国の原作だったので、日本の伝統文化にふれるという点においては次回に期待している。
- 技術科で伝統工芸、情報で映像（コンピュータを使って）など、体験的活動はあるのか。
- いろいろな芸術文化の体験。

アンケートが難しい (3件)

- 時間的に長いと感じた（低学年にとって）。アンケートが難しい。
- 現在小学校1年を担任しているが、アンケートはなかなか理解が難しかったので教師が読んで進めていった。中学年以上の児童で実施したらどうか。
- アンケートは低学年の子どもたちは理解しにくいので、必要であれば簡単な内容のものにしてほしい。

その他 (5件)

- ワークショップと本講演が2週間しか開いていなかったが、児童の意欲と関心は高く、継続していたため良かった。教師は忙しいが、ワークショップと本講演は開けなくてもよい場合もあると思った。
- 演技する人だけでなく、舞台を支える方々全員を紹介する場面があると、支えている人の多さ、協力が気づく。
- 学校側の費用負担はほとんどなかったが、一部、電源ボードの設置などでお金がかかったので、事前（申込み際）に金額等がわかっているとよかったと思う。
- マツユキ草を娘の役の方が摘む場面で、1本しか児童のマツユキ草を摘まなかったのが、ちょっとさみしかったと思う。あと何本か摘んでいただけるとよかったなと思った。12月の歌の場面では、それぞれの方が何月の役なのかがわかるとよかったと思う。
- 特別支援の児童・生徒はなかなかコンサート等へ出かける体験がないので、本事業のように来校していただけるとありがたい。この体験があれば次に保護者も子どもたちをコンサートに連れて行こうと思うかもしれない。

(9) 今後の文化芸術鑑賞・体験機会の設置意向

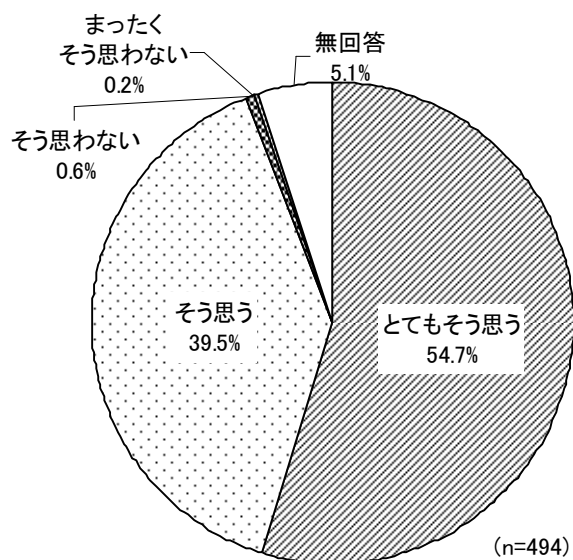
【全体】文化芸術鑑賞・体験機会の設置意向がある教職員（「とてもそう思う」（54.7%）と「そう思う」（39.5%）の計）は9割強であり、ほとんどの教職員が今後何らかの機会を設置したいと考えている。

【地域特性別】大都市圏（平均：1.71）は設置意向が比較的強い。

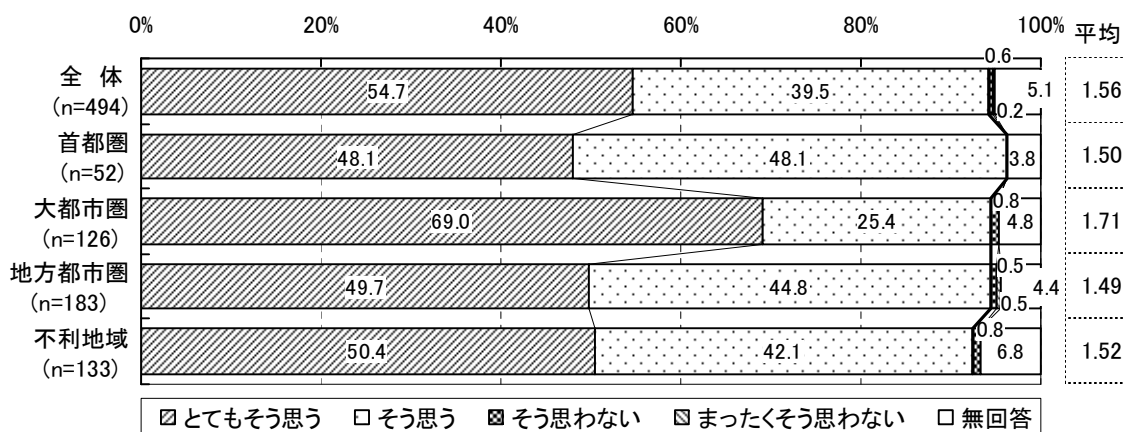
【専門教科別】生活（1.75）、外国語（1.71）などで設置意向が比較的強くなっている。

【分野別】バレエ（1.80）は設置意向が強い。一方、能楽（1.04）、児童劇（1.26）、音楽劇（1.35）では設置意向が弱くなっている。

図表 152 今後の文化芸術鑑賞・体験機会の設置意向(SA)

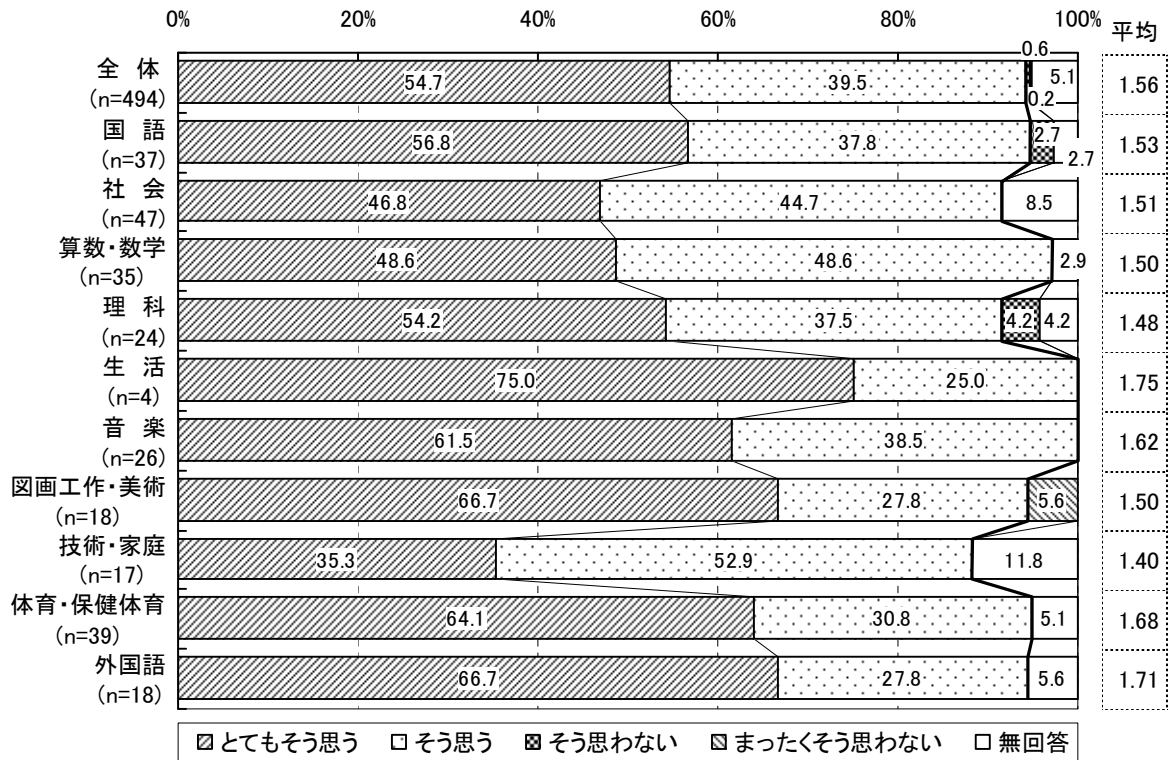


図表 153 今後の文化芸術鑑賞・体験機会の設置意向(地域特性別・SA)

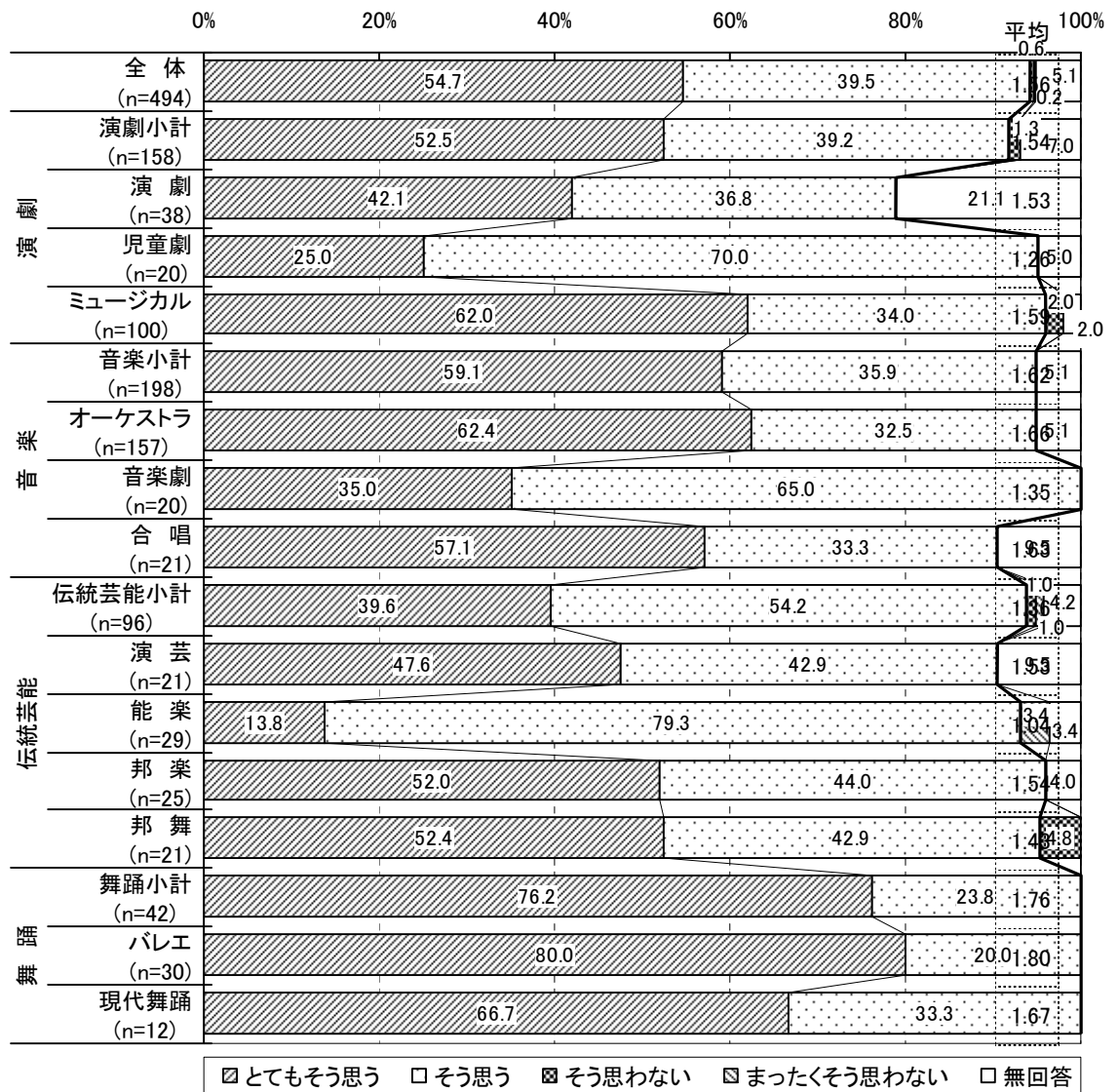


(注) 平均は「とてもそう思う」=+2、「そう思う」=+1、「そう思わない」=-1、「まったくそう思わない」=-2とした加重平均値(以下同様)。

図表 154 今後の文化芸術鑑賞・体験機会の設置意向(専門教科別・SA)



図表 155 今後の文化芸術鑑賞・体験機会の設置意向(分野別・SA)



V. 保護者・地域住民へのアンケート調査・分析結果

1. 調査概要

保護者・地域住民へのアンケート調査の概要は以下の通りである。

図表 156 保護者・地域住民へのアンケート調査概要

【調査対象】	実施校 32 校の巡回公演事業を鑑賞した児童・生徒
【調査方法】	無記名式アンケート調査(当日配布・回収)
【調査期間】	平成 24 年 12 月 4 日～平成 25 年 2 月 26 日
【回収状況】	有効回答数 800 件

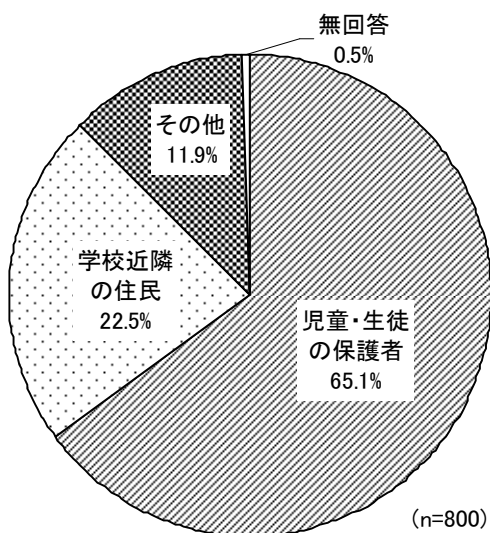
2. 回答者属性

(1) 学校との関係

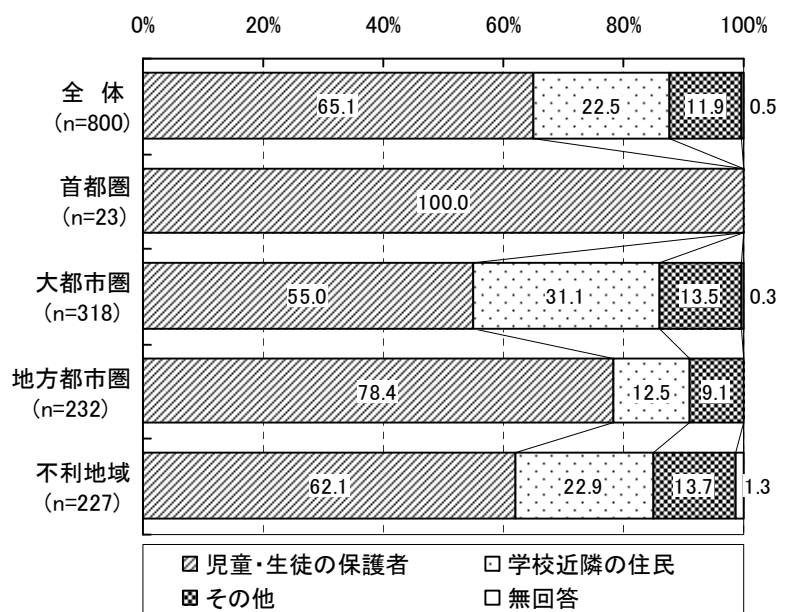
【全体】約 3 分の 2 が「児童・生徒の保護者」(65.1%) であり、2 割程度が「学校近隣の住民」である。

【地域特性別】首都圏はすべて「児童・生徒の保護者」(100%) である。また、地方都市圏でも「児童・生徒の保護者」(78.4%) の割合が大きい。

図表 157 学校との関係(SA)



図表 158 学校との関係(地域特性別・SA)

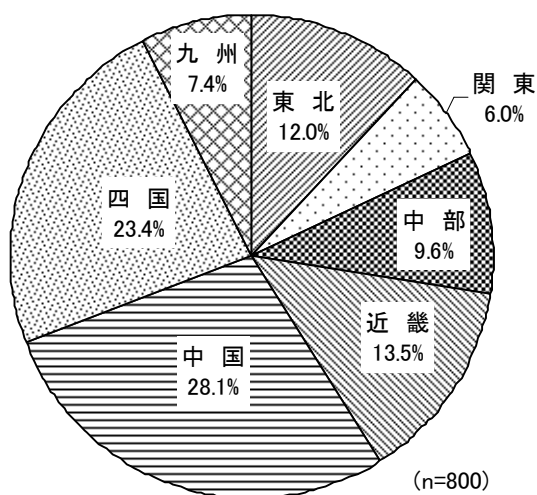


(2) 地域特性

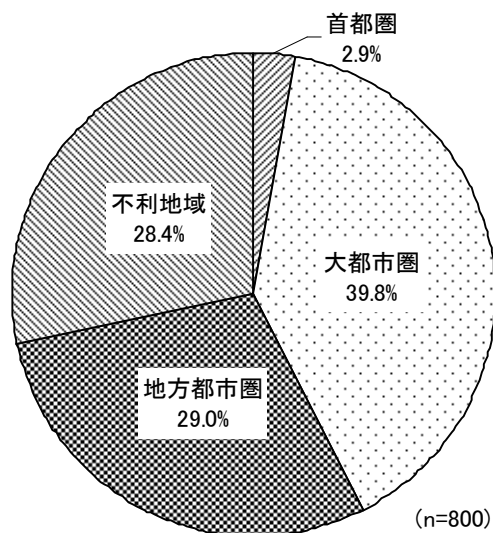
【地方】「中国」(28.1%)が最も多く、「四国」(23.4%)がこれに続く。

【地域特性】「大都市圏」(39.8%)が最も多く、次いで「地方都市圏」(29.0%)、「不利地域」(28.4%)の順となっている。

図表 159 地方(SA)



図表 160 地域特性(SA)

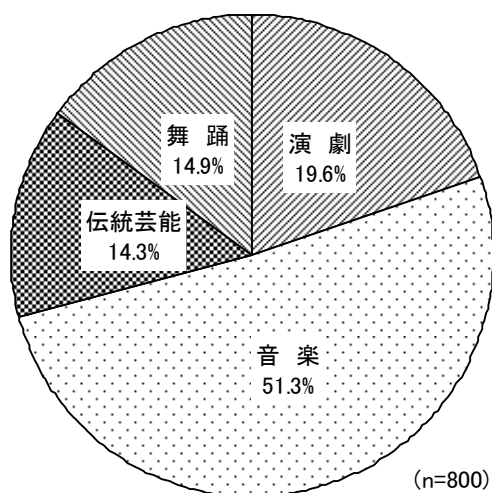


(3) 鑑賞した公演

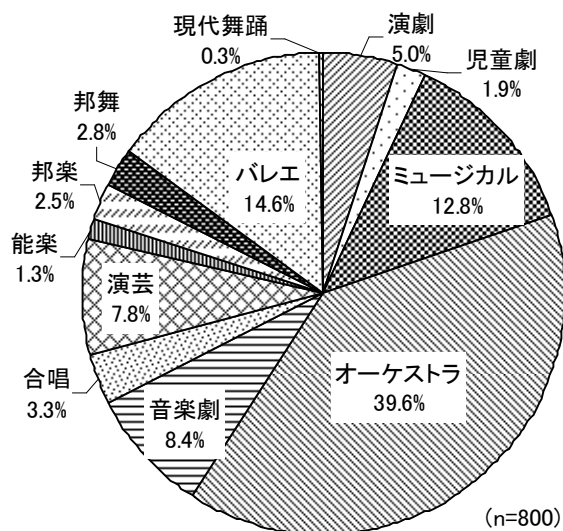
【全体】公演分野は「音楽」(51.3%)が最も多く、次いで「演劇」(19.6%)、「舞踊」(14.9%)、「伝統芸能」(14.3%)の順となっている。

内訳をみると、「オーケストラ」(39.6%)が最も多く、「バレエ」(14.6%)がこれに続く。

図表 161 鑑賞した公演分野(SA)



図表 162 公演内訳(SA)



3. 調査結果

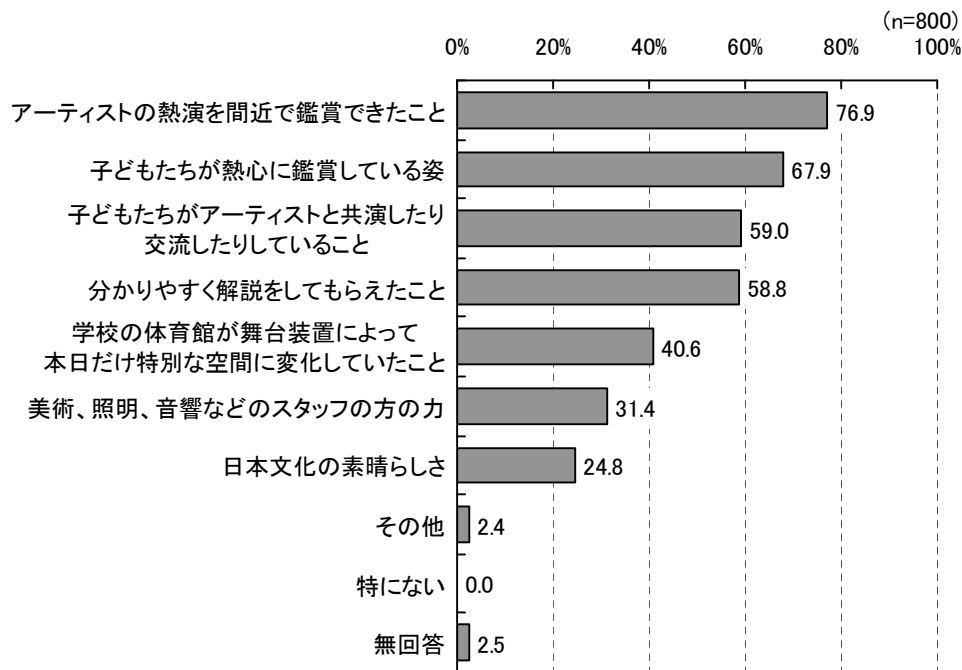
(1) 印象に残っている公演の内容

【全体】「アーティストの熱演を間近で鑑賞できたこと」(76.9%)が最も多く、次いで「子どもたちが熱心に鑑賞している姿」(67.9%)、「子どもたちがアーティストと共演したり交流したりしていること」(59.0%)、「分かりやすく解説をしてもらえたこと」(58.8%)の順となっている。

【地域特性別】首都圏は「子どもたちが熱心に鑑賞している姿」「日本文化の素晴らしさ」、地方都市圏は「子どもたちがアーティストと共演したり交流したりしていること」「美術、照明、音響などのスタッフの方の力」の割合が大きい。

【分野別】現代舞踊は「アーティストの熱演を間近で鑑賞できたこと」「学校の体育館が舞台装置によって本日だけ特別な空間に変化していたこと」、バレエは「分かりやすく解説をしてもらえたこと」、音楽劇、バレエは「美術、照明、音響などのスタッフの方の力」、伝統芸能全般及び児童劇で「日本文化の素晴らしさ」の割合が特に大きくなっている。

図表 163 印象に残っている公演の内容(MA)



図表 164 印象に残っている公演の内容(地域特性別・MA)

	調査数	印象に残っている公演の内容									
		近アーティスト鑑賞できたこと	子どもたちが熱心に鑑賞している姿	子どもたちが共演したり交流したりしていること	分かりやすく解説をもらえたこと	学校の体育館が舞台装置によって本日だけ特別な空間に変化していたこと	美術、照明、音響などのスタッフの方の力	日本文化の素晴らしさ	その他	特にない	無回答
全体	800	76.9	67.9	59.0	58.8	40.6	31.4	24.8	2.4	0.0	2.5
地域特性											
首都圏	23	65.2	78.3	65.2	52.2	8.7	4.3	47.8	0.0	0.0	0.0
大都市圏	318	82.1	68.9	48.4	68.2	37.1	17.3	17.3	1.9	0.0	1.3
地方都市圏	232	76.3	66.8	69.8	64.7	48.3	44.4	30.6	3.4	0.0	1.3
不利地域	227	71.4	66.5	62.1	40.1	41.0	40.5	26.9	2.2	0.0	5.7

図表 165 印象に残っている公演の内容(分野別・MA)

	調査数	印象に残っている公演の内容											
		近 ア で 鑑 賞 で き た こ と	し て い る 姿	子 ど も た ち が 熱 心 に 鑑 賞	リ と 共 に い る こ と	子 ど も た ち が ア ー テ ィ ス	も ら か り や す く 解 説 を し て	空 間 に 変 化 し て い た こ と	学 校 の 体 育 館 が 舞 台 装 置	美 術 、 照 明 、 音 響 な ど の	日 本 文 化 の 素 晴 ら し さ	そ の 他	特 に な い
全 体	800	76.9	67.9	59.0	58.8	40.6	31.4	24.8	2.4	0.0	2.5		
演 劇	演劇小計	157	70.1	69.4	70.7	32.5	50.3	40.8	25.5	1.3	0.0	3.8	
	演 劇	40	70.0	72.5	70.0	40.0	47.5	40.0	35.0	0.0	0.0	7.5	
	児童劇	15	60.0	73.3	73.3	60.0	33.3	40.0	73.3	0.0	0.0	6.7	
	ミュージカル	102	71.6	67.6	70.6	25.5	53.9	41.2	14.7	2.0	0.0	2.0	
音 楽	音楽小計	410	82.9	66.3	50.5	64.6	35.4	21.7	16.1	2.2	0.0	1.7	
	オーケストラ	317	83.9	68.1	47.6	72.9	30.9	14.2	15.5	2.2	0.0	1.3	
	音楽劇	67	83.6	59.7	67.2	35.8	59.7	64.2	17.9	0.0	0.0	3.0	
	合 唱	26	69.2	61.5	42.3	38.5	26.9	3.8	19.2	7.7	0.0	3.8	
伝 統 芸 能	伝統芸能小計	114	70.2	80.7	56.1	48.2	35.1	28.9	57.0	0.9	0.0	3.5	
	演 芸	62	69.4	83.9	54.8	43.5	38.7	37.1	50.0	1.6	0.0	6.5	
	能 楽	10	70.0	50.0	50.0	60.0	30.0	20.0	60.0	0.0	0.0	0.0	
	邦 楽	20	65.0	80.0	65.0	60.0	0.0	0.0	55.0	0.0	0.0	0.0	
舞 踊	邦 舞	22	77.3	86.4	54.5	45.5	59.1	36.4	77.3	0.0	0.0	0.0	
	舞踊小計	119	71.4	58.8	75.6	83.2	51.3	54.6	22.7	5.9	0.0	2.5	
	バレエ	117	70.9	59.0	76.1	84.6	50.4	54.7	23.1	6.0	0.0	2.6	
	現代舞踊	2	100.0	50.0	50.0	0.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

図表 166 印象に残っている公演の内容(その他)

- 公演中、子どもたちがとても楽しそうだった。
- 子どもたちが楽しく笑っていること。
- 子どもたちのダンスに対するリズムは素晴らしいと思った。
- 解説で毎日たくさん練習をされて、素晴らしいバレエにつながっていると思った。
- バレエがよくわかった。真剣に踊っている姿、素晴らしい。
- 手先・指先・足先全身の素晴らしさに感動した。
- 表現力。
- 日本語の響きの美しさ。
- 初めてだったが、みなさまの美しいこと。
- 楽しく聴かせていただいた。本物の音を体験できた。
- とても素晴らしい演奏で感動した。
- 音楽が生ピアノ演奏だったこと。
- 生演奏が聞けたこと。
- 歌声が素晴らしかった。
- 指揮者の方の心やさしい解説に感動。
- アナウンスも素晴らしかった。
- 小さな舞台に合わせて普段と違う形でアレンジされていたこと。
- 校歌。
- 家庭に演奏曲の CD、テープ所持。

(2) 公演内容に対する意見・感想

図表 167 公演内容に対する意見・感想等(FA)

感動した、楽しかった、また見たい (168 件)

- とても素晴らしかった。迫力があり、感動した。ありがとうございました。
- 歌舞伎や狂言などは鑑賞する機会がないので、感動した。
- 夫婦で聴きに来た。子どもが大きくなったらいつか2人で聴きに行きたいと話していた。生で演奏が聴けてとてもよかった。
- 楽しかった。ありがとうございました。テレビでしか見たことのないマジック、生で見られて感動した。また機会があれば見たい。 等

演目内容、演出が良かった (109 件)

- 本物をあまり見たことがないので、大人も同じように笑い、楽しませてもらった。古典的な舞台なのか、小学生用にアレンジしたものかもしれないが、衣装もきれいで迫力があり、あっという間の時間だった。すばらしい踊り、貴重な体験になった。なかなかこのようにたくさんの芸能や踊りにふれる機会はなく、とても素晴らしい舞台だった。とても楽しく元氣になれた。舞台装置もすごく、生演奏も良かった。寒い中お疲れ様でした。
- とてもいい内容の劇だった。大人も子どもも楽しめる内容だった。自分も亡くなった父を思い出して時々涙が出てきそうになった。生のミュージカルを見ることができてとても楽しかったし、感動した。
- すばらしい公演を近くで見ることができ、感動した。内容も、今の社会でのいじめなどのテーマもあり、よかった。
- 話を聞くことだけではなく、ジャズもとてもよいと思った。校歌もジャズにするとのりがよくなり、違った感じがした。 等

子どもに良い経験となる (86 件)

- オーケストラの森、とても感動した。オーケストラの校歌、聴けて良かった。学生時代に1つでも多く本物の文化芸術を鑑賞できることがすばらしいことだと思う。
- いいと思っていても、こういった所に連れていけないので、学校で見る機会があつてよかった。子どもにもいい影響があると思う。
- 初めてのオペラ鑑賞で感激した。子どもにはレベルが高かったと思うが、人生の中での思い出となることだろう。
- 学校でこういう機会があるのは良いことだと思う。こういう機会でもないと落語にふれあうことはないと思う。 等

本事業の継続・拡大を (85 件)

- 生のマジックを見ることができ、とても楽しい時間をすごすことができた。子どもたちも数日前からとても楽しみにしていた。また機会があれば公演を見たい。とてもすばらしい事業だと思う。テレビ等で見ることもあるが、やはり子どもたちには生のものを見せることが大切だと思う。
- 観客(子・保護者)の心を掴み、とても充実していたと思う。毎年実施してほしい。
- 素晴らしかった。ぜひいろんな小学校でしていただきたい。
- 今後もこのようなワークショップが続いていけばよいと思う。 等

子どもの参加が良かった (46件)

- 生の落語を聞く機会はなかなかないので、子どもたちと一緒に楽しい時間を過ごすことができた。ありがとうございます。マジックとは違って曲芸も良かった。児童の参加もあり、構成も良かった。文化芸術になかなか触れることがないので、今回の巡回公演はとてもありがたい。本物に触れる、体験するということはとても良いことだと思う。
- 合唱団のみなさまと一緒に歌えることに恵まれ、いい経験ができて子どもたちは幸せだと思う。子どもたちには、まだまだこれからも経験を積ませてもらいたい。
- さすがプロだと感心させられた。内容も子どもにわかりやすく、大いに盛り上がっていたと思う。子どもが演じていたが、大変上手で思わず話にひきこまれた。笑うことの大切さと楽しさが実感できた。1ヶ月前から準備をして、本日の公演となったとのこと、素晴らしい取組だと思う。感受性の豊かな子ども時代にこのような本物の芸にふれさせることは、今後の大きな財産になると確信した。
- 子どもが参加できたことがすばらしい。難しい歌もよく覚えて全部上手だった。どの年代にもわかりやすく、楽しめる内容だった。 等

子どもの反応が良かった (32件)

- 思わず歌ってしまうぐらい子どもたちが引きこまれていることがすごく良かったと思う。これを機会に、6年間に一度くらい、どの学校でもこのようなコンサートを聴かせてあげてほしい。
- 子どもたちもとても楽しそうで本当に良かった。子どもたちが知っている曲(選曲)も良かった。子どもたち以上に保護者もとても楽しかった。感動をありがとうございます。数日前から、子どもから「ママ来てー」と言われていたので、ぜひ参加しようと思った。これからも(卒業しても)機会があれば鑑賞したいと思う。
- 子どもたちが静かにちゃんと鑑賞していたことに本物の芸術のすばらしさを感じた。またこういう機会があればと思う。
- 難解だった気もするが、子どもたちは楽しそうに見ていたので良かったと思う。 等

身近な環境、限られた設備で鑑賞できた (31件)

- 身近なところで落語を聞くことができ、楽しい一時だった。児童にこのような機会を持っていただき感謝する。小学生からこのような体験をしていただき、子どもたちも大喜びだった。またよろしく。
- 小さい子どもがいるとなかなか鑑賞しに出かけられないので、学校で聴けてよかった。
- 交響楽団の演奏は今まで大きなコンサートホール等でしか聞いたことがなかったが、こうして小・中学校等に気軽に出かけ演奏して下さることはとてもありがたく、子どもたちや地域の方々も大変音楽を身近に感じる事ができた。体育館では音響がよくないと想像していたが、メンバーの実力によりそれを感じることはなく、とてもパワーを感じた。
- こういう場所でもオーケストラの演奏が聞けるのだ。演奏一つ一つが心に響いて、感動が心の隅まで響いてくる。いつかまた生で聞きたい。またよろしくお願いします。 等

解説が良かった、わかりやすかった (28件)

- 演奏だけでなく、話、楽器の説明もわかりやすく楽しかった。何より間近で演奏が聴けて良かった。ととても有意義な、素晴らしい時間を過ごせた。ぜひ、地域の方にも呼びかけて、毎年の恒例行事にさせていただけたらと思う。
- 小学生には難しい内容かと思われたが、とてもわかりやすく説明していただき、子どもたち

も素晴らしい鑑賞態度で聞いていたので感心した。日本の伝統芸能に触れる珍しい機会で、大変良かったと思う。

- 楽器の紹介や選曲が工夫されていて、子ども親しみやすい内容になっていたと思う。舞台上がらず、子どもたちと同じ位置で演奏して下さったのがよかったと思う。
- 楽器を一つずつわかりやすく説明して下さり、とても楽しく、また楽器の音の違いがよくわかり、良かった。司会の方の話術も楽しかった。 等

声・音が良かった (22件)

- 日頃ミュージカルなど見る機会がないので、とても良かった。地元の子どもたちが参加しているのが、よけいに身近感があって良かった。質問にもたくさん元気よく手を挙げていたのがすごいと思った。本物の方は声もダンスもすごい。特に声が大きく美しかった。ぜひこのような活動をずっと続けてほしい。楽しみにしている。
- わかりやすい説明で、子どもたちも楽しんでいるのを気持ち良く拝見していた。マイクがなくても良く通る声に感動した。本物の芸を見せてもらえる、とてもありがたい時間だった。ゲームやTVでなく、人の力が伝わってきた。
- 楽器の音色もとっても良くて、劇にも引きこまれてしまい、涙が流れた。素晴らしいことなので、ずっと続けていただきたいと思う。
- 音が柔らかかった。風の音の楽器を初めて見た。 等

子ども以外も参加できて良かった (19件)

- 低学年から一流の音楽を聞く機会ができるだけ多くあれば、一流の日本の文化を理解できるようになる。今後もぜひ開催してほしい。地域の住民にもチャンスを与えて下さってありがとうございました。大勢の演奏だったので、講堂の音響環境でも満足できた。指揮をした思い出ができたのは良い思い出になったことだろう。最後の合唱は良く揃っており、美しい音楽だった。
- 「翼をください」は自分が中学校の合唱で歌ったので、子どもと一緒に歌えて感無量だった。このような機会は滅多にないので、とても楽しかった。1年に1回等、定期的な開催を期待する。
- 楽しくわかりやすい演目で、子どもたちと一緒に大いに笑った。上級生の6人の舞台も上手で味のあるものだった。我々も参加させてもらい、感謝している。とても有意義な事業で、子どもたちはなかなか演芸に出会う機会がないので、笑いながら楽しめる素晴らしい経験だと思う。
- とても良かった。ありがとうございました。久しぶりの校歌、楽しく歌った。近くの中学校で毎日練習している孫にも聞かせてあげたかった。 等

文化芸術に取り組むきっかけになる、夢が広がる (18件)

- 子どもたちが参加することで、退屈にならないように工夫されていると思う。このような場をもっと設けてもらいたいし、子ども自身が参加することによって、音楽(芸術)に興味を湧くと思う。すごく楽しめた。本日はありがとうございました。
- 自分たちの校歌をこれほど美しく聞いたのは初めてではないか。曲目も多彩、パフォーマンスもとても良かった。子どもたちも感じるものがあつたのではないか。この中から将来の音楽者が生まれるとすばらしい。
- 普段オーケストラを鑑賞する機会がないので、本格的なオーケストラは心に染みて感動した。子どもたちにも、音楽に興味を持つきっかけになったと思う。

- バレエ鑑賞を通じて表現することのすばらしさを感じた。子どもたちが感性豊かに育てくれるきっかけになればいいと思う。 等

勉強になった、理解が深まった (12 件)

- 子どもたちにとって良い経験だと思う。普段では教えてもらえないことが聞けて良かった。
- 私自身も子どもをもつ親として、今日のような場面に遭遇するかもしれない。愛をもって子どもと接することができるようにと思った。
- 身近なもの（自分の声・ピアノ）でも、磨くとこんなにすてきなものになると実感した。すてきな体験ができて良かった。私もみなさんの努力には劣るが、日常生活を良いものにする努力をしようと思った。
- 指揮者で演奏が変わることがわかった。間近で鑑賞できてうれしかった。 等

交流、一体感、参加型 (11 件)

- 子どもも保護者も、いつもの体育館で、楽しい笑いがひびき、手拍子で盛り上がり、プロの生演奏を息をのんで聴く姿があり、とても楽しい、ワクワクする体験ができた。ありがとうございました。多くの学校で体験できるといいなと思った。
- オペラを初めて観劇させていただき、とても感動した。子どもたちと一緒に歌ったり、お花を使って参加できたり、会場の一体感が素晴らしかった。舞台装置が変化するのに驚いた。生ピアノが素晴らしかった。ありがとうございました。年に1回見られたらよいと思う。
- 劇団のみなさんの生の演技もさることながら、先生や生徒みんなが参加して作り上げているところに感動した。今日、この時間を過ごせたことが本当にうれしかった。生徒の心に残る素敵な時間だったと思う。
- 和楽器の素晴らしさが良く伝わった。とてもわかりやすい解説だった。体験を通して和楽器の理解・認識を深めるのにとっても良いと思う。子どもたちと一体になった演奏が良かった。 等

ワークショップが良かった (5 件)

- すばらしい音楽会だった。会場の子供たちと一体になっていたこと。一流の奏者が自ら楽しんで演奏されている姿が何より良かったと思う。当日のみでなく、ワークショップを行ったことはより興味深く、ジャズを理解できたと思う。生徒とのコラボレーションが良かった。生徒たちは自信を持ったと思う。
- 迫力ある演奏を目の前で鑑賞することができて、大変ありがたかった。子どもたちも校歌やビリーブをセンチュリーの方々の演奏で歌うことができて、大変良い経験になったと思う。手拍子の共演も参加できるようになっていて、子どもたちに大変良い構成になっていた。ワークショップで大変興味を持ったようだった。本日の公演も「ぜひ来てみて」と子どもに言われていた。親の方も楽しい時間だった。ありがとうございました。
- ワークショップ、本公演と、その前後にも体験・活動でき、とても良いと思った。また、録音された音源や楽譜のプレゼントも子どもたちの思い出に残るものとなり、素晴らしいと思った。
- 子どもがバレエを習っていたので、とても興味深く見ることができた。ワークショップが楽しかったと家で話してくれた。わかりやすく説明して下さり、とても良かった。またこのような機会があればいい。
- このような機会に保護者も呼んでいただきありがとうございます。交流・手拍子（子どもの拍子がだんだん大きくなっている）も楽しかった。事前のワークショップがあるのも良かった。

た。子どもとプロの舞台を聞きに行くことはないので、良かった。

他の芸能にも期待 (4件)

- 簡単な公演かと思っていたが、本格的な舞台でとても感動した。みんなの頑張っている姿を見てとても感動した。オペラだけでなく、他のものもしていただけたらと思う(歌舞伎など)。
- 感動した。他のオペラも見たい。いろいろなオペラを見せてほしい。日本文化(歌舞伎など)もふれてみたい。
- コンサート会場に聴きに行くより、親しみやすく感動した。和の伝統もやってほしい。
- わかりやすく説明して下さったので、とてもよくわかった。とても楽しかったので、また機会があれば参加したい。また別の公演も見てみたいと思う。

家で話題にできる (3件)

- バレエについて何も知らなかったので、わかりやすく話してもらって楽しかった。バーを使ったウォーミングアップを見ることができて、体の美しさに感激した。小学生のうちにバレエを鑑賞するという貴重な経験ができて良かったと思う。家庭だけではこういう機会は持てないので。家に帰って子どもたちからの反応が楽しみ。
- とても良かった。ありがとうございます。子どもたちがとても興味を持ち、みんなで話したりバレエを試してみたり、興味を持つきっかけ・コミュニケーションが増え、とても良いと思った。
- すばらしいマジックを間近で見ることができ感動した。家で孫と話す話題もでき、良かった。

伝統・文化を広めてほしい (2件)

- これからも健康第一で続けてほしい。日本伝統をどうぞ広めて下さい。
- すばらしかった。もっと日本文化の良さを子どもたちにも伝えてほしい。

演目・演出に工夫が必要 (17件)

- 日常ではなかなか見ることのできない古典芸能を間近で鑑賞できたことは、とてもいい経験になった。子どもたちも見て体験して、いい勉強になったと思う。日本の有名な所のおどりをを見せてもらったが、その場所に根づいているおどりも一緒に演じてもいいのではないか(例：伊予万歳ほか)。そうすることで身近にもこんな文化があるのかと感ずるのではないだろうか。
- 円陣の中心に子どもたちを座らせて、オーケストラに360° 囲まれた体験も楽しいかも。親でもやってみたい。
- もっと子どもたちの知ってる曲を演奏してあげたらよかったと思う。生演奏が聞ける機会がないのでとてもよかった。
- 言葉に関して、小学校低学年にも理解できるような言葉を使った方がよいと思われるところがいくつか見受けられた。
- 子どもたちの知っているフレーズもたくさん演奏して下さい、子どもたちにとって大変貴重な体験となったに違いない。本当にありがたいことと思った。演奏を鑑賞する姿勢や、舞台からは客席の動きがとてもよく見えていることや、本人たちはヒソヒソ話のつもりでも、ものすごく響いていることなども伝えていただけるともっとよいかも。 等

音響の不備 (4件)

- せっかく解説していただいたのに、音響が良くききとれなかった。身近でこのような取組があつて嬉しく思う。また開催してほしいと思う。ありがとうございます。
- マイクの音声が少々聞きとりにくかった。少しでも子どもたちの知っているアニメソングで

も演奏してくれたらよかったと思う。オーケストラと子どもたちの合唱とのコラボに感動した。

● 話の内容が少し聞きとりにくかったが、間近で生演奏が聞けた事はとてもいい経験だった。時間もちょうど良いと思った。子どもたちにもなじみの曲で楽しく聞いていたように感じた。

● すばらしい歌声だった。マイクを使った進行や解説が聞きとりやすかった。

その他 (5件)

● 子どもたちの興味に合わせて親しみやすく楽しく構成されていて、クラシックへのいい入口にしてくれたと思う。これを体験した子どもたちが何かの楽器に興味を持った時、富裕層でなくても才能をのばせる受皿が欲しい。

● 聴くことのない校歌のオーケストラ編成での演奏は、校歌が素敵に聴こえてよかった。決して音響がいいとは思えない体育館でも素晴らしい演奏だった。ありがとうございました。体育館が空いてて残念だった。

● とてもすばらしかった。ありがとうございました。一生のうちあるかどうかなので、ビデオに撮りたかった。

● すばらしかった。後ろにできる影まで美しくて涙が出た。6年生の謝辞が準備されたものだったのが残念だった。

● この公演の費用はどこから出たのか。音がとても素晴らしいのでびっくりした。

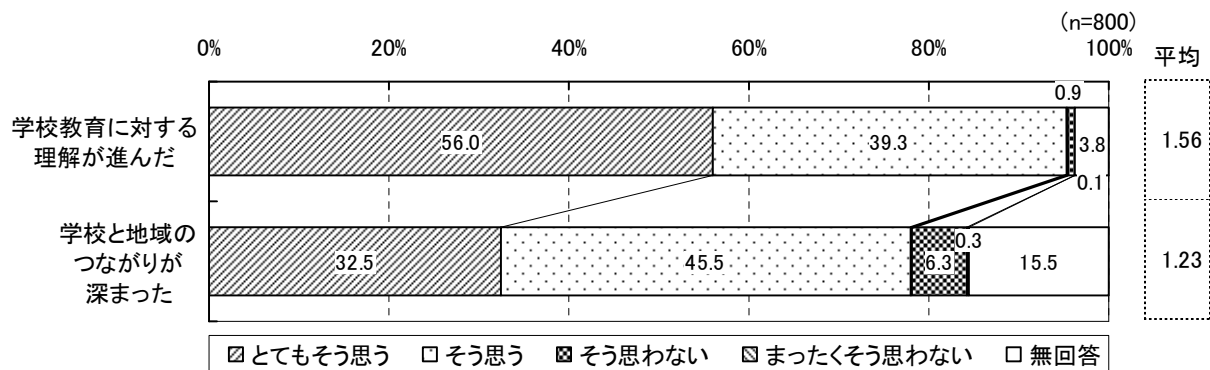
(3) 学校に対する印象の変化

① 学校に対する印象の変化

【学校教育に対する理解】学校教育に対する理解が進んだ（「とてもそう思う」(56.0%)と「そう思う」(39.3%)の計）との回答は95.3%である。

【学校と地域のつながり】学校と地域のつながりが深まった（「とてもそう思う」(32.5%)と「そう思う」(45.5%)の計）との回答は78.0%である。

図表 168 公演終了後の学校に対する印象の変化(SA)



(注)平均は「とてもそう思う」=+2、「そう思う」=+1、「そう思わない」=-1、「まったくそう思わない」=-2とした加重平均値(以下同様)。

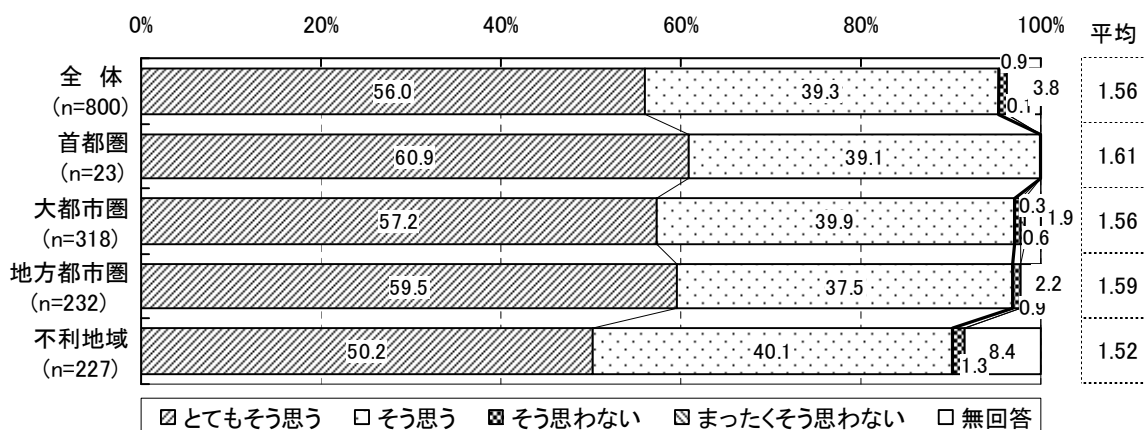
② 学校教育に対する理解

【地域特性別】地域特性による大きな差はみられない。

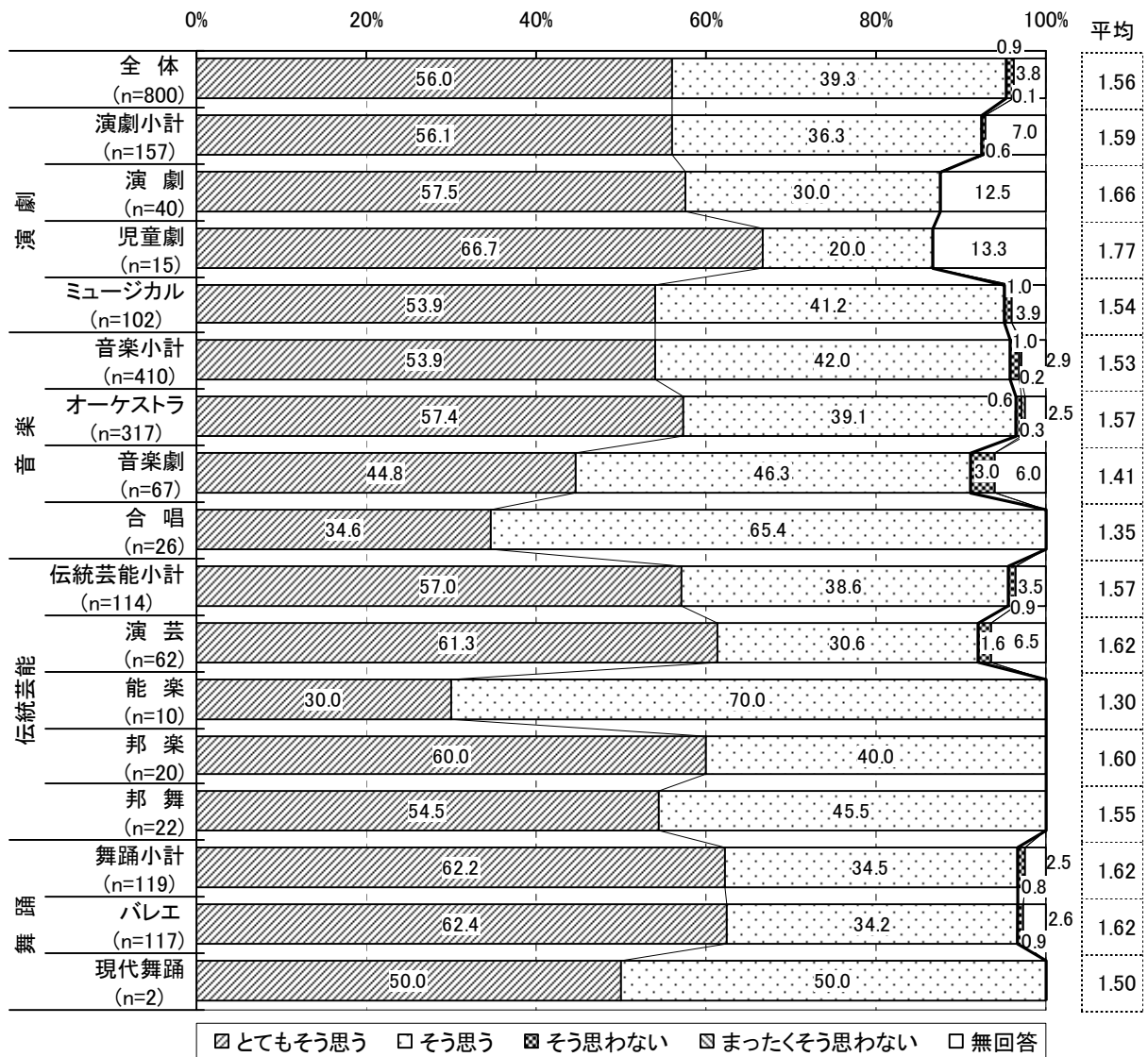
【分野別】児童劇（平均：1.77）、演劇（1.66）などで特に理解が進んだという評価が高くなっている。

【学校との関係別】学校との関係による大きな差は見られない。

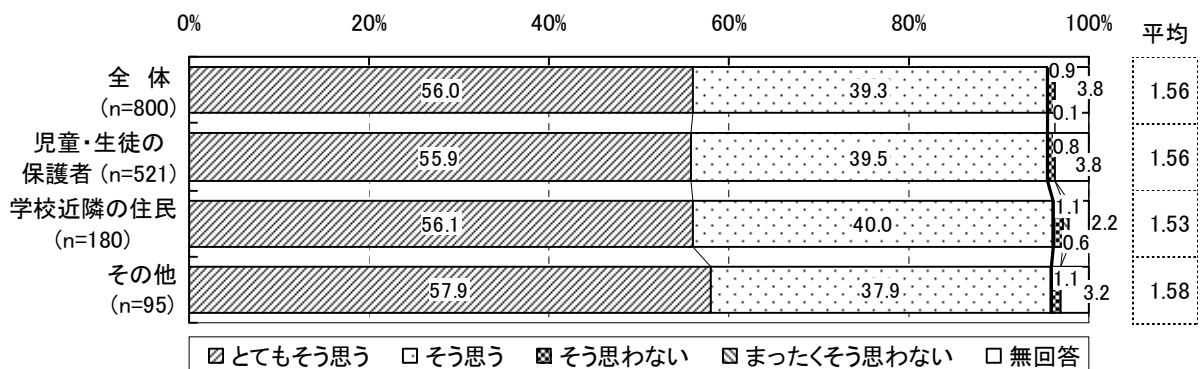
図表 169 公演による学校教育に対する理解(地域特性別・SA)



図表 170 公演による学校教育に対する理解(分野別・SA)



図表 171 公演による学校教育に対する理解(学校との関係別・SA)



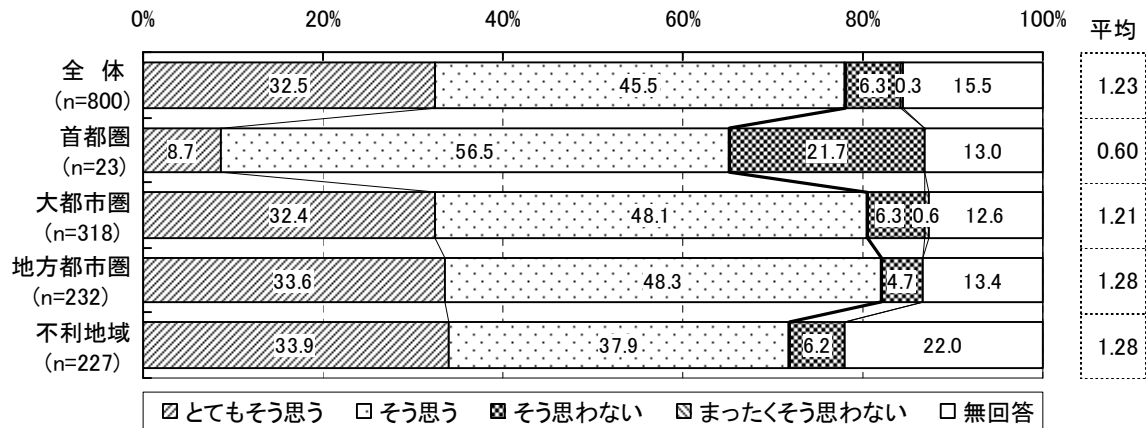
③ 学校と地域のつながり

【地域特性別】首都圏（平均：0.60）はつながりが深まったという評価が比較的低くなっている。

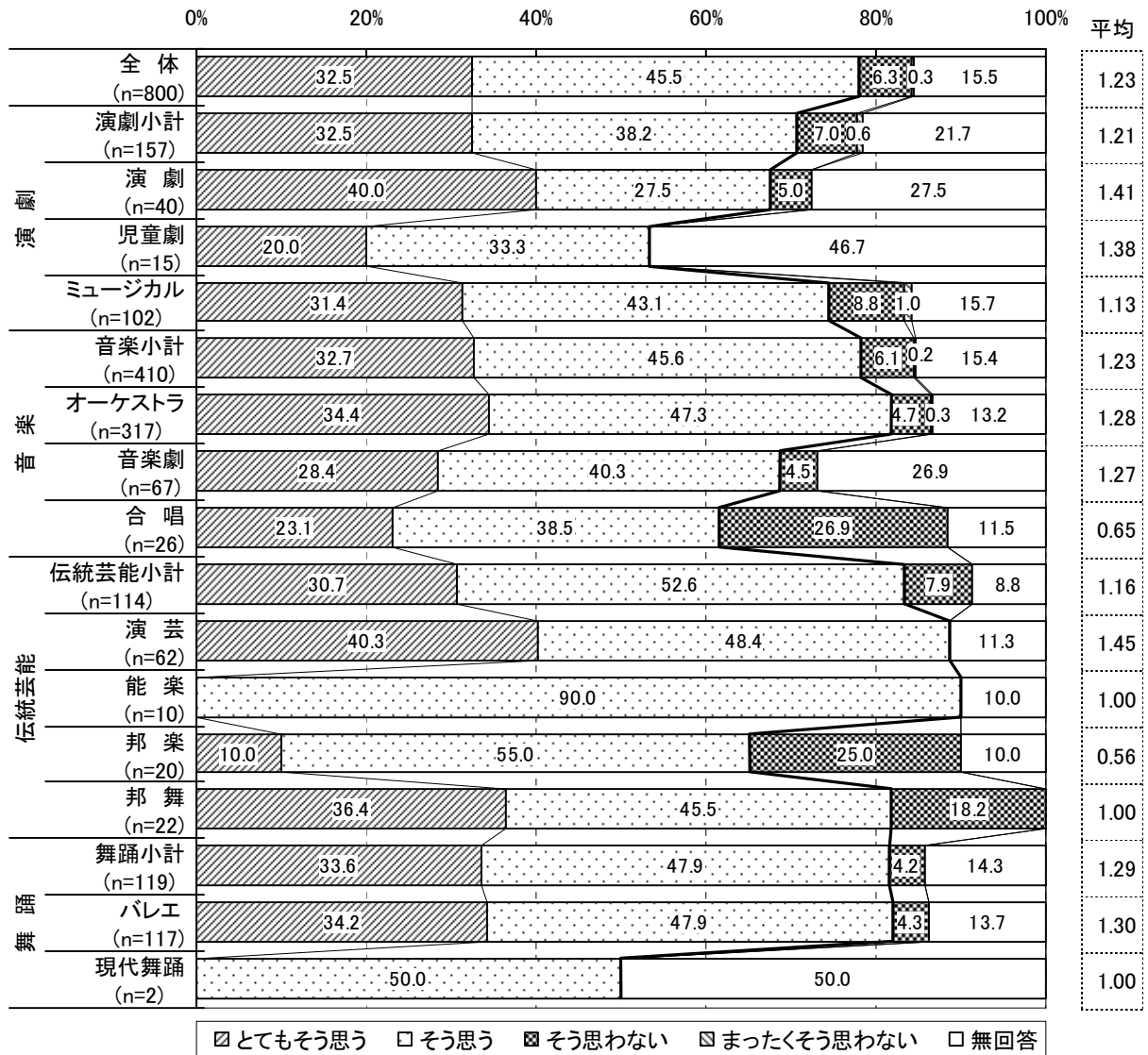
【分野別】演芸（1.45）での評価が高い。一方、合唱（0.65）、邦楽（0.56）は比較的低くなっている。

【学校との関係別】学校近隣の住民（1.36）はつながりが深まったという評価がやや高い。

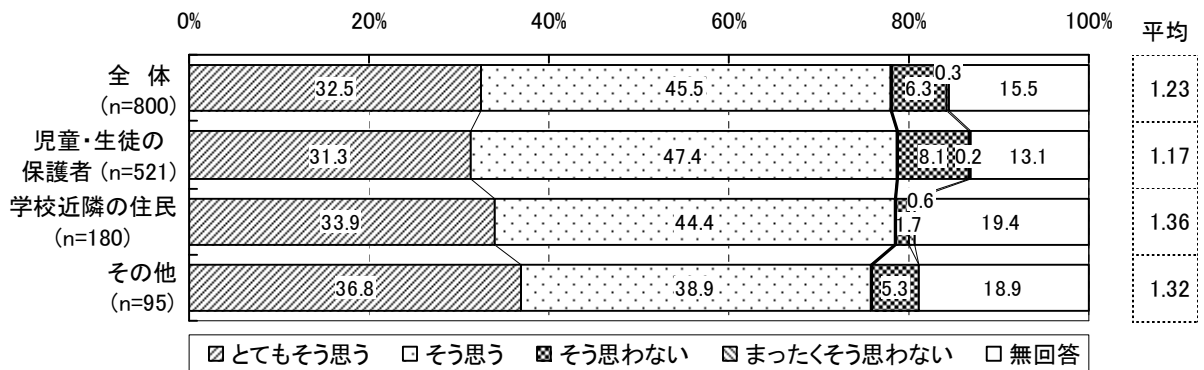
図表 172 本事業による学校と地域のつながり(地域特性別・SA)



図表 173 本事業による学校と地域のつながり(分野別・SA)



図表 174 本事業による学校と地域のつながり(学校との関係別・SA)



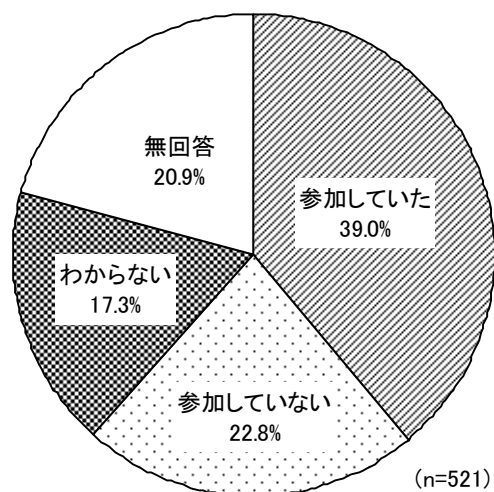
(4) ワークショップへの子どもの参加

【全体】子どもがワークショップへ「参加していた」(39.0%)と回答しているのは約4割である。

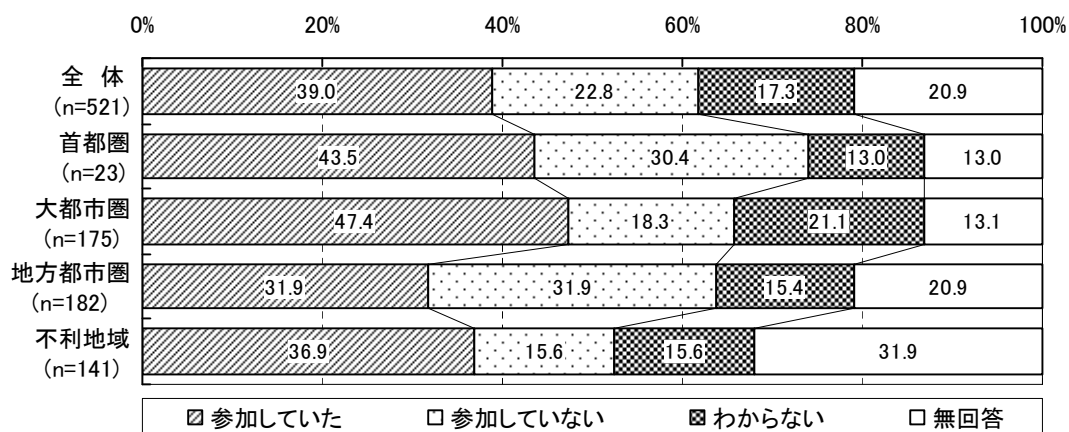
【地域特性別】首都圏、大都市圏で参加率が高くなっている。

【分野別】合唱、演芸、能楽の参加率が高くなっている。

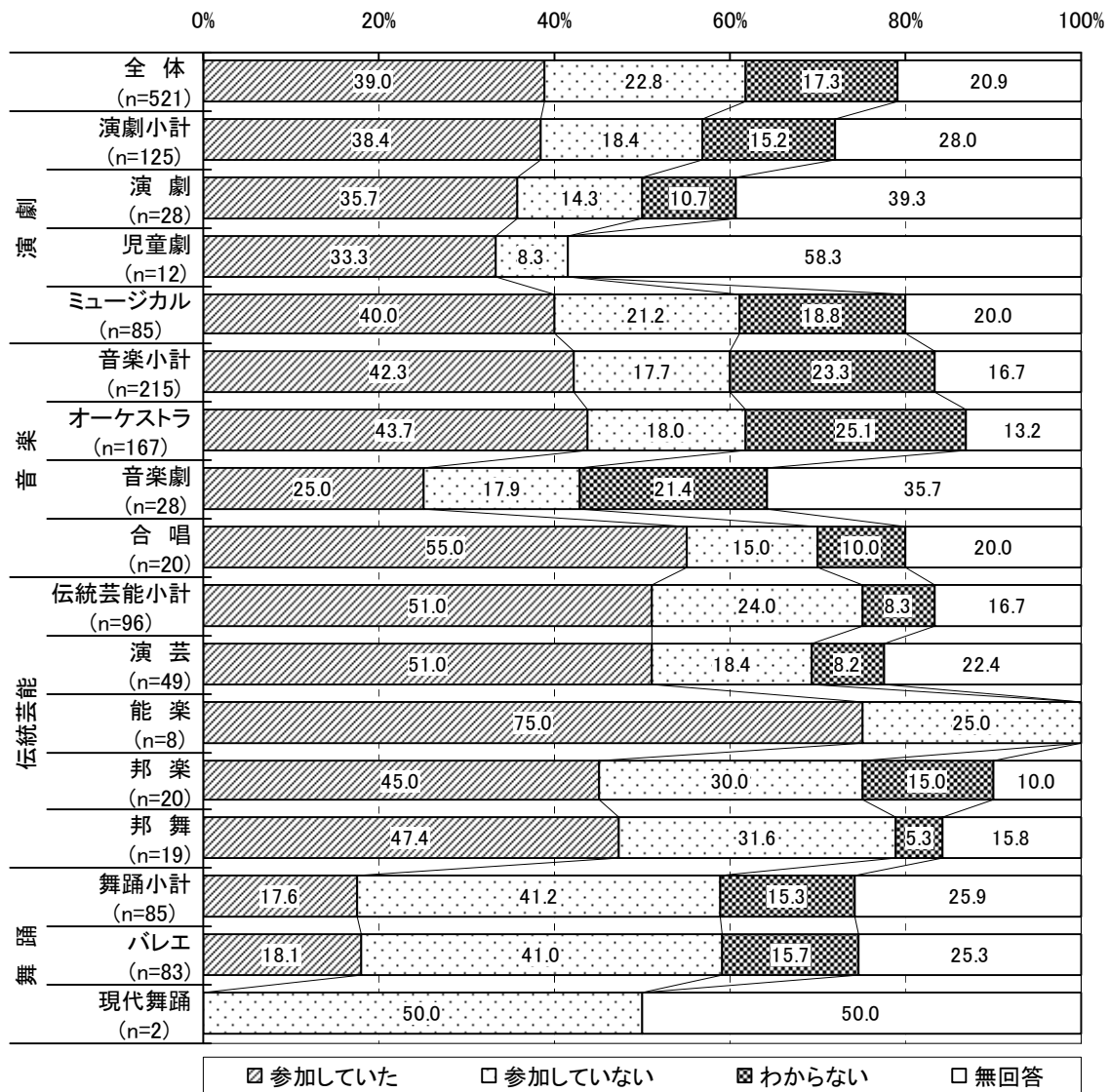
図表 175 ワークショップへの子どもの参加(SA)



図表 176 ワークショップへの子どもの参加(地域特性別・SA)



図表 177 ワークショップへの子どもの参加(分野別・SA)



(5) ワークショップ参加後の子どもの反応・変化

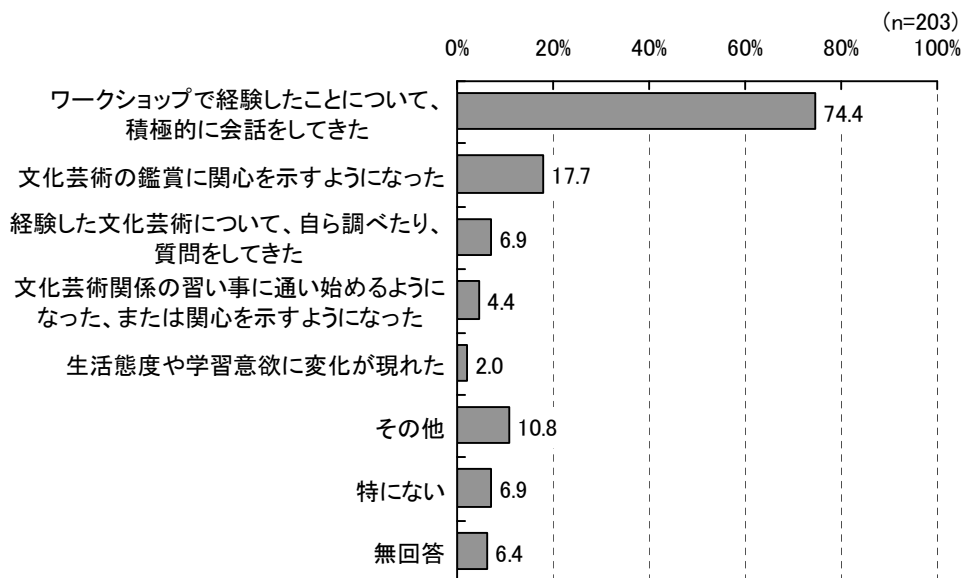
【全体】「ワークショップで経験したことについて、積極的に会話をしてきた」(74.4%)が最も多く、「文化芸術の鑑賞に関心を示すようになった」(17.7%)がこれに続く。一方、「経験した文化芸術について、自ら調べたり、質問をしてきた」(6.9%)、「生活態度や学習意欲に変化が現れた」(2.0%)といったことはやや少ない回答となっている。

また、その他の回答では、「手品をしてくれた」「積極的に練習していた」「自分にもぜひ見て欲しいと強く勧めてきた」といった反応・変化が挙げられている。

【地域特性別】地方都市圏は「ワークショップで経験したことについて、積極的に会話をしてきた」「文化芸術の鑑賞に関心を示すようになった」の割合が大きくなっている。また、首都圏では文化芸術について調べたり、習い事に通う(または関心を持つ)といった行動に変化が繋がった割合が大きい。

【分野別】演芸、バレエは「文化芸術の鑑賞に関心を示すようになった」、邦楽、邦舞は「経験した文化芸術について、自ら調べたり、質問をしてきた」、邦楽は「文化芸術関係の習い事に通い始めるようになった、または関心を示すようになった」の割合が特に大きい。

図表 178 ワークショップ参加後の子どもの反応・変化(MA)



図表 179 ワークショップ参加後の子どもの反応・変化(地域特性別・MA)

	調査数	ワークショップ参加後の子どもの反応・変化							
		しとワ てにつ きつく たいシ て、ツ ップで 積極的 に経験 した会 話をこ	よ文化 うに芸 な術の った鑑 た賞に 関心を 示す	た自 ら調 べた文 化、芸 術に 関心を 示す	関心 を 示すよ うにな るにつ つ、事 にまた は	現生 れ活 た態 度や 学習 意欲 に変 化が	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全 体	203	74.4	17.7	6.9	4.4	2.0	10.8	6.9	6.4
地 首都圏	10	80.0	0.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0
域 大都市圏	83	74.7	13.3	2.4	4.8	0.0	7.2	16.9	2.4
特 地方都市圏	58	84.5	29.3	12.1	3.4	0.0	10.3	0.0	3.4
性 不利地域	52	61.5	15.4	5.8	1.9	7.7	15.4	0.0	17.3

図表 180 ワークショップ参加後の子どもの反応・変化(分野別・MA)

	調査数	ワークショップ参加後の子どもの反応・変化									
		しとワ てにつ きたク シ て、 積 極 的 に 会 話 を こ	よ う に な っ た 鑑 賞 に 関 心 を 示 す	た 自 ら 調 べ た 文 化 、 質 問 を し て き	経 験 し た 文 化 、 質 問 を し て き	関 心 を 示 す よ う に な っ た ま た は	始 め る よ う に な っ た 事 に 通 は	文 化 芸 術 関 係 の 習 い に 変 化 が	現 生 活 態 度 や 学 習 意 欲 に 変 化 が	そ の 他	特 に な い
全 体	203	74.4	17.7	6.9	4.4	2.0	10.8	6.9	6.4		
演 劇	演劇小計	48	68.8	12.5	10.4	2.1	4.2	12.5	4.2	14.6	
	演 劇	10	50.0	10.0	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0	40.0	
	児童劇	4	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	
	ミュージカル	34	73.5	14.7	14.7	2.9	2.9	14.7	5.9	5.9	
音 楽	音楽小計	91	72.5	15.4	2.2	4.4	1.1	11.0	13.2	4.4	
	オーケストラ	73	74.0	15.1	1.4	4.1	0.0	9.6	16.4	1.4	
	音楽劇	7	71.4	28.6	14.3	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0	
	合唱	11	63.6	9.1	0.0	0.0	0.0	18.2	0.0	27.3	
伝 統 芸 能	伝統芸能小計	49	83.7	22.4	14.3	4.1	2.0	12.2	0.0	2.0	
	演 芸	25	84.0	40.0	8.0	0.0	4.0	8.0	0.0	0.0	
	能 楽	6	83.3	0.0	16.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	
	邦 舞	9	77.8	0.0	22.2	22.2	0.0	22.2	0.0	0.0	
舞 踊	舞踊小計	15	73.3	33.3	0.0	13.3	0.0	0.0	0.0	6.7	
	バレエ	15	73.3	33.3	0.0	13.3	0.0	0.0	0.0	6.7	

図表 181 ワークショップ参加後の子どもの反応・変化(その他)

- 教えていただいた歌を大声で歌いまくっていた。本番で聞いて「この歌だ！」と思った。
- 歌っていた。
- 毎日歌って踊っていた。
- 手品をしてくれた。
- オーケストラが大好きなので、とても楽しみにしていた。
- 積極的に練習をしていた。楽しみにしていたのが良いなあとと思った。
- 以前テレビで、能は今で言うコントと同じだと聞いていたが、1つ目のお話は見てみるとその通りだった。ワークショップで歴史などを知り、今日を楽しみにしていた。
- ワークショップに参加された団員の方々の話をうれしそうにしていた。
- お母さんもおいでと強く誘われた。
- 私にもぜひ見て欲しいと強く勧めてきた。
- 私は楽器も演奏も大好きなのだが、今まで娘は興味を示さなかった。けれど、間近でいろいろな楽器を見せていただき、少しは興味を持ったようで、うれしく思う。
- 中学に行ったら演劇部に入りたいと言っていた。
- 何でも興味を示すようになった。

(6) 家庭内で期待できる効果

【全体】「共通の話題ができて、家族でのコミュニケーションがより活発になる」(64.9%)が最も多く、「家族で文化芸術を鑑賞する機会が増える」(42.4%)がこれに続く。

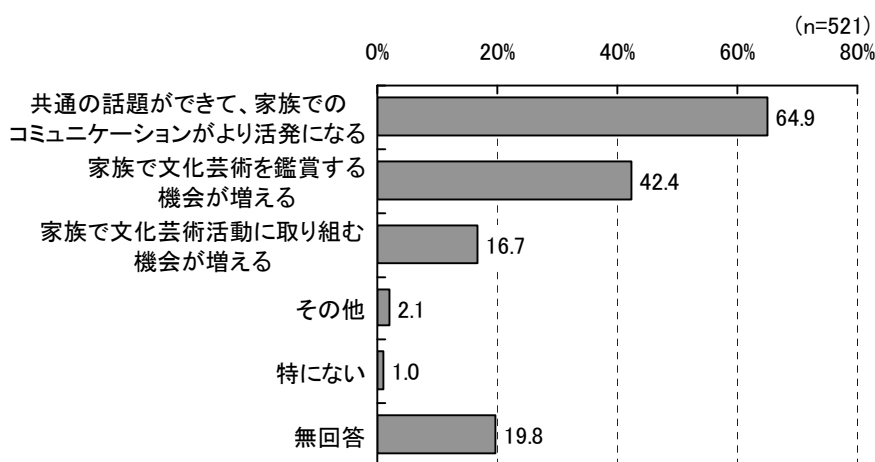
また、その他の回答では、「現在ピアノを習っていて、さらに頑張ろうと刺激になった」「なかなか作ってやれない音楽へのきっかけができた」などの効果が挙げられている。

【地域特性別】首都圏、大都市圏は「家族で文化芸術を鑑賞する機会が増える」の割合がやや大きい。

【分野別】能楽、邦舞は「共通の話題ができて、家族でのコミュニケーションがより活発になる」の割合が大きくなっている。

【印象に残っている公演の内容別】日本文化の素晴らしさを挙げた保護者は「家族で文化芸術活動に取り組む機会が増える」の割合がやや大きい。

図表 182 家庭内で期待できる効果(MA)



図表 183 家庭内で期待できる効果(地域特性別・MA)

	調査数	家庭内で期待できる効果					
		共通の話題がより活発になる	家族で文化芸術を鑑賞する機会が増える	家族で文化芸術活動に取り組む機会が増える	その他	特にない	無回答
全体	521	64.9	42.4	16.7	2.1	1.0	19.8
地域特性							
首都圏	23	60.9	47.8	13.0	0.0	0.0	17.4
大都市圏	175	68.6	49.7	18.9	2.3	1.1	10.9
地方都市圏	182	68.1	44.5	20.9	1.1	0.5	18.7
不利地域	141	56.7	29.8	9.2	3.5	1.4	32.6

図表 184 家庭内で期待できる効果(分野別・MA)

	調査数	家庭内で期待できる効果					無回答	
		家族がより活発になる	共通の話題ができて、コミュニケーション	家族で文化芸術を鑑賞する機会が増える	家族で文化芸術活動に取り組む機会が増える	その他		
全体	521	64.9	42.4	16.7	2.1	1.0	19.8	
演劇	演劇小計	125	56.8	36.8	12.8	2.4	0.8	28.8
	演劇	28	39.3	10.7	14.3	0.0	0.0	50.0
	児童劇	12	33.3	8.3	0.0	0.0	0.0	58.3
	ミュージカル	85	65.9	49.4	14.1	3.5	1.2	17.6
音楽	音楽小計	215	68.4	44.2	16.7	3.3	1.4	14.4
	オーケストラ	167	70.7	48.5	19.2	1.8	0.6	10.8
	音楽劇	28	57.1	25.0	3.6	7.1	0.0	35.7
	合唱	20	65.0	35.0	15.0	10.0	10.0	15.0
伝統芸能	伝統芸能小計	96	76.0	40.6	16.7	1.0	0.0	15.6
	演芸	49	71.4	36.7	14.3	0.0	0.0	24.5
	能楽	8	100.0	25.0	25.0	12.5	0.0	0.0
	邦楽	20	60.0	50.0	15.0	0.0	0.0	15.0
	邦舞	19	94.7	47.4	21.1	0.0	0.0	0.0
舞踊	舞踊小計	85	55.3	48.2	22.4	0.0	1.2	24.7
	バレエ	83	55.4	48.2	22.9	0.0	1.2	24.1
	現代舞踊	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0

図表 185 家庭内で期待できる効果(印象に残っている公演の内容別・MA)

	調査数	家庭内で期待できる効果					無回答	
		家族がより活発になる	共通の話題ができて、コミュニケーション	家族で文化芸術を鑑賞する機会が増える	家族で文化芸術活動に取り組む機会が増える	その他		
全体	521	64.9	42.4	16.7	2.1	1.0	19.8	
印象に残っている公演の内容	アーティストの熱演を間近で鑑賞できたこと	409	65.3	45.5	18.3	2.2	0.7	19.6
	子どもたちが熱心に鑑賞している姿	362	64.9	42.3	18.5	1.1	0.6	22.7
	子どもたちがアーティストと共演したり交流したりしていること	347	66.9	46.7	18.2	2.3	0.9	19.9
	分かりやすく解説をしてもらえたこと	293	66.9	45.1	19.5	2.0	0.0	18.8
	学校の体育館が舞台装置によって本日まで特別な空間に変化していたこと	203	66.0	46.8	19.7	2.0	1.0	22.7
	美術、照明、音響などのスタッフの方の力	166	63.9	39.2	21.1	2.4	0.0	27.1
	日本文化の素晴らしさ	129	62.8	34.1	22.5	0.0	0.0	32.6
	その他	10	70.0	50.0	30.0	0.0	0.0	20.0

図表 186 家庭内で期待できる効果(その他)

- 今現在ピアノを習っていて、さらに頑張ろうと刺激になったようだ。
- 子どもがダンスと演技のレッスンを受けているので、とても感動したことと思う。
- 「楽器をしたい」と言ってくれることを期待したい。
- 子どもが公演を機会に文化芸術に関心をもってほしいと期待する。
- なかなか作ってやれない音楽へのきっかけができた。
- 小学生の時にこのような機会にめぐり合え、宝物になると思う。
- カルメンの本を一緒に読み返してみようと思う。
- 親子で一緒に過ごす時間を多くしたい。

(7) 本事業の実施方法に対する意見・要望等

図表 187 本事業の実施方法に対する意見・要望等(FA)

大勢が見に来られるようにしてほしい (25 件)

- せっかくの大舞台だったので、もっと大勢の人(地域の方々)が来ればよかったのと思う。
- せっかく来ていただいたので、もっとたくさんの人に見てもらえる方法がなかったのかと、とてもおもしろかったので残念な感じだった。
- 町内の私立の幼稚園に通っている娘と息子を早退させて鑑賞に連れて来た。せっかくの良い価値ある機会なので、近隣の幼・保・小・中・高と合同で鑑賞することができればいいなと思った。ありがとうございました。
- まだ空きのスペースがあったので、すばらしい公演なので、西南小の5・6年生にも見てもらいたかった。
- 地域の方々の参加がほしかった(すばらしい生の合唱を聴ける機会に)。
- もう少し多くのきれいな歌声を、もう少し多くの人たち、地域の人たちに聞いて頂いた方がよかったのではないか。 等

PR・告知を増やしてほしい (12 件)

- 学校内に限らず、地域の方々へのお知らせをし、子どもだけでなく大人の方々にも芸術鑑賞をしていただきたい。
- 日本を代表する合唱団の来演、もっとたくさんの方々に聞いてほしかった。PRの仕方に一考の余地があったと思う。とにかく合唱の楽しさを体験してほしかった。本当にもったいない。
- 超有名な楽団がこんな小さな町に来てくれて、本当にうれししかった。もっと宣伝し、たくさんの方々に聞いてもらわないともったいない。またいつか来ていただけるなら杖をついても来る。ありがとう。
- すばらしい演奏会と地域と学校のふれあいができたこの事業は、できればもう少し早くPRできればなお良かったと思う。交響楽団の演奏をバックに全員で歌うことができ貴重な体験ができた。ありがとうございました。 等

事業を継続・拡大してほしい (7 件)

- もっともっとこういう事業がふえるといいと思った。近隣の小中学校、保育園も鑑賞したらいいのになと思った。
- 今回、初めて本事業を知った(自分の子どもの学校で実施されなければわからない)。もっと事業のPRが必要だと思うし、もっと多くの学校で実施してほしい。
- この種の行事について、文科省等は積極的に支援・後援すべきと思う。
- 事前の広報がよくできていて良かった。このような事業が増えればよいと思う。 等

ホールで開催してほしい (7 件)

- 限られたスペースのため、地域のみなさんに大勢来ていただくことができず、残念に思う。滅多に来ていただけない演奏家のみなさんゆえ、広い会場を確保して、地域に広く呼びかけていただければと思う。
- 本当のホールで聞かせてやりたいと感じた。もっと体にずんとくる音を感じたらすばらしい。こんな機会を与えてもらって本当にラッキー。抽選ではなく、数年に1回など、すべての子どもたちに与えられたら。

- 舞台の奥行がないのでごめんなさい。広い所だったら素晴らしかった。
- 公演すべき場所が不適所である。 等

公演日時に対する要望 (4件)

- 児童のいない家庭に広く知られているのだろうか。土・日や祭日など、一般の人が参加しやすい日時が良かったのではとも思った。
- 金曜日の午後や土曜日に実施していただけると多くの方が参加できると思う。
- ぜひ毎年来てほしい。下の子の迎えが心配ない午前中が嬉しい。
- 午後の日程だと、参加しやすくてよかった。

公演時期に対する要望 (4件)

- 大変良い企画で楽しませて頂いたが、もう少し時期をずらしてもらえともっと多数の保護者の方々にも来てもらえるのではと思った(学校行事が重なる時期だとお休みが取りにくいため)。
- もう少しいい季節だといい。
- インフルで心配した。もう少し時期を早めた方がよいかも。
- もっと暖かい時期に見たかった。

その他 (9件)

- 小さい子どもさんを連れていらっしゃる方がみえたので、託児があればよかったと思った。
- 芸術に身近にふれる初めての機会としては大変良いと思う。問題は、その後、学校での芸術教育の中でどのように生かしていくかだと思う。地元の民間オケの方(中学校の吹奏部)などつながったりできるといい。小学校の校歌のアレンジが良かった。子どもたちができる範囲で演奏できたらいい。
- オーケストラと子どもたちの位置について一工夫。できればオーケストラを体育館の中央に配し、子どもがそれをはさむようにするとより近くでの音楽体験になるのでは。
- 保育所の子どもたちが雨のため徒歩で来ることができず、残念だった。事前にバス等、何か準備していただけたらなと思った。とても良い公演だった。
- 今回は椅子が用意されていてゆっくり鑑賞することができた。
- 今年は椅子が用意されていてよかった。
- 行事に参加させてほしい。
- 回覧等で見た。良かったと思う。これからもそうしていただけたらよいと思う。
- できれば間に休憩がほしかった。

VI. 教育委員会等へのアンケート調査・分析結果

1. 調査概要

教育委員会等へのアンケート調査の概要は以下の通りである。

図表 188 教育委員会等へのアンケート調査概要

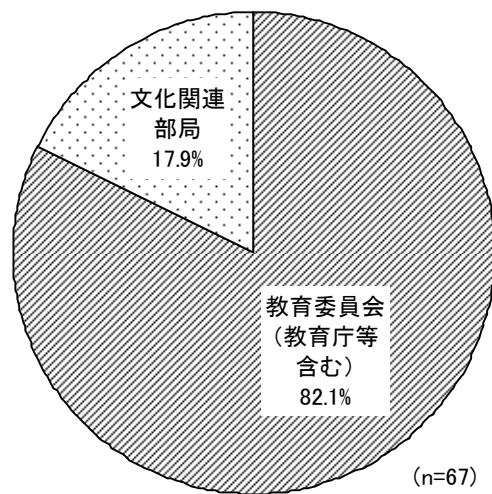
【調査対象】	47 都道府県および 20 政令指定都市すべての教育委員会等(担当部局)67 件
【調査形式】	記名式Webアンケート調査(Web画面上で回答・回収)
【調査期間】	平成 25 年 4 月 25 日～平成 25 年 5 月 29 日
【回収状況】	有効回答数 67 件(全件回収)

2. 回答者属性

(1) 担当部局

本事業の担当部局の分布は以下の通りである。教育委員会（教育庁等含む）が約 82%、文化関連部局が約 18%となっている。

図表 189 担当部局(SA)



3. 調査結果

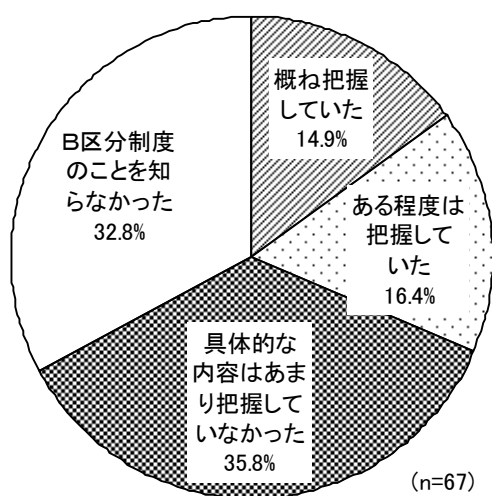
(1) B区分制度の認知状況

B区分制度のことを何らか認知している教育委員会等の担当者【認知率】（「概ね把握していた」(14.9%)と「ある程度は把握していた」(16.4%)と「具体的な内容はあまり把握していなかった」(35.8%)の計）は、約7割であった。

なお、B区分制度の認知率が約7割であっても、そのうちの半数以上が、B区分制度の具体的な内容をあまり把握しておらず、B区分制度のことを概ね把握している担当者の割合も最も少ない結果となっている。

一方、「B区分制度のことを知らなかった」(32.8%)担当者は全体の約3割にもものぼる。

図表 190 B区分制度の認知度(SA)



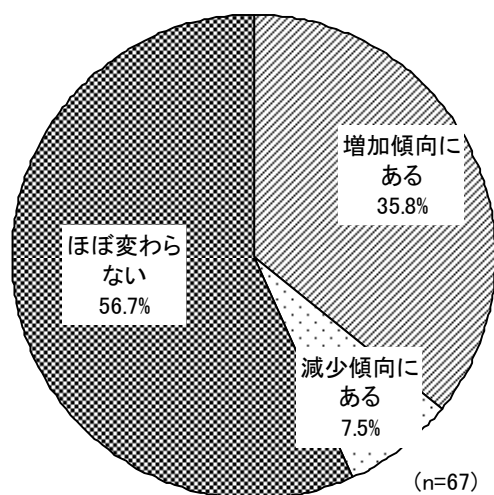
(2) B区分制度導入後の申請件数の変化

B区分制度導入後（平成 23 年度以降）の、各自治体における本事業の申請件数の変化は、「ほぼ変わらない」（56.7%）が最も多く、次いで「増加傾向にある」（35.8%）、「減少傾向にある」（7.5%）の順となっている。

担当者の自由記述から得られた申請件数が増加傾向にある主な要因としては、「本事業自体の周知が進んできたこと」が多く挙げられており、その前提として、前年度開催校での本事業の評価の高さがあり、これらの評判が前年度開催校や教育委員会を通じて、周知されていることが伺える。なお、その際に、B区分制度やB区分団体の直接的な貢献が伺える記述はみられなかった。ただし、開催校での評価の高さにB区分団体が大いに貢献していることが推察される（後述「B区分団体の評価・印象」の結果参照）。

また、申請件数が減少傾向にある主な要因としては、「授業時間数の確保の困難さ」が挙げられている。学習指導要領の改訂（主要教科の指導内容と時間数の増加と総合的な学習の時間等の裁量性のある教科の時間数の減少）により、本事業のような学外の取り組みに授業時間数を確保することが困難になるという見方があるため、これらの課題は今後、より顕在化してくる可能性もある。

図表 191 B区分制度導入後の申請件数の変化(SA)



図表 192 B区分制度導入後の申請件数の変化の主な要因(自由記述)

増加傾向の主な要因

- 各学校の周知により制度が浸透し、新規希望校の増加につながった。
- 事業規模の大きさや事業内容が充実しているということが徐々に広まり、事業へ応募することのメリットを認識する学校が増えてきたためであると考えられる。
- 本事業が、学校単独ではなかなか対応しきれない芸術分野が多岐にわたって行われていることから、魅力があることと、実施校の状況を聞いた近隣の学校も申請するようになってきたことが要因と考える。
- 実施校の反応がよかったので、多くの学校に勧めた。
- 前年度開催校での良い評価が、近隣の学校に伝わって応募している。
- 各市町村教育委員会や学校に定期的に訪問し、事業内容の周知を行った。
- 本事業についての周知が、各学校に徹底されたため。
- 本事業に関する周知が徹底されてきたため。
- 公演実施後の新聞への掲載、学校間での情報交換。
- 事業の認知度が高まったため。
- B区分制度というより、制度全体の周知徹底を県として勧めたため。
- 政令指定都市となり、採用数が増加したため。
- 学校のニーズは高い(特に音楽関係)。
- 1～2校ずつであるが増加している。しかし、H23～25年度にかけて担当が毎年変わっているため、その要因は把握していない。
- 県全体では増加傾向にある中、当該団体の第1位希望校数は前年度の19校から9校に減少している。理由は把握できないが、演目内容について学校側の捉え方が異なるのか、又は児童劇(劇団風の子：上位にある。)の方が無難などにより好まれたかもしれません。
- 各学校から希望する団体について、東海地方よりも関東地方の団体を好む傾向が見られる。
- 派遣事業と比べて書類等の作成が簡易であり、現場の教師の負担が少ないから。

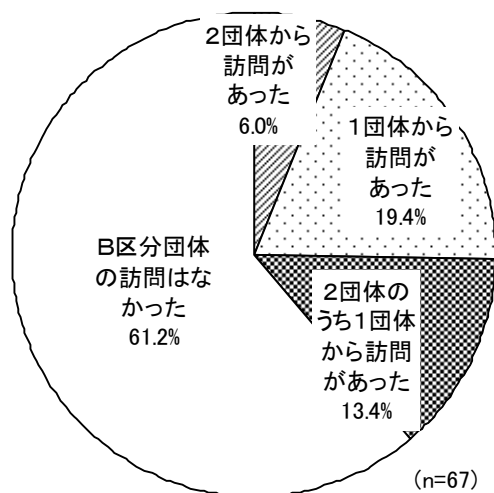
減少傾向の主な要因

- 特にB区分制度になったからではなく、学校現場の意識が芸術鑑賞より授業時数の確保を優先する傾向にあることがあげられると推測されます。
- 教育課程の実施上、授業時数の確保が難しくなっている。
- 不採択となった学校が翌年度の申請を見送ったこと等が要因と思われる。
- 申請・報告手続が複雑という印象があるか(派遣事業と混同しているかもしれない)。

(3) B区分団体の訪問実績

B区分団体が教育委員会等の担当者を訪問した割合【訪問率】（「2 団体から訪問があった」（6.0%）と「1 団体から訪問があった」（19.4%）と「2 団体のうち1 段階から訪問があった」（13.4%）の計）は、約 4 割であった。なお、「B 区分団体の訪問はなかった」（61.2%）割合は全体の約 6 割にもものぼる。

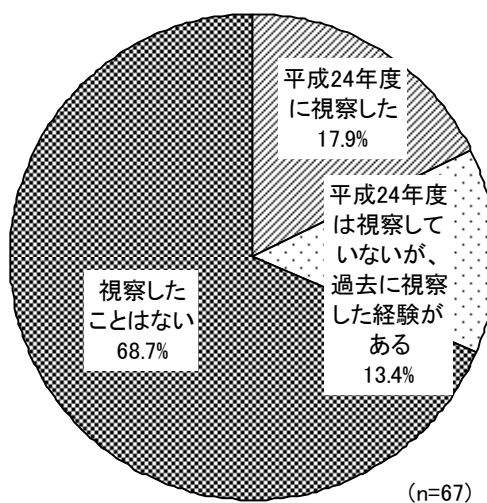
図表 193 B区分団体の訪問実績(SA)



(4) 本公演の視察経験

教育委員会等の担当者による本公演の視察経験（「平成 24 年度に視察した」（17.9%）と「平成 24 年度は視察していないが、過去に視察した経験がある」（13.4%）の計）は、約 3 割である。なお、「視察したことはない」（68.7%）割合は全体の約 7 割にもものぼる。

図表 194 本公演の視察経験(SA)



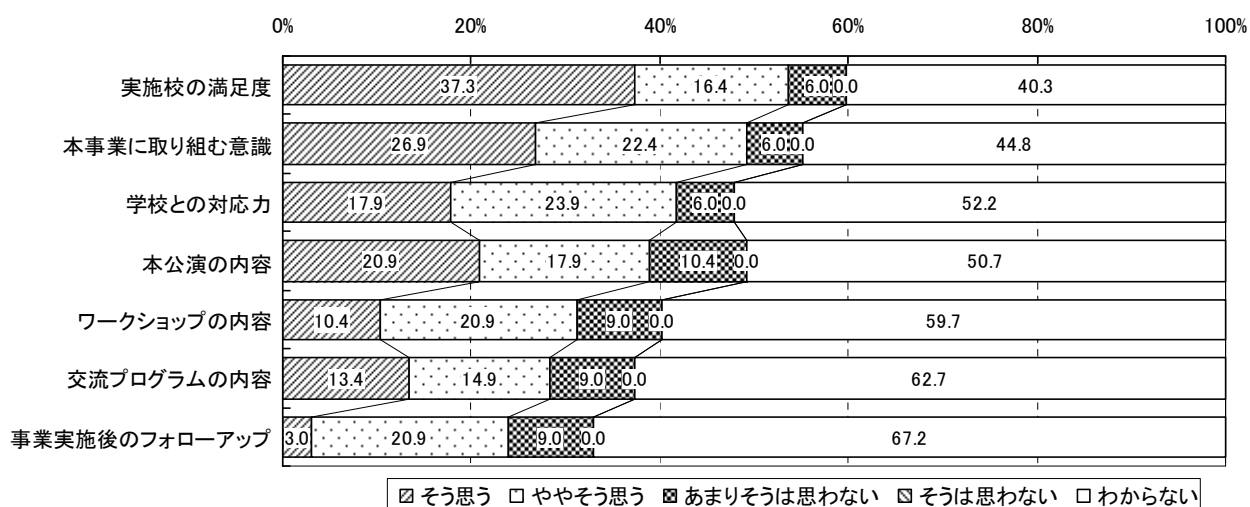
(5) B区分団体の評価・印象

教育委員会等の担当者が、各ブロックに割り当てられているB区分団体とそれ以外の団体（A区分団体）と比較した際に、B区分団体の方が優れていると評価している点（「そう思う」と「ややそう思う」の計）は、「実施校の満足度」（53.7%）が最も多く、次いで「本事業に取り組む意識」（49.3%）、「学校との対応力」（41.8%）となっており、特筆すべき点として、ワークショップや本公演の内容以上にB区分団体の意識や対応力が高く評価されている点を挙げる事ができる。

なお、本結果は、B区分団体は意識や対応力は高いが、ワークショップや本公演の内容はA区分団体より劣っているという結果ではなく、前述「本公演の視察経験」における教育委員会等の担当者の約7割は本公演を視察したことがない結果からも明かであるが、視察をしていないため、「わからない」という割合が非常に高くなっている。

本公演の視察経験別にB区分団体の方が優れていると評価している点を見ると、視察経験のある担当者（特に平成24年度に視察した担当者）は、「事業実施後のフォローアップ」以外のすべての項目において、ワークショップや本公演、交流プログラムの内容においても高い評価を行っている。

図表 195 B区分団体の評価・印象
(B区分団体の方が優れている点・SA)



図表 196 本公演の視察経験別にみたB区分団体の評価・印象
(実施校の満足度:クロス集計)

		調査数	実施校の満足度				
			そう思う	ややそう思う	思わ あまり わない そうは	い そうは 思わ ない	わ から ない
全 体		67	37.3	16.4	6.0	0.0	40.3
本公演の 視察経験	平成24年度に視察した	12	58.3	16.7	0.0	0.0	25.0
	過去に視察した経験がある	9	22.2	44.4	11.1	0.0	22.2
	視察したことはない	46	34.8	10.9	6.5	0.0	47.8

(注) 全体の回答割合より5ポイント以上高い項目には薄い網掛け、10ポイント以上高い項目は濃い網掛け+白抜文字として表示している(以下同様)。

図表 197 本公演の視察経験別にみたB区分団体の評価・印象
(本事業に取り組む意識:クロス集計)

		調査数	本事業に取り組む意識				
			そう思う	ややそう思う	思わ あまり わない そうは	い そうは 思わ ない	わ から ない
全 体		67	26.9	22.4	6.0	0.0	44.8
本公演の 視察経験	平成24年度に視察した	12	58.3	8.3	0.0	0.0	33.3
	過去に視察した経験がある	9	11.1	44.4	11.1	0.0	33.3
	視察したことはない	46	21.7	21.7	6.5	0.0	50.0

図表 198 本公演の視察経験別にみたB区分団体の評価・印象
(学校との対応力:クロス集計)

		調査数	学校との対応力				
			そう思う	ややそう思う	思わ あまり わない そうは	い そうは 思わ ない	わ から ない
全 体		67	17.9	23.9	6.0	0.0	52.2
本公演の 視察経験	平成24年度に視察した	12	33.3	25.0	0.0	0.0	41.7
	過去に視察した経験がある	9	11.1	44.4	0.0	0.0	44.4
	視察したことはない	46	15.2	19.6	8.7	0.0	56.5

図表 199 本公演の視察経験別にみたB区分団体の評価・印象
(本公演の内容:クロス集計)

		調査数	本公演の内容				
			そう思う	ややそう思う	思わ あまり わない そうは	い そうは 思わ ない	わ から ない
全 体		67	20.9	17.9	10.4	0.0	50.7
本公演の 視察経験	平成24年度に視察した	12	50.0	8.3	8.3	0.0	33.3
	過去に視察した経験がある	9	11.1	33.3	22.2	0.0	33.3
	視察したことはない	46	15.2	17.4	8.7	0.0	58.7

図表 200 本公演の視察経験別にみたB区分団体の評価・印象
(ワークショップの内容:クロス集計)

	調査数	ワークショップの内容				
		そう思う	ややそう思う	思われない	あまりそうは	いそうは思わな
全体	67	10.4	20.9	9.0	0.0	59.7
本公演の視察経験	平成24年度に視察した	12	25.0	16.7	0.0	58.3
	過去に視察した経験がある	9	11.1	33.3	11.1	44.4
	視察したことはない	46	6.5	19.6	10.9	63.0

図表 201 本公演の視察経験別にみたB区分団体の評価・印象
(交流プログラムの内容:クロス集計)

	調査数	交流プログラムの内容				
		そう思う	ややそう思う	思われない	あまりそうは	いそうは思わな
全体	67	13.4	14.9	9.0	0.0	62.7
本公演の視察経験	平成24年度に視察した	12	25.0	16.7	0.0	58.3
	過去に視察した経験がある	9	22.2	11.1	22.2	44.4
	視察したことはない	46	8.7	15.2	8.7	67.4

図表 202 本公演の視察経験別にみたB区分団体の評価・印象
(事業実施後のフォローアップ:クロス集計)

	調査数	事業実施後のフォローアップ				
		そう思う	ややそう思う	思われない	あまりそうは	いそうは思わな
全体	67	3.0	20.9	9.0	0.0	67.2
本公演の視察経験	平成24年度に視察した	12	0.0	50.0	0.0	50.0
	過去に視察した経験がある	9	0.0	22.2	11.1	66.7
	視察したことはない	46	4.3	13.0	10.9	71.7

図表 203 B区分団体の方が優れていると感じた象徴的なエピソード等(自由記述)

- ワークショップ時から落語家の話術に引き込まれ、児童生徒は本公演が待ち遠しく感じていた。代表で高座に上がって小唄をした生徒やお囃子の太鼓を担当した生徒に対し、協会の方が熱心に御指導いただいたおかげで、貴重な体験を得ることができた。本公演では、初めて実際に落語を見たという児童生徒がほとんどであり、落語や日本伝統文化の素晴らしさに気づくことができた。
- 落語だったが、児童生徒にとって落語に触れる機会が貴重である。
- 実施校から提出された報告書には常に良い感想が書かれており、記録写真も劇団の方が熱心に児童に接しているものばかりであった。
- 生徒の指揮者体験や吹奏楽部の共演など、生徒と一緒に取り組めるプログラムがあったこと。また、吹奏楽部の生徒のリハーサルの様子の見学や、奏楽についての日ごろの悩み相談ができ、部員によい刺激となった。
- (学校からのコメントで、) 事前のワークショップでの指導が的確で、子どものやる気を上手に引き出すテクニックには感心させられた。オーケストラの迫力ある演奏は、子ども達に深い感動を与えた。音や表現に対する姿勢が変わった。よりよい表現を求めるようになった。
- 舞台裏見学では、照明係が「光の三原色と合成」など理科的な要素も踏まえて実演説明していた。舞台だけを鑑賞するのではなく、表にでない多くのスタッフによって実施されることを学ぶことができていた。多くのスタッフが小人数グループのこどもに一方的な説明ではなく、コミュニケーションを図りながら説明を行っていた。初めは、内気だった子どもも自分の興味にそって説明してくれるので、途中から積極的に質問するようになっていた。短時間で子どもの興味を引きつけるスタッフの対応に感心した。
- 舞台設置の様子を見学することや出演者との交流は、児童にとって普段の芸術鑑賞では経験をすることができないことであり、その点が印象に残っていると記述した感想が多い。
- B区分団体の方が実際に当課にお越しになられ、事業への取り組みの姿勢や生徒の反応について語られ、熱心さが伝わりました。また、スケジュールさえあれば、可能な限り公演を行いたいとおっしゃっていただきました。
- 1,000人規模の小学校での本公演。会場(体育館)の大きさの都合で、学校は、半数の学年のみで実施を予定していた。しかし、せつかくの公演ということで、1日2回の公演実施を団体から申し入れしていただき、全校児童が本公演に参加することができた。実施決定校において、学校への進入路が狭く、本公演に係る機材を搬入するトラックが進入できないことが判明。そのため、急遽会場を変更して本公演を実施することになった。また、開始時刻も給食の都合から計画段階に比べ、早い時刻へ変更した。こうした状況に対しても、団体には前向きに対応していただき、無事本公演を実施することができた。
- 規模も大きく、舞台装置も充分で子どもたちも感動した。体験事業でこそ味わえるもので、目の前で本物にふれて子どもたちもすごく感動していた
- 平成25年度4月より担当者が代わったため、評価については「わからない」が多く申しわけありません。ただ、実施後のアンケートを見る限りで、B区分団体がそれ以外の団体よりも、学校からの満足度も高く、不満等もほぼない状況でした。(学校に対して、準備面での要求が他に比べ少ない)
- B区分団体は2団体とも事前に本県の担当課を訪ねており、その際実施校にも赴き直接打ち合わせを行うなど、意識が高いと感じた。

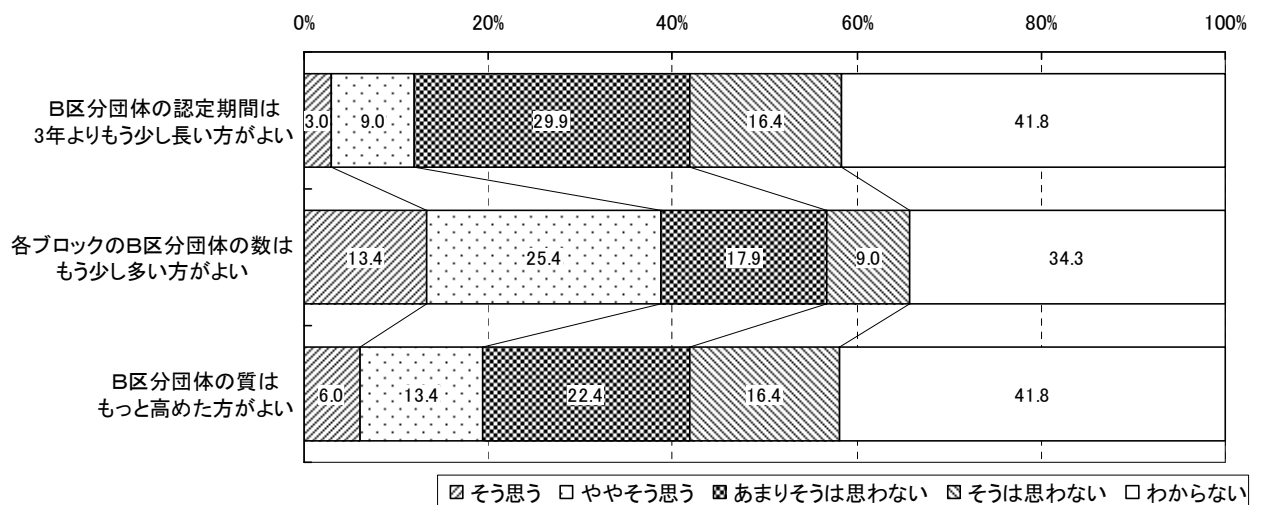
- 実施校でのワークショップや本公演で、子どもたちが生き生きとしている様子を見た学校長が感動し、校長会などの場で事業が大変よかったと発表したため、その市の翌年度の申請が大幅に増加した。

(6) 今後のB区分制度のあり方

教育委員会等の担当者から見た、今後のB区分制度のあり方として、「B区分団体の認定期間は現状の3年間よりもう少し長い方がよいか」という点に関しては、「思わない」（「あまりそうは思わない」と「そうは思わない」の計）が34.1ポイント上回っている。次に、「各ブロックのB区分団体の数はもう少し多い方がよいか」という点に関しては、「思う」が11.9ポイント上回っている。「B区分団体の質はもっと高めた方がよいか」という点に関しては、「思わない」が19.4ポイント上回っている。

なお、「B区分団体の認定期間は現状の3年間よりもう少し長い方がよいか」という点に関しては、「思わない」の割合が大きく上回っている。その理由として、担当者からの自由記述の中に、「ブロック内で希望できる団体が制限されているが、自由に選択できないか」といった意見がみられたため、特定の団体が長くブロック内で固定されてしまうと、学校としての選択肢の幅が狭まってしまう懸念が反映されたものと考えられる。

図表 204 今後のB区分制度のあり方(SA)



(7) その他、本事業への意見等

図表 205 その他、本事業への意見等(自由記述)

B区分制度について

- B区分団体には、ふだん、公演を鑑賞する機会が少なく、また規模の大きな団体（バレエやオーケストラなど）を選定していただきたい。他の公演団体の選定にあたっては、学校での実施報告等も参考にさせていただき、学校の実情に沿って、柔軟な対応ができるような団体を選定していただきたい。
- B区分団の割り当て数は、演劇、音楽、バレエなど分野が異なるならば、多いほうが事業効果が期待できる。
- 特別枠としてB区分制度の団体が同じ学校で3年程度連続して公演を行えば、より効果があるのではないかと。
- 実施校側からは様々な団体の中から選ぶ方がよいとのことで、B区分団体が増えると違った団体を体験できる機会が少なくなるとの意見がありました。今年度は担当に異動があったので、前担当に確認して回答しました。ご了承ください。
- 県としては、学校にできるだけ良質な公演を提供する機会を増やしたいと考えているので、事業決定（5月くらい）から年度末まで実施できるB区分の事業はありがたいです。ただし、団体が必要以上に固定化するのは、マンネリ化による公演の質の低下につながるものが危惧されるので、現状のままで良いと考えます。
- B区分制度についての周知がなされていないと感じます。前担当にも聞きましたが、よく分からないとのことでした。

団体選定について

- 多くの事業団体がありますが、ブロックで希望できる団体が制限されている。ブロックをはずしてどの団体もどの学校からでも希望できるようにするのは厳しいでしょうか？この団体に公演して欲しいが、ブロック内に設定されていないので希望できないということがあります。計画する側としては大変な作業とは思いますが・・・。
- 現状として、各団体の公演視察ができておらず、本アンケートのB区分制度の効果について、回答することは困難であった。B区分制度により、同じ団体を3年間認定したとしても、各学校が公演を希望する団体が当該団体とは限らず、希望が多かったり、実施満足度の高い団体を毎年度選定するようにした方がよいと思う。（香川県内でのスターダンサーズバレエ団の公演希望校数（第一希望）：H23年度2校、H24年度2校、H25年度2校）その点で、各学校の実施報告の際に、アンケート3ページのような内容のアンケートも実施し、「来年度以降も県内での公演を望む団体であったか」や「その他希望する団体がないか」等の質問をしてみてもどうか。各学校の満足度の高さが、より良い事業となることにつながると思う。
- 巡回事業の団体を選考する資料として、文書だけではなく、パンフレットなどがあるとありがたいと思います。

採択数について

- 学校側の思いとしては、巡回公演に来ていただきたいという意見がかなり多い。ただ採択率が約半分ということがネックになり、年間行事に組み込むことが難しいという現状から募集の希望をさけてしまう学校も多い。児童の先生の評判はかなりよいので1つでも多くの学校が採択されるよう予算を増やしてください。今年度はそういった意味で少し採択数が増えた

のでありがたいです。

- ブロック間での他県との移動日程を優先して実施校を採択していると思われるが、本県の場合、隣県とのアクセスがしやすい地域（例：青森県に近い県北部地域）の学校が毎年採択される傾向にある。全県偏り無く、その他の地域の採択校も増やしてほしい。

手続き等について

- 現在の都道府県教育委員会、市町村教育委員会を経由する事務手続きについて、実施決定以降は、委託事業者・団体・学校の当事者同士で直接行うことで、より円滑かつ柔軟な事業運営が可能になると考えます。
- 現在、事業完了に至る全てのやり取りを県が仲介しているが、細かな資料修正の指示など、双方の意図が伝わらず非効率な場合がある。

スケジュールについて

- 各学校の年間行事予定の関係から、事業の募集～内定までのスケジュールをできるだけ前倒ししていただきたい。
- 実施通知から募集締切までの期間が短いため、もう少し長くしていただけるとありがたい。
- 内定通知の時期を早くしていただけるとありがたいです。

検証事業について

- 当県では、当該事業の現地視察は当初から予定していないので、県に対するアンケートは内容に欠けると思います。県より、実施校決定所在市教育委員会担当課（市限定）に対し、実施報告書と併せて提出させる旨、決定通知時など事前に通知すれば実態が見えるのではないのでしょうか。また、アンケートという名称ではなく、「〇〇報告書」として行えば内容的にも期待できると思いますが。
- 学校に対するアンケートだけでなく都道府県担当者による今回のようなアンケートがあってもよい。学校側は、実施上多少の不便や不満を感じても「無料で実施」してもらえると意識が働くため、良かった、効果があった、といった肯定的な意見が多い。中立的な立場として、学校の声を拾える仕組みづくりが必要。様々なジャンルの芸術体験事業を行うことは、子どもにとってたいへん意義深いと考えられ、3年ひとくりでよいと思われるが、東京演劇集団「風」については不採択校が多いので引き続き G ブロックにきていただけるとありがたい。（要望）

全般的な意見

- 学校、市町村教育委員会レベルでは、交流が図られているようですので、本事業を継続されたほうが良いと思います。
- 本事業の巡回公演に携わる団体は、どれもそれなりに学校の要望を生かして質の高い公演してくださっており（一部の団体の公演視察や報告書、当該校の教諭の感想などからわかる。）また、すべての団体の視察が詳細にできているわけではないので、本アンケートの趣旨に沿った回答が十分できないことを申し訳なく思います。B 区分制度というものがなくても、本事業の価値は児童生徒にとって計り知れないものがあると感じております。

VII. まとめ：「次代を担う子どもの文化芸術体験事業（巡回公演事業）」の 検証結果

1. 「次代を担う子どもの文化芸術体験事業（巡回公演事業）」の評価検証

(1) 多くの子どもたちが文化芸術を初めて体験

平成 24 年度に本事業を体験したすべての小・中学生を対象としたアンケート調査によると、「本事業によって行なわれた分野の公演」を初めて鑑賞した児童・生徒は全体の約 8 割(75.2%)、全国で約 31 万人にも達している。

また、全体の 4 分の 1 強の児童・生徒は、「その他の分野も含めて、文化芸術公演を間近で体験したのは初めて」と回答しており、多くの児童・生徒にとって、本事業が初めての文化芸術体験となっていることが確認された。

なお、初めて文化芸術を体験した児童・生徒の割合は、文化芸術公演に関する「不利地域」において 21.9%となっているが、「地方都市圏」や「大都市圏」、さらには鑑賞機会が比較的多いはずの「首都圏」などを含む「条件不利地域以外」の方が 26.3%と高くなっている。このような結果の背景としては、子どもたちの芸術文化の鑑賞機会は、単に地理的な要因だけではなく、その他の要因（たとえば、困難な家庭環境、経済的な要因など）によって大きく影響を受けていることが推測される。

この調査結果を踏まえると、将来にわたり本事業を文化庁（国）が実施し続けるべきかどうかという点については今後も継続した議論が必要であるものの、地方自治体が自主的に同様の事業を企画・実施するようになるまでの当面の期間については、文化庁が本事業を実施することは必要不可欠であると考えられる。

また、今後の鑑賞意向がある児童・生徒（「とてもそう思う」と「そう思う」の合計）の割合は 7 割強（73.0%）に達しており、さらに半数程度は鑑賞にとどまらず、児童・生徒が自ら積極的に活動したいという意向を持つに至っており、本事業を契機として、児童・生徒が自主的な鑑賞意向を示していることも確認できた。

- * 本校のような地方都市ではなかなか本物の文化芸術に触れる機会が少ない。生で観る文化芸術の迫力・臨場感を生徒たちに体験させてあげたい。（学校No.1・オーケストラ）
- * 本校のような山村地区では文化芸術に触れる機会が少ないので、本事業を通じて、目の前で子どもたちに文化芸術に触れさせることで、表現力やコミュニケーション力を強化したい。（学校No.5・演劇）
- * 児童数の少ない小規模校であるため、費用負担の面において学校単独で公演を呼ぶことが難しい。（学校No.19・ミュージカル）
- * 家庭の経済的事情も関係してくるため、このままでは本物の文化芸術を体験する機会は成人までないであろう子どもが多い。（学校No.6・ミュージカル）
- * 落語や三味線などの日本文化は、海外の芸術・芸能と比較して、本校のあるような地域（不利地域）で見るとはかなり難しい。（学校No.2・演芸）
- * 演目の中でオペラ（ミュージカル）を選択したのは、他の演目と比べて、特に見る機会が少なく、テレビでも目にする機会が少ないため、めったに見ることができないものという視点で選んだ。（学校No.6・ミュージカル）
- * 洋楽には児童も比較的触れる機会は多いが、邦楽はそうではない。教科書にも掲載されて

いる邦楽を子どもたちの心に残してあげたいと考えた。(学校No.7・邦楽)

- * 本物の文化芸術に触れる機会のない地域で本物に触れさせる経験は必要。一度聴けば大人になってもまた聴きたいと思うきっかけになる。まったく経験がなければそうはならない。(学校No.1・オーケストラ)

(2) 他の事業では代替が困難

昨年度の検証事業における類似事例調査においては、本事業と同様の特徴をすべて兼ね備えた事例は確認できなかったため、他の事業では代替が困難な事業であると言える。さらに、今年度の検証事業における学校および教育委員会等や団体を対象としたヒアリング調査によって、本事業の特徴がもたらす意義や効果がより明確となった。こうした調査結果から、本事業は単なる鑑賞事業ではなく、子どもたちや家庭、そして地域コミュニティに特別な体験を提供する、極めて高度なコミュニケーション事業であると位置づけることができる。

① ワークショップと本公演の二段階で構成される事業

本事業の最大の特徴は、ワークショップと本公演の二段階で構成されていることである。今回のアンケート調査の結果、ワークショップの実施によって、本公演当日が楽しみになった、興味を持つことができたという児童・生徒は半数近くにのぼることが確認できた。

学校および教育委員会等、団体へのヒアリング調査によると、ワークショップの存在は、本公演へ向けた期待の高まりに加えて、ワークショップ後に練習を重ねてから本公演に臨む、積み上げ型のプログラムになっているため、非常に学習効果が高い、とのコメントがあげられていた。

このワークショップの効果は、演目そのものに対する学習効果だけではない。ワークショップの時にアーティストから技術指導を受けたり、自ら作品制作をした児童・生徒については、関連する教科の勉強により意欲を持って取り組んだり、学校が今まで以上に好きになったという傾向が強く、特に、作品制作をした児童・生徒については、あいさつをするようになった、将来の夢に向かってより努力するようになった、という傾向が強いことも確認できた。

また、通常では自分の保護者と学校の先生以外の大人に出会う機会のほとんどない子どもたちが、ワークショップおよび本公演の二段階でアーティストたちに接することとなり、本事業を通じて非日常的な体験の中で多様な価値観を体感することにも貢献していると考えられる。

なお、ワークショップで交流給食を体験した児童・生徒では、関連する教科の勉強により意欲を持って取り組んだり、あいさつをするようになったり、将来の夢に向かってより努力するようになったという傾向が強いことも確認できた。

本公演終了後の児童・生徒の変化として、約3割が関係する強化の勉強により意欲を持って取り組むようになり、約2割がテレビ等でも興味を持って目を向けるようになった、と回答している。また、3割以上の児童・生徒があいさつをするようになり、将来の夢に向かってより努力するようになったり、学校が今まで以上に好きになったと回答しており、本事業は生活態度にもポジティブな影響を与えていることが確認できた。

なお、本公演におけるアーティストとの交流の効果として、共演をした児童・生徒の約半数は学校が今まで以上に好きになった、と回答しており、教員も約6割が子どもたちとアーティストとの共演が印象に残った、と回答している。

- * 他の同類事業では、公演だけの一回限りのものが多いが、本事業はWSを加え、その後、

授業で練習を重ねて公演に臨む積み上げ型の取り組みであり、成長のプロセスを見ることができた。子どもたちに与える効果は非常に高く、よく考えられたプログラムだと思う。

(学校No.13・オーケストラ)

- * WSと本公演の二段構成はとても良い仕組みだと感じている。WSで実際に体験することで、本公演で見聴きする内容がより深く心に刻まれるのではないか。また、WSでうまくできなかったことが本番でうまくできた経験は、児童たちにとって大きな自信につながったと思う。(学校No.7・邦楽)
- * 本公演の成功はWSでの団体からの指導があり、本公演までの練習を児童が頑張ったからこそあったもので、団体が当日、少し指導をして、単にやったということでは得られない経験だと思う。これらの経験を積み上げていく枠組みは非常によかった。(学校No.5・演劇)
- * WS後よりも本番後の方が、児童たちの目が輝いていた。WSで経験したパーツが本番でしっかりとつながり、児童たちにとっては記憶に深く刻まれる体験になったのだと思う。(学校No.9・ミュージカル)
- * WSを経験した2年生と、本公演の鑑賞のみであった1、3年生では、親近感が全く違い、鑑賞も真剣味が増すようだ。自分自身(校長)も感じたが、WSで交流したダンサーが出てくると、ただ単に鑑賞しているより面白く感じる。本事業は、事前にWSで交流できることに大きな意義があると思う。(学校No.8・現代舞踊)
- * WS後は団体の方からの指導が本公演までの練習姿勢だけではなく、学習面、生活面を含めて様々な面で好影響をもたらした。練習を集中して行っていたので、授業中の集中力が非常に高くなった。授業中は一点を見つめ、国語の音読の際には口をしっかりと開いて読んでいる。(学校No.4・演劇)
- * 子どもたちは興味がわからないものは見たくも聞きたくないだろう。そこを、WSにより興味の下地を作ったうえで本公演に望み、さらに共演することで、伝えることの難しさを自らが感じ、その後にプロの公演を見て、そのすごさを感じる。その一連の流れの中でWSは必ず必要である。(団体No.2・演芸)
- * 障害を持つ子どもたちにとって2回会うということはより重要な意味をもつ。WSと公演でほぼ同じことをやることで、同じだからと心を開き、安心して取り組んでくれていると感じる。そういう意味でもWSの価値は非常に大きい。(団体No.13・バレエ)

② 自分の学校の体育館が“劇場”に変貌

本事業の最大の醍醐味は、普段通り慣れた自分の学校の体育館が舞台装置によって、その日だけ特別な空間になることである。今回のアンケート調査の結果、印象に残っている公演の内容として、「学校の体育館が舞台装置によって、その日だけ特別な空間になること」を上げた児童・生徒は半数以上にのぼることが確認できた。

また、学校および教育委員会等や団体へのヒアリング調査によると、学校の体育館はホールと比べると芸術鑑賞の場としては、最適な空間とは言えないが、教育的な視点では次のような効果が非常に重要であることが確認できた。

(i) 間近で役者の表情や演奏の音や振動を直接感じるができるため感動が大きく、その結果、さまざまな波及効果を期待できること。(ii) 団体との本格的な共演を行うにあたって、身近な体育館なので安心して臨めること。(iii) 音響や照明といった舞台を支える仕事も目にすることができ、キャリア教育としての効果も期待できること。

これらに加えて、体育館は日本全国どここの学校にもあるため、個別の学校の環境に左右され

ることなく、誰もが一流の舞台芸術を享受できる事業であるといったコメントもあげられていた。

また、本公演の会場別（学校／学校以外（ホール等））にみた公演終了後の生活態度の変化に注目すると、「学校が今まで以上に好きになった」と回答した割合は、学校以外では 7.9% であるのに対し、学校での公演では 37.1% と大きな開きがあり、自分たちの普段通う学校への愛着の増加につながっていると考えられる。

- * 体育館の壇上をステージとして使用するものと思っていたが、想像を超える設備と演出に「これぞ本物」と大いに感心させられた。(学校No.18・ミュージカル)
- * 役者の表情をはっきりと見ることができる距離感で鑑賞できたことも、子どもたちにとっては非常に良い経験になったであろう。(学校No.10・児童劇)
- * 運動や集会をしているいつもの体育館が舞台に変わることによって子どもたちは感動している。ホールの場合、その醍醐味がなくなってしまう。(団体No.1・合唱)
- * 劇場でやると子どもたちは「お客さん」になってしまうが、体育館で行うことによって自分たちのための公演という感覚になっていく。(団体No.11・児童劇)
- * 体育館に入場してきた途端に子どもたちの目の輝きが変わる。自分たちの日常空間が変化することに対する感動や驚きがあってこそのもので、ホールでは絶対に起こらない現象。教室から体育館までの移動時間が、子どもたちの期待感を高めるのにはちょうどいい長さ。(団体No.9・演劇)
- * 子どもたちがいつもと違う体育館に入った瞬間の歓声から、芸術にスムーズに入り込める。近くで見ること、音や振動も全身で感じられる。本事業の趣旨は芸術を身近に感じてもらうことにあると思う。(団体No.4・バレエ)
- * 体育館という小さな箱の中で観客の身体に直接音が響き、演奏側には児童・生徒や教師からの感動が直に伝わってくるその距離感に意味がある。体育館であれば、子どもたちと奏者とが対話することができ、オーケストラを身近に感じてもらい、音楽に対する興味喚起につながる。(団体No.6・オーケストラ)
- * 体育館は子どもたちにとって特別な場所ではない。いつもの場所で、いつもと違う人たちが来て、いつもと違うことをしてくれる。いつもの場所なので、安心して、いつもと違うこと（文化芸術）を体験し、学ぶことができる。(教委No.2)
- * 学校の体育館でできるのは、なんといっても子どもたちの“安心感”に繋がる。単に鑑賞をするだけでなく、共演をしたりするので、とても緊張してしまう。それを馴染みのないホールや他校の生徒がたくさんいる環境の中でやるのはとてもプレッシャーだろう。安心した環境でよい準備をして望めることで、得られる効果も高まるのではないかと感じている。(教委No.1)
- * キャリア教育の観点から、将来の多様な選択肢を持つことができた。オペラ歌手をはじめ、音響や照明といった舞台を支える仕事もあるということも理解できた。映像で見ただけでは支える人のことはわからないし、本物の文化芸術団体が目の前にいたからこそ、児童たちに強い刺激があっただろう。(学校No.21・音楽劇)
- * 公演の準備の段階から見ることで色々な人のサポートによって公演が成り立っていることを知る等、プロセスに自発的に関わるといった経験ができることが本事業の醍醐味である。(団体No.5・オーケストラ)
- * 体育館では子どもたちが舞台の裏側を触ったり、出演者やスタッフと話したりできる時間

をつくりやすい。初めてのことが怖い子や共同作業が苦手な子も、本番と一緒に頑張ってみようという気持ちになって一步踏み出す機会になった。(団体No.12・ミュージカル)

- * ホールで鑑賞する社会的な意味合いでの芸術鑑賞における本物は最上級の本物である。一方で、学校の体育館のような近くを車が通り、赤ちゃんが泣いているような場所であっても、本物が行えば、それもまた教育的な意味合いにおいて本物である。(教委No.2)
- * 体育館は芸術鑑賞に最適な空間とは決していえないが、子どもたちの日常空間が芸術と触れる場所になるという経験、驚きや感動との出会いが子どもたちにとって大きな意味があると考えている。(団体No.8・ミュージカル)
- * どんな僻地であっても体育館はあり、そこに不公平なく一流の団体が来てくれていることに本事業の意義があるのではないか。(教委No.4)
- * 体育館でやるということは、日本全国の子どもたち誰もが舞台芸術を享受できるということにつながっている。近くに会館がなく芝居を見に行くために船に乗って行かなくてはならない学校や、特別支援学校など様々な事情があり会館までの移動だけで大きな負担となるという学校でも、体育館で行うということで先生方は安心して手を挙げるができる。(団体No.12・ミュージカル)
- * 中学生だと劇場ではおそらくほとんどの生徒が斜めから見たり、あるいは寝てしまったりすることもあると思うが、自分たちの体育館では目の前に出されるので見ざるをえなくなる。大人たちが汗水流して真剣にやるのを見て、何かを感じ取ってほしい。(団体No.13・バレエ)

③ 学校単位で全校児童・生徒や教職員が参加

本事業の本公演は、全校児童・生徒や教職員等が学校単位で参加できるようになっていることも特徴的である。上述したように、本公演は基本的に学校の体育館で実施されるため、子どもたちにとっては安心できる場での開催となっている。

学校および教育委員会等や団体へのヒアリング調査によると、自分たちの学校の体育館で開催できる安心感によって、普段は学校行事に参加することが難しい子どもたちも参加するケースもあり、教員も安心して見守ることができるようである。その結果、教員も子どもたちと一緒にあって、芸術鑑賞を楽しむことができるものと推測される。

なお、本公演のホール開催での現場視察をした際には、教員は子どもたちの監視役として、舞台に背を向けていることも多かったため、後述する本事業の教員に対する効果が十分に得られていないのではないかと推測される。

その他、本事業は近隣の小中学校や保護者や地域住民も参加することができるため、子どもたちと共通の経験をすることで、学校への理解がより深まっている様子が確認できた。

- * 鑑賞者の児童の方は、低学年は演劇に入り込んで、「危ない！」というような声を思わず出していた。中学年は同年の児童が舞台上に上がっていたので、同じ様な緊張感で見ていたし、高学年は「次はこうなんじゃないかな。」「こういう意味だったんじゃないかな。」ということ、隣の児童と少し話をしながら、劇に入り込んでいた。それぞれの学年にあった形で劇に入り込んでおり、生で見て、肌で感じたからこそ、このような反応があったのではないかと感じた。(学校No.4・演劇)
- * 体育館のキャパの問題があり、当初4年生以上限定にする話もあったが、低学年担任から「小さい子ほど感動するはずなので、絶対に1年生から体験させるべき」という話が出て

全学年参加となった。(学校No.15・オーケストラ)

- * 全学年で実施したということで、6年生も初めてやることだったが、リーダーシップを取ってくれて、同じ成功体験を全学年で共有できた。下の学年の児童にはとてもよいお手本となったので、今回の6年生を見習って、リーダーシップやチームワークを身につけて欲しい。(学校No.5・演劇)
- * 大勢の中に入るのが苦手で、普段は全校集会に参加するのも難しい生徒が4名いたが、そういった子どもも今日は楽しそうに拍手しながら最後まで聴くことができた。とてもよい顔をしていた。(学校No.11・オーケストラ)
- * 舞台に参加する子どもは教員が事前に選ぶのではなく、劇団の方が直接指名した。その中には特別支援学級の子どももおり、多少心配したが、周りも好奇の目で見るとはならずよかった。(学校No.12・ミュージカル)
- * 教職員も生徒たちと一緒にボディーパーカッションを行うなど、公演を非常に楽しんでいった。(学校No.1・オーケストラ)
- * 教員も一緒になって、子どもたちと初めての体験を共有できる場が必要である。(学校No.2・演芸)
- * 実際に学校に足を運んでもらって、児童や教員と同じ経験をしてもらうことは、学校の取り組みを理解してもらううえで、とても大切なことだと感じている。このような機会を活かして、学校への理解が深まれば有り難い。(学校No.3・児童劇)

④ 全国レベルでの地域間格差の是正

昨今の子どもたちの文化芸術体験関連の事業においては、地方自治体の独自事業の予算も削減される傾向にあり、また、経済環境が厳しい中で、保護者負担で実施をすることも難しい状況にある。

上述したように、本事業の本公演は学校の体育館で開催できるため、日本全国どこの学校でも、個別の学校の環境に左右されることなく、一流の舞台芸術を享受できるようになっているため、全国レベルでの地域間格差の是正に貢献していると評価できる。

- * 地方の子どもたちにも本物の文化芸術に触れる機会を与え、教育の均等化にもなる、有り難い事業である。(学校No.1・オーケストラ)
- * 本校のような小規模校であっても、オーケストラを受け入れ、公演を行えたことに自信と達成感を得た。(学校No.1・オーケストラ)
- * 本校では年に1回、音楽と演劇を交互で鑑賞する機会は設けているが、本事業のような充実したものが提供できるわけではない。保護者負担で実施しているため、複数の児童がいらっしゃるご家庭では負担が大きくなるため、保護者負担での実施を続けるのは厳しい面もあった。(学校No.4・演劇)
- * 子どもによって、自然体験、文化体験には格差がある。その差を学校教育の中で補うようにしたい。本物の芸術に触れることは、コミュニケーションを豊かにするのに役立つ。異なる家庭の背景がある子どもたちが体験を共有することで、子ども同士のコミュニケーションが広がる。学んだことが生活に結びつく。(学校No.24・能楽)

こうしたことから、もしも本事業が無かった場合、特に地方の小規模校が自主的に同様の機会を設定することは極めて困難であり、かつ本事業を代替・補完する事業が存在しないと考えられ

るため、本事業が児童・生徒の上質な文化芸術体験に対して、極めて大きな役割を果たしていることが改めて確認できた。

(3) 教員に対する効果

本事業には児童・生徒だけではなく、多くの教職員も参加しており、平成24年度にはワークショップに18,301人、本公演に36,914人の教職員が参加している。

また、今年度の検証事業では、児童・生徒へのアンケート調査と同様に、本事業の本公演を鑑賞した教員にもアンケート調査を実施している。その中で、ワークショップまたは本公演後、自身に生じた変化・効果を尋ねたところ、教員の4割強(44.3%)が、「児童・生徒の新たな一面を発見し、接し方や見る目・評価の視点が変わった」、約4割(37.4%)の教員が「本事業を通じて学んだことを、表現方法や指導方法などに活かしている」と回答した。また、9割強の教員が今後も文化芸術鑑賞・体験の機会を持ちたいと考えるようになった。

なお、学校および教育委員会等を対象としたヒアリング調査において、以下のようなコメントがあげられていた。

これらの調査結果から、本事業が児童・生徒に対しての効果だけではなく、教員に対しても大きな効果を有していることが確認できた。

- * 授業の枠ではなく、第三者が入ったことで、普段では見られない子どもたちの姿を見ることができた。子どもたちの反応を見ながら、「こういう曲が好きなんだ」といった発見もあった。楽器に詳しい子どもの存在にも驚かされた。(学校No.13・オーケストラ)
- * 文化芸術体験により、これまで勉強やスポーツで目立っていた子どもたち以外の子どもたちの意外な一面や得意分野等に気がつくことがある。そのような視点を教員に大事にして欲しい。(学校No.31・ミュージカル)
- * 団体の方々による指導を通して、ただ押し付けるのではなく、子どもたちの目線に下がり、間近に接しながら、興味・関心を引き出せる力が必要であること。また、子どもたちが行うこと、考えていることに対して肯定し、寛大に受けとめることが大切であることを実感したのではないかと。(学校No.1・オーケストラ)
- * プロは空気の掴み方が上手いと感じた。落語の枕の部分はコミュニケーションの一種だと思う。教員もあんな雰囲気を感じ取って、授業づくりなどに活かして欲しい。(学校No.2・演芸)
- * 児童に人前で話す練習をさせてはいるが、実は教員もどのように指導をすればよいか探りながらの対応であった。今回の団体の話し方や児童への指導方法は教員にも非常に参考になるだろう。(学校No.3・児童劇)
- * 団体の方の“褒める”指導の仕方に感心した。児童が失敗したなど思っても、“思いっきりやっていていいよ!”と、児童の気持ちを高めた後に、専門的な視点でアドバイスをしていた。(学校No.5・演劇)
- * 褒める指導に加えて、専門的な知識でポイントをついた指導を行うので、児童は素直に受け入れて身につけていった。気持ちと技術の指導のバランスがよく、指導者が口だけではなく、見本を自ら見せられる強みがあるなど再認識した。教員も自分の指導方法を見直すよききっかけにして欲しい。(学校No.5・演劇)
- * WSや本番前のリハーサルでは、こういう段取りで練習します、ゴールはこれです、といったことが冒頭に明確に示されたので、児童も非常に分かりやすかったのではないかと

思う。これらの対応も指導の際に参考になる。(学校No.5・演劇)

- * 相手が小学生なので教員も上から目線で指示することが多いが、団体の方々は同じ目線で接していた。やり方、言い方ひとつで子どもの反応が違ってくることを目の当たりにした。(学校No.6・ミュージカル)
- * 面白いこと、興味のあることであれば、騒いでいても子どもたちはすぐに静かになる。通常のクラスであれば怒鳴らなければ静かにならない。管理職の立場としては、子どもたちが静かにならないのは、教員側に魅力がないからだということに気がつく機会にしてもらいたいと考えている。(学校No.6・ミュージカル)
- * 団体の柔軟な対応を見て、子どもたちの安全安心さえ脅かされなければ、教育現場でも臨機応変に対応していく柔軟さ、ライブ感覚が必要だということを各教員に感じて欲しい。(学校No.6・ミュージカル)
- * それぞれが、本物に触れることの意義を体感したのではないか。また、ワークショップと共演を通じて子どもたちが殻を破りいい意味で羽目を外す姿を目の当たりにして、今後の指導方法について考え直す良いきっかけになったであろう。(学校No.10・児童劇)
- * 教員は校風を重んじ、既成の枠組みに子どもたちを当てはめようとしている部分があるかもしれない。ジャズの自由な演奏スタイルを見て、教職員の固定観念を一度崩さなければならぬと感じた。(学校No.11・オーケストラ)
- * 中学教師はなかなか型を破れないが、型にはまったことをするのではなく、生徒と息を合わせて、授業を合作して行ってほしい。先生と生徒の間でのコラボレーションが生まれてほしい。(学校No.11・オーケストラ)
- * 創造性のある授業の方が楽しいのではないか。芸術活動と授業はつながる。(学校No.11・オーケストラ)
- * 指揮者の問いかけや言い回しなど、短時間で子どもたちの心を掴む話術を見ることができ大変参考になった。教職員にとって大きな刺激になった。また、WSや本公演の手法は音楽の授業などで幾つか取り入れることができると考えている。(学校No.13・オーケストラ)
- * 本事業のようにイベント的な取り組みは教職員にとって初めての経験が多く、学校側の準備や公演対応において様々な課題が出てくる。それを教職員同士が相談しながら課題解決に導き、自ずと力量が高まっていった。また、本事業を通して教職員の協力体制が整った。これらの経験は今後の事業でも役立てられるのではないか。(学校No.13・オーケストラ)
- * 教師には、どれだけ多くの引き出しもっているかが問われていると思っている。今回の経験は、確実にその引き出しのひとつになったであろう。(学校No.18・ミュージカル)
- * 表現の仕方や声の出し方、子どもたちを上手く参加してもらうための声掛け、効率のよい準備作業など、見習うべき点が多くあった。(学校No.19・ミュージカル)
- * はじめは「忙しい時期なので、公演などを受け入れている余裕がない。実施を止めることはできないか」などと言っている教員もいたが、本公演は楽しんで見ている様子だった。教職員にも、こうした本物の芸術を見せることが重要である。一度見ればそのすごさがわかる。(学校No.25・演芸)
- * 公演準備を見ていて、マジシャンが立ち位置にテープなどでマーキングをしており、厳密に準備をしているのを見て、プロであっても事前の準備が重要であることを改めて感じた。事前準備をしっかりと行うなどのプロの姿勢は、教員にとっても参考となる。(学校No.25・演芸)
- * 人間がやることだから失敗は当然あること、という考えを持っていたが、プロの方はその

失敗が許されない環境にある。だからこそ、日々の練習を一生懸命に行っている。これらのプロ意識は教育現場でも持つべきものだと感じた。(学校No.26・バレエ)

- * 教師の間では、団員が皆ニコニコしている様子を見て、いつも眉間に皺を寄せて子どもたちに接していることを反省させられた、という話題が公演前にあがっていた。(学校No.30・合唱)
- * WS後、特に音楽担当教師の教え方が変わったようだ。教師が変わると子どもたちも変わる。教師自身が一流の指導に触れて変化するきっかけを与えてもらったことに、とても感謝している。(学校No.30・合唱)

(4) 家族とのコミュニケーションの促進

本事業の特に本公演には、多くの保護者も参加しており、平成24年度にはワークショップに1,623人、本公演に41,407人の保護者等(地域住民等も含む)が参加している。

また、今年度の検証事業では、児童・生徒へのアンケート調査と同様に、本事業の本公演を鑑賞した保護者等にもアンケート調査を実施している。その中で、「今後、家庭内で期待できる効果」を尋ねたところ、保護者等の6割強(64.9%)が、「共通の話題ができて、家族でのコミュニケーションがより活発になる」、4割強(42.4%)の保護者等が「家族で文化芸術を鑑賞する機会が増える」と回答した。

また、学校および教育委員会等を対象としたヒアリング調査において、以下のようなコメントがあげられていた。

これらの調査結果から、本事業の実施により、本事業が家庭におけるコミュニケーションや保護者と児童・生徒との文化体験の促進に寄与していることが確認できた。

- * 学校だけが恩恵に預かるのではなく、こうした文化体験を共有することで、家での子どもや孫との共通の話題ができるようになったと思う。(学校No.2・演芸)
- * 今回はスペースの関係ですべての保護者に連絡できなかったが、学校のWebには今回のことをアップし、情報発信したいと考えている。そのWebを閲覧になった方が、子どもたちにどのような内容だったか聞いてくれるだろうから、それらを通じて、家庭内での交流が広がることに期待したい。(学校No.4・演劇)
- * 参加した保護者は大変満足した様子であり、親子の会話の話題にもなるだろう。(学校No.19・ミュージカル)
- * 子どもたちと共通の感動をし、共通の話ができるのは非常によいチャンスである。次回は大大に宣伝するようにし、さまざまな方に参加して欲しい。(学校No.22・演劇)
- * 親子で同じ体験をすることは非常に少ない。親子が一緒に体験することで、家でも会話が生まれる。(学校No.23・オーケストラ)
- * 家庭で親子が会話するきっかけになればという声を実際にいただいた。本公演で得た感動を共有することで、家族で文化芸術への親しみや関心を持つことに期待したい。(学校No.28・邦舞)
- * 子どもとの話題が増える。時間を共有したことも話題になるし、今後もこうした機会があった時、今回の経験をもとにして話が広がるのではないか。家庭でこうした芸術鑑賞の場へ行くことにもつながるかもしれない。(学校No.26・バレエ)
- * 文化・芸術に対する理解が深まり、子どもの将来性についても道が開ける。知っているのと知らないのでは全く違う。子どもがこういう職業を選んだ場合、保護者の理解を得やす

くなるかもしれない。子どもの選択肢を増やすという意味では、親にとってもよいと思う。
(学校No.26・バレエ)

(5) 地域コミュニティと学校との関係

前述したとおり、本事業の特に本公演には、多くの保護者や地域住民も参加している。

今年度の検証事業では、児童・生徒へのアンケート調査と同様に、本事業の本公演を鑑賞した保護者や地域住民等にもアンケート調査を実施している。その中で、「学校教育に対する理解が進んだか」という点について尋ねたところ、保護者や地域住民等の9割強(95.3% : 「とてもそう思う」と「そう思う」の合計)が、理解が進んだと回答した。また、「学校と地域のつながりが深まったか」という点について尋ねたところ、保護者や地域住民等の約8割(78.0% : 「とてもそう思う」と「そう思う」の合計)が、つながりが深まったと回答した。

また、学校および教育委員会を対象としたヒアリング調査においては、以下のようなコメントがあげられていた。

前述した家族への影響とともに、本事業を実施することにより、家族や地域コミュニティが変化し、そのことが結果として子どもたちにさらに良い影響を与えるという好循環の形成も期待される。

これらの調査結果から、本事業の実施により、学校教育の実態を地域社会に対して伝えていき、地域コミュニティと学校がより良い関係を構築していくためのチャンネルの一つとして、本事業が大きな役割を果たしていることが確認できた。

- * 子どもの関係者でなくても、学校の雰囲気が変わり、さまざまな取り組みを進めているということを知っていただく効果もあったのではないかと。(学校No.2・演芸)
- * 保護者や地域住民に、実際に学校に足を運んでもらって、児童や教員と同じ経験をしてもらうことは、学校の取り組みを理解してもらううえで、とても大切なことだと感じている。このような機会を活かして、学校への理解が深まれば有り難い。(学校No.3・児童劇)
- * 地域の中の顔見知りの子どもの頑張りや地域の方に発信できたことはとても有り難い。(学校No.5・演劇)
- * 子どもたちと同じ時に同じ経験を保護者や地域の方と共有できたことは非常によかった。資金面でも協力してもらっているので、このような経験を通じて、地域の学校としての理解が進むだろう。(学校No.6・ミュージカル)
- * PTA会長、広報長の他、学校で借りている畑の管理をしてくれる方、植物を寄贈してくれる方、通学時の交通安全係を担ってくれている方々、本の読み聞かせボランティアの方々といった日頃お世話になっている保護者・地域住民を招待した。帰り際に、「毎年こうした体験型の事業があったらいいのに」、「子どもたちだけでなく、自分たちにとっても良い体験になった」、「感動して涙が出てきた」、「あんなに迫力のある声をどうやったら出せるのかと感銘を受けた」といった感想を興奮した様子で話してくれた。(学校No.9・ミュージカル)
- * 市の「学校評価」の自由記述で「子どもが楽しみにしているので続けてほしい」という意見があり、本校が文化行事を活発に行っているという理解が地域や保護者にも浸透していると思われる。(学校No.12・ミュージカル)
- * 本地域は県内でも非常に奥まったところにあるので、中心になるようなものは学校くらいしかない。だからこそ、学校が様々な拠点となり、地域の方が集まる場所にしたいと考えていたので、今

回は非常によい機会を頂いたと感じている。これをきっかけに地域の方がこれまで以上に気軽に学校に足を運んでもらいたい。(学校No.5・演劇)

- * 日頃お世話になっている保護者・地域住民の方々には、非常に良い形で恩返しができたと感じている。これをきっかけに、益々学校との絆が深まることを期待している。(学校No.9・ミュージカル)
- * 本校は日頃から地域住民に大変お世話になっているため、今回は恩返しのひとつができたと感じている。地元馴染みの深い詞をたくさん織り込んだ合唱曲は、今後も地域住民との交流の場で歌っていきたい。(学校No.14・オーケストラ)
- * 帰り際に、「地域の合唱団をつくりましょう」と熱っぽく提案してくれる保護者たちがいた。「こんなに素晴らしい公演を、なぜもっと多くの保護者が観にこないのだろう」と悔しそうに話してくれる方もいる。(学校No.30・合唱)
- * 平日での開催ではあったが、出席者も昨年度の倍くらい(約 20 名)はいたように思う。公演団体は毎年変わるが、昨年度出席された方は概ね今年度も出席して下さり、「リピーター」になってくれた。(学校No.31・ミュージカル)

(6) 団体にも副次的効果

本事業の実施団体に対してグループインタビュー調査を行い、本事業が団体自身にもたらした変化や効果を尋ねたところ、以下のようなコメントがあげられていた。

これらの調査結果から、本事業の実施により、児童・生徒だけではなく、実施団体側にも副次的にさまざまな効果があったことが確認できた。

- * 当団体では、本事業に関わる以前から、札幌市や台東区でWSを行っていたが、対応できる協会員を育てるのが大変であった。本事業を通じて人材を育成できたことは非常に有り難い。(団体No.2・演芸)
- * 通常の団体の公演では、同じ作品を連続で公演するのは難しいが、本事業では1年に10回以上の公演があるため、その中で特に若いダンサーを育てることができる。また、技術の向上だけではなく、子どもたちが近い距離で純粋な目で見られることで、なぜ、自分がバレエを踊っているのか、バレエを通じて何を伝えたいのか、ということ若いダンサーが考えるよい機会にもなっている。このことは団体にとっても大きな成果に繋がっている。(団体No.4・バレエ)
- * 俳優とは単年度で契約を結んでいるため、これまでメンバーを固定することが難しかったが、B区分制度によって3年間の予測がある程度立ち、メンバーを固定して公演できるようになった。そのことで、若い俳優の育成を3年間かけて行えるため、団体にとってもメリットが大きい。(団体No.9・演劇)
- * 担当ブロック内の地域で師範免許をもつ能楽師たちが、本事業に触発されて、自ら学校に出向いてボランティアで能を指導するという取り組みも出てきた。能に対する認知度が地域で少しずつ高まってきたことを肌で感じており、たった2年でこんなにも変化があるものかという驚きをもっている(団体No.7・演芸)

(7) B区分制度がもたらした効果

B区分制度がもたらした効果を把握するうえで、B区分団体自身へのグループインタビュー調査と、B区分制度の効果等を俯瞰的に把握できる教育委員会等へヒアリング調査を行ったところ、

以下のようなコメントがあげられていた。

これらの調査結果から、B区分制度によって、次のような効果が確認できた。(i)複数年関わることで、地域の事情を理解し、地域の方々との安心感が生まれたこと。(ii)顔の見える関係を構築したことで、学校や教育委員会等と団体のコミュニケーションが円滑になり、互いに要望を伝えられる関係になったこと。(iii)B区分団体が自身の団体のことだけではなく、事業自体を広報する役割があることを明確に認識したこと。

そして、B区分制度の導入により、地域とB区分団体の間に適切なリレーションシップが構築され、その結果、プログラムの改善に繋がる等、本事業の成果向上に貢献していることが確認できた。

- * 同じ地域を3年連続して巡回できることで、学校の先生たちの口コミに応えることができるのは非常に意義が大きい。また、来年も待っていてくれるという意識をもって臨めることは、団体側としてもモチベーション向上につながる。(団体No.7・演芸)
- * 同じ団体が同じ地域に複数年にわたって来ることになるので、団体としても地域の感触を得ることができるようである。(教委No.3)
- * 文化というのは耕すために時間が必要なので、3年かけて同じエリアを回ることには大変意義があり、その地域の人々との間に安心感が生まれた。(団体No.10・音楽劇)
- * 子どもたちに対する本事業の意義が地域のなかでやっと理解されてきて、今まで応募のなかった地域や学校からもやってみたいという動きが出てきたと感じる。知りあいの先生から本事業について聞くことで、未経験の先生も安心して取り組める。(団体No.12・ミュージカル)
- * 教育委員会を事前訪問していなかった地域で、普通の学校だと思って訪問したら、虐待等の家庭の問題を抱えた子どもたちが多く在籍している学校であることに訪問してから気がついた。3年目はすべての教育委員会に事前訪問してみたいと考えている。(団体No.2・演芸)
- * 顔を合わせて話をすることで、コミュニケーションが円滑になり、お互いに要望を伝えやすくなると感じている。(教委No.4)
- * 3年間の付き合いということで、先生方とじっくり話ができるようになり、地域の民話があるということも聞いたので、民話にちなんだ演目を取り入れるという工夫もできるようになった。(団体No.2・演芸)
- * 実施校との事前打ち合わせでは、学校の要望をしっかりと聞き取り、最大限プログラムに反映するようにしている。実際に足を運ぶことで、学校の雰囲気や個別の事情を把握することができるため、学校毎にプログラムを工夫することができ、内容面の充実化を図れている。(団体No.8・ミュージカル)
- * 教育委員会の担当者が、公演を見に来てくれることも増えた。一度足を運んでもらえると、良好な関係を築くことができ学校の手続き(図面の作成等)をフォローしてくれるため、これまでFAXで何度もやり取りしていたようなことも電話1本で済むようになった。また、これまで困っていた大型車の駐車場や宿泊施設を教育委員会が手配してくれることも多くなり、移動がスムーズに行えるようになってきたことは大変有り難い。(団体No.9・演劇)
- * B区分団体に認定される前は自分たちの団体のことだけを考えていたが、採択されてからは、本事業のことを広める役割もあるということ意識するようになった。公演終了後に

校長先生や担当の先生に、本事業には他の演目もあるので、是非、来年も申し込んで下さい、他の学校の先生にも案内して下さいといったことを言えるようになった。(団体No.1・合唱)

- * 同じ地域を巡回できるため、教師のロコミ効果を生かすことができる。これが同じ地域で継続的に活動できることの最大のメリットだと考えている。特に音楽の先生の横のつながりは強い。他校の先生が当日見学に来て、翌年応募してくれることもあった。(団体No.8・ミュージカル)
- * B区分団体に認定されたことで、団員の中でも自分たちは他の楽団を代表して本事業に関わっているのだという自覚が芽生え、特にWSを担当する団員からは積極的に改善意見が出てくるようになった。(団体No.5・オーケストラ)
- * 本事業への応募理由として、今までは「無料だから」ということが多かったが、「子どもたちの経験のため」「子どもたちが育っていく環境をつくるため」という理由が増えてきて、地域のなかで本事業が果たす役割がより明確になってきた。(団体No.12・ミュージカル)

2. 「次代を担う子どもの文化芸術体験事業（巡回公演事業）」の課題

(1) 低い認知度

平成 24 年度の本事業への申請件数は 2,639 件であり、過去 3 年間を見渡しても、平成 23 年度は 2,514 件、平成 22 年度は 2,887 件と、申請件数は大きく伸びていない。

昨年度の検証事業における全国の小・中学校の教員を対象としたアンケート調査において、「事業のことをまったく知らなかった」という回答が過半数を超えており、申請件数の伸び悩みの背景に本事業の認知度の低さがあることが伺われる。

今年度の検証事業では、児童・生徒へのアンケート調査と同様に、本事業の本公演を鑑賞した教員にもアンケート調査を実施している。その結果、教員の 5 割弱が本事業のことを全く知らなかったと回答しており、本事業の認知度の低さが明らかとなった。また、事業のことを知ってはいたが申請には至らなかったという回答も 1 割以上ある。

本事業の効果が様々に明らかになる一方で、教員が本事業の存在自体を認知していないことで、これらの恩恵を全く受けることができない子どもたちが数多くいることはとても深刻な課題である。

- * これまでも事業の案内は来ていたのだろうが、こういった情報は管理職止まりになることがほとんど。今年度より教頭に就任した教員も、これまでは本事業のことを知る由もなかった。(学校No.10・児童劇)
- * 管理職にしか情報が伝わらない仕組みで告知するのではなく、現場の先生にも認知されるよう事業周知の方法を工夫されてはどうか。(学校No.10・児童劇)
- * 通常の文化庁からの情報を市町村教委経由で各校にお知らせするだけでは、なかなか現場まで情報が伝わらないケースがある。(教委No.1)
- * 教育委員会とコミュニケーションを取り始めたことで、教育委員会における本事業の認識度が低いことを再認識した。(団体No.5・オーケストラ)
- * 本公演に隣の市の教育委員会の担当者に参加してもらったことがある。隣の市は、スポーツが盛んな町ということもあってか、文化事業にはあまり力を入れておらず、担当者は本事業の存在すら知らないという状況であった。本公演の視察を通じて、是非、申請を試みたいという反応があった。(団体No.3・ミュージカル)
- * 先生の熱意次第で芸術に触れられる子どもとそうでない子どもがいる。将来的には全ての学校を回れるようになれば素晴らしい。先生が手を挙げなかったせいで機会を奪われてしまう子どもたちは可哀想。(団体No.11・児童劇)

(2) 申請と採択に関するジレンマ

本事業の採択校数は平成 24 年度で 1,533 件(本公演の実施校数は 1,992 校)となっており、申請に対する採択率は 58.1%、また、全国の学校のうち約 5.4%が本事業を実施した結果となっている。

上述したとおり、今後は認知度を向上させ、申請数を伸ばしていくことが課題になっている一方で、本事業自体の規模(予算額および採択校数)を拡大しないかぎり、採択率が低下してしまうという課題もある。

予算額については、平成 22 年度の約 50 億円をピークに減少傾向にあり、平成 24 年度においては約 45 億円となっている。なお、採択校数に関しても、過去 3 年間を見渡しても、平成

23年度は1,610件、平成22年度は1,582件と減少傾向にある。

また、採択校数（実施校数）を増やす場合、予算面での制約とともに、一定以上の水準の文化団体を選定・提供する体制の構築が困難である、というジレンマを本事業は抱えている。

(3) 団体間の格差

本事業への学校が寄せる好意的な評価は、団体の努力によるところであり、ワークショップや本公演の内容面や子どもたちへの効果、本番実施までの打ち合わせや相談対応、不測の事態への対応等、団体自体に対する評価も全体としては好意的なものが多い。

一方で、一部ネガティブな意見もあげられている。例えば、内容面に関しては、芸術性を追求するあまりに、子どもたちに興味関心を持たせることができず、教育的効果としては充分ではないといったことや、本番実施までの打ち合わせ対応では、学校側の状況や立場にたつた依頼ができていないといったこと等のコメントがあげられていた。

- * 窓口の方が丁寧に電話で説明して下さり、WSでお会いした際にも本公演のことをきちんと確認して下さったので、迷うことなく本番までたどり着けた。また、WS前後に練習が必要だったが、DVDやCD、台本といったものを一式提供して下さったので、教員も具体的なイメージがついて、指導がしやすかった。(学校No.5・演劇)
- * 当日までの打ち合わせも専用の携帯電話を教えて下さり、すぐに連絡が取れる体制であったので安心だった。(学校No.6・ミュージカル)
- * 疑問点が出てくる度に電話で問い合わせたが、丁寧に対応してくれてスムーズに本番を迎えることができた。(学校No.7・邦楽)
- * 当日の運営に関しても特に困ることはなかった。事前に団体から控え室のレイアウトや椅子の数、目隠しなど細かい指示を頂き、さらには資料・写真を提供して頂いたので、公演当日のイメージが共有できた。教職員への作業の割り振りもしやすかった。(学校No.13・オーケストラ)
- * あらゆる場面において生徒のことを考えてくれる団体だった。最初に会った際に「私たちに任せてください」と言われたことで、安心して本事業に臨むことができた。生徒の演技がどんな状態であってもそのままを受け止めて舞台を創り上げる力には感服させられた。これまでの経験から学び、努力と勉強を重ねられてきていることが感じられた。(学校No.18・ミュージカル)
- * 開催直前に近隣校では自校の体育館では開催できないことが判明し(道路幅が狭くトラックが入れない)、急遽、本校で午前・午後の2回公演を開催することになり、団体側と頻繁に調整を行う必要が生じたが、とても丁寧に対応して下さり、無事に終えることができた。そのような緊急事態でも的確にご対応頂きとても感謝している。(学校No.26・バレエ)
- * ワークショップの日付は聞いていたが、メールの送受信にトラブルがあったようで、事前連絡があまり取れなかった。また、地方公演が多く、東京の事務所には留守番の者しかいなかったため、調整がなかなかできなかった。ただ、学校側が準備する物が少なかったため、今回は大した問題にはならなかった。(学校No.25・演芸)
- * 昨年度に演劇団体の公演を行った小学校から、「次回はもう申請しない」というコメントがあった。この団体の演劇は、芸術性は高いのであるが、劇の内容が小学生には難しすぎて、また、上演時間も長いいため、子どもたちはついていけなかったようである。同じ分野であっても、どの団体になるかによって、「当たりはずれ」がある。(教委No.3)

- * オーケストラの場合、団体による優劣はあまり差が無いが、演劇分野の場合、団体による質の差が激しいように感じている。(教委No.5)
- * 以前、練習はできる範囲で構いませんよ、ということで、実際にあまり練習をせずに本公演を迎えることになった学校があったようだが、なぜ練習をしていないんだと、子どもたちが先生の前で叱責されるされるといったこともあった。団体側と学校側の本公演までのイメージのすり合わせが充分にある方がよいだろう。(教委No.4)
- * 本事業を面倒に思っている先生がいる。ある団体に姿見を用意するように言われて大変だったと数人の先生に聞いたことがあり、またお弁当の手配を先生に頼んでいるのも見たことがある。多くの団体があり学校へのアプローチも様々にはなるが、そういったことが学校側の負担になっていて、それがゆえに本事業を敬遠されるのであれば、別の手立てでそれを解決すべきである。(団体No.13・バレエ)

(4) 事業実施後のフォローが必要

本事業は、ワークショップと本公演の二段階で構成されていることが特徴であり、学習の基本的な体系である、“予習してから本番に臨む”という流れがあるため、上述の通り、子どもたち等に対して、大きな成果をもたらしている。

一方で、児童・生徒の公演終了後の行動について見ると、周囲の人と話をしたという回答が多い一方で、文化芸術について調べるといった自発的な行動につながっているケースはわずかである。これは保護者の視点から見ても同様であり、ワークショップに参加した子どもについて、経験した文化芸術について自ら調べたり、習い事に関心を示すようになったといった変化はほとんど見られなかったようである。

これらの要因として、学習の体系における「復習」に相当する部分がないため、仮に子どもたちの意欲が高まったとしても、意欲の定着、次の行動への展開が充分ではないものと推測される。

学校における事業を受けた継続的・発展的な取り組みについては、教員の1割程度しか実施意向があることを明らかにしておらず、半数近くが検討中、約4分の1は行わないとしている。

こうしたことから、本事業の成果を継続、発展させていくためには、事業実施後に何かしらのフォローアップが必要だと考えられる。

- * 継続実施は難しいと理解はしているが、これらの経験は継続したい。極端な話、一部の学年だけになってもよいので、WSだけでも実施できるような仕組みがあると有り難い。時間数が少なくなっているため、学校の中で表現力を身につけて、それらを披露するような場の設定を学校独自で行うことは非常に難しい。(学校No.4・演劇)
- * 1年目に訪問した学校に4年目にもう一度訪問し、その学校がどのように変わったかを実証できるとよい。1回の訪問、単発で終わってしまうと、それだけでこの学校は合唱が盛んになったということには決してならない。(団体No.1・合唱)
- * 単発の頃と比べると、B区分では点が線につながったように思う。せっきく接点ができ、例えば学習発表会を手伝ってほしい、地域で舞台をつくりたいといった要望が出てきたので、面として地域と何かをつくっていければ素敵だと思う。(団体No.11・児童劇)
- * 事業実施後のフォローも可能な範囲でやっていきたいとは考えているが、資金的なサポートがないと難しい。(団体No.5・オーケストラ)

3. 「次代を担う子どもの文化芸術体験事業（巡回公演事業）」への提案

(1) 事業全般について

① 本事業のアピール

本事業の最大の課題は上述した通り、低い認知度である。また、認知をされていたとしても、本事業の魅力が十分に伝わっておらず、申請にまで至っていないケースも少なくないものと推測される。

そこで、調査を通じて得られた課題やニーズに対応した下記のような方策を展開することが望ましいと考えられる。

(i) 事業の全体像および団体の事業内容の整理

本事業を実施した教員にヒアリング調査を行ったところ、ワークショップの位置付けや内容、書類関係の対応事項など、事業の全体像や基本事項が理解されていないと感じるケースが散見された。また、団体の事業内容のイメージが湧きづらく、適切な事前対応ができなかったといったコメントも聞かれた。

そこで、事業の全体像や基本事項、団体の事業内容（特に実施条件等）に関する既存の資料等を見直し、たとえば、本事業経験者の教員を交えた資料構成の見直しや視覚的にわかりやすいポイントを抜粋した資料を作成する等（「インフォグラフィック」の導入等）、初めて本事業に取り組む教員でもわかりやすい資料を作成することが必要である。

なお、本事業に関して教員や教育委員会等にヒアリング調査を行うと、ほぼ必ずといってよいほど、派遣事業の方も話題になる。そこで、上記のような資料の作成と並行して、事業の名称も含めて、派遣事業との関係についても整理することが望ましい。

(ii) トレーラー映像の作成

事業の全体像や基本事項、団体の事業内容の実施条件等は紙の資料でわかりやすく作成をすれば、効果的に伝わる可能性が高いが、団体の事業内容の具体的な実施イメージを伝えることは紙媒体では限界があり、映像で伝えることができればより効果的である。

一方、分野は異なるが、新作の映画やゲームを宣伝するにあたっては、「トレーラー映像」と呼ばれる5分程度の短い予告編映像を作成するケースが多い。こうした取り組みを参考として、本事業においても団体ごとの事業イメージを紹介する5分程度の短い映像作成ができれば、実施を検討する教員に取ってもイメージしやすいツールとなるはずである。

(iii) 教科との連携イメージの提示

学校での学習は、基本的には「教科」の枠組みの中で行われる。そこで、本事業におけるワークショップや本公演の内容に関しても、対応する教科ならびに該当する単元との連携イメージや期待される学習効果等の情報が資料の中に整理をされていれば、現場の教員に向けてとても効果的な資料になるものと期待される。

たとえば、演劇分野において、「国語」の授業に俳優が参加して、子どもたちと一緒に文章を声に出して読んでみたり、相手に対して自分の意見を正確に伝えたりといったワークショップを行なう展開も考えられる。

また、昨今の教育現場では、「ダンス」の必修化といった事例に象徴されるように、「表現活動」に力を入れているが、教員も対応を苦心しているところであり、これらの領域との連携イ

メッセージを打ち出すと、さらに効果的であると考えられる。

(iv) 教育委員会向けブロック単位の説明会の開催

上述の資料や映像等を準備したうえで、本事業への申請を促進・支援する立場にある教育委員会向けのブロック単位での説明会を開催することで、さらにPR効果が高まると期待できる。

説明会では上述したような視覚的にわかりやすい資料等を準備して、教育委員会の方の理解が進むように工夫することが必要である。さらに、団体の協力が得られれば、実際のワークショップや本公演の様子をプレ公演的に目の前で実施して頂くといった方策も考えられる。

- * WSに団体がいらっしゃるまではどのような内容か、どれくらい教員の事後の対応が必要になるのか等、全くわからなかったのが、教育委員会を通じて提供される公演紹介の資料にもう少し詳しく記載があると有り難い。後でお伺いすると、団体の共演内容は通常は高学年向けのものだったとのことだったので、事前に分かっていたら、高学年も参加をさせて、もう少し違ったこともできたかもしれない。(学校No.3・児童劇)
- * 本校のような小さな学校では国の事業と聞いてしまうと、きっと手続き等が大変だろうと最初から敬遠してしまう。実際に行ってみて、団体の対応も丁寧であるし、書類関係の負担もほとんどなかったのが、そのようなこともしっかりとアピールして頂けると地方の小規模校も積極的に申請するだろう。(学校No.3・児童劇)
- * ワークショップの具体的なイメージが事前には湧きづらい。団体と種目の一覧表に、ワークショップの規模(人数)や対象年齢などが列記されていると親切だと思う。(学校No.10・児童劇)
- * インターネットを使い、自分で団体の情報を集めた。事業内容について、目録にいろいろ書かれているが、デモテープなどを見たりして、具体的なイメージが伝わるようにしてほしい。(学校No.11・オーケストラ)
- * 選択の段階で構成などがわかれば嬉しい。例えば、今回も当日まで低学年の集中が続くか不安があったが、「1年生から6年生まで楽しく音楽に触れあうことができる」という一言があるだけでも、全学年聴くことができると事前にわかったのではないかと。(学校No.15・オーケストラ)
- * WSがあることで本公演の効果が非常に高まることに学校側は終わってから気がつくようなことが多い。学校側がWSといったものがどういったものなのかがよくわかっておらず、団体によってもその位置付けや内容に幅がある。(教委No.1)
- * 申請状況から見ても、教員の思いこみが強いと感じるので、他の演目についても教員にPRするような機会があると有り難い。教員が他の演目について触れることで判断は変わるだろう(単に知らないだけ)。子どもたちに他の演目についても是非、体験してもらいたい。(教委No.2)
- * 巡回公演事業については根本的な課題はないが、派遣事業については多めに課題があるように感じている。(教委No.2)
- * 演目の選定にあたっては、公演内容(子どもとの交流の場面など)を紹介する動画などがあればわかりやすい。(学校No.16・オーケストラ)
- * 団体の情報(具体のプログラム)を事前に把握できる資料を提供してもらえると有り難い。例えば、本事業のホームページにおいて、デモンストレーション的な5分程度の動画の紹介があるとよい。(特に子どもたちには馴染みのない伝統芸能に関しては動画があればイ

メージが得られやすい) (学校No.27・バレエ)

- * 教育委員会の方から、紙で演目の紹介をするだけでなく、5～10分程度のプロモーションビデオのようなものがあれば、先生方に説明しやすく、興味も湧きやすいという意見を頂いた。(団体No.1・合唱)
- * 団体の代表から、小中学校でのダンスの授業等の表現活動の単元で本事業にて行っているWSをうまく活用できないだろうかのご提案を頂いた。県内のすべての学校で導入するようなことは難しいが、実施校とコミュニケーションを取る中でお話しを頂くのは構わないと回答した。熱心な学校であればプロに指導してもらえるので、非常に喜ばれるのではないか。(教委No.3)
- * 本事業を通じて、現場の教員向けに本事業の狙い、教科との連携イメージ(たとえば、5年生の社会の■■■という単元とリンクする、など)、また、子どもたちにどのような気づきを得てほしいのか、などを、団体ごとに1枚のわかりやすいペーパーにまとめてほしい。このようなペーパーがあれば、教員にとっても個々の事業が「どんな内容なのか」がだいたい理解できるようになるため、分野または団体による競争率の偏りを是正することができると思う。また、団体にとっても自らの活動のアピールになるのではないか。(教委No.5)
- * 学校のニーズを汲み上げるということで、体育のなかの表現教育であるリズム体操だとか、指導要領のなかと直に結び付く形でWSを提供してはどうか。それをメリットだと思っていたら事務作業の煩雑さの印象も減るのではないか。(団体No.13・バレエ)
- * 「霧島スタイル」と名付けている本事業の周知方法を行っている。霧島市で実際に本公演を開催している学校に市内の校長先生に特別研修会として参加してもらった。市内小中学校45校のうち、42校の校長先生に参加してもらった。(団体No.3・ミュージカル)
- * 移動の関係で土日には現地に入っていることも多いので、例えば、地域のホールを借りて、地域の先生方を招待して、プレ公演みたいなことをしてもよいかもかもしれない。(団体No.1・合唱)
- * 実施団体は、県と市町村の教育委員会には年に何度か訪れるべき。WSや公演後の話を聞けたり、学校側が応募する際の相談に応じられたりする。(団体No.12・ミュージカル)
- * 以前は、教育委員会との接点もあった。現地を訪問した際に送迎等をしてくれていたので、自然と交流もあった。また、先生方を東京に集めて説明会を行っており、その場に団体が参加することもあった。最近では、教育委員会の方とお会いすることもなくなってきて、残念だと思っていたが、事前調査で教育委員会の方とも再び、接点を持てるようになった。(団体No.1・合唱)

② 分野分類について

現在、団体の公演種目は、4つの大分類、14の小分類に分けられている。

ただし、小分類の区分を重視した場合、全国の各ブロックに個々の小分類の団体が配置されていることが望ましいとなるが、現実的には対応が困難である。また、小分類の種目によっては、申請する教員が具体的にイメージできないため、申請を敬遠してしまうといったコメントもあげられている。

こうしたことから、教育委員会や学校など、対外的に公表する資料においては、本事業の団体の公演種目を「4つの大分類」のみとすることも一つの方策であると考えられる。

- * 小分類をやめ、「ミュージカル」などと細かく限定せず「演劇」として申し込むようにしてほしい。(団

③ 参加団体の拡充

前述の通り、団体によって演目の内容または学校との対応の面で格差があるという課題を指摘した。本事業においては団体の質が最大の資源であるため、当然のことながら質の高い団体が事業を担う必要がある。

ただし、本事業の実施を担う団体は、芸術性が一定水準以上であることを前提条件としつつも、単にそれだけではなく、舞台芸術公演を通じて子どもたちに参加・体験の機会を提供し、子どもたちの自尊感情を培う事業であるという点に対する深い理解が極めて重要である。

また、事業の規模と継続性、地域への波及効果等を勘案すると、各地域におけるアマチュア団体が本事業を担うことは適切ではないと考えられるため、上述したようなエデュケーション・プログラムを担うことのできる、コミュニケーション能力の高い芸術団体を質・量の両面で育成していくことが肝要である。

こうしたことから、子どもたちが文化芸術に参加し、他では得がたい体験をする事業の実施を担うことができるよう、文化芸術団体はよりいっそうの経験と実績を積む必要がある。そこで、本事業に参加するポテンシャルを有する団体を育成・拡充していくため、本事業とは別のパイロット・プログラムとして、比較的小規模の団体でも参加しやすい、子どもたちの参加・体験事業を立ち上げることも一つの方策であると考えられる。

④ 評価手法の確立およびPDCAの実施

今年度の検証事業においては、平成24年度における本事業の実施校すべての小・中学生を対象として、「(学校以外で)文化芸術を間近で体験した経験」に関する調査を実施状況報告書に組み込んで実施した。

今後は、「児童・生徒」、「教職員」、「保護者・地域住民」アンケートも必須対応事項として組み込むことも考えられる。

なお、得られた評価結果は、教育委員会や学校、実施団体にも還元して、それぞれの立場において、本事業のPDCAサイクルを構築することが望ましい。

* 文化庁が実施しているアンケートや報告書をフィードバックして欲しい。学校がハードルに感じていることなど課題を把握し解消することで、応募数の増加につなげていきたい。(団体No.8・ミュージカル)

* 学校の先生に終演後に感想を伺うと、「素晴らしかった」という感想を頂くが、もう一歩踏み込んだ意見を頂くことを団体としては現状できていない。“本当はどうだったのだろう”ということを団体側から学校にも聞きづらい。その後も同じ地域に引き続き関わるため、第三者的にフィードバックをして頂けると有り難い。(団体No.4・バレエ)

⑤ 経費分析の必要性

前述の通り、平成24年度において本事業は、約45億円の予算に基づいて、全国の1,992校の小・中学校等で本公演を実施した。ただし、この実績は、全国の小・中学校のわずか5.4%にすぎない。

一方、「文化芸術立国中期プラン(案)」においては、「鑑賞・体験機会：義務教育期間中毎年1回は、文化芸術の鑑賞・体験ができる環境を整える」との構想が掲げられている。仮に、

本事業（巡回公演）だけで上記の構想を実現しようとする、現在の倍以上の学校での実施が必要となる。

こうしたことから、本事業の予算については、よりいっそう拡充することが望ましいが、その一方で、本事業の経費をより有効に活用することができれば、さらに多くの学校が本事業を経験することができるため、経費の“健全な”削減は望ましい措置と考えられ、そのためには現状の経費に関する分析も必要になる。

なお、本事業はたとえ小規模校であっても、また、離島であっても、児童・生徒に身近な体育館で本格的な舞台装置と上演体制で本公演を実施することが醍醐味となっている。それらに掛かる費用は演目や訪問地域によっては莫大な金額になるが、経費が掛かるからといって、地域によって演目制限をしたり、内容を著しく変更させたり、文化ホールで合同開催するなどによって、経費を抑えた場合、そもそも本事業の趣旨に反することになる。

そこで健全な経費削減のため、たとえば、出演料や宿泊料などに関しては、各文化分野の協議会組織等と話し合いのうえ適正な標準単価を定めたり、移動交通費に関しては公共交通機関だけではなく、経済合理性がある場合には、レンタカーでの移動や団体所有の車での移動についても経費（みなし経費を含む）を認めるなどのより柔軟な対応が今後は必要だと考えられる。

- * 旅費交通費など下げられるものはもう少し下げる努力をするが、舞台に使うお金、スタッフに払うお金を崩すことはできない。（団体No.12・ミュージカル）
- * 各団体から個別に相談されては文化庁も大変なので、一度協議会全体で話して経費の考え方を統一すべきである。（団体No.12・ミュージカル）

⑥ 追加公演のあり方

本事業に学校が申請を行う場合、10に分けられたブロックに団体が割り振られているため、必然的に選択できる種目や団体が限られてしまうといった状態にある。

教員にヒアリングを行うと、「他のブロックに配置されている団体に申請をしたい」といった声もよく聞かれる。これらのニーズに応えるためには、原理的にはブロック割を外せばよいということになるが、団体の学校間の移動にかかる時間や経費のバランスに配慮した実施校決定までのオペレーションを考えると、ブロック割を外すことは現実的には困難である。

そこで、追加公演に関してのみ、特別な運用をするという方策が考えられる。これまでは、当初公演と追加公演に関しては、内容面では特に違いがなかったが、追加公演を各種トライアルの場として位置付け、たとえば、ブロック割を外した申請を可能とするといった試行をすることも一つの方策であろう。そして、効果が高いと判断された取り組みについては当初公演にも反映するといった展開も考えられる。

- * ブロック別にジャンルが分けられているため、本当に希望する団体を申請することができないという問題はあるのではないか。（学校No.19・ミュージカル）

⑦ 地域格差への対応

「不利地域」の児童・生徒は、公演終了後から現在までの生活態度の変化については、「人に会ったときにすすんであいさつをするようになった」「将来の夢や目標に向かって今まで以上に努力するようになった」「自分の考えや意見をクラスの友だちなどにすすんで話すようになった」「発表したり、人に話したりするときに、うまく伝わるように工夫するようになった」

といった項目に関して、変化したという回答が他の地域と比較して最も多かった。

この調査結果のように、不利地域においては、総論として本格的な文化芸術を鑑賞する機会に乏しいものの、公演の実施後の各種効果は高くなるという傾向がみられた。

こうしたことから、文化芸術体験のインパクトを継続的に把握・検証することを目的に、同一校において複数年連続で開催する「モデル校」を各ブロックに別枠で数校程度、設定することも考えられる。

なお、モデル校の考え方としては、文化芸術に触れる機会に乏しい一方で、触れた場合に高い効果が得られることが期待される学校が想定される。具体的な対象としては、離島や山村などの地理的な条件の不利な地域、被災地域の学校や特別支援学校、等の学校が考えられる。

- * 本格的な文化芸術をライブで鑑賞する機会に乏しい僻地の子どもたちにとっては、質の高い文化芸術に触れる機会が乏しい状況下にある。本事業を通じて、これまでにない良質な経験をしたので、これから子どもたちにどのような効果や影響があるのか非常に楽しみである。(学校No.31・ミュージカル)
- * これまで述べたように僻地での実施は特に効果が大きいと思われる。ただし、効果を明確に実感するには継続的な実施が必要であるし、そのためには3年程度は必要になるだろう。是非、僻地での継続実施のモデル事業を行い、それらの効果を測定して頂きたい。(学校No.31・ミュージカル)
- * 特別支援学校からの希望が多い地域もあったので、視覚障害の子どもたちに対して、なるべく健常な子どもたちと同じ内容が伝えられるように工夫した。(団体No.2・演芸)

⑧ 保護者・地域住民への対応強化

本事業は、保護者・地域住民の方にも広く開かれたものであり、実際に鑑賞された方々にアンケート調査を行ったところ、9割強が本事業により、学校教育に対する理解が深まったと回答しており、8割近くが学校と地域のつながりが強くなったと感じている。また、6割以上の保護者が公演という共通の話題によって、コミュニケーションが活発になることが期待できるとしている。

このように、本事業を取り巻くステークホルダーとして重要な保護者・地域住民の方々から学校や本事業に対する肯定的な評価がなされている一方で、本公演はほとんどが平日に開催されるので、共働きの家庭で鑑賞できる方は限られてしまうこととなる。

そこで、土日の学校行事(文化祭など)の中で本事業を実施する学校を優先的に採用することを通じて、保護者や地域住民の参加を促すという方策も考えられる。なお、土日開催となると、公演する団体側の都合も関係してくる。もっとも、団体側は土日祝日をはさんで特定の地域ブロックをツアーしているケースが多く、むしろ土日をフリーにするのではなく、土日での公演実施を希望する団体のコメントもあげられているため、実現は可能であると考えられる。

- * 日程の関係で前の金曜日が参観日となり、連続の日程になったので、保護者の方が本公演に参加するのが難しい日程となったため、あまり積極的に広報をしなかったが、本公演の鑑賞を終えてみて、もっと広報をしてみればよかったと感じている。(学校No.6・ミュージカル)
- * 文化祭や日曜参観日と同じ日に実施することができれば、保護者や地域住民の方にも来ていただきやすい。本事業を日曜日に実施することは可能なのか。(学校No.22・演劇)
- * 本公演を土曜日または日曜日に開催できないか。保護者が子どもたちと一緒に本物の芸術

を見ることで、保護者の意識の改革にもつながると思う。共働きの家庭が多いので、平日の開催では保護者はなかなか参加することができない。(教委No.3)

- * 採択数を増やしてほしいというのが教育委員会側の一番の要望なので、土日祝にもできるようにしてほしい。団体の宿泊費用は土日祝にもかかっているし、学校・教育委員会・団体ともに問題がないと思われるので実現は可能だと思う。(団体No.12・ミュージカル)

⑨ 本事業の効果をより高めるその他の方策の検討

本事業の効果を高めるために、たとえば、文化芸術団体と学校現場の両方の状況をよく理解しているコーディネーター組織を仲介させるという方策も考えられる。このコーディネーター組織としては、教育現場に文化芸術体験を導入する支援を行っている地域の劇場・音楽堂によるアウトリーチ活動やアートNPO等が該当すると考えられる。

また、学校毎の「体験計画」の策定も本事業の効果をより高めるものと考えられる。既存の授業との連動や事業実施後のフォロー等をあらかじめ学校側が想定しておくことで、効果がさらに高まることが期待される。そして、事業実施後のフォローに関しては、同事業の中の派遣事業を活用することもできる。なお、本事業を中核に据えた、体験計画を策定し、その後の評価も行うといった学校に対して、優先的に採用する枠を設けるといったことも考えられる。また、こうした「体験計画」の策定や評価に関して、上述したコーディネーター組織が関与することも考えられる。

- * 学校と団体を仲介するコーディネーター的な NPO を育成する、別途の事業が必要ではないか。(教委No.5)

(2) B区分制度のあり方

① 団体の選定要件および選定方法

現状のB区分団体に対して、今後の選定要件に関する意見を求めたところ、「子どもたちに向き合う情熱」という回答が多くあげられた。

なお、現在のA区分団体を含む、本事業を担う団体の選定は、各分野の有識者からなる専門委員会によって、各分野における専門性や芸術性が評価されて選定されることになっている。つまり、「A区分」「B区分」という区別なく、相応の専門性および芸術性が認められた団体を選ばれているのである。

一方で、B区分団体に求められる条件とは、上述の通り「子どもたちに向き合う情熱」と、その前提条件となる「子どもたちに対応する能力」であろう。こうしたことから、B区分団体の選定に関しては、現状の選定プロセスに加えて、さらにB区分団体を抽出・選定するプロセスが必要であると考えられる。

具体的には、次のような二段階の選定方法が望ましいと考えられる。第一は、各分野における専門性や芸術性を評価基準として、各分野の専門家によって選定される段階であり、現在の選定方法と同じである。第二としては、「第一段階」で選定された団体の中から、政策的な見地から「B区分団体」として適切な団体を選定する段階である。

この「第二段階」の選定にあたっては、B区分を希望する団体を対象として、「実施計画書」の提出を求めたうえ、プレゼンテーション審査を行う等の対応が必要と考えられる。また、選定の委員に関しては、本事業が補助事業ではなく、文化庁による委託事業であるという性質に鑑み、文化庁の担当者も参画することが望ましい。また、庁外の有識者としては、芸術学や美

学の専門家ではなく、文化政策の専門家や、学校教育やコミュニケーション関連の専門家を含めることが必要だと考えられる。

- * 本事業に対する情熱と努力する姿勢が大事である。離島や僻地等の厳しい条件においても、子どもたちや地域の方々へ作品を届けるという強い使命感と愛情があるとよい。(団体No.3・ミュージカル)
- * どれだけ子どもたちに熱意を注げるかが、重要な選定条件のひとつになるべきと考えている。本事業に対するモチベーションが何より重要。(団体No.5・オーケストラ)
- * 数の問題ではなく、団体の質と事業に対する意識の高さで勝負すべきだと考える。(団体No.7・演芸)
- * B区分は本事業の「仕事」(事前打ち合わせ・報告・記録など)がしっかりできる団体を選ぶべきである。(団体No.12・ミュージカル)
- * 分布状況にも配慮が必要だと感じている。B区分団体のジャンルは偏りがないように選定してもらいたい。(団体No.7・演芸)
- * やる気のある熱心な団体がA区分で実績を積み、どんどんB区分に採用してほしい。(団体No.12・ミュージカル)
- * やる気のある団体に対し、こういうことをやればB区分になれるといった情報窓口を設けるべき。(団体No.12・ミュージカル)

② 選定期間の設定

現状のB区分団体に選定期間に関する意見を求めたところ、地域との人間関係を構築するには、最低3年間は必要との回答があった。一方で、それ以上長くなると、他の地域からの依頼に対して応えることができなくなる、長い期間事業が保障されることで、かえって甘えが出てしまうといった懸念があげられていた。こうしたことを勘案し、B区分団体の選定期間は、概ね3~4年が妥当だと考えられる。

なお、B区分団体の選定に関しては、一斉のタイミングで認定をすると、次の選定のタイミングでB区分団体の配置されるブロックは、(同じブロックを継続する団体もあるとは想定されるものが)基本的には一斉に入れ替わってしまうこととなる。そこで、本事業を全国レベルで円滑に実施していくため、B区分団体を毎年追加で認定していくことも一つの方策であると考えられる。

- * 最低でも5年くらいあれば、地域内に人間関係が築けるのではないかと感じている。一方で、その期間、特定の地域に固定されてしまうため、悩ましい(合唱の盛んな東北地域からいつ来てくれるのか、と言われることもある)。(団体No.1・合唱)
- * 4年がよいのではないかと。教育委員会の担当者も2年で異動することが多い。3年だと担当が変わったばかりで状況がわからないことも多い。(団体No.2・演芸)
- * 3年以上5年未満というイメージである。「霧島スタイル」(本公演を開催している学校で市内の校長が参加する特別研修会の開催)は、これまでの人間関係の土壌があっただけのことなので、全く知らない土地での実施となると、3年では難しいだろう。(団体No.3・ミュージカル)
- * 現実的には3~5年くらいが適当な期間だろう。長過ぎると甘えが生じて質の低下につながるリスクがあり、逆に単年度になってしまうと萎縮感が出てしまう。PDCAを確実に

まわしながら取り組んでいけるのは3～5年だと考える。(団体No.5・オーケストラ)

- * 最低3年は必要。次の3年は違うブロックを回ると考えるなら、3年は長すぎず短すぎず
適当。区切りがあるからこそ有効に、その地域のことを一生懸命考える時間になる。(団
体No.10・音楽劇)

③ 地域ブロック割り

現在のB区分団体に地域ブロック割りに関する意見を求めたところ、現状の10ブロックでは細かすぎるのではないかとの回答が多くあげられた。ブロックを大括りにすると、一つのブロックに配置される団体の数および種目が増えることになるため、学校側としては種目や団体の選択可能性を拡充することができ、学校側にとってもメリットとなる。

実際の地域ブロック割りにあたっては、団体の移動にかかる距離、時間、経費などが過大な負担とならないようにバランスに配慮のうえ、現実的に対応が可能なブロック割りを検討する必要がある。

また、学校側の選択可能性を増やすという観点から、B区分団体に関しては、B区分としての担当ブロック以外に、別のブロックでの公演企画も担当できるという制度も考えられる。このような方策を実現すれば、前述した、特定のブロックから配置が変更となる際において、あらかじめ別の地域ブロックでの公演実績を積んでおくことにより、スムーズな配置転換が可能になると期待できる。

- * 北海道は道内の移動も大変なので1つのブロックでよい。東北は6県かたまって1つのブロックの方がよい。東京は人口から考えて、東京だけでよいのではないか。(団体No.2・演芸)
- * 九州で1つのブロックがよいという感覚がある。(団体No.3・ミュージカル)
- * 10ブロックは細かすぎる。北海道・東北、関東・甲信越、中部・北陸、関西、中・四国、九州・沖縄の6ブロックが適当。(団体No.12・ミュージカル)
- * B区分団体には二つのブロックをまかせる、ということもできるのではないか。(団体No.13・バレエ)

④ その他

本事業の効果をより高めるため、また、B区分団体に対するインセンティブとして、B区分団体が事業を実施した学校の中で希望があれば、ワークショップをもう1回追加(計2回)とすることも、一つのアイデアであると考えられる。

参考資料

1. 児童・生徒へのアンケート調査票(小学校・児童用、中学校・生徒用)
2. 教職員へのアンケート調査票
3. 保護者・地域住民へのアンケート調査票
4. 教育委員会等へのアンケート調査票

せんせい はなし き 先生のお話を聞いてワークショップや公演の日、終わった後のことをよく思い出して、
つぎ しつもん あ ばんごう まる あ 次質問の当てはまる番号に○か当てはまることを書いて下さい。

せんせい はなし き みな まえ かんしょう こうえん しゆるい か 先生のお話を聞いて、皆さんが前に鑑賞した公演の種類を書いて下さい。

問1. ワークショップのどんなことを今でもよく覚えていますか。

(○は当てはまるものすべて)

1. アーティストに目の前で教えてもらったので感動した
2. 分かりやすく説明をしてもらえたのでとても興味を持つことができた
3. 本公演で共演する内容を聞いて当日がとても楽しみになった
4. その他 ()
5. 特にない
6. ワークショップには参加していない

問2. 公演などのどんなことを今でもよく覚えていますか。(○は当てはまるものすべて)

1. アーティストが一生懸命演じている姿を目の前で鑑賞したこと
2. 分かりやすく説明をしてもらえたこと
3. 美術、照明、音響などのスタッフの方が公演を支えているとわかったこと
4. 団体の方にいろいろと質問したり、お話ししたりできたこと
5. 学校の体育館が舞台装置によってその日だけ特別な空間になったこと
6. 体育館につくられた舞台の裏側を見たり、機械をさわったりできたこと
7. アーティストの方たちと給食を一緒に食べたこと
8. アーティストの方たちと舞台上で一緒に共演できたこと
9. 舞台づくりや後片付けを一緒に手伝ったこと
10. 日本文化が素晴らしいものだということ
11. その他 ()
12. 特にない

問3. 公演こうえんが終おわった後あと、あなたはどのようなことをしましたか。

(○は当てはまるものすべて)

1. 公演こうえんのことについて友だちともや先生せんせいと話はなしをした
2. 家いえに帰かえってから家族かぞくと公演こうえんのことについて話はなしをした
3. 図書室としょしつやインターネットなどで文化芸術ぶんかげいじゆつ (今回こんかいの種類しゆるい) について調しらべた
4. その他た ()
5. 特とくにない

問4. 公演こうえんが終おわった後あとから、あなたの生活せいかつの中なかで変わかったことはありましたか。

(○は当てはまるものすべて)

1. テレビ等などで文化芸術ぶんかげいじゆつのことを見つけると興味きようみを持って見みるようになった
2. 文化芸術ぶんかげいじゆつの行事ぎやうじ (合唱がっしょうコンクール等など) に今いままでよりもやる気きが出るでようになった
3. 音楽おんがくや国語等こくごなどの勉強べんきやうに今いままでよりもやる気きが出るでようになった
4. 家族等かぞくなどとお休やすみの日ひに文化芸術ぶんかげいじゆつを鑑賞かんしょうすることが増ふえた
5. 文化芸術ぶんかげいじゆつの習ならい事ことに通かよい始はじめるようになった
6. その他た ()
7. 特とくにない

問5. 公演が終わった後から、あなたの普段の気持ちや行動で変わったことはありましたか。

(○は当てはまるものすべて)

1. 人に会ったときにすすんであいさつするようになった
2. 自分の考えや意見をクラスの友だちなどにすすんで話すようになった
3. 発表したり、人に話したりするときに、うまく伝わるように工夫するようになった
4. 難しいことに対しても、失敗を恐れずに挑戦するようになった
5. 将来の夢や目標に向かって今まで以上に努力するようになった
6. 学校が今まで以上に好きになった
7. その他 ()
8. 特にない

あなたの文化芸術の体験について、次の質問の当てはまる番号に○もしくは当てはまることを書いて下さい。

問6. あなたは今回の公演を鑑賞するまで、文化芸術(◆)を目の前で鑑賞したことはありましたか。(○は1つ)

1. 文化芸術を目の前で鑑賞したのは今回が初めてだった
2. 他の種類を鑑賞したことはあったが今回の種類の鑑賞は初めてだった
3. 今回の種類も他の種類も鑑賞したことがあった
4. よく覚えていない

◆対象とする文化芸術の種類は次の通り。CDやDVDによる鑑賞は入れない。

- ・「音楽」(合唱、オーケストラ、音楽劇) ※ポピュラー音楽のコンサートは入れない
- ・「演劇」(演劇、児童劇、ミュージカル)
- ・「伝統芸能」(歌舞伎、演芸、能楽、邦楽、邦舞、人形浄瑠璃)
- ・「舞踊」(バレエ、現代舞踊)

問7. あなたは、文化芸術の塾や習い事などに通っていますか。(○は1つ)

1. 通っている(習い事の内容:)
2. 通っていない

問8. これからも積極的に文化芸術を鑑賞したいですか。(○は1つ)

1. とてもそう思う
2. そう思う
3. そう思わない
4. まったくそう思わない

問9. 鑑賞だけでなく、自分で文化芸術活動をしてみたいですか(※すでに活動している人は続けたいですか)。(○は1つ)

1. とてもそう思う
2. そう思う
3. そう思わない
4. まったくそう思わない

質問はこれで終わりです。ご協力ありがとうございました。

先生のお話を聞いてワークショップや公演当日及び終了後のことを思い出して、以下の質問について、該当する番号に○もしくは該当する内容を記入して下さい。

先生のお話を聞いて、皆さんが以前に鑑賞した公演の種目を書いて下さい。

--

問1. ワークショップのどんな点が今でも特に印象に残っていますか。

（○は当てはまるものすべて）

1. アーティストに間近で指導をしてもらえたので感動した
2. 分かりやすく解説をしてもらえたのでとても興味を持つことができた
3. 本公演での共演内容を聞いて当日がとても楽しみになった
4. その他（)
5. 特にない
6. ワークショップには参加していない

問2. 公演などのどんな点が今でも特に印象に残っていますか。（○は当てはまるものすべて）

1. アーティストの熱演を間近で鑑賞したこと
2. 分かりやすく解説をしてもらえたこと
3. 美術、照明、音響などのスタッフの方が公演を支えているとわかったこと
4. 団体の方にいろいろと質問したり、お話ししたりできたこと
5. 学校の体育館が舞台装置によってその日だけ特別な空間になったこと
6. 体育館につくられた舞台の裏側を見たり、機械をさわったりできたこと
7. アーティストの方たちと給食を一緒に食べたこと
8. アーティストの方たちと舞台上で一緒に共演できたこと
9. 舞台づくりや後片付けを一緒に手伝ったこと
10. 日本文化が素晴らしいものだということ
11. その他（)
12. 特にない

問3. 公演終了後、あなたはどのような行動をとりましたか。(○は当てはまるものすべて)

1. 公演のことについて友だちや先生と話をした
2. 帰宅後に家族と公演のことについて話をした
3. 図書室やインターネットなどで文化芸術(今回の種目)について調べた
4. その他()
5. 特にない

問4. 公演終了後から、あなたの生活に変化はありましたか。

(○は当てはまるものすべて)

1. テレビ等で文化芸術が取り上げられていると興味を持って目を向けるようになった
2. 文化芸術関係の行事(合唱コンクール等)や部活動に今までよりもやる気を出して取り組むようになった
3. 音楽や国語などの関係する教科の勉強に今までよりもやる気を出して取り組むようになった
4. 家族などと休日に文化芸術を鑑賞する機会が増えた
5. 文化芸術関係の習い事に通い始めるようになった
6. 文化部活動に参加するようになった
7. その他()
8. 特にない

問5. 公演終了後から、あなたの普段の意識に変化はありましたか。

(○は当てはまるものすべて)

1. 人に会ったときにすすんであいさつするようになった
2. 自分の考えや意見をクラスの友だちなどにすすんで話すようになった
3. 発表したり、人に話したりするときに、うまく伝わるように工夫するようになった
4. 難しいことに対しても、失敗を恐れずに挑戦するようになった
5. 将来の夢や目標に向かって今まで以上に努力するようになった
6. 学校が今まで以上に好きになった
7. その他 ()
8. 特にない

あなたの文化芸術の体験状況等の以下の質問について、該当する番号に○もしくは該当する内容を記入して下さい。

問6. あなたは公演当日まで、文化芸術(◆)を間近で鑑賞したことはありましたか。

(○は1つ)

1. 文化芸術を間近で鑑賞したのは今回が初めてだった
2. 他の種目を鑑賞したことはあったが今回の種目の鑑賞は初めてだった
3. 今回の種目も他の種目も鑑賞したことがあった
4. よく覚えていない

◆対象とする文化芸術の種目は以下の通り。CDやDVDによる鑑賞は除く。

- ・「音楽」(合唱、オーケストラ、音楽劇) ※ポピュラー音楽のコンサートは除く
- ・「演劇」(演劇、児童劇、ミュージカル)
- ・「伝統芸能」(歌舞伎、演芸、能楽、邦楽、邦舞、人形浄瑠璃)
- ・「舞踊」(バレエ、現代舞踊)

問7. あなたは、文化芸術に関する塾や習い事などに通っていますか。(○は1つ)

1. 通っている(習い事の内容:)
2. 通っていない

問8. あなたは、学校で部活動をしていますか。(○は1つ)

1. 文化芸術関連の文化部に入っている(例. 吹奏楽部、演劇部、美術部 等)
(部の名前:)
2. 文化芸術以外の文化部に入っている(例. パソコン部、将棋部 等)
3. 運動部に入っている
4. 部活動をしていない

問9. これからも積極的に文化芸術を鑑賞したいですか。(○は1つ)

1. とてもそう思う
2. そう思う
3. そう思わない
4. まったくそう思わない

問10. 鑑賞だけでなく、自分で文化芸術活動をしてみたいですか(※すでに活動している方は継続したいですか)。(○は1つ)

1. とてもそう思う
2. そう思う
3. そう思わない
4. まったくそう思わない

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

(教員の皆様へ)

「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」アンケート

先般は文化庁が実施している「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」にご参加いただき、どうもありがとうございました。

次代の担い手となる子どもたちの発想力やコミュニケーション能力の育成を図り、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的とする本事業をより充実したものとしていくため、本事業にご参加された経験を踏まえて以下のアンケートにご協力をお願いいたします。

問1. あなた自身が公演に参加されて、特に印象に残っている点をお聞かせください。

(○は当てはまるものすべて)

1. 子どもたちが熱心に鑑賞していたこと
2. 子どもたちがアーティストと共演できたこと
3. 子どもたちがアーティストと交流できたこと
4. 学校の体育館が舞台装置によって本日だけ特別な空間に変化していたこと
5. 分かりやすく解説をしてもらえたこと
6. アーティストの熱演を間近で鑑賞できたこと
7. 美術、照明、音響などのスタッフの方が舞台を支えていたこと
8. 保護者や地域の方々が子どもたちや舞台を熱心に見守っていたこと
9. 日本文化の素晴らしさ
10. 特にない
11. その他 ()

問2. ワークショップまたは本公演後、児童・生徒に生じた変化・効果についてお答えください。

(○は当てはまるものすべて)

1. 文化芸術をより身近に感じるようになり、文化芸術に対する興味関心が高まった
2. 音楽や国語などの関係する教科の学習意欲が高まった
3. 文化芸術関係の行事や部活動等へ取り組む意欲が高まった
4. 日常生活の態度や姿勢に好影響が現れている
5. クラスのまとまりやチームワークが醸成・強化された
6. 文化芸術関係の進路を考える児童・生徒が出てきた
7. その他 ()
8. 特にない

※具体的なエピソードなどがございましたら、お書きください。

問3. ワークショップまたは本公演後、ご自身に生じた変化・効果についてお答えください。

(○は当てはまるものすべて)

1. 本事業を通じて学んだことを、表現方法や指導方法などに活かしている
2. 児童・生徒の新たな一面を発見し、接し方や見る目・評価の視点が変わった
3. 教員同士のコミュニケーションや連携が活性化した
4. 近隣校との交流や情報交換が増加した
5. 保護者や地域の方々とのコミュニケーションが活性化した
6. 他の文化芸術事業の活用を検討するようになった
7. その他 ()
8. 特にない

※具体的なエピソードなどがございましたら、お書きください。

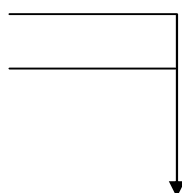
問4. 教員の立場から、本事業の魅力的だと感じた点をお聞かせください。

(○は当てはまるものすべて)

1. 非常にレベルの高い文化芸術団体の公演を鑑賞できる
2. 文化芸術団体が直接学校まで来てくれる
3. ワークショップがあるため、児童・生徒の理解や興味関心が高まる
4. 児童・生徒が文化芸術団体と共演できる
5. 学校の体育館が舞台装置や演出によって特別な空間になる
6. 舞台裏見学や質問コーナーなどの文化芸術団体との交流がある
7. 日本の伝統文化を体験できる種目が含まれている
8. 近隣校と合同開催ができる
9. 保護者や地域住民も参加できる
10. 学校側の費用負担がほとんどない
11. その他 ()
12. 特にない

問5. 本事業を受けて、何らかの形で継続的・発展的な取り組みは行われていますか。

- 1. すでに行っている
- 2. 今後行う予定である
- 3. 検討中である
- 4. 行う予定はない



※問5で「1.」「2.」と回答された方は、具体的な取り組み内容を教えてください。

(例. 文化祭や学習発表会等で本事業の経験を活かした発表を行った 等)

問6. 本事業で課題だと感じる点、より良くしていくためのご提案などをお聞かせください。

以下の設問からはあなた自身のことについてお聞かせください。

問7. あなたの所属する学校、役職、専門教科についてお答え下さい。(○はそれぞれ1つ)

区分	種別	役職	専門教科
1. 国立	1. 小学校	1. 教諭	1. 国語
2. 公立	2. 中学校	2. 主幹教諭・指導教諭など	2. 社会
3. 私立	3. 特別支援学校	3. 副校長・教頭	3. 算数・数学
	4. その他	4. 校長	4. 理科
	()	5. その他	5. 生活
		()	6. 音楽
			7. 図画工作・美術
			8. 技術・家庭
			9. 体育・保健体育
			10. 外国語
			11. その他
			()

問 8. 次代を担う子どもの文化芸術体験事業について、あなたの経験・認識（前任校含む）をお答え下さい。
（○は1つ）

1. 以前に実施した経験がある
2. 申請をしたことはあったが採択されなかった
3. 申請を検討したことはあったが、申請には至らなかった
4. 事業のことを知ってはいたが申請には至らなかった
5. 事業のことをまったく知らなかった

問 9. あなたは本事業を経験するまで、学校の授業や行事などで、子どもたちが文化芸術鑑賞や体験をするこ
とにどれくらい関心がありましたか。（○は1つ）

1. とても関心があった
2. 関心があった
3. あまり関心はなかった
4. ほとんど関心はなかった

問 10. あなたは今後、学校の授業や行事などで、積極的に子どもたちが文化芸術鑑賞や体験を行う機会を設
けたいと思いますか。（○は1つ）

1. とてもそう思う
2. そう思う
3. そう思わない
4. まったくそう思わない

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

(保護者・地域にお住まいの方へ)

「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」アンケート

本日は本公演にご参加いただき、どうもありがとうございました。

この事業は、小学校・中学校等において一流の文化芸術団体による舞台芸術公演を行い、または、小学校・中学校等に芸術家を派遣することにより、次代の担い手となる子どもたちの発想力やコミュニケーション能力の育成を図り、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的として、文化庁が実施している「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」の一つとして実施されたものです。

今後、本事業をより充実したものとしていくため、以下のアンケートにご協力をお願いいたします。

問1. あなたと学校のご関係をお答えください。(○は1つ)

1. 児童・生徒の保護者(祖父母や親戚の方も含みます)
2. (保護者ではなく)学校近隣の住民
3. その他()

問2. 本日の公演に参加されて、特に印象に残っている点をお聞かせください。(○は当てはまるものすべて)

1. 子どもたちが熱心に鑑賞している姿
2. 子どもたちがアーティストと共演したり交流したりしていること
3. 学校の体育館が舞台装置によって本日だけ特別な空間に変化していたこと
4. 分かりやすく解説をしてもらえたこと
5. アーティストの熱演を間近で鑑賞できたこと
6. 美術、照明、音響などのスタッフの方の力
7. 日本文化の素晴らしさ
8. その他()
9. 特にない

問3. 公演内容に対して、ご意見・ご感想等がございましたらお聞かせください。

問4. 公演に参加されて、学校教育に対する理解が進みましたか。(○は1つ)

1. とてもそう思う
2. そう思う
3. そう思わない
4. まったくそう思わない

問5. 本事業によって、学校と地域のつながりが深まったと感じますか。(○は1つ)

1. とてもそう思う
2. そう思う
3. そう思わない
4. まったくそう思わない

問6. 児童・生徒の保護者にお聞きします ※保護者以外の方は問7へお進み下さい

1) お子様は本日の公演前に別日程で行われたワークショップにも参加していましたか。(○は1つ)

1. 参加していた →2)へお進み下さい
2. 参加していない →3)へお進み下さい
3. わからない →3)へお進み下さい

2) 本公演前に行われたワークショップ参加後の、ご家庭でのお子さまの反応・変化についてお聞かせください。(○は当てはまるものすべて)

1. ワークショップで経験したことについて、積極的に会話をしてきた
2. 経験した文化芸術について、自ら調べたり、質問をしてきた
3. 文化芸術の鑑賞に関心を示すようになった
4. 文化芸術関係の習い事に通い始めるようになった、または関心を示すようになった
5. 生活態度や学習意欲に変化が現れた
(具体的に: _____)
6. その他 (_____)
7. 特にない

3) 本日の公演を経験して、ご家庭内で今後どのような効果が期待されますか。(○は当てはまるものすべて)

1. 共通の話題ができて、家族でのコミュニケーションがより活発になる
2. 家族で文化芸術を鑑賞する機会が増える
3. 家族で文化芸術活動に取り組む機会が増える
4. その他 (_____)
5. 特にない

問7. 本事業の実施方法について、ご意見・ご要望等がございましたらお聞かせください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

次代を担う子どもの文化芸術体験事業(巡回公演事業)検証事業

アンケート調査票

◆アンケート調査の趣旨 —B区分制度の効果検証—

次代を担う子どもの文化芸術体験事業(巡回公演事業)では、各学校は所在地に応じて、A～Jの10のブロックに振り分けられており(<http://www.kodomo-gei-jutsu.com/junkai/kouen.html>)、各ブロックに割り当てられた8～9の文化芸術団体(以下、団体)の中から希望する団体を選択し、教育委員会等を通じて、文化庁に申請する手順になっております。

ブロックに割り当てられる団体は毎年見直しをしておりますが、本事業のさらなる質の向上を図るため、平成23年度事業からは、3年間継続して同じブロックで公演を行う団体を「B区分団体」として選定し、各ブロックに1～2のB区分団体を割り当てております(詳細は下記参照)。

これは、継続して同じブロックで公演することで、教育委員会や学校等とのネットワークを構築し、本事業の認知度の向上や地域性に応じた対応、過年度実施校へのフォローアップ等による事業効果の広がりを期待して導入した制度です。

平成24年度事業の終了に伴い、B区分制度を導入して2年間が経過をいたしましたので、本制度の効果検証を行うと共に、来年度の平成26年度以降のB区分制度のあり方についての検討を行うことを目的に、B区分制度の効果等を俯瞰的に把握できる「都道府県及び政令指定都市の教育委員会(担当部局)」の皆様にも本アンケート調査を実施させて頂くことになりました。

今後、本事業をより充実したものとしていくため、以下のアンケートにご協力のほどよろしくお願い致します。

全国の小学校・中学校等の割り当てブロックとB区分団体一覧

	所在地 (都道府県及び政令指定都市)	B区分団体名
A	北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、札幌市、仙台市	・公益社団法人落語芸術協会
B	山形県、福島県、栃木県、群馬県、埼玉県、さいたま市	・劇団えるむ
C	茨城県、千葉県、東京都、山梨県、千葉市	・オペラシアターこんにゃく座
D	神奈川県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、横浜市、川崎市、相模原市、静岡市、浜松市、名古屋市	・劇団ひまわり
E	新潟県、富山県、石川県、福井県、京都府、新潟市、京都市	・関西フィルハーモニー管弦楽団
F	三重県、滋賀県、大阪府、奈良県、和歌山県、大阪市、堺市	・神奈川フィルハーモニー管弦楽団
G	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、広島市、岡山市	・有限会社アーツ・カンパニー ・東京演劇集団風
H	兵庫県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、神戸市	・スターダンサーズ・バレエ団
I	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、北九州市、福岡市、熊本市	・東京混声合唱団 ・東京シティ・バレエ団
J	大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県	・有限会社劇団ドリームカンパニー ・公益財団法人片山家能楽・京舞保存財団

◆実施校からの報告や本事業の視察、B区分団体との意見交換等の経験を踏まえて、以下のアンケートへのご回答をお願い致します。

【B区分制度の認知度】

- 問1. 「B区分制度」のことについてはどれくらいご存じでしたか。(○は1つ)
1. (アンケート調査の趣旨に記載があった内容は) 概ね把握していた
 2. (アンケート調査の趣旨に記載があった内容は) ある程度は把握していた
 3. B区分制度があることは知っていたが、具体的な内容はあまり把握していなかった
 4. B区分制度のことを知らなかった

【B区分団体の訪問実績】

- 問2. 本事業の実施前後に、貴自治体ブロックに割り当てられているB区分団体(※2団体のブロックもございます)から教育委員会(担当部局)への訪問はございましたか。(○は1つ)
1. 2つのB区分団体から訪問があった
 2. 1つのB区分団体から訪問があった
 3. B区分団体の訪問はなかった
 4. その他(例. 打診はあったが調整がつかなかった等)

【制度導入後の申請件数の変化】

- 問3. B区分団体制度が導入された平成23年度以降、貴自治体の申請件数に変化はありましたか。(○は1つ)
1. 増加傾向にある
 2. 減少傾向にある
 3. ほぼ変わらない

- 問3-1. 問3で1、2を選択された方 申請件数の変化の主な要因があれば、以下にその概要をご記入下さい。(自由記述)

--

【本公演の視察経験】

- 問4. 平成24年度に貴自治体で開催された本事業の本公演を視察されましたか(※ご回答者の経験でお答え下さい)。(○は1つ)
1. 平成24年度に視察した
 2. 平成24年度は視察していないが、過去に視察した経験がある
 3. 視察したことはない

【B区分団体の評価・印象】

問5. 貴自治体ブロックに割り当てられているB区分団体以外の団体と比較した場合のB区分団体の評価や印象をお答え下さい。(○はそれぞれ1つ)

◆B区分団体の方が、	そう思う	思う ややそう	あまりそう は思わない	そうは思わ ない	わからない
①ワークショップの内容が優れている	1	2	3	4	5
②本公演の内容が優れている	1	2	3	4	5
③交流プログラムの内容が優れている (座談会、交流給食、舞台裏見学 等)	1	2	3	4	5
④学校との対応力が高い	1	2	3	4	5
⑤事業実施後のフォローアップが充実している	1	2	3	4	5
⑥本事業に取り組む意識が高い	1	2	3	4	5
⑦実施校の満足度が高い	1	2	3	4	5

問5-1. 上記設問のうち「そう思う」と回答された項目の中で、特に象徴的なエピソード等がありましたら、以下にその概要をご記入下さい。(自由記述)

【今後のB区分制度のあり方】

問6. 今後のB区分制度のあり方に関するご意見についてお答え下さい。(○はそれぞれ1つ)

	そう思う	ややそう思う	あまりそう は思わない	そうは思わ ない	わからない
①B区分団体の認定期間は現状の3年間よりも少し長い方がよい	1	2	3	4	5
②各ブロックのB区分団体の割り当て(現状は1~2団体)はもう少し多い方がよい	1	2	3	4	5
③B区分団体の質はもっと高めた方がよい	1	2	3	4	5

問7. その他、本事業をより良い事業とするためのアイデアやご意見がございましたら、以下にご記入ください(自由回答)

◆本アンケートのご回答内容について、追加のご質問をさせて頂く場合がございますので、下記項目のご記入をお願い致します。

所属	所在地 [] (都道府県・政令市)		所属組織名 []	
回答者	氏名		電話番号	
	役職		Email	

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

文化庁委託事業

次代を担う子どもの文化芸術体験事業（巡回公演事業）
検証事業 報告書
平成 25 年 3 月

調査実施 三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング
芸術・文化政策センター